

社会医療法人 **かりゆし会** 年報 第31巻 2024年度
(2024年4月1日～2025年3月31日)

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI
Vol.31 2024 (April 1, 2024-March 31, 2025)

年報発刊によせて



2024 年度病院機能評価において、地域向け広報活動と医療機器安全管理が評価され、S 評価を 2 項目取得したのはとても素晴らしいことです。2025 年 4 月になり、外科・外科系のアクティビティが著しく向上し、真に高度急性期・急性期医療を実践していく環境に適しつつあります。

日本病院会・全日病は、病院の 70 ～ 80% 近くが経営的に厳しい（赤字）との報告があります。一方、社会保障改革実務者協議にて、全国 11 万床を削減（約 1 兆円医療費削減）する方針を検討しており、人口減により余剰になっている病床が削減の対象のようです。沖縄県人口は微増からプラトーに達し、減少に転じる時期に進みつつあります。県の策定として人口増を目指しているようですが、具体的対策が実を結ぶかは不確実です。中南部医療圏のうち、当法人・病院・医院の 5 市町村（西原町、宜野湾市、中城村、南城市、与那原町）において、西原町の人口動態が気になるところです。

中南部においては急性期病床削減の対象医療機関は無いと思いますし、中南部医療圏各急性期病院の病床利用率 1 日の動向は 94.1 ～ 102.6%（2025 年 5 月）でした。救急医療を担う総合病院が当院近隣に移転してきたことや、琉大病院の西普天間地区への移転は、当院にどのように影響を及ぼしたのでしょうか。さて、当院の病床利用率の推移を見てみますと、2018 年は 87.9%、2019 年は 90.2%、2023 年は 79.7%、2024 年 4 月は 74.3% で 5 月は 79.9%、2025 年 4 月は 89.8% で 5 月は 84.6% でした。病床利用率改善は診療現場の多大な努力のおかげで、西原病院長をはじめ各部門に謝意を述べたいと思います。

次に医療の中身を検討すると、ダビンチによる手術のうち結腸および婦人科領域への保険適応は 2025 年 2 月から、直腸および食道がんについては同年の 6 月の適応を予定しています。当院の前立腺がん患者数は 260 件程度と推定されますが、早急なダビンチ手術実施に向けて取り組んでいきたいと思っています。

看護部の看護師卒後教育、ステップアップ講習・育成、各種研修会、そして認定看護師・特定行為のできる看護師の育成に積極的に取り組んでいる現状はとても素晴らしいです。診療部門も、後期研修医・専攻医を育成できる環境づくりを強化していきたいものです。2025年度は、医療制度や医療環境を乗り越え、近未来への挑戦の年にしたいものです。

社会医療法人かりゆし会
理事長 安里 哲好

目次

年報発刊によせて	2
----------------	---

ハートライフ病院 2024 度 年次報告	7
-------------------------------	---

年報発刊によせての挨拶	9
-------------------	---

病院概要	11
組織概要	11
施設概要	11
診療体制	14

2024年度(令和6年度)ハートライフ病院 事業計画概要	15
---------------------------------------	----

患者統計	17
外来・救急外来	17
ICU 患者統計	22
医療の質 Quality Indicator (QI)	26
患者満足度調査	26
地域医療支援病院認定 関連統計情報	32
ハートライフ病院 DMAT	36
看護師特定行為研修センター	38
2024 年度職員満足度調査	46

医 局	52
総合内科	58
呼吸器内科	61
循環器内科	62
消化器内科	65
肝臓内科	67
小児科	69
心療内科	71
外 科	72
整形外科	76
形成外科	78
脳神経外科	80
眼 科	81
耳鼻咽喉科	83
泌尿器科	85
産婦人科	87
放射線科	89
麻酔科	90

血液浄化部	92
口腔ケア科	94
救急総合診療部	96
病理診断科	103
医局年度総括	104

看護部	105
外来	107
救急外来	109
人工透析室	112
手術室・中央材料室	117
ICU	119
HCU	122
東館 4・5 階病棟（産科・婦人科、乳腺外科）、産婦人 科外来	124
3 階病棟（整形外科・形成外科・眼科）	128
4 階病棟（外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、 口腔外科）	130
5 階病棟（消化器内科・小児科）	132
6 階病棟（泌尿器科・総合内科）	134
7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）	136
看護部年度総括	139

医療技術部	141
放射線科	141
臨床検査科	150
臨床工学科	155
栄養科	171
薬局	174
リハビリテーション科	176
医療技術部年度総括	181

医療安全管理室	183
---------------	-----

感染対策管理室	186
---------------	-----

栄養サポート室	191
---------------	-----

内視鏡センター	194
---------------	-----

予防医学センター	200
----------------	-----

患者総合支援センター	207
地域医療連携室	208
入退院支援室	210

医療福祉相談室	212	クリニック概要	298
がん相談支援室	216	組織概要	298
乳腺外科センター	217	患者統計	300
事務部	219	ハートライフ地域包括ケアセンター 2024 年度 年次報告	301
医事外来課	219	年報発刊によせての挨拶	303
医事入院課	221	施設概要	306
診療情報管理室	223	組織概要	306
総務課	225	はーとらいふ保育園 2024 年度 年次報告	311
用度課	226	年報発刊によせての挨拶	313
企画室 電算係	228	施設概要	314
企画室 広報係	229	組織概要	314
企画室 DX 推進係	230	かりゆし会の 1 年	319
財務・経理課	231	写真で振り返るかりゆし会	319
人事課	232	2024 年 社会医療法人かりゆし会 永年勤続者	322
診療支援室	234		
経営企画分析室	237		
管財課	239		
施設課	240		
附随業務部門 食堂とまと	246		
病院事務部長年度総括	249		
人事・財務部長年度総括	250		
法人事務局部長年度総括	252		
委員会活動	255		
ハートライフクリニック 2024 年度 年次報告	273		
年報発刊によせての挨拶	275		
クリニック概要	276		
組織概要	276		
患者統計	278		
糖尿病内科	284		
内科	288		
小児科	290		
附属施設	291		
疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）	291		
ヘルシーカフェ ohana	293		
西平医院 2024 年度 年次報告	295		
年報発刊によせての挨拶	297		

笑顔で親切、
ハートライフ病院

笑顔だと、
気持ちいいよね。

ハートライフ病院 2024度 年次報告

Annual report of Heartlife Hospital 2024



理念

わたしたちは心と心をつなぐ信頼される医療をめざします

基本方針

安全で質の高いチーム医療を提供する

地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）を実践する

24 時間体制の断らない救急医療を提供する

患者が満足し、納得する医療を提供する

社会に認められる人材を育成する

健全な医療経営を実践する

社会の変化に対応できる組織作りをする

年報発刊によせての挨拶



2024 年 4 月に院長に就任して以来、財政健全化との戦いでした。特に 2024 年中は非常に苦しい時期でした。

しかし、その中でもロボット支援手術の導入（6 月にダビンチの購入）に踏み切りました。外科においては、7 月に加藤先生の入職に伴い、8 月からロボット支援下結腸切除術が開始されました。施設基準の関係上、当初は保険請求ができず、病院負担の手術でしたが、2025 年 2 月からは施設基準を満たし、保険請求ができるようになりました。また、産婦人科においてもセンター長の武田先生をはじめとする先生方の頑張りのおかげで、8 月からロボット支援下の子宮手術が開始され、こちらも 2025 年 2 月から施設基準を満たし、保険請求が可能となりました。もちろん、これらの成功は医師だけでなく、手術室の看護師をはじめ、臨床工学技士、事務職、その他の職種の方々とのチーム医療の賜物であると思います。まさにハートライフ病院の総合力の結晶と言えるでしょう。関係する職員の皆様方に、深く御礼申し上げます。2025 年 4 月からは、ロボット支援食道手術のプロクター資格を有する李先生を迎え、食道外科の分野でもロボット支援手術を広げてまいります。

長く常勤医不在の状態が続き、ご迷惑をおかけしていた乳腺外科の分野では、9 月から柏葉先生を迎え、「乳腺外科センター」を立ち上げることができました。これにはマンマ家クリニックの先生方の強力なお力添えがあった事をお伝えしなければなりません。当院で非常勤として勤務しておられた野村先生が本土へ転勤となり、大変困っていた 2024 年 4 月に、マンマ家クリニックのご厚意から外来・手術の応援をいただけることとなりました。そして、マンマ家クリニックの國仲先生より柏葉先生をご紹介いただいたのです。おかげで話はとんとん拍子に進み、センター開設に至りました。今後ますますの発展が期待されます。

このように苦しい台所事情でありながらも、皆で力を合わせ、前を向いて必死に努力してまいりました。その結果、2025 年 1 月には業績が急回復しました。これまで皆で力を合わせて頑張ってきたことは、決して間違っていなかったと確信しております。

2025 年度は、内科系の充実を目指していきます。総合内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、いずれも強化が必要です。また、糖尿病内科の医師も必要としており、全力をあげて体制づくりに取り組んでまいります。以前からの課題である救急医の確保も、重要な

ポイントです。救急は病院の要であります。

さらに、泌尿器科、形成外科等、課題は山積しておりますが、焦ることなく、職員の皆様と強い協力体制を築きつつ、一つずつ解決を目指してまいります。

これからもハートライフ病院は、高度で安全・安心な医療を目指して邁進してまいります。患者さんに寄り添い、ご家族に寄り添い、職員全員が明るく元気に過ごせるよう、努力していきましょう。

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
院長 西原 実

病院概要

(2024 年 4 月 1 日時点 / データ作成 総務課 佐和田)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

所在地

〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

連絡先

電話 (098) 895-3255 (代表)

FAX (098) 895-2534

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/>

管理者一覧

理事長	安里 哲 好	医局長	阿 嘉 裕 之	事務部長	安 里 竜
院長	西 原 実	統括看護部長	古波倉 美登利	法人事務局長	仲 地 智 俊
副院長	普天間 光 彦	看護部長	安谷屋 佳 子	法人人事・財務部長	比 嘉 康 文
副院長	秋 元 芳 典	医療技術部長	宮 城 竜 也		
副院長	渡慶次 学	法人事務局長	當 銘 秀 之		

施設概要

許可病床数

308 床 (開放病床 22 床)

敷地面積及び建物概要

敷地面積 22,225.09㎡

< 本館・西館 >	構造	鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根地下 1 階付き 9 階建
	のべ床面積	23,920.55㎡
< 東館 >	構造	鉄筋コンクリート造地上 5 階・地下 1 階
	のべ床面積	7,551.31㎡
< 別館 >	構造	鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建
	のべ床面積	542.16㎡
< 立体駐車場 >	構造	鉄骨造陸屋根 4 階建 (駐車場)
		鉄筋コンクリートブロック造陸屋根平屋建 (機械室)
	のべ床面積	3,365.76㎡ (駐車場)
		34.00㎡ (機械室)

職員数

(2025 年 3 月 31 日時点 総務課)

総 数 868 名

職種別

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	66	臨床検査技師	35	管理栄養士	8	医師事務作業補助者	27
研修医	9	臨床工学技士	19	救急救命士	2	クラーク	31
保健師	7	臨床心理士	1	歯科衛生士	2	助手	11
助産師	23	言語療法士	3	社会福祉士	6	施設技術者	5
看護師	346	作業療法士	6	診療情報管理士	7	司書	1
准看護師	8	理学療法士	23	保育士	1	一般事務	112
看護補助者	53	放射線技師	19	調理師	3	その他	7
薬剤師	16	視能訓練士	3	調理補助	8	職員数 総数	868

指導医・専門医・認定医・その他認定など

(2025 年 3 月末時点 / データ作成 総務課 佐和田)

資格名	人数	資格名	人数
ICD 制度協議会認定インфекションコントロールドクター	1	日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	1
POCUS (Point Of Care Ultrasound) コースインストラクター	1	日本消化器外科学会消化器がん治療認定医	2
検診マンモグラフィ読影認定医	5	日本消化器外科学会消化器外科指導医	1
精神保健指定医	1	日本消化器外科学会消化器外科専門医	6
全日本病院協会医療安全管理者認定医	1	日本消化器外科学会認定医	1
日本アレルギー学会専門医 (小児科)	1	日本消化器内視鏡学会指導医	4
日本がん治療認定医機構がん治療認定医	1	日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医	1
日本がん治療認定医機構認定医	5	日本消化器内視鏡学会専門医	10
日本ペインクリニック学会認定医	1	日本消化器内視鏡学会内視鏡専門医	1
日本医学放射線学会診断専門医	2	日本消化器内視鏡学会認定医	1
日本医師会認定産業医	6	日本消化器病学会指導医	4
日本医師会認定産業医・医学博士	1	日本消化器病学会専門医	9
日本外科学会外科専門医	8	日本心血管インターベンション治療学会専門医	1
日本外科学会指導医	2	日本心血管インターベンション治療学会認定医	1
日本感染症学会 インフェクションコントロールドクター (ICD) 認定医	1	日本心臓リハビリテーション学会指導士	3
日本感染症学会インфекションコントロールドクター	1	日本神経内視鏡学会技術認定医	1
日本感染症学会指導医	1	日本人間ドック学会認定医師	1
日本感染症学会専門医	1	日本整形外科学会リウマチ認定医	1
日本肝臓学会指導医	1	日本整形外科学会運動器リハビリテーション医	1
日本肝臓学会専門医	2	日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医	1
日本眼科学会専門医	2	日本整形外科学会専門医	3
日本救急医学会救急科専門医	1	日本整形外科学会日本専門医機構整形外科専門医	1
日本形成外科学会形成外科専門医	1	日本精神神経学会指導医	1
日本呼吸器学会インфекションコントロールドクター	1	日本精神神経学会専門医	1
日本産科婦人科学会日本専門医機構	1	日本体育協会公認スポーツドクター	1
日本産婦人科学会専門医	2	日本大腸肛門病学会専門医	1
日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門研修指導医	1	日本東洋医学会認定医	1
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・日本専門医機構 耳鼻咽喉科専門医	1	日本透析医学会指導医	1
日本手外科学会認定手外科指導医	1	日本透析医学会専門医	2
日本手外科学会認定手外科専門医	1	日本透析医学会認定医	1
日本集中治療医学会専門医	1	日本内科学会指導医	3
日本循環器学会専門医	6	日本内科学会総合内科専門医	7
日本小児科学会小児科専門医	2	日本内科学会認定内科医	13
日本消化器がん検診学会総合認定医	1	日本内視鏡外科学会技術認定医	1
日本消化器がん検診学会認定医	5	日本乳腺学会乳腺指導医	1
日本消化器外科学会指導医	2	日本乳腺学会乳腺専門医	1
		日本脳神経外科学会専門医	2
		日本脳神経血管内治療学会専門医	1

資格名	人数
日本泌尿器科学会指導医	1
日本泌尿器科学会専門医	1
日本病院総合診療医学会認定医	1
日本病理学会病理専門医	2
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医専門医	1

資格名	人数
日本麻酔科学会指導医	3
日本麻酔科学会専門医	4
日本麻酔科学会認定医	1
麻酔科標榜医	5

病院機能認定など

医師臨床研修指定病院（基幹型） 厚生労働省発
医政第 1030005 号
地域医療支援病院
24 時間二次救急指定病院
(財)日本医療機能評価機構一般病院2 認定第GB97-5号

DPC 対象病院（標準病院群）
地域災害拠点病院
DMAT 指定医療機関
特定行為研修指定研修機関

指定医療一覧

日本内科学会認定教育関連病院
日本がん治療認定医療機構認定研修施設
日本感染症学会研修施設
日本肝臓学会認定施設
日本整形外科学会専門医研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本泌尿器科学会専門医教育認定施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本産科婦人科学会 産婦人科専門研修プログラム施設（連携型）
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器科外科学会専門医修練施設（認定施設）
日本臨床細胞学会施設
日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設
日本消化器病学会認定施設
日本呼吸器学会関連施設
健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設
人間ドック検診施設機能評価認定施設

日本透析医学会教育関連施設
マンモグラフィー検診施設画像認定施設
National Clinical Database (NCD) 食道癌全国登録施設
日本大腸肛門病学会関連施設
日本病理学会研修登録施設
日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設
日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関認定施設
日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設
日本病院総合診療医学会認定施設
日本専門医機構 専門医研修プログラム（内科領域）
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会
エキスパンダー実施施設（一次再建）
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会
インプラント実施施設（一次一期再建）
日本乳癌学会認定施設
日本角膜学会羊膜移植実施施設

診療体制

標榜診療科目

- | | | | | |
|--------|---------|----------|-------------|---------|
| ●内科 | ●人工透析内科 | ●血管外科 | ●泌尿器科 | ●救急科 |
| ●呼吸器内科 | ●心療内科 | ●大腸・肛門外科 | ●眼科 | ●病理診断科 |
| ●循環器内科 | ●小児科 | ●脾臓外科 | ●耳鼻咽喉科 | ●歯科 |
| ●消化器内科 | ●外科 | ●整形外科 | ●皮膚科 | ●精神科 |
| ●肝臓内科 | ●小児外科 | ●形成外科 | ●放射線科 | ●歯科口腔外科 |
| ●血液内科 | ●乳腺外科 | ●脳神経外科 | ●麻酔科 | |
| ●リウマチ科 | ●食道外科 | ●産婦人科 | ●リハビリテーション科 | |

その他、センター・専門外来など

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| ●予防医学センター
(人間ドック・一般健診・生活習慣病予防健診) | ●不整脈外来 |
| ●内視鏡センター | ●甲状腺外来 |
| ●人工透析センター(昼間・夜間) | ●生活習慣病外来 |
| ●無菌治療センター | ●睡眠時無呼吸症候群(SAS) 外来 |
| ●ヘルニアセンター | ●スポーツ関節鏡センター |
| ●乳腺外科センター | ●通院治療室(外来化学療法) |
| ●患者総合支援センター | ●小児アレルギー外来 |
| ●胸やけ外来 | ●心臓リハビリテーション |

24 時間救急指定病院【内科・循環器内科・外科・整形外科】

受付時間

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 12:00～16:30 |
| 土曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 休診 |

診療時間

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 9:00～12:00 | 午後 14:00～17:00 |
| 土曜日 | 午前 9:00～12:30 | 午後 休診 |

休診日 救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

2024年度(令和6年度)ハートライフ病院事業計画概要

1. 2023 年度（令和 5 年度）の振り返り

2023 年 5 月より新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行しましたが、適切な感染対策は引き続き必要とされ、患者とスタッフの安全を最優先することを継続していました。具体的には、スタッフには、健康管理の徹底のため毎日の体温チェック等をお願いしてまいりました。また、患者の面会制限を現在も継続しております。

コロナ禍にあって減少していた入院延患者数、外来延患者数がなかなか回復せず、特に 12 月は病床利用数が 217 床と過去最低を記録しました。入院日当額は 66,550 円、外来日当額は 18,015 円と良好な成績でしたが、入院延患者数は対前年で 323 人減、外来延患者数が 12,456 人減となり、医業収益は 96.1 億円で、予算の 102.4 億円を大きく下回りました。また、コロナ対策の補助金も減額され、最終損益で約 3.2 億円の赤字となってしまいました。

一方で、初期臨床研修医のマッチングはフルマッチを達成し、専門医制度となって初めての内科専攻医の受入れも始まりました。また看護の分野では、種々の認定看護師、特定行為研修修了者も 10 人を超え、大変な戦力となっております。事務部においては、事務局長が変わり、3 人部長体制となり、盤石な体制となりました。医療技術部においては、医療技術部長を中心に、薬剤師等の人材発掘に取り組んでおります。

働き方改革においては、沖縄県より 1 月 30 日、「特定労務管理対象機関（特定地域医療提供機関、連携型特定地域医療提供機関、技術向上集中研修機関）」指定の通知をいただきました。さらに労働基準監督署より産婦人科において、「断続的な宿直又は日直勤務許可証」をいただきました。

2. 2024 年度（令和 6 年度）事業計画の概要

診療報酬改定が行われる中、2024 年度も急性期一般入院料 1（7 対 1）の基準をクリアすることが非常に大切になります。そのためには救急患者の受入れと入院体制の強化、手術件数の増加、後方連携の強化をはかる必要があります。

初期研修医のフルマッチの達成と専攻医の確保、100 人体制を目指した医師の確保、年間を通しての看護師の確保、薬剤師、リハビリ等医療技術職の人材確保、さらに医師事務作業補助者や看護助手の増員に全力を挙げて取り組みます。

ハラスメント対策を強化し、職員の離職を防止します。

患者満足度向上にも引き続き取り組んでいきます。

手術支援ロボットを導入し、高度医療への挑戦を続けていきます。

3. 2024 年度以降ハートライフ病院の目標

① 病棟運営の 3 指標

病棟診療会議での検討を元に、2024 年度の 3 指標を以下の通り設定しました。

指標	2024 年度目標	2023 年度目標	2023 年度実績
新規入院患者数	750 人 / 月	750 人 / 月	691.6 人 / 月
病床利用数	260 床 (84.4%)	260 床 (84.4%)	245.5 (79.7%)
平均在院日数	10.5 日	10.5 日	10.7 日

② 短期目標

1. 最終損益を黒字化する
2. 手術支援ロボットの導入
3. 救急医を採用し、救急医療の充実を図る
4. 総合診療医を育て、雇用し、総合診療部を設立する
5. チーム医療のさらなる推進を図る
6. 災害対策に取り組む
7. 看護師（看護助手含む）・薬剤師・医療技術職・事務職（医師事務作業補助者を含む）等の雇用
8. 働き方改革の推進（月 80 時間、年 960 時間以内の A 水準を目指す）

③ 中長期目標

1. 病院の建て替え・移転に向けて準備を開始する
2. 2035 年の病院建て替えを睨み、利益増・貯蓄増を目指す
3. 医師数を 100 人超とし、医業収益 100 億円超を安定化する
4. 医療 DX を推し進め、人手不足に対応していく（恵寿総合病院等に倣って）
5. 手術支援ロボットを軌道に乗せ、黒字転換する
6. 回復期リハビリ病院、慢性期病院等とのさらなる密な連携を構築する
7. 高齢者が安心して生活できるように地域包括ケアシステムに則り、行政（民生委員等）との連携を密にし（基金の設立等も含めて）、病院周囲を巻き込む病院中心の街づくりを目指す（実質的な町立・村立病院を目指す）
8. がん医療のさらなる充実
9. ダイバーシティ、インクルージョンを実践し、職員全員のウェルビーイングを目指す
10. 急性期充実体制加算を取得する（全身麻酔手術件数 > 2,000 件）

4. 結び

今年度は最終損益で黒字化することが最大の目標となります。その上で、納得・満足できる医療を提供すべく、地域住民の健康・生活を守り抜くために職員一丸となって頑張っていきたいと思います。

ハートライフ病院
院長 西原 実

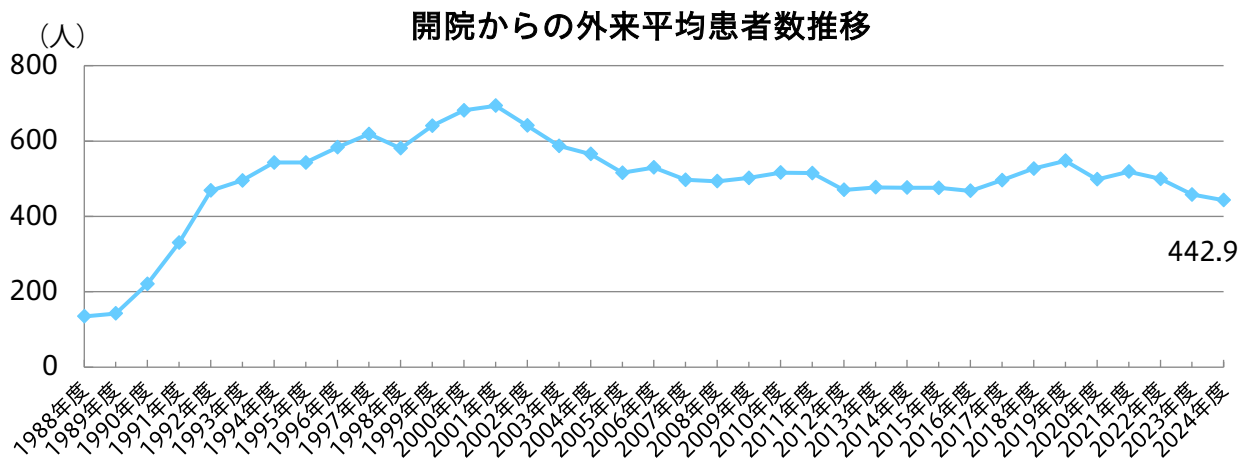
患者統計

外来・救急外来

外来 1 日平均患者数推移

(データ作成：医事入院課 田中)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2020年度	446.4	427.0	483.8	535.9	461.4	495.4	497.6	533.3	511.4	508.3	533.4	544.1	498.2
2021年度	534.2	515.0	484.9	517.2	508.3	514.5	508.4	562.8	539.7	508.6	512.4	519.5	518.8
2022年度	509.2	536.7	507.8	475.7	440.5	503.4	497.8	512.6	504.8	509.8	514.3	489.6	500.2
2023年度	478.0	483.9	460.3	449.6	472.1	470.5	448.4	453.0	438.7	445.3	455.2	447.6	458.6
2024年度	423.1	441.6	423.2	437.0	427.2	441.7	439.2	441.0	445.9	457.9	473.5	463.9	442.9

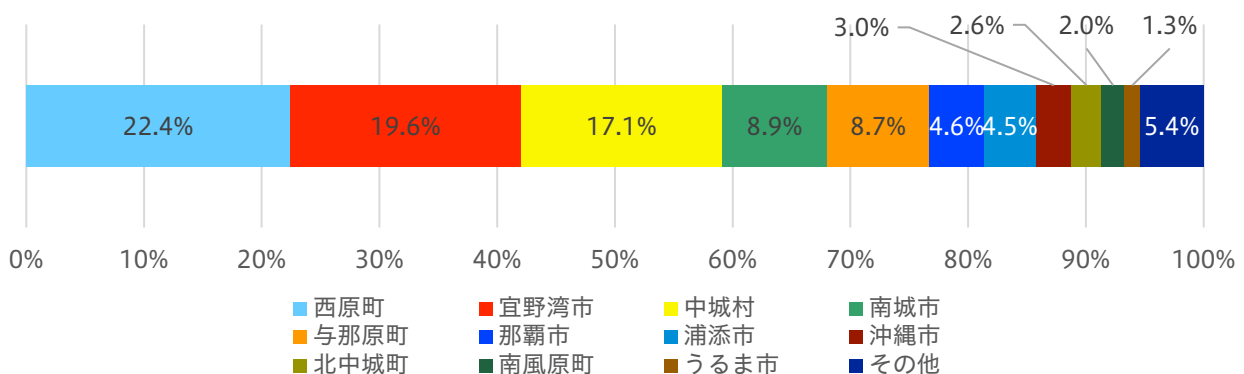


地域別外来患者数（延べ患者数）

(データ作成：広報係 仲田)

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	132,020
離島	522
県外	640
その他	1108
合計	134,290

外来延べ患者構成比



※ 1,000 件未満の市町村はその他に集計

救急搬送件数推移と救急患者の入院数

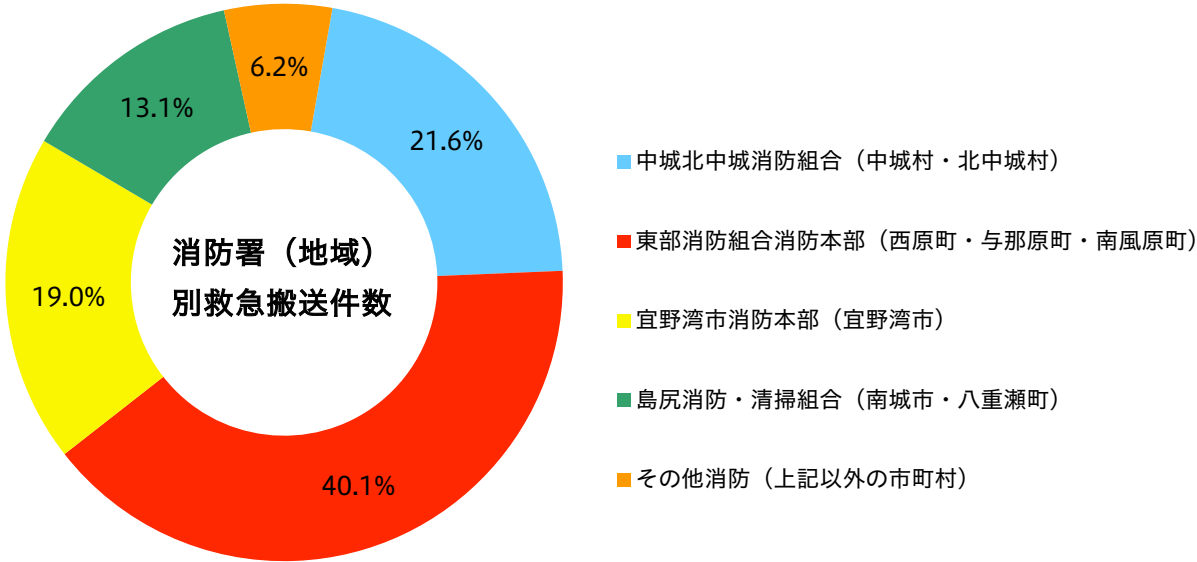
(データ作成：地域医療連携室 金城)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	入院率
2013 年度	搬送人数	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2,443	203.6	
	うち入院数	93	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1,168	97.3	47.8%
2014 年度	搬送人数	185	188	209	235	204	197	200	193	199	262	187	191	2,450	204.2	
	うち入院数	80	91	95	110	94	98	113	94	106	131	99	97	1,208	100.7	49.3%
2015 年度	搬送人数	194	209	206	217	192	222	218	191	196	212	228	222	2,507	208.9	
	うち入院数	98	106	97	122	98	119	119	90	88	104	101	108	1,250	104.2	49.9%
2016 年度	搬送人数	201	221	225	239	226	219	238	200	241	265	224	266	2,765	230.4	
	うち入院数	104	116	119	105	107	116	120	92	122	130	100	136	1,367	113.9	49.4%
2017 年度	搬送人数	228	229	246	258	286	221	217	216	287	260	269	235	2,952	246.0	
	うち入院数	131	105	113	112	114	92	88	94	129	122	131	129	1,360	113.3	46.1%
2018 年度	搬送人数	222	240	208	265	232	209	221	198	231	273	230	236	2,765	230.4	
	うち入院数	98	110	109	117	109	100	99	102	98	136	100	95	1,273	106.1	46.0%
2019 年度	搬送人数	239	219	252	315	287	255	268	219	280	274	234	224	3,066	255.5	
	うち入院数	108	116	124	144	127	127	125	89	129	138	99	105	1,431	119.3	46.7%
2020 年度	搬送人数	226	225	212	241	254	238	233	265	283	301	232	331	3,041	253.4	
	うち入院数	96	98	94	111	107	112	107	116	144	142	115	155	1,397	116.4	45.9%
2021 年度	搬送人数	304	318	253	320	326	307	235	277	252	306	265	300	3,463	288.6	
	うち入院数	133	127	99	143	136	125	113	121	107	145	131	144	1,524	127.0	44.0%
2022 年度	搬送人数	357	334	336	435	449	279	236	281	326	358	273	299	3,963	330.3	
	うち入院数	163	158	152	163	194	122	107	127	137	134	122	142	1,721	143.4	43.4%
2023 年度	搬送人数	247	297	367	364	387	300	279	248	290	321	233	256	3,589	299.1	
	うち入院数	102	117	150	141	152	117	104	110	123	146	102	111	1,475	122.9	41.1%
2024 年度	搬送人数	244	318	332	425	340	231	274	234	295	401	316	273	3,683	306.9	
	うち入院数	102	160	153	181	167	98	134	111	131	185	145	113	1,680	140.0	45.6%

消防署（地域）別救急搬送件数

(データ作成：地域医療連携室 金城)

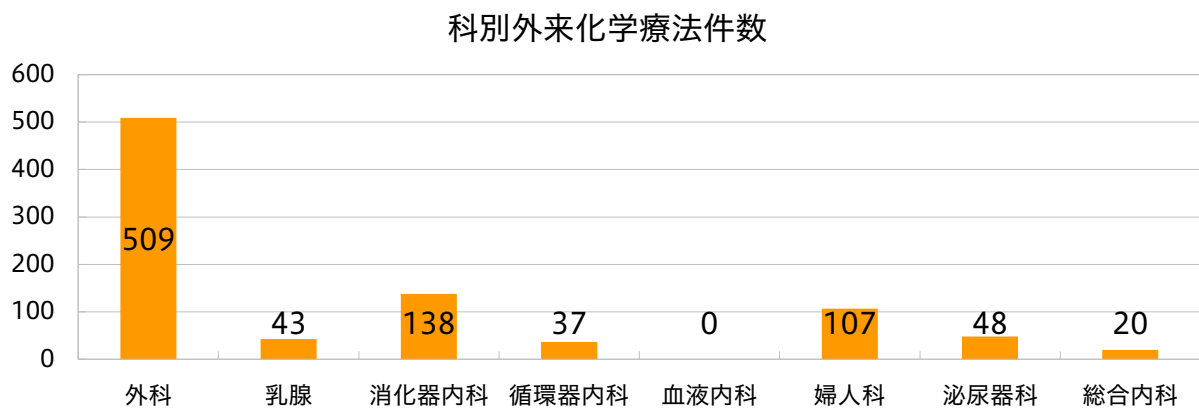
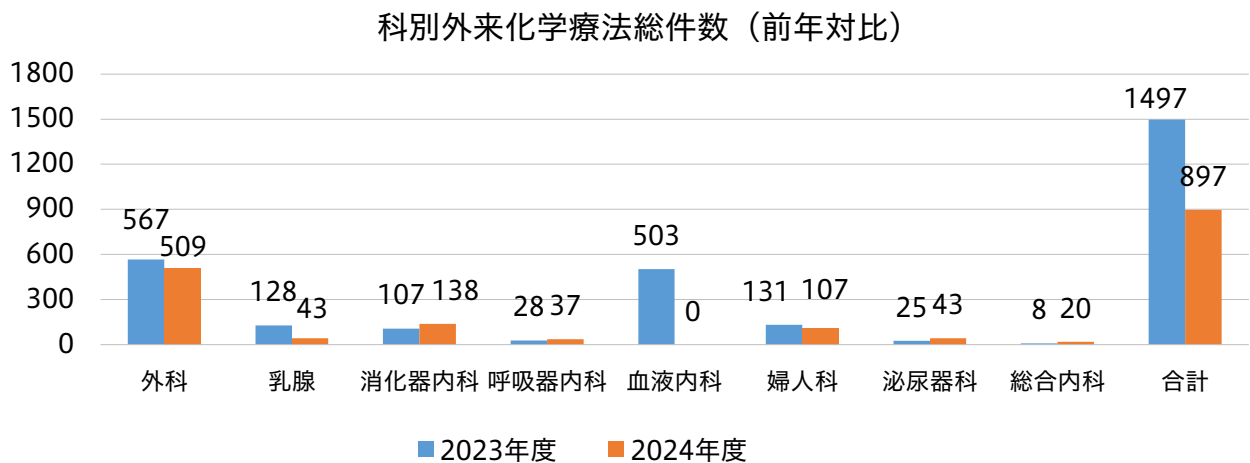
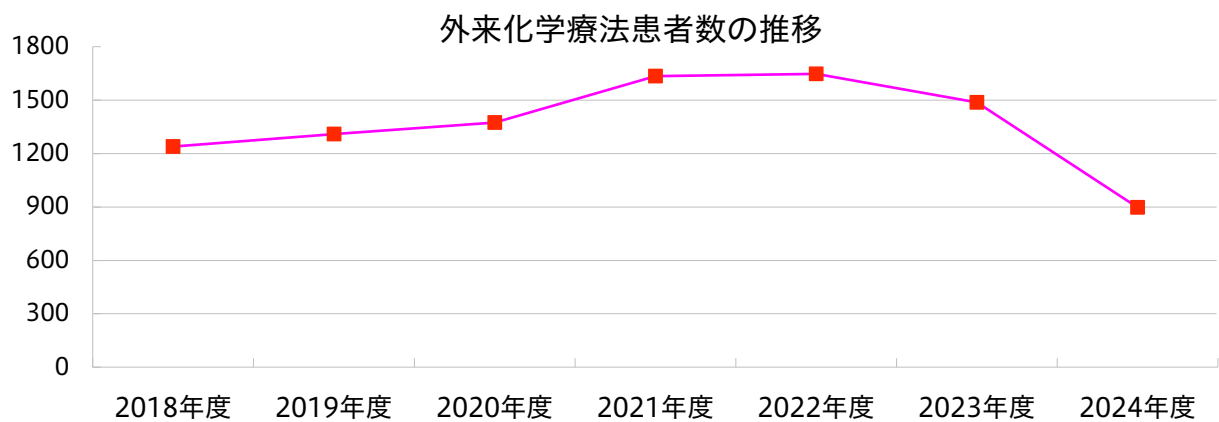
	当院救急搬送件数	割合
中城北中城消防組合（中城村・北中城村）	794	21.6%
東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）	1,477	40.1%
宜野湾市消防本部（宜野湾市）	701	19.0%
島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）	481	13.1%
その他消防（上記以外の市町村）	230	6.2%
合計	3,683	100.0%



外来化学療法室施行数内訳

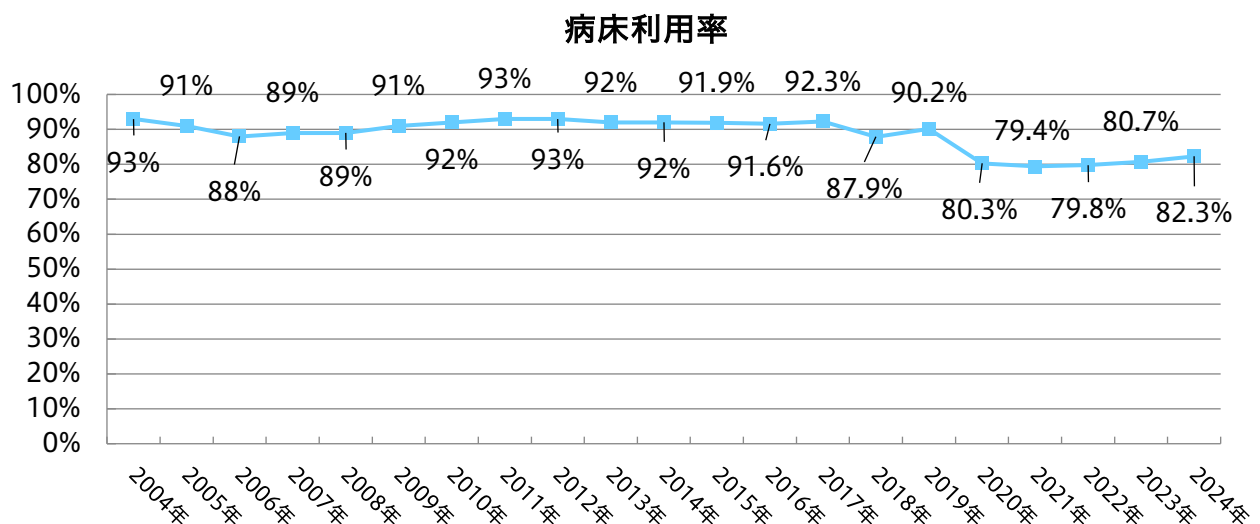
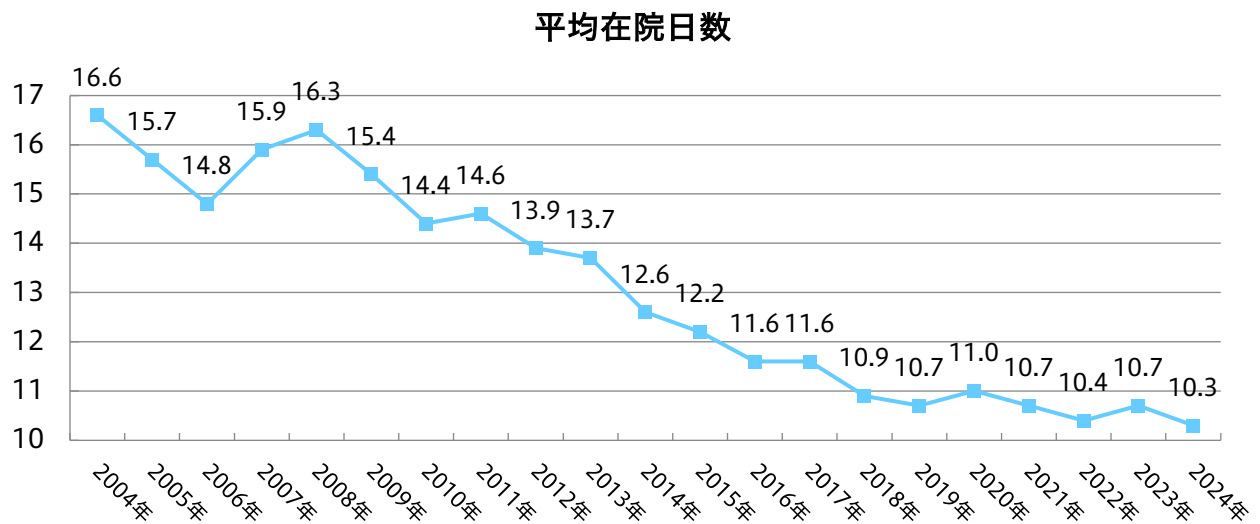
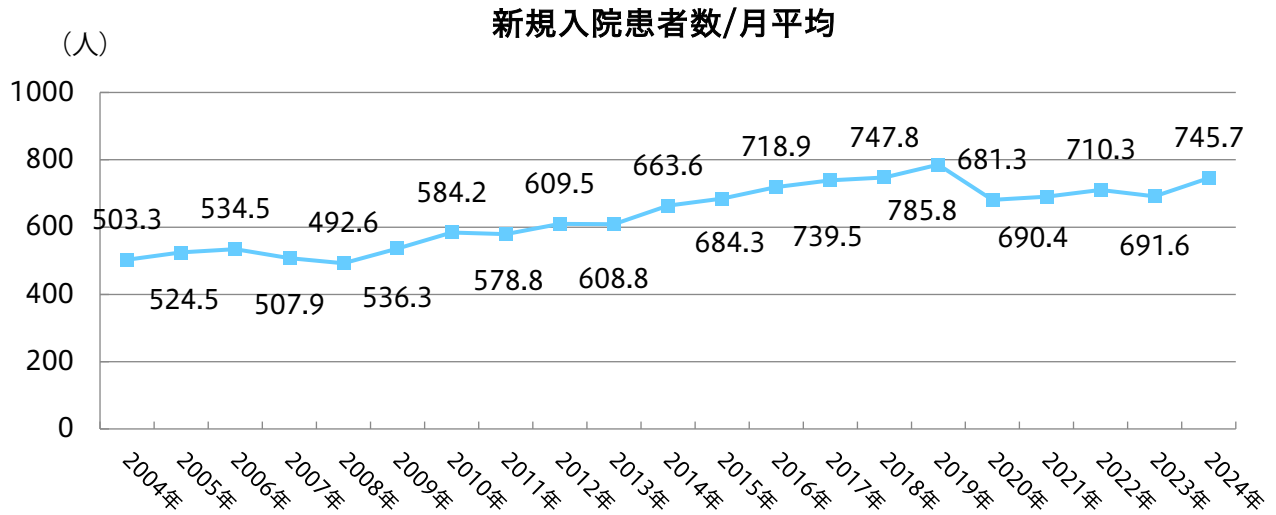
(データ作成：看護部 外来 米須)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	43	46	42	53	53	22	43	43	43	42	36	43	509
乳腺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	20	43
消化器内科	13	10	11	12	14	6	13	13	13	12	12	9	138
呼吸器内科	2	5	6	3	3	0	2	2	2	2	3	7	37
血液内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	11	9	5	8	10	4	11	11	11	10	8	9	107
泌尿器科	1	2	6	7	4	2	1	1	1	4	7	7	43
総合内科	2	2	1	3	3	1	2	2	2	1	1	0	20
合計	72	74	71	86	87	35	72	72	72	80	81	95	897



入院 3 指標

(データ作成：地域医療連携室 金城)

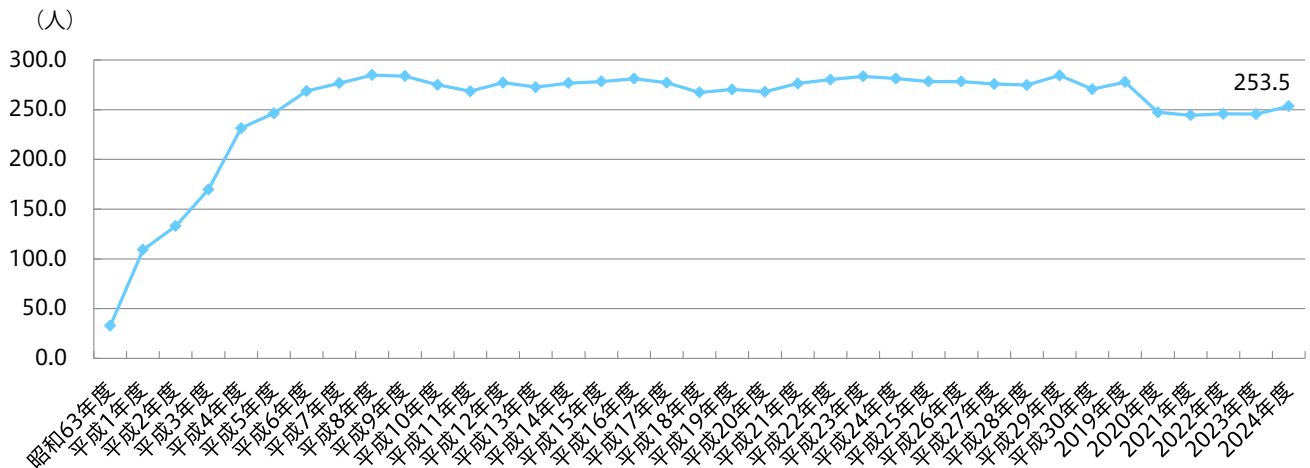


入院 1 日平均患者数推移

(データ作成：医事入院課 田中)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
2020 年度	235.8	223.5	246.5	256.9	242.4	229.7	244.3	254.1	244.9	266.0	265.8	259.2	2,969.0	247.4
2021 年度	260.9	267.6	228.2	237.3	247.5	230.4	241.2	260.6	243.6	234.0	232.8	249.1	2,933.1	244.4
2022 年度	250.1	246.0	237.1	247.5	239.4	252.9	236.6	241.3	249.3	256.6	248.6	245.3	2,950.7	245.9
2023 年度	255.9	238.3	267.3	266.0	252.9	253.9	254.9	221.1	216.5	238.1	250.9	230.7	2,946.5	245.5
2024 年度	228.8	246.2	267.8	275.4	256.7	225.5	236.4	253.8	239.1	276.1	277.8	258.6	3,042.2	253.5

開院からの入院平均患者数推移

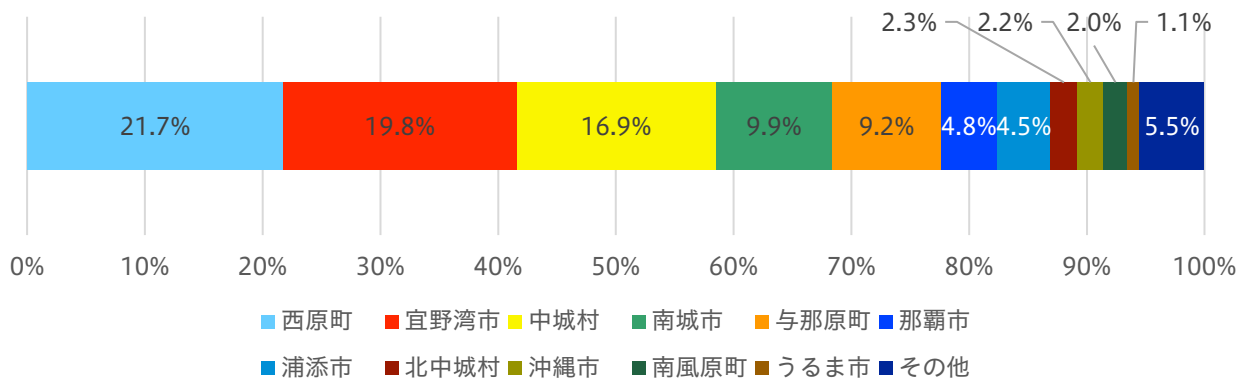


地域別入院患者数（延べ患者数）

(データ作成：広報係 仲田)

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	101,449
離島	817
県外	611
その他	984
合計	103,861

入院延べ患者構成比



※ 1000 件未満の市町村はその他に集計

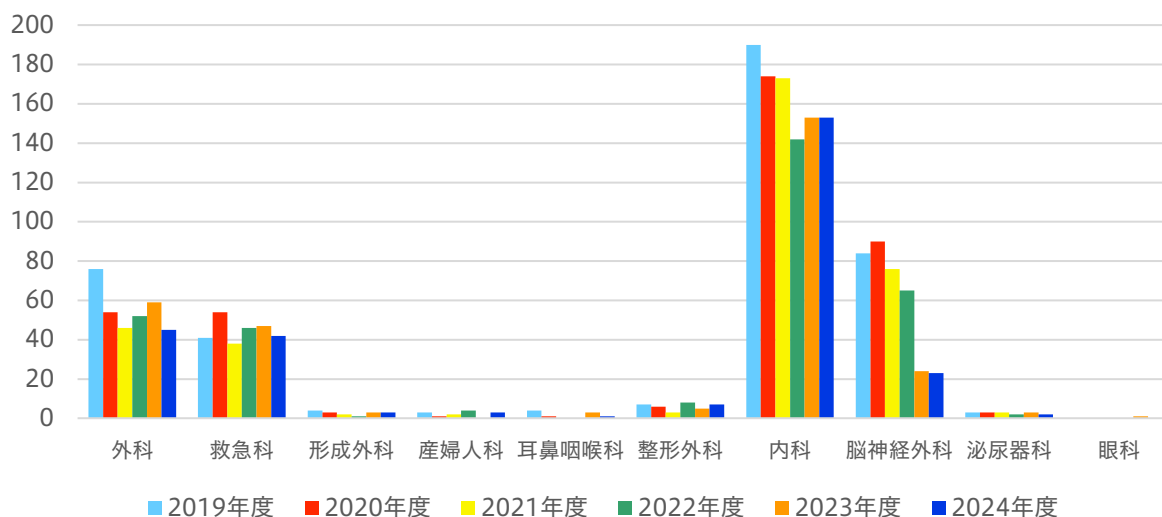
ICU 患者統計

(データ作成 ICU 勝連)

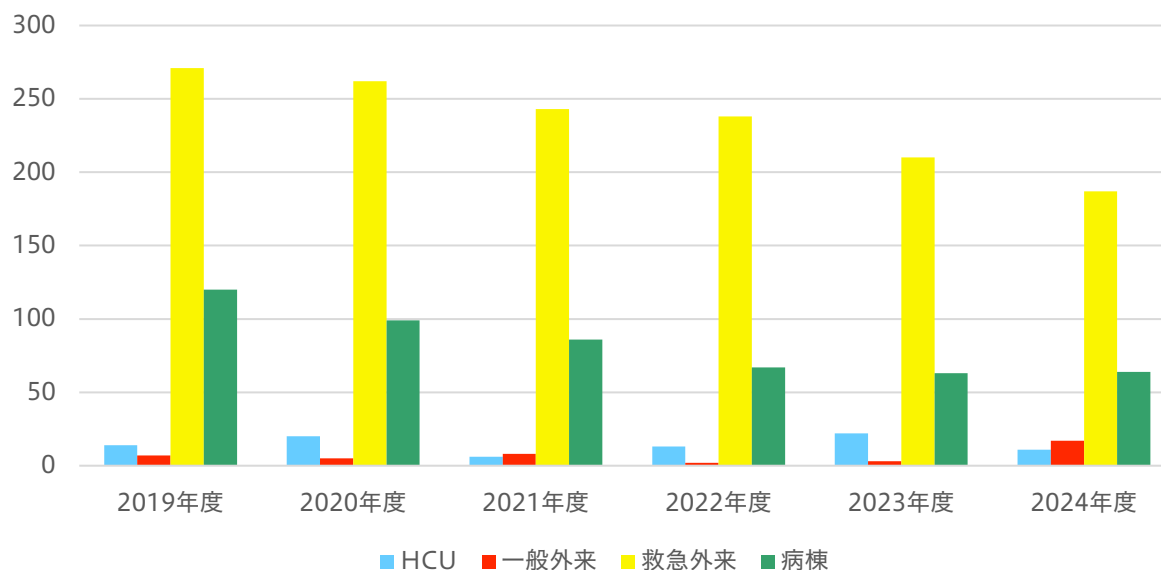
科別入院患者数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	総計
外科	54	46	52	59	45	332
救急科	54	38	46	47	42	268
形成外科	3	2	1	3	3	16
産婦人科	1	2	4		3	13
耳鼻咽喉科	1	0	0	3	1	9
整形外科	6	3	8	5	7	36
内科	174	173	142	153	153	985
脳神経外科	90	76	65	24	23	362
泌尿器科	3	3	2	3	2	16
眼科	0	0	0	1	0	1
総計	386	343	320	298	279	2038

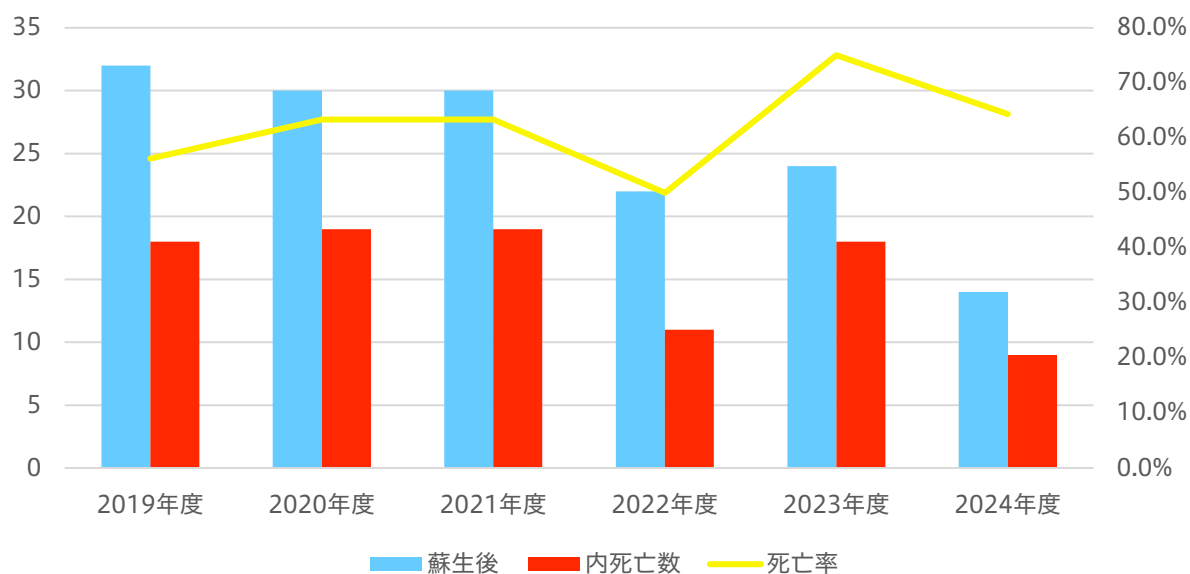
※収容のルール変更により ICU に収容された外科の患者数は減少傾向にあります。



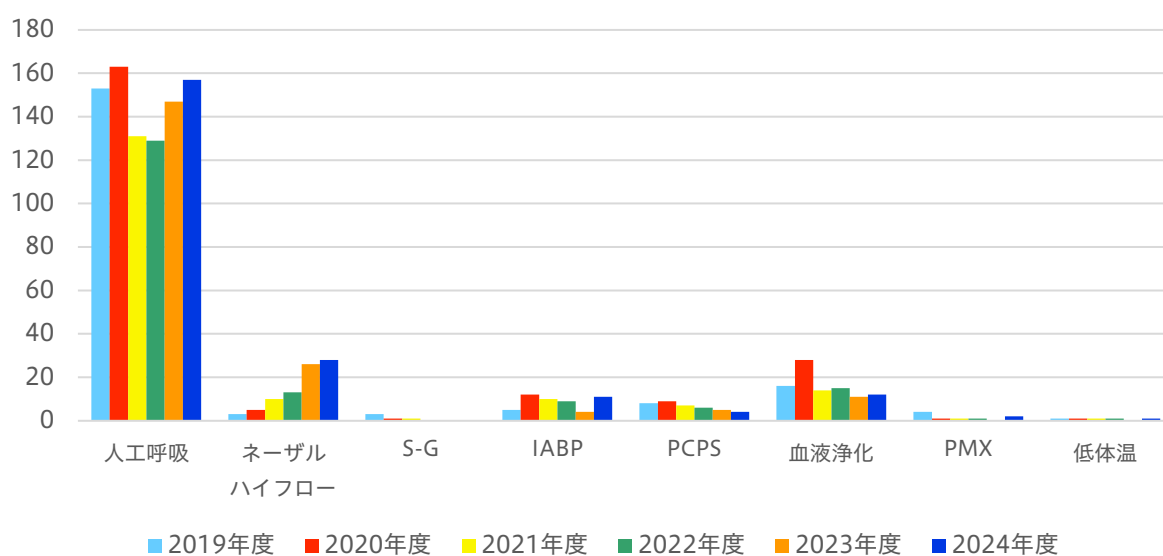
入院経路



蘇生後死亡率（ICU）



特殊治療（ICU）



退院患者疾患別（病態）分類

（データ作成：診療情報管理室 我如古）

	性別	内科	外科	整形外科	産科	婦人科	形成外科	眼科	脳神経外科	耳鼻咽喉科	小児科	泌尿器科	救急科	合計
第Ⅰ章 感染症及び寄生虫症	男性	72	3	1				1		2	18	4	3	104
	女性	67	3			2				1	13	1	5	92
	小計	139	6	1		2		1		3	31	5	8	196
第Ⅱ章 新生物＜腫瘍＞	男性	124	222	2			23	2	1	18		39	2	433
	女性	67	203	2		175	20			19		7		493
	小計	191	425	4		175	43	2	1	37		46	2	926
第Ⅲ章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	男性	12	4								2			18
	女性	10	5			3					1		1	20
	小計	22	9			3					3		1	38
第Ⅳ章 内分泌、栄養及び代謝疾患	男性	45	1				1			1	3		8	59
	女性	27	2								2	2	4	37
	小計	72	3				1			1	5	2	12	96
第Ⅴ章 精神及び行動の障害	男性	3									1			4
	小計	3									1			4
第Ⅵ章 神経系の疾患	男性	43	1	11					8	10	1		2	76
	女性	19	3	9					5	14			4	54
	小計	62	4	20					13	24	1		6	130
第Ⅶ章 眼及び附属器の疾患	男性						8	181						189
	女性	1					7	197					1	206
	小計	1					15	378					1	395
第Ⅷ章 耳及び乳様突起の疾患	男性	8								48	1	1		58
	女性	12	1							50	1		4	68
	小計	20	1							98	2	1	4	126
第Ⅸ章 循環器系の疾患	男性	297	3				3		40			13	40	396
	女性	184	5	1			4		25		1	5	36	261
	小計	481	8	1			7		65		1	18	76	657
第Ⅹ章 呼吸器系の疾患	男性	449	18	1						83	102	8	25	686
	女性	419	2	1		1				60	105	7	32	627
	小計	868	20	2		1				143	207	15	57	1,313
第Ⅺ章 消化器系の疾患	男性	587	366								1	2	3	959
	女性	406	253			2				3	1	2		667
	小計	993	619			2				3	2	4	3	1,626
第Ⅻ章 皮膚及び皮下組織の疾患	男性	10	15	11			40		1	2	9	1		89
	女性	13	18	15			45	2		1	3			97
	小計	23	33	26			85	2	1	3	12	1		186
第ⅫⅢ章 筋骨格系及び結合組織の疾患	男性	18	1	221			21			1	8	1	1	272
	女性	9	3	269		1	25				9	1	1	318
	小計	27	4	490		1	46			1	17	2	2	590
第ⅫⅣ章 腎尿路生殖系系の疾患	男性	81	6				14			8	4	55	7	175
	女性	171	6	2		105	1			11	2	82	12	392
	小計	252	12	2		105	15			19	6	137	19	567
第ⅫⅤ章 妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	女性				420									420
	小計				420									420

	性別	内科	外科	整形外科	産科	婦人科	形成外科	眼科	脳神経外科	耳鼻咽喉科	小児科	泌尿器科	救急科	合計
第XVI章 周産期に発生した病態	男性										74			74
	女性										67			67
	小計										141			141
第XVII章 先天奇形、変形及び染色体異常	男性		1				4			3	2			10
	女性		1	3			3			1	1			9
	小計		2	3			7			4	3			19
第XVIII章 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男性	5								3	3			11
	女性	3								1	4			8
	小計	8								4	7			19
第XIX章 損傷、中毒及びその他の外因の影響	男性	29	22	302			28	2	19	1	261	3	5	672
	女性	20	7	371		2	12	1	5	2	209	5	3	637
	小計	49	29	673		2	40	3	24	3	470	8	8	1,309
第XXI章 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	男性										172			172
	女性				233						151			384
	小計				233						323			556
第XXII章 特殊目的用コード	男性	41	2								4	3	4	54
	女性	32		2		1					5	2	10	52
	小計	73	2	2		1					9	5	14	106
合 計	男性	1,824	665	549	0	0	142	186	69	180	666	130	100	4,511
	女性	1,460	512	675	653	292	117	200	35	163	575	114	113	4,909
	小計	3,284	1,177	1,224	653	292	259	386	104	343	1,241	244	213	9,420

医療の質 Quality Indicator (QI)

(データ作成：事務部 安里)

当院は、2013 年 4 月から日本病院会主催の「QI プロジェクト」へ参加しています。「QI プロジェクト 2023」では、日本病院会が指定する 40 項目以上の指標について、全国の参加病院がデータを提出、ベンチマークすることで、自院の立ち位置を確認することが出来ます。これらの指標を観察・分析し、医療の質の向上につとめています。これらの指標の一部をここで紹介します。

患者満足度調査

外来と入院の患者さんに対し、「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問に対し、「不満 / やや不満 / どちらともいえない / やや満足 / 満足」の 5 段階評価をしていただき、「満足 / やや満足」とご回答をいただいた割合です。

外来

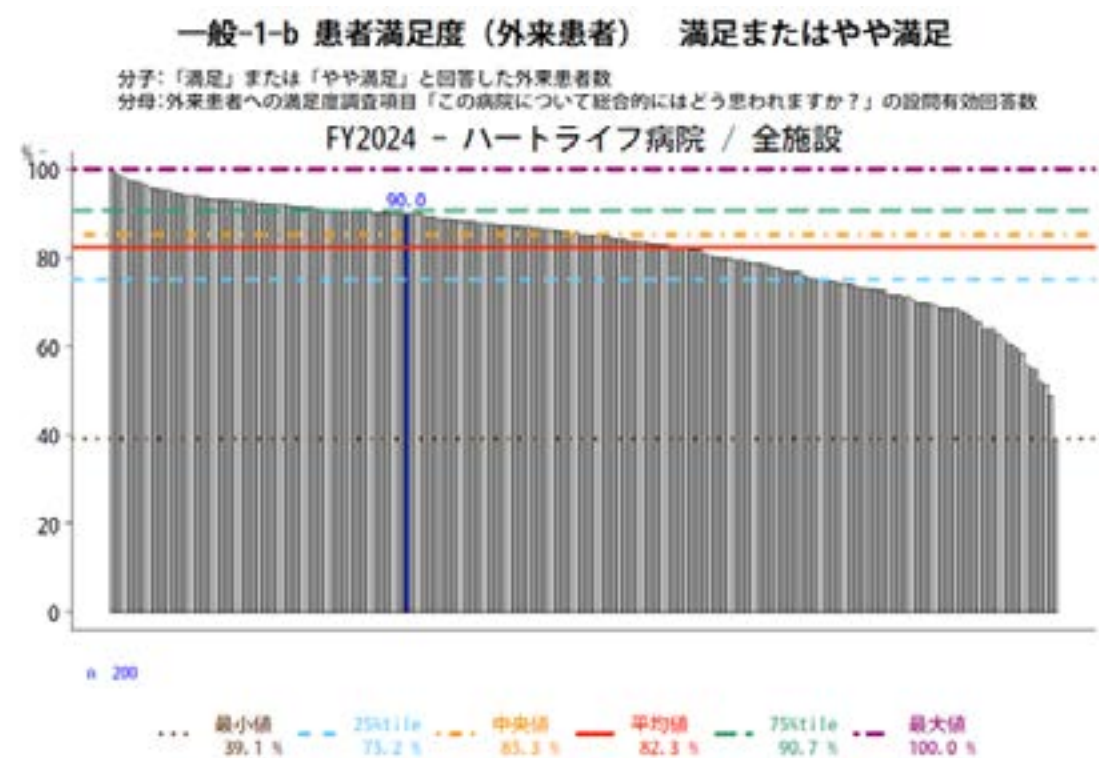
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
外来	93.3%	92.4%	90.5%	92.0%	90.0%
入院	94.1%	96.8%	94.6%	95.8%	90.7%

※外来の調査期間：2024 年 11 月 5 日～11 月 7 日（3 日間） 回答数：277 件

※入院の調査期間：2024 年 11 月 4 日～11 月 9 日（6 日間） 回答数：103 件

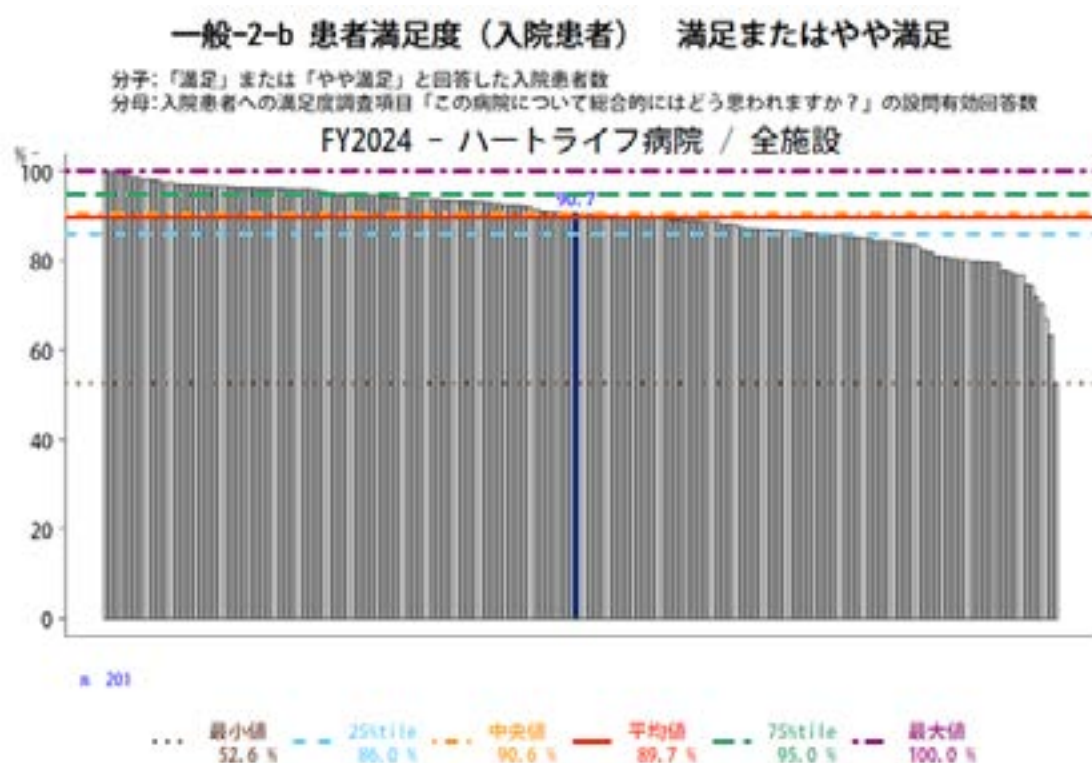
外来及び入院の患者満足度の「満足 / やや満足」の割合は、2017 年度以降、6 年間連続して 9 割を超えました。

外来



当院の外来の「満足またはやや満足」の割合は 90.0%と、全国平均値（82.3%）より高い状態を維持しています。昨年度と比較し 2.0%増加しました。外来患者数が増え、診察や駐車待ち時間が増えたことも、満足度が減少した要因だと考えています。「医師、看護師、受付事務など、その他も含めすべてが満足でした。いつも本当にありがとうございます」や「ハートライフ病院で初めて出産できたことが嬉しいです」といった診療や接遇に関するお褒めの言葉を頂戴しました。その一方で、「駐車するのに時間がかかる時がある。駐車場の拡大確保はできないのか」や「診察後、次回の予約等の説明を受けるための待ち時間が長いと感じました」といった待ち時間の改善に関するご指摘も頂戴しました。今後も頂いたご意見をもとに改善に努めます。

入院



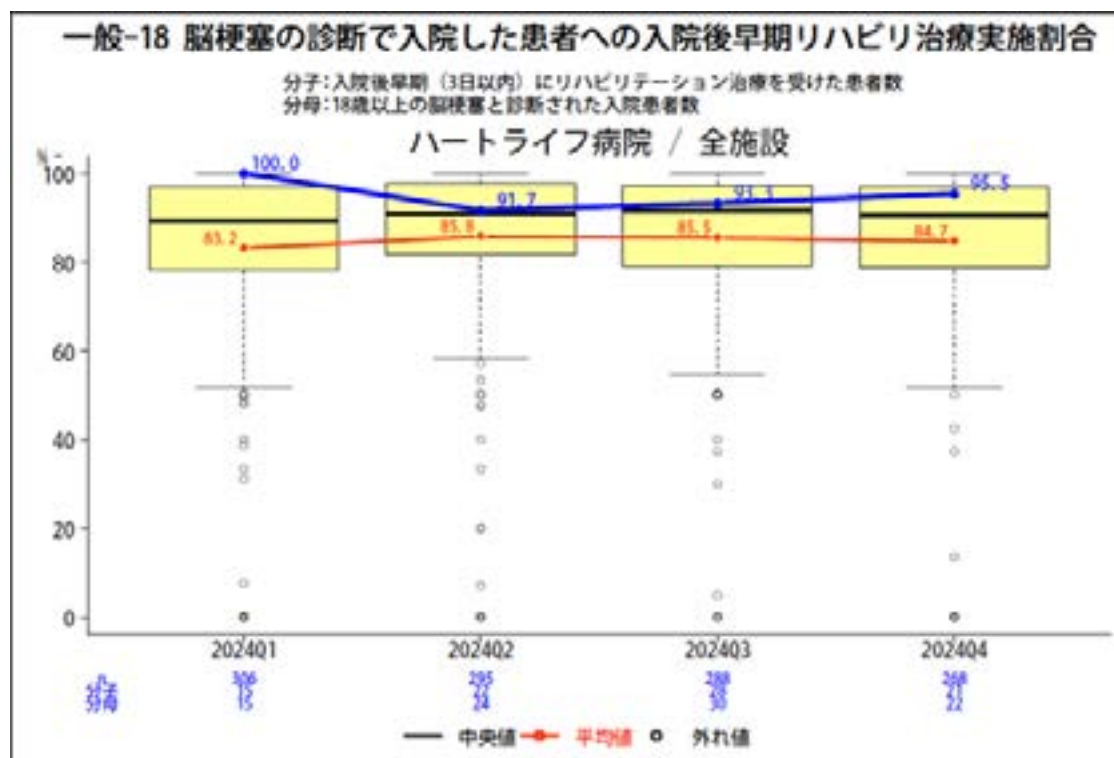
当院の入院の「満足またはやや満足」の割合は 90.7%と、全国平均値（89.7%）より高い状態を維持しています。昨年度と比較し、5.1%減少しました。「入院中は食事が楽しみのひとつであり美味しくいただいている」や「先生の心づかいに大変感動しました」、「恐怖感をとりのぞいてくれた看護師のやさしい声や、そっと身体をささえてくれる対応に恐怖感もうすれました」といったお褒めの言葉を頂戴しました。その一方で「換気扇がうるさくて休めなかった」や「排水口からの臭いがする」、「スタッフの笑い声がひびく（話し声もボリュームが大きいと感じた）」といった施設やスタッフに関する改善のご指摘も頂戴しました。

引き続き、皆様からいただいた貴重なご意見を病院内の全部署で共有し、より良い医療環境の提供・サービス向上に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者割合

近年、脳卒中患者における急性期リハビリテーションの有効性が明らかになっています。脳梗塞では、急性期治療を行いつつ、できるだけ早期にリハビリを開始することで、ADL（日常生活動作・活動）機能の早期回復や低下抑制につながる事がわかっています。

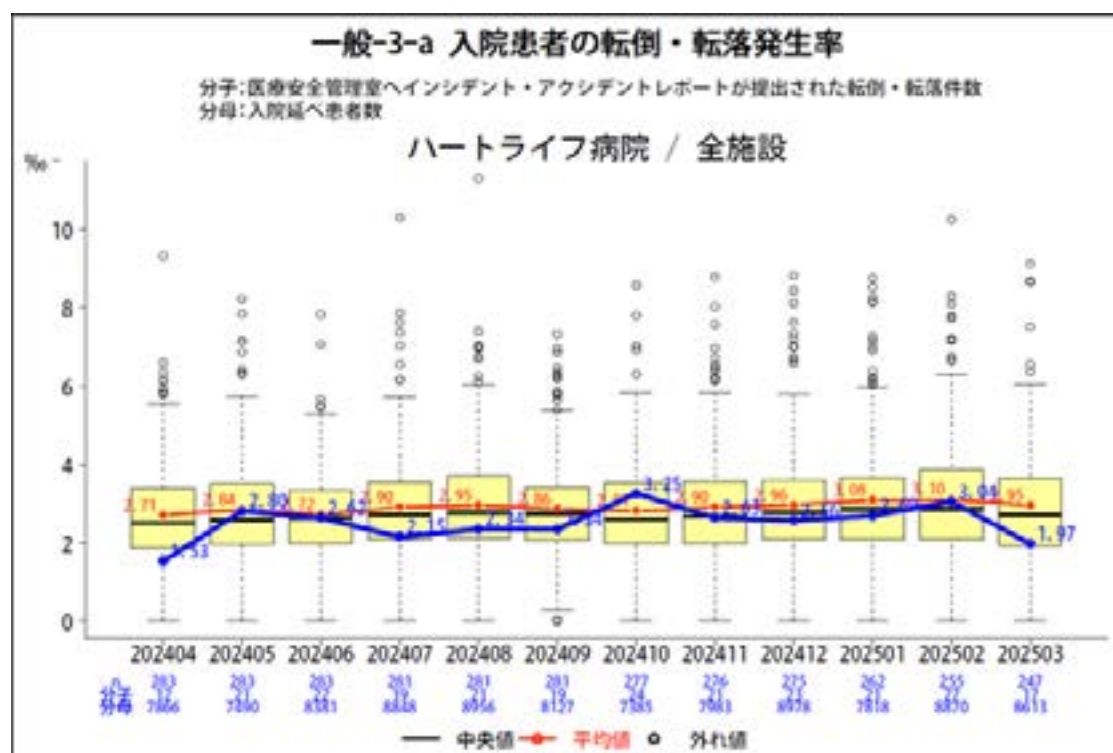
当院の「脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合」は、94.5% で、全国平均値より高い状態を維持しています。



入院患者の転倒・転落発生率

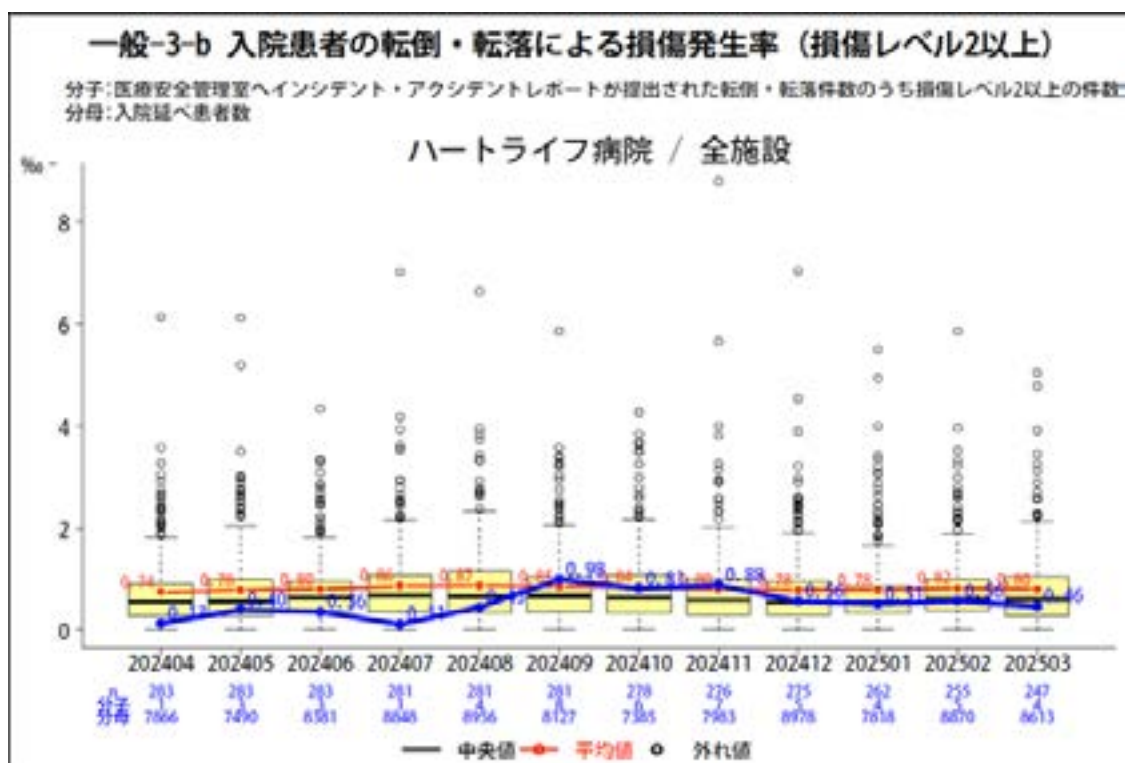
患者さんが入院中に、何らかの原因で転倒・転落した割合です。

患者さんが転倒・転落に至る原因は、療養環境（建物・部屋の構造など）によるものや、患者さんご本人の疾病・治療・手術の影響によるものなど、原因はさまざまです。下記のグラフはすべての入院患者さんのうち、転倒・転落に至ったインシデント・アクシデント報告件数の割合を原因の別なく示したものです。単位はパーミル（‰）で、「1,000人あたり何人いたか」を示す見方をします。



当院の「入院患者の転倒・転落発生率」は2.5‰（1,000人あたり2.5人）と、全国平均値（2.9‰:1,000人あたり2.9人）より低かったものの、昨年度の2.3‰より0.2‰増加しました。

一方で、下記のグラフは、転倒・転落した入院患者のうち、転倒・転落が原因で何らかの治療が必要となる「損傷レベル2以上」として報告が上がった件数を、同じく1,000人あたり何人いたか、という割合で示したものです。



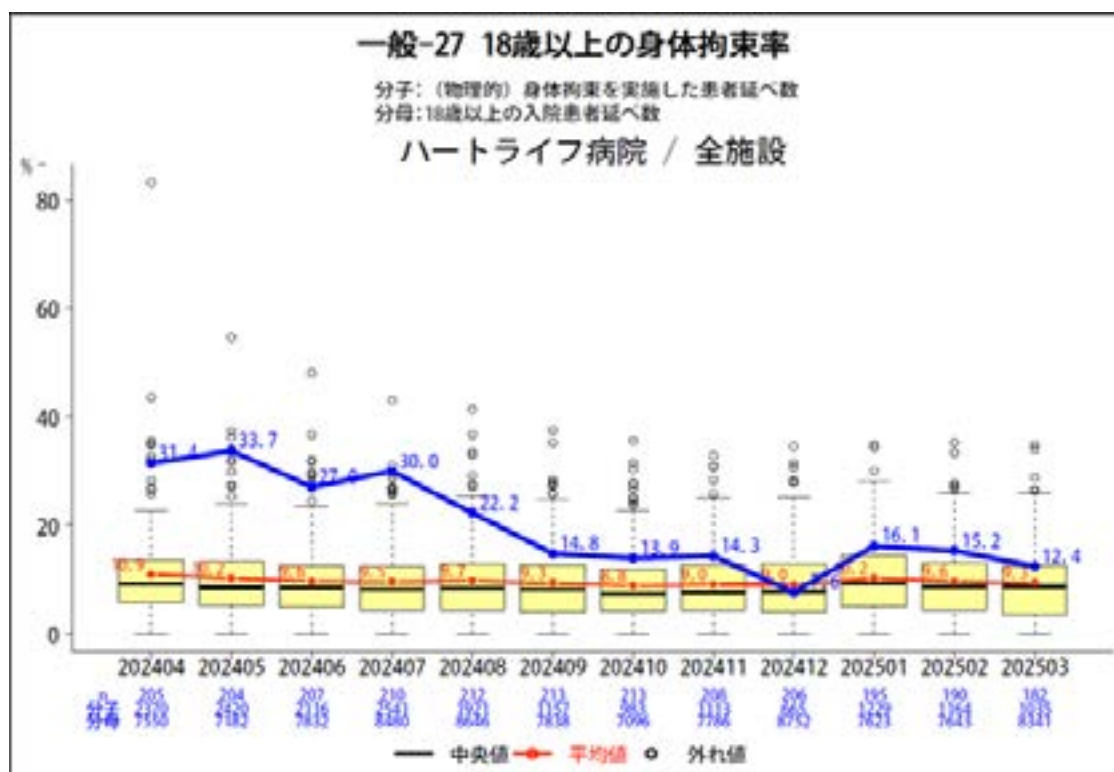
当院の損傷レベル2以上の転倒・転落発生率は0.5%（1,000人あたり0.5人）で、全国平均値（0.8%：1,000人あたり0.8人）より低く、昨年度の0.4%より0.1%増加しました。

一昨年度のQIプロジェクトの結果から、「全国のお他病院では転倒・転落が発生しても損傷レベル2以上に至らないようにフェイルセーフ（「問題が発生しても、それに伴うリスクを最小限に留める対策」のことを指します）面で安全策を実施している」、「当院では全国と比して、転倒転落が発生すると、治療を要する状態になりやすい」ことが示唆されていました。

そのため、当院では医療安全管理室を中心に、各部門にリンクナースを配置するなどして、2024年度も下記の活動に継続的に取り組んでいます。

- ① 自立患者、認知機能低下・せん妄など事象発生時の患者状態を安全管理室として分析しています。その上で、部署の判断と照合し、要因と対策の適性を話し合っています。
- ② 発生時間、排泄に関連しているかなど患者行動を分析しています。分析から、事前のトイレ誘導など転倒防止策について検討する場を部署と設けています。
- ③ 看護部を中心に転倒、転落事象低減を目標に環境管理強化に取り組んでいます。
- ④ 高齢化に伴い、履物選択指導を継続しています。高齢化に伴い事象レベルが高くなる傾向もあり、継続して転倒転落防止における教育を行なっています。

今回、転倒・転落発生率が全国平均より低いのは、こういった取り組みの成果だと考えており、今後も取り組みを継続します。やや微増になった要因を分析し、さらなる転倒・転落発生率の低減を目指します。関連する要因として考えられるものとして、2024年度に「身体拘束率」を低減する取組みを実行したことが挙げられるかもしれません。下記の表は、当院で取り組んだ身体拘束率の推移を示しています。



身体拘束は、患者さん自身の安全を守る目的でやむなく実施する場合がございますが、ベッドの3点柵（ベッドの周りを低い柵で囲うもの）も、病院では身体拘束に該当しますので、すこし医療業界以外の方にはイメージがづらいかもしれません。簡単に言いますと、患者さんの自由な体動を少しでも阻害するもの、と言えます。高度な認知症で徘徊する患者さんは転倒・転落リスクが高く、何らかの抑制を必要とするといったバランスが難しかったりします。

2024年度から国内すべての病院において、患者の人権・倫理面で身体拘束を低減させる取組が義務化され、当院も身体拘束の手順の見直しを進めながら、拘束しない代わりに患者さんの安全の見守りかたを工夫する取組を進めました。

グラフの推移から、身体拘束率が低減している様子がわかります。全国平均値以下を目指して、引き続き取組を進めます。

医療の質 Quality Indicator (QI) の画像出典：日本病院会 QI プロジェクト 2024 第4回フィードバック資料より

地域医療支援病院認定 関連統計情報

紹介率・逆紹介率（紹介割合・逆紹介割合）

地域医療支援病院承認条件：紹介割合 65% 以上かつ逆紹介割合 40% 以上

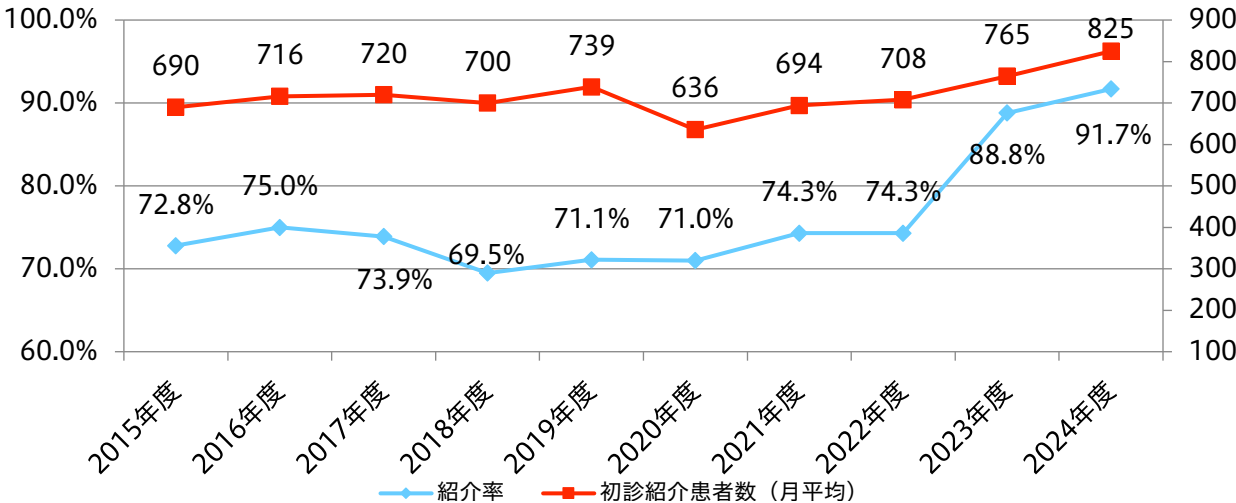
ハートライフ病院目標 紹介割合 83% / 逆紹介割合 84%

（データ作成 地域医療連携室 金城）

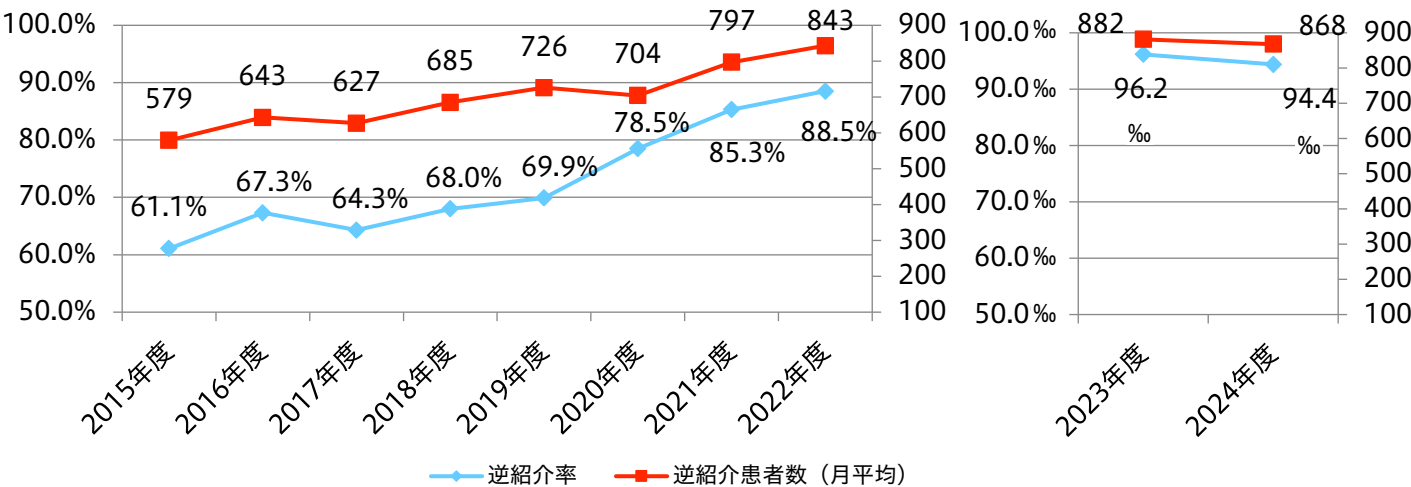
紹介患者状況

	2020 年度		2021 年度		2022 年度		2023 年度		2024 年度	
	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均
紹介患者数	7,636	636	8,323	694	8,494	708	9,185	765	9,903	825
初診患者数	15,564	1,297	16,682	1,390	17,440	1,453	16,625	1,385	16,890	1,408
救急初診患者数	4,394	366	5,011	418	5,406	451	5,750	479		
時間内初診救急搬送件数	749	62	807	67	1,034	86	952	79	1,012	84
逆紹介患者数	8,442	704	9,558	797	10,121	827	10,580	882	10,416	868
紹介率（紹介割合）	71.0%	-	74.3%	-	74.3%	-	88.8%	-	91.7%	-
逆紹介率（逆紹介割合）	78.5%	-	85.3%	-	88.5%	-	93.8%	-	94.4%	-

紹介率（紹介割合）の実績（基準値 65% 目標値 83.0%）



逆紹介率（逆紹介割合）の実績（基準値 40% 目標値 84.0%）



※ 2023 年度から紹介率と逆紹介率の名称が紹介割合と逆紹介割合に変更になっています

※逆紹介割合の単位が%から‰へ変更になっています

共同利用

(データ作成 地域医療連携室 金城)

年度別 登録医状況

	登録医数	登録医療機関
2009 年度 3 月	292	
2010 年度 3 月	303	
2011 年度 3 月	307	303
2012 年度 3 月	304	300
2013 年度 3 月	299	294
2014 年度 3 月	297	290
2015 年度 3 月	300	292
2016 年度 3 月	322	313
2017 年度 3 月	323	314

	登録医数	登録医療機関
2018 年度 3 月	324	315
2019 年度 3 月	322	313
2020 年度 3 月	313	304
2021 年度 3 月	310	301
2022 年度 3 月	307	301
2022 年度 3 月	307	301
2023 年度 3 月	306	300
2024 年度 4 月		300

2024 年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数
北部医療圏	9
中部医療圏	100
南部医療圏	170
宮古医療圏	10

医療圏	件数
八重山医療圏	7
その他医療圏	1
合計	297

開放病床の共同利用状況（開放病床 22 床）

	延べ利用患者数	年間平均利用率
2014 年度	8,950	115.1%
2015 年度	8,843	110.0%
2016 年度	10,521	131.2%
2017 年度	9,196	114.4%
2018 年度	9,352	117.4%
2019 年度	8,919	110.4%

	延べ利用患者数	年間平均利用率
2020 年度	7,551	94.2%
2021 年度	7,275	90.5%
2022 年度	7,091	88.3%
2023 年度	9,232	115.0%
2024 年度	9,954	123.8%

医療機器の共同利用状況

		MRI	CT	RI	超音波
2011 年度	総件数	3,452	11,775	333	14,533
	紹介件数	626	894	39	1,854
	利用率	18.1%	7.6%	11.7%	12.8%
2012 年度	総件数	3,551	11,322	341	12,942
	紹介件数	664	941	42	2,049
	利用率	18.6%	8.3%	12.5%	15.9%
2013 年度	総件数	3,964	11,547	307	13,094
	紹介件数	689	1,055	49	2,156
	利用率	17.4%	9.1%	16.0%	16.5%
2014 年度	総件数	3,823	12,256	317	13,263
	紹介件数	658	1,093	41	2,250
	利用率	17.2%	8.9%	12.9%	17.0%
2015 年度	総件数	3,758	12,147	286	12,884
	紹介件数	667	1,134	46	2,270
	利用率	17.9%	9.4%	15.8%	17.6%
2016 年度	総件数	3,780	12,230	202	11,677
	紹介件数	782	1,340	35	2,435
	利用率	20.7%	11.0%	17.3%	20.9%
2017 年度	総件数	3,822	12,253	283	11,636
	紹介件数	733	1,306	73	2,595
	利用率	19.2%	10.7%	25.8%	22.3%

		MRI	CT	RI	超音波
2018 年度	総件数	4,503	12,397	287	11,887
	紹介件数	939	1,247	42	2,793
	利用率	20.9%	10.1%	14.6%	23.5%
2019 年度	総件数	4,758	13,667	285	12,248
	紹介件数	965	1,513	49	2,881
	利用率	20.2%	11.1%	17.1%	23.5%
2020 年度	総件数	4,581	14,708	285	11,623
	紹介件数	849	1,505	45	2,953
	利用率	18.6%	10.2%	15.8%	25.4%
2021 年度	総件数	2,910	9,144	140	6,946
	紹介件数	651	903	24	1,568
	利用率	22.4%	9.9%	17.0%	22.6%
2022 年度	総件数	3,813	12,516	177	9,182
	紹介件数	885	1,408	24	2,255
	利用率	23.2%	11.2%	13.6%	24.6%
2023 年度	総件数	2,943	9,195	106	7,096
	紹介件数	824	1,250	20	1,875
	利用率	28.0%	13.6%	18.9%	26.4%
2024 年度	総件数	2,818	8,394	117	6,057
	紹介件数	855	1,302	23	1,772
	利用率	30.3%	15.5%	19.7%	29.3%

研修

(データ作成 地域医療連携室 金城)

名称	開催場所		症例 件数	参加人数			
				院内	院外	オンライン	合計
医療・介護連携、高齢者の救急医療に関する改定で肝になっている部分 認定看護師活動報告	当院	2024 年 4 月 25 日	2	9	11	0	20
救急症例検討会	当院	2024 年 5 月 17 日	3	95	20	0	115
平時からクラスターを防ぐ COVID-19 対策	池田苑	2024 年 6 月 26 日	1	30	0	54	84
泌尿器外来における自己導尿指導	オンライン	2024 年 7 月 1 日	1	0	0	30	30
救急症例検討会	当院	2024 年 8 月 23 日	4	72	23	0	95
当院での救急患者連携搬送料(下り搬送)の事例報告	当院	2024 年 8 月 29 日	1	19	11	0	30
インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の感染対策	浦添市福祉センター	2024 年 11 月 16 日	1	26	0	0	26
ハートライフ病院での ACP の取り組み「おきなわ津梁ネットワーク」当院の運用について	当院	2024 年 11 月 21 日	1	14	18	0	32
外来感染対策向上加算における感染症訓練	3F 研修室	2024 年 12 月 16 日	1	16	5	0	21
エコーハンズオンセミナー 医療のサイエンスとアート	当院	2025 年 1 月 31 日	1	0	30	0	30
AI を駆使した最新運動器エコー 2025	当院	2025 年 2 月 1 日	1	16	6	0	22
ノロウイルス感染対策における吐物処理	介護老人保健施設 西原敬愛園	2025 年 3 月 5 日	1	60	0	0	60
介護施設における感染対策	介護老人保健施設 信成苑	2025 年 3 月 12 日	1	16	0	0	16
COVID-19 発生時の感染対策・対応	介護老人保健施設 うりずん	2025 年 3 月 12 日	1	30	0	0	30
平時の感染対策	那覇市社会福祉協議会	2025 年 3 月 21 日	1	24	0	0	24
合計			13	251	65	84	400

救急救命士実習実績

(データ作成 地域医療連携室 金城)

気管挿管病院実習

消防本部名	人数
中城北中城消防組合消防本部	2
東部消防組合消防本部	3
沖縄市消防本部	1
うるま市消防本部	2
金武区消防衛生組合消防本部	1
合計	9

就業前病院実習

消防本部名	人数
中城北中城消防組合消防本部	1
東部消防組合消防本部	2
合計	3

薬剤投与病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	2
合計	2

気管挿管認定救急救命士の再教育に係る見学・指導実習

消防本部名	人数
中城北中城消防組合消防本部	1
東部消防組合消防本部	12
沖縄市消防本部	3
うるま市消防本部	4
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	6
合計	26

気管挿管及びビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士の再教育に係る見学・指導実習

消防本部名	人数
中城北中城消防組合消防本部	1
東部消防組合消防本部	12
沖縄市消防本部	3
うるま市消防本部	4
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	6
合計	26

ビデオ喉頭鏡病院実習

消防本部名	人数
中城北中城消防組合消防本部	4
東部消防組合消防本部	10
宜野湾市消防本部	1
沖縄市消防本部	4
島尻消防組合消防本部	3
うるま市消防本部	9
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	6
金武区消防衛生組合消防本部	2
合計	39

ハートライフ病院 DMAT

概要

DMAT は、大規模災害や多数傷病者事案など防ぎ得た災害死を減らすため、厚生労働省の認めた専門研修・訓練を受けた災害派遣医療チームです。

ハートライフ病院はこれまで、救急・災害医療面で多くの会議・協議会・実働訓練・学会、講習会等に参加、実績を残し、平成 26 年に DMAT 隊員養成研修を受講、正式にハートライフ病院が DMAT 指定医療機関となり、ハートライフ DMAT が設立されました。設立後も、各種訓練、講習会に参加しつつ、薬局・臨床工学科・管財課用度係・企画室・救急総合診療部・災害対策委員会と連携しながら、DMAT 派遣・災害医療の体制作りを進め、平成 28 年に起きた熊本地震では沖縄からの最先着隊として被災地に入り、令和 2 年の熊本豪雨災害にも出動し、本部活動を含め被災地の復興のために活動してきました。

これからも引き続き、院内の各種委員会との連携を進め、DMAT 活動体制を更に前進させます。

メンバー構成

氏名	所属・役職	職種
三戸 正人	救急総合診療部 救急部長	医師（内科系）
国吉 史雄	外科副部長	医師（外科系）
兼本 愛美	救急外来師長（救急看護認定看護師）	看護師
山田 義長	ICU 副主任	看護師
大宜見 宗史	救急外来 看護師	看護師
野原 剛	臨床工学科 技師長	ロジスティクス（事務・調整役）
安里 健二	事務部企画室電算係 副主任	ロジスティクス（事務・調整役）
森元 一晟	救急外来 ER-Aide（救急救命士）	ロジスティクス（事務・調整役）

活動報告

訓練	- 令和 6 年度 総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練（9 月・神奈川県・千葉県） 参加者（コントローラー）：三戸正人、山田義長、森元一晟 （プレイヤー）：国吉史雄、兼本愛美、大宜見宗史、野原剛、安里健二 - 令和 6 年度技能維持研修（9 月・沖縄県） 参加者（コントローラー）：三戸正人、山田義長、森元一晟 （プレイヤー）：国吉史雄、兼本愛美、大宜見宗史、野原剛、安里健二 - 院内大規模訓練（11 月・当院） - 九州・沖縄ブロック訓練（11 月・長崎県） 参加者（コントローラー）：三戸正人、森元一晟 （プレイヤー）：国吉史雄、山田義長、大宜見宗史、野原剛、安里健二 - 那覇空港航空機事故対処部分訓練 机上訓練（1 月・沖縄県） 参加者：兼城雅 - 那覇空港航空機事故対処部分訓練 実働訓練（2 月・沖縄県） 参加者：三戸正人、山田義長、仲村幸也、野原剛、安里健二、森元一晟、兼城雅 - 美ら島レスキュー（1 月・沖縄県） 参加者（コントローラー）：三戸正人、山田義長、森元一晟 （プレイヤー）：兼本愛美、仲村幸也
研修	- 大阪第 1 回 DMAT 隊員養成研修（5 月・宮城県） 参加者：三戸正人（インストラクター） - 令和 6 年度統括 DMAT 技能維持（6 月・東京都） 参加者：山田義長（タスク）、森元一晟（タスク） - 令和 6 年度第 4 回 DMAT 隊員養成研修（8 月・兵庫県） 参加者：山田義長（タスク）、森元一晟（タスク） - 令和 6 年度第 7 回 DMAT 隊員養成研修（1 月・福岡） 参加者：山田義長（タスク） - 令和 6 年度第 8 回 DMAT 隊員養成研修（2 月・兵庫） 参加者：山田義長（タスク） - 令和 6 年度 DMAT ロジスティクス研修（12 月・東京） 参加者：三戸正人

会議	・令和 6 年度九州・沖縄災害拠点病院実務者会議（6 月・鹿児島県） 参加者：三戸正人、森元一晟 ・令和 6 年度第 1 回九州・沖縄ブロック災害時医療ロジスティクス検討委員会 参加者：森元一晟
事務局活動	・災害対策委員会 ・ハートライフ DMAT 委員会

大規模地震時医療活動訓練 9月



九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練 11月



美ら島レスキュー



那覇空港航空機事故対処訓練



看護師特定行為研修センター

(データ作成 看護部 兼本)

ハートライフ病院では厚生労働省からの指定を得て、2023 年 4 月 1 日に看護師特定行為研修センターを開設しました。

特定行為は 21 区分 38 行為あり、当院では「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」や「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「循環動態に係る薬剤投与関連」などの 7 区分の研修を行うことができます。

指定研修機関認定日

2023 年（令和 5 年）2 月 22 日

基本理念

本研修は、チーム医療においてキーパーソンである看護師が患者や国民、医師その他の医従事者から信頼され、期待される人材として地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的にアセスメントを行ない、習得した知識、技術を手順書に沿って安全に実施でき、社会に貢献できる有能な看護師を養成します。

研修目的

看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技術の向上を図り、迅速かつ的確な医療の提供とチーム医療の推進を目的とします。

研修担当者

- ・特定行為研修センター長・特定行為研修指導責任者：秋元 芳典
- ・特定行為研修統括責任者：兼本 愛美
- ・特定行為研修指導者：医師 宮平 工（外科）、島袋 泰（麻酔科）、金城 太貴（循環器内科）、北原 祐介（講師・アドバイザー）
看護師 兼本 愛美、富里 康太、アーノルド寿々奈

研修受け入れ予定人数

5 名

2024 年度研修受講者

5 名

2024 年度研修修了者

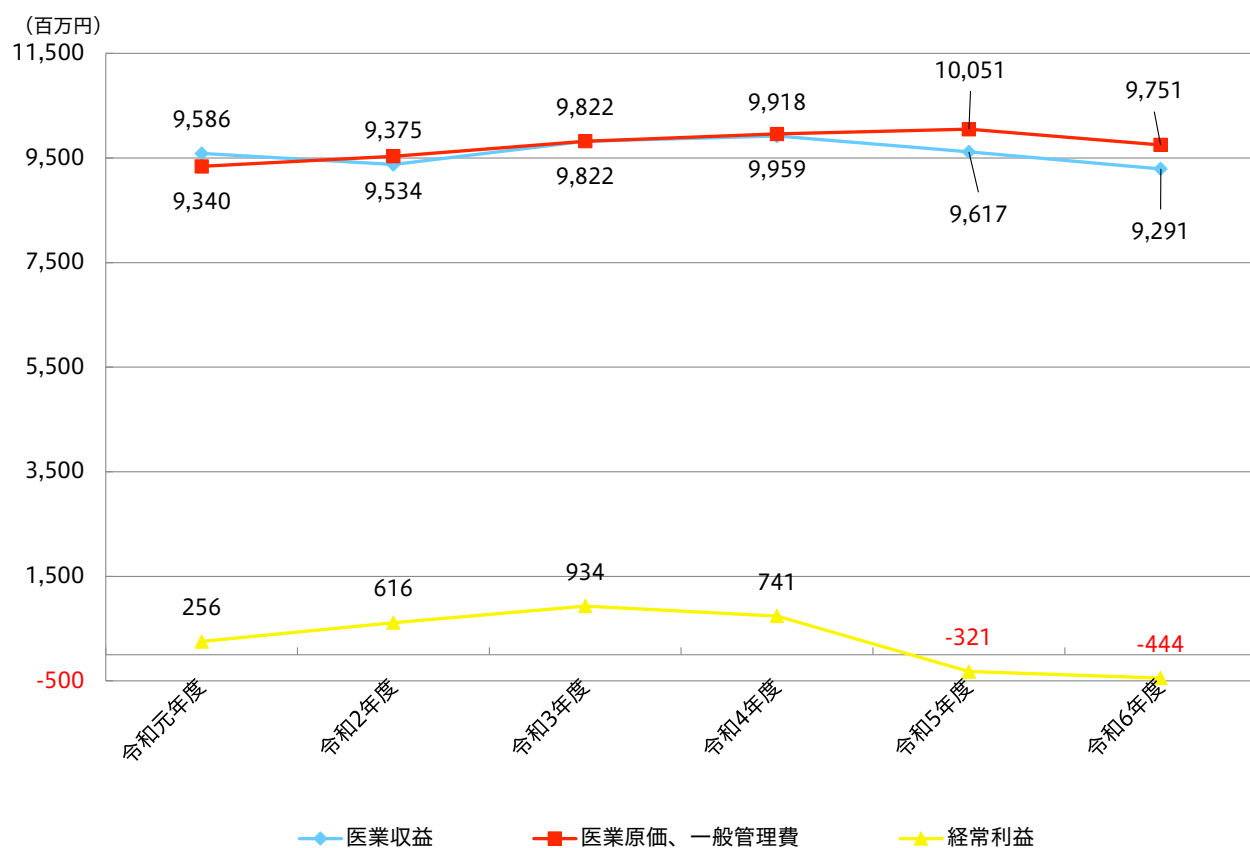
2 名

指定研修機関としての研修区分及び 2023 年度区分別研修終了者

特定行為	2024 年研修終了者数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	0
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	0
動脈血液ガス分析関連	1
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	0
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	0
循環動態に係る薬剤投与関連	0
ろう孔管理関連	1

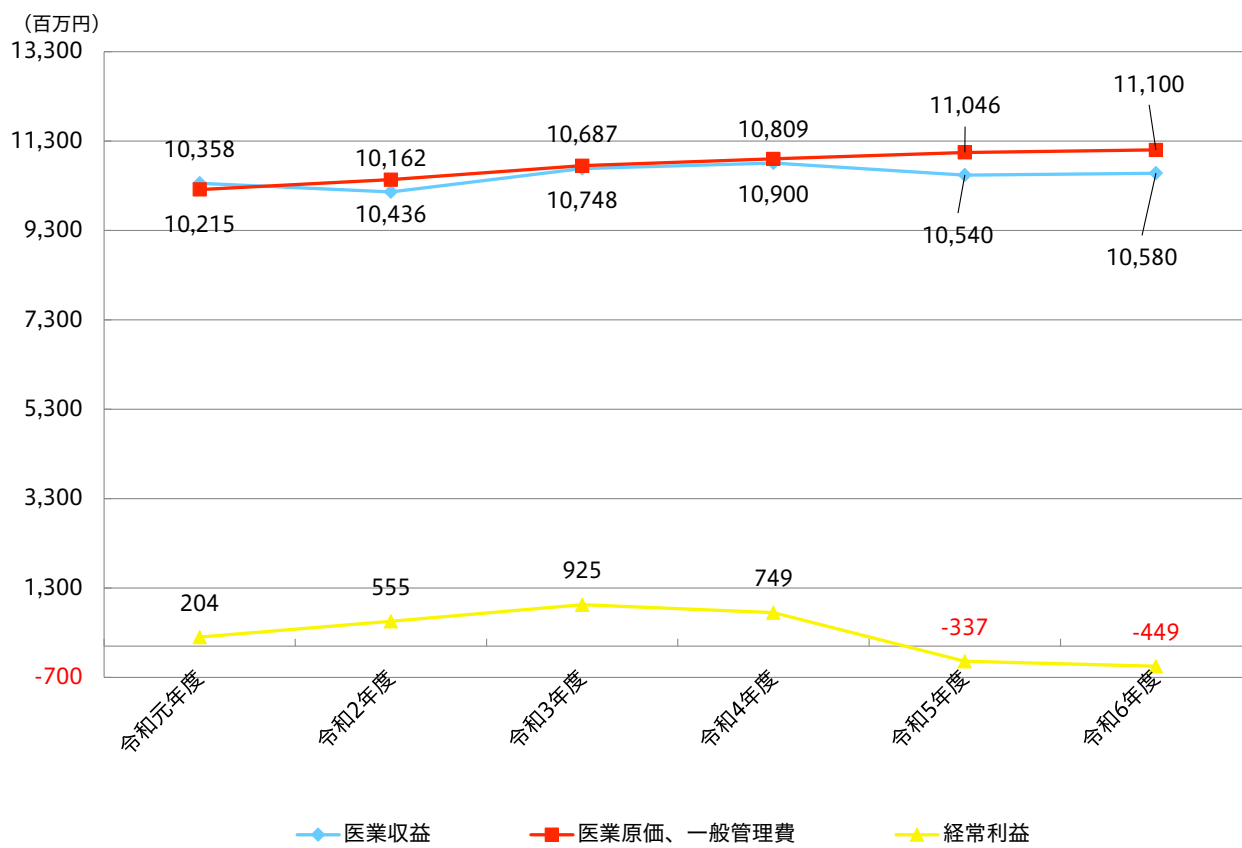
ハートライフ病院 財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



社会医療法人かりゆし会 財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



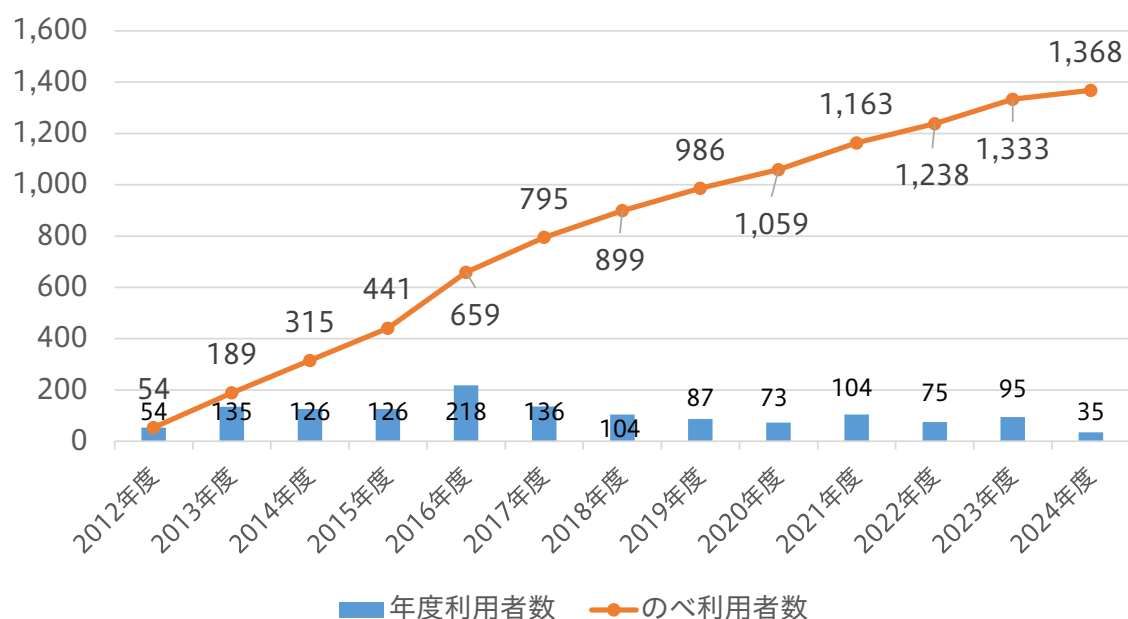
社会医療法人かりゆし会 2024 年度の活動実績

(データ作成 総務課 佐和田)

年月日	名称
2024 年 4 月 1 日	入職式・新入職員オリエンテーション
2024 年 4 月 1 日	春季職員健診
2024 年 5 月 20 日	合同慰霊祭
2024 年 6 月 6 日	第 17 回地域医療連携懇談会
2024 年 7 月 4 日	院内講演会「患者はうそをつく〜めまい〜」講師：林寛之先生（福井大学医学部附属病院教授）
2024 年 7 月 8 日	院内献血
2024 年 7 月 22 日	医療体験実習（7/22 ～ 8/9）
2024 年 8 月 22 日	ハートライフ病院 開院 35 周年
2024 年 8 月 31 日	互助会主催・BBQ
2024 年 9 月 2 日	永年勤続表彰
2024 年 9 月 13 日	火災避難訓練
2024 年 10 月 3 日	秋季職員健診
2024 年 11 月 1 日	保健所立入検査
2024 年 11 月 4 日	患者満足度調査（11/4 ～ 11/9）
2024 年 11 月 8 日	大規模災害机上訓練
2024 年 11 月 15 日	大規模災害実働訓練
2024 年 11 月 22 日	九州厚生局・適時調査
2024 年 12 月 9 日	院内献血
2024 年 12 月 14 日	互助会主催・大忘年会
2024 年 12 月 23 日	日本医療機能評価機構・病院機能評価受審 <3rdG_Ver3.0>（12/23 ～ 12/24）
2025 年 1 月 10 日	新春もちつき大会
2025 年 1 月 31 日	「第 6 回ハートライフ病院・ハンズオンセミナー」講師：皆川洋至先生（城東整形外科副院長）
2025 年 2 月 6 日	第 4 回かりゆし会研究発表会本選
2025 年 2 月 15 日	ハートライフ病院市民公開講座「身近な乳がん正しく備えるために」講師：柏葉匡寛乳腺外科センター長
2025 年 2 月 23 日	第 3 回おきなわ子どもメディカルラリー
2025 年 3 月 21 日	卒後臨床研修修了式&修了パーティ

かりゆし会病児保育室 利用実績推移

かりゆし会では職員の働きやすさ実現のために平成 24 年 8 月より、ハートライフクリニック内に職員向け病児保育室を設置しています。



2024年度 患者満足度調査

当院では、患者サービス向上を目的に「患者満足度調査」を実施しております。以下に2024年度に実施されました調査結果の一部をご報告致します。アンケートにご協力下さった皆様に心より感謝を申し上げます。なお、誌面の都合上、全ての調査結果を掲載できないことを予めご了承くださいますようお願い致します。

今後は、皆様からいただいた貴重なご意見を病院内の全部署で共有し、より良い医療環境の提供・サービス向上に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

2025 年 4 月吉日

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 患者サポート委員会

調査日時および調査場所

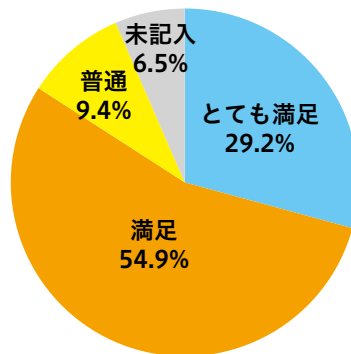
外 来	2024年11月5日(火)～7日(木)の3日間
病棟・透析室	2024年11月4日(月)～9日(土)の6日間
内視鏡センター・予防医学センター	2024年11月5日(火)～6日(水)の2日間

外来

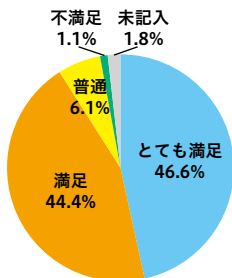
アンケート回答数
277件

【総合評価】 この病院での 診療に 満足していますか？

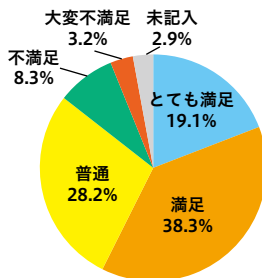
満足以上が84.1%と
概ね良い評価と
なっています。



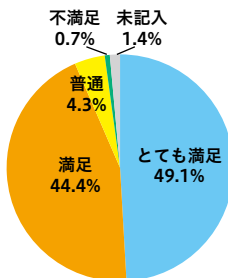
医師による診察は
分りやすかったですか？



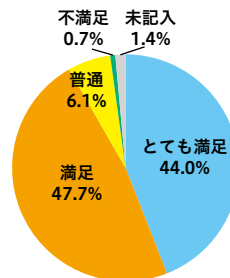
診察までの待ち時間は
いかがでしたか？



看護師の言葉使いや
態度は良かったですか？



待合室やトイレなどの
設備はキレイでしたか？



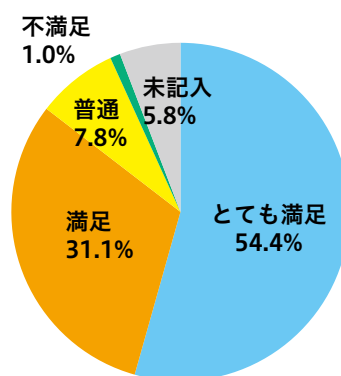
「駐車するのに時間がかかる時がある。駐車場の拡大確保はできないものか。」や「診察後、次回の予約等の説明を受けるための待ち時間が長いと感じました。」といったご意見を頂きました。一方で「医師、看護師、受付事務など、その他も含めすべてが満足でした。いつも本当にありがとうございます」や「ハートライフ病院で初めて出産できたことが嬉しいです。」といった診療や接遇に関する褒めの言葉も頂戴しました。

病棟

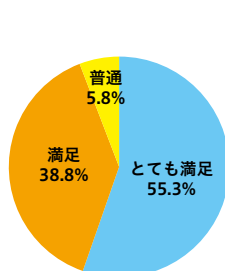
アンケート回答数
103件

【総合評価】 この病院での 診療に 満足していますか？

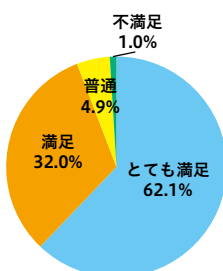
85.5%の方が
満足以上と
評価しています。



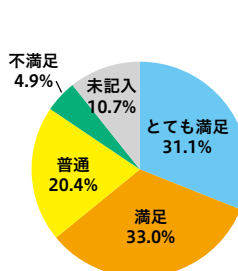
医師の病気や治療に対する
説明はいかがでしたか？



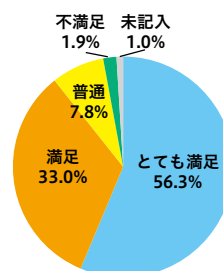
看護師の説明や対応は
いかがでしたか？



食事の内容や量、味は
いかがでしたか？



病棟や病室、トイレは
キレイでしたか？



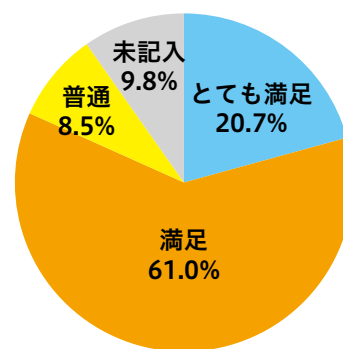
「換気扇がうるさくて休めなかった。」や「排水口からの臭いがする。」「スタッフの笑い声がひびく(話し声もボリュームが大きいくと感じた)」といった施設やスタッフに関するご意見を頂きました。一方で、「入院中は食事が楽しみのひとつであり美味しくいただいている。」や「先生の心づかいに大変感動しました。」「恐怖感をとりぞいてくれた看護師のやさしい声や、そっと身体をささえてくれる対応に恐怖感もうすれました」といったお褒めの言葉も頂戴しました。

透析室

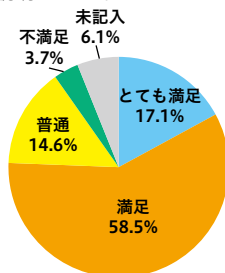
アンケート回答数
82件

【総合評価】 この病院での 診療に 満足していますか？

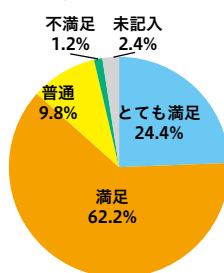
満足以上が
81.7%という評価と
なっています。



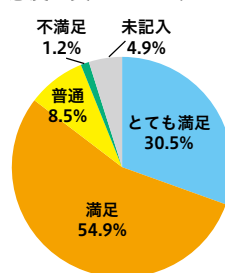
医師の病気や治療に対する
説明はいかがでしたか？



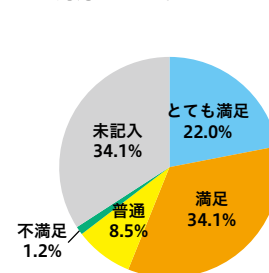
看護師の説明や対応は
いかがでしたか？



職員の言葉使いや
態度は良かったですか？



患者送迎係の
対応はいかがでしたか？



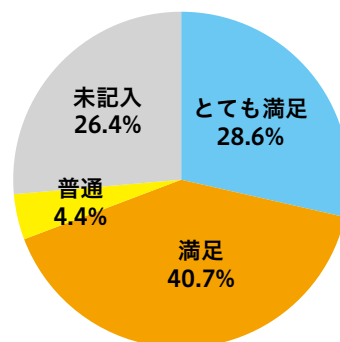
「透析室の温度が時々低いので、寒い時がある」や「先生に毎回 回診してほしいです」、「透析開始はベッドについた順でやってもらいたい」といったご意見を頂戴しました。一方で、「協力的で助かっています。」や「透析室での医師や看護師の対応が良い。安心して治療が受けられる。感謝してます。」「いつも親切丁寧なスタッフのお陰で快適に過ごしています。」といったお褒めの言葉を頂戴しました。

予防医学センター

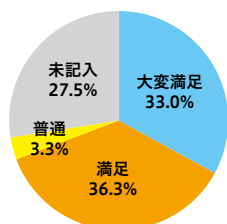
アンケート回答数
91件

【総合評価】 この病院での 診療に 満足していますか？

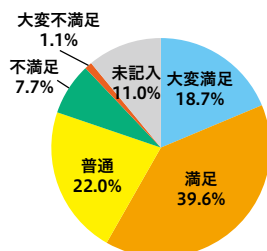
69.3%の方が
満足以上と
評価しています。



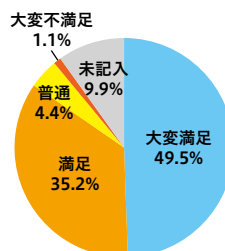
医師による診察は
分りやすかったですか？



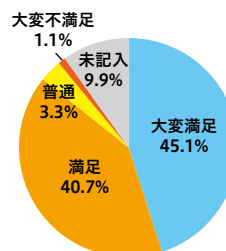
診察までの待ち時間は
いかがでしたか？



看護師の言葉使いや
態度は良かったですか？



待合室やトイレなどの
設備はキレイでしたか？



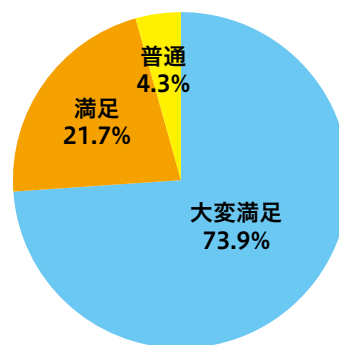
「駐車場係のマスクは必要ですか？不要な規制はやめた方がよいと思います。」や「待ち時間を改善できると助かる。」といったご意見をいただいた一方で、「400番台の番号だったのに受付がスムーズでびっくりしました。早く終わってすごい!!」や「その都度の消毒をきちんと実行されて、とてもいいと感じた(取手など)」といったお褒めの言葉を頂戴しました。

内視鏡センター

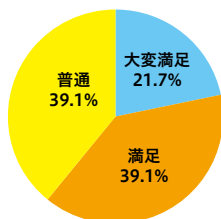
アンケート回答数
23件

【総合評価】 内視鏡センター での検査に 満足していますか？

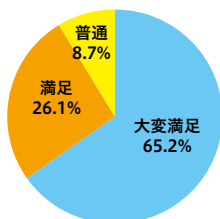
95.6%の方が
満足以上と
評価しています。



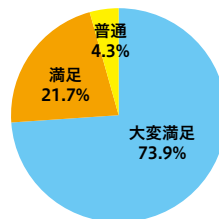
内視鏡センターでの
待ち時間はいかがでしたか？



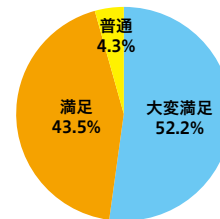
医師の言葉遣いや態度は
良かったですか？



看護師の言葉使いや
態度は良かったですか？



検査室・麻酔部屋の
雰囲気はいかがでしたか？



総合評価が昨年の調査より2.9ポイント高くなりました。また、「医師や看護師の対応が良かった。」「いつもやさしく対応してもらい、安心して受診できて良かったです。これからも変わらずお願いします。」「受付から検査に移動するまでがスムーズでとても良かったです。」といったお褒めの言葉を頂戴しました。

皆さまから寄せられた ご感想の一部を紹介します

お褒めの言葉

外来

- 主治医の K 先生は、いつも感じよく患者さん想いの先生だな～と詳しく病状の経過を説明下さる度に思います。横について下さっている看護師さんも笑顔で迎えて送って下さることも、何気ない事ですけど患者としてはありがたいです。ありがとうございます。
- 医師、看護師、受付事務など、その他も含めすべてが満足でした。いつも本当にありがとうございます。

病棟

- （不満は）特にありません。大変良かったです。毎日御機嫌よく病室に回って挨拶して下さったことに大変うれしく思いました。先生の心づかいに大変感動しました。ありがとうございます。
- 今回は思いがけない結果で本人含め家族もショックでしたが、手術後の先生方、看護師さんのご丁寧な対応で何とか現状を受け入れられました。特に HCU に入っていた時はナースの方々の手厚い介護に感謝いたします。

透析

- すぐに対応していただいて感謝しております。これからもよろしくお願い致します。ありがとうございます。
- いつも親切丁寧なスタッフのお陰で快適に過ごしています。

予防医学センター

- 毎年、工夫（検査用服、待合室のイス等）、改善されていて気持ち良く過ごせています。
- スタッフの皆さんが丁寧で安心して受診できました。

内視鏡センター

- 受付から検査に移動するまでがスムーズでとても良かった。
- とても良いと思っている。

ご意見

外来

- 予約外受付の時、座る場所によっては呼び出しが聞こえづらいです。
- 階段のドアが重く、開けた先に人がいないか心配になる。窓ガラスをつけるなどはできないのだろうか？

病棟

- タオルとスリッパを常備して欲しい。
- 入院中の 1 日の流れ、今日は何がありますよ、風呂は何曜日ですよ、とか生活の説明もほしいです。

透析

- 勤務中に連絡が入ると対応できず気になってしまいます。メール等で必要な事柄がわかれば良いかなって思います。
- 送迎の方は対応に差があります（あいさつをする人と、車からおらずに迎える人がいる）。食事についてはよく分かりません。

予防医学センター

- 待ち時間を改善できると助かる。
- 早目の 6 番目でしたが、検査の順番が胃カメラ後に視力聴力でした。全部終わってから次の検査（胃カメラ）へ行ってほしいです。今回初めてですが、カメラ後では支障をきたしている感があります。検査の方は元気よく呼んでほしい。

この度は本調査へのご協力ありがとうございました。皆さまから寄せられた多くの声を参考に安心・安全で快適な療養環境を提供できるよう努めて参ります。

2024 年度職員満足度調査

(データ作成 人事課 金城)

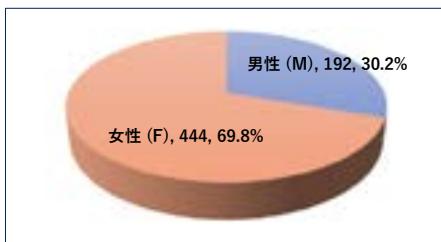
かりゆし会では、毎年職員満足度調査を行い、このアンケート結果を職場改善の材料とし、職員が働きやすく、働き甲斐のある組織運営の実現に向けて取り組んでおります。

調査概要：職員数 1,112 名 回答数 636 回答率 57.19%

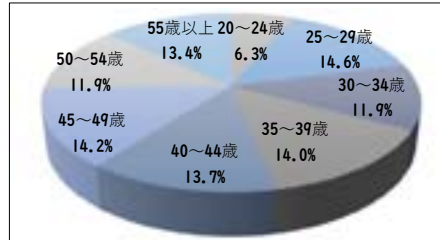
調査日時：2025 年 3 月 12 日（火）～ 2025 年 3 月 28 日（金）

調査方法：グループセッション（グループウェア）を利用した調査票への入力

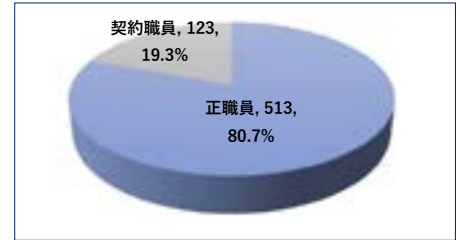
設問1 性別



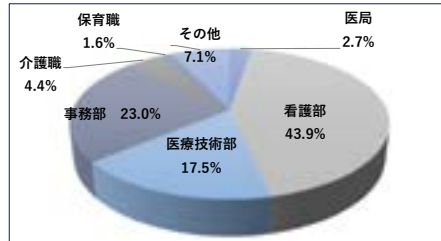
設問2 年齢



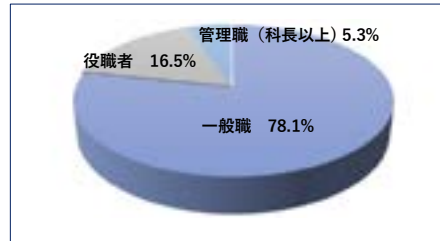
設問3 雇用形態



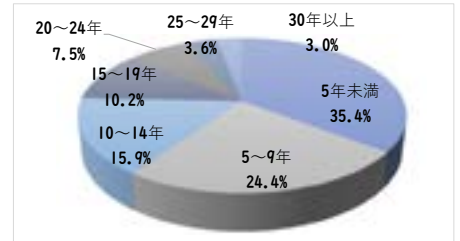
設問4 職種



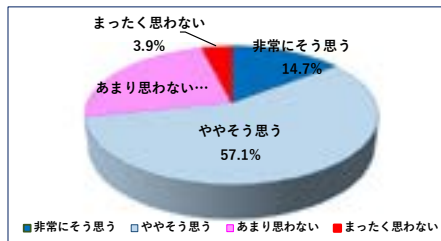
設問5 役職



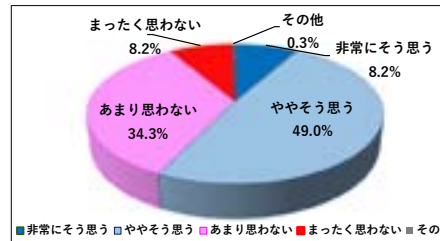
設問6 勤続年数



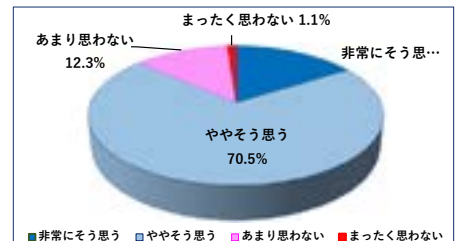
設問7 今の職場でこれからも働きたいと思いますか



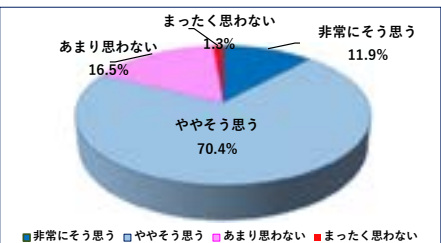
設問9 今の職場を職場として知人に勧めますか



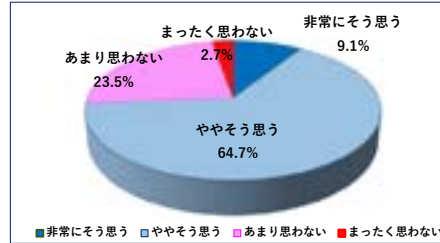
設問11 病院の理念・方針・目標などを理解していますか



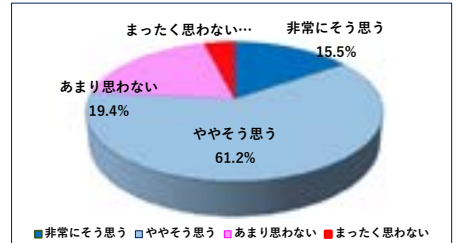
設問13 病院は理念や使命に沿った活動をしていると思いますか



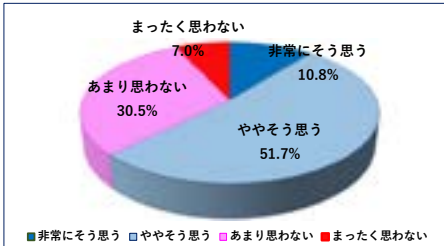
設問15 今の仕事が自分の能力にあっていると思いますか



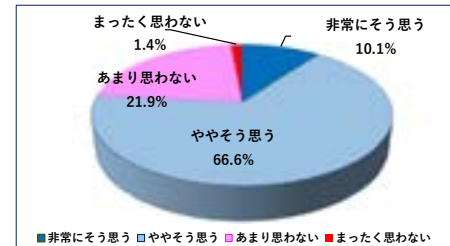
設問17 今の仕事にやりがいを感じていますか



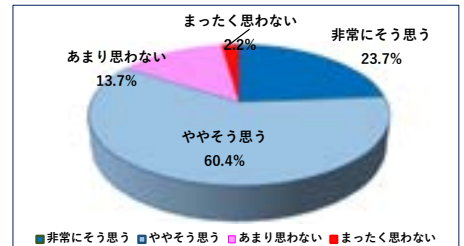
設問19 仕事の成果が正当に評価されていると思いますか



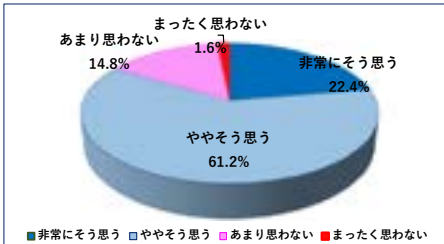
設問21 あなたは自己成長に繋がる努力をしていますか



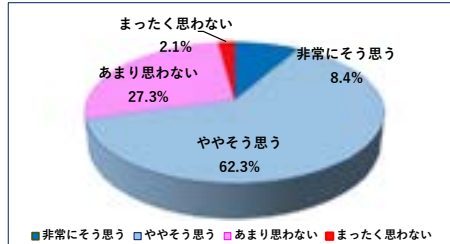
設問23 あなたの上司と仕事上の関係は良いと思いますか



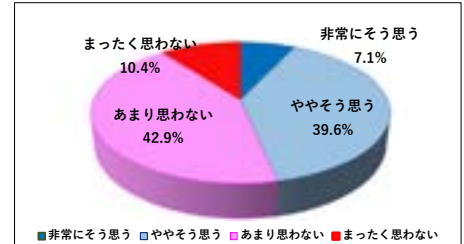
設問25 同じ職場同士で互いに協力出来ていますか



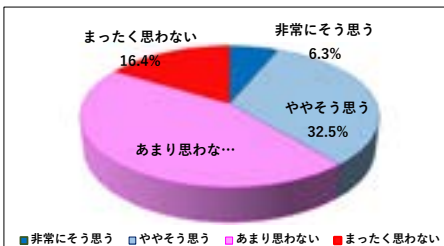
設問27 他部門との連携はスムーズですか



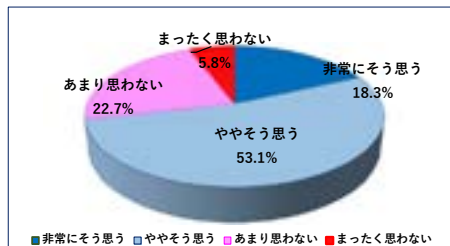
設問29 現在の福利厚生制度に満足ですか



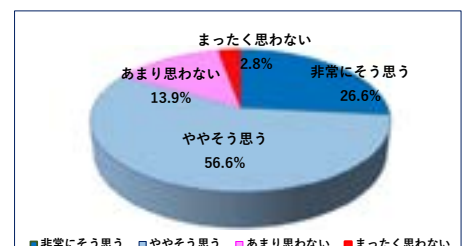
設問31 現在の報酬に満足ですか



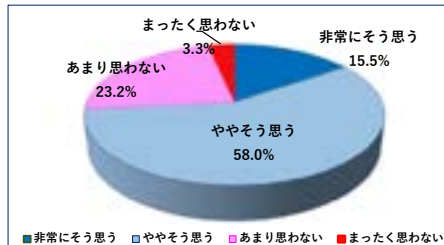
設問33 職場環境(空調・照明・作業空間)は適切ですか



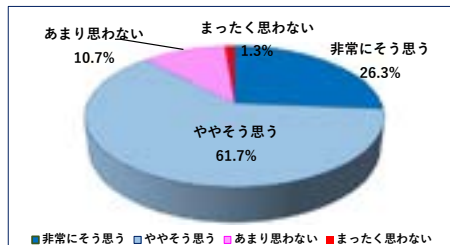
設問35 あなたの上司は仕事のサポートを良くしてくれますか



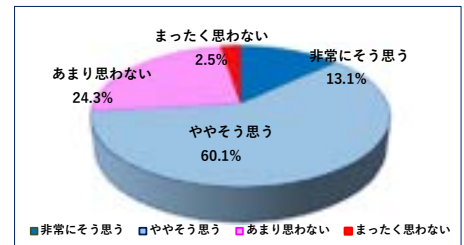
設問37 仕事のスケジュールは適切だと思いますか



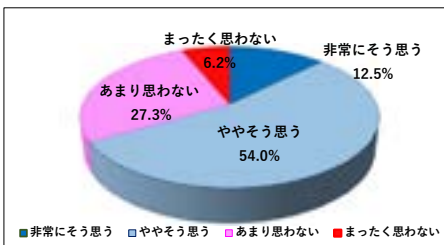
設問39 職場のメンバー同士で互いに協力出来ていますか



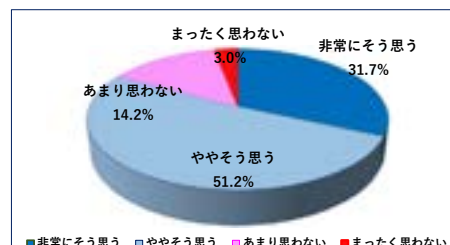
設問41 個々の向上に役立つ学習の機会が与えられていますか



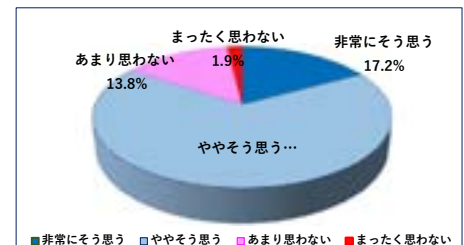
設問43 精神的な不安を感じることなく仕事が出来ていますか



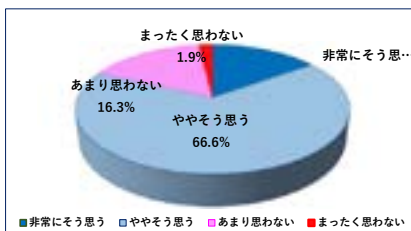
設問45 休暇を取得しやすい職場ですか



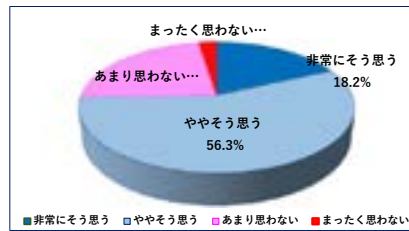
設問47 病院は、職員の安全に配慮していると思いますか。



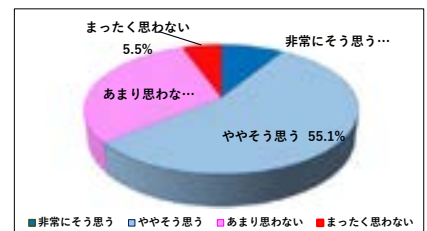
設問49 職務遂行に必要な権限を与えられていますか



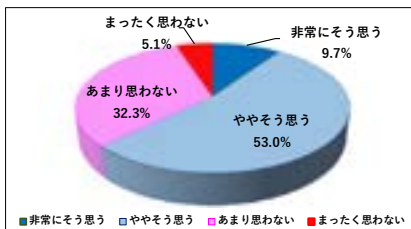
設問51 指示系統で困ることはないですか



設問53 患者として、当院を利用したいと思いますか



設問55 当院を患者さんや知人に勧めますか



1. 調査結果の概要

● 25 項目中 24 項目において、前年度より評価点が上昇していた。

勤続への意欲（非常にそう思う＋ややそう思う：71.5%）、仕事のやりがい（非常に感じる＋やや感じる：76.4%）に関しても昨年に比べて上昇していた。

● 昨年度から唯一評価が下がった項目は、「休暇を取得しやすいか」

〔非常にそう思う＋ややそう思う〕が前年度の 83.1%から 82.7%へ評価が下がっていた。休暇・希望休が取りやすいという意見が、部署によっては「人員不足で難しい」といった意見や、取りづらい雰囲気があるという意見があった。

● 職場を知人に勧められる割合は、56.9%

〔非常にそう思う＋ややそう思う〕が 56.9%なのに対し、〔まったく思わない＋あまり思わない〕が 42.3%を占めていた。職場の人間関係が良いという意見が多い一方で、現状の給与・待遇面では勧められないという意見も多くあった。

● 福利厚生・報酬といった処遇は、職員の半数以上が不満を抱えている。

福利厚生の満足度については〔まったく思わない＋あまり思わない〕が 53.3%で不満足が半数を超え、さらに報酬の満足度については〔まったく思わない＋思わない〕は不満足が最も多く 61.1%となった。福利厚生の新サービス（カロリーパークス）の利用しづらさや、より全員が利用しやすい福利厚生を求める意見、ガソリン高に対する通勤手当の低さなどの声が目立った。また、報酬については他病院と比べた際の給与の低さや業務量・責任に対する給与の低さ、ボーナスのカット、オンコール等の手当の低さ、定年年齢への変更についての言及が多くあった。

● 職場環境が変わることへの諦めの声

職員満足度調査に回答しても「今までも満足度調査や部署へ散々訴えてきたが、何も変わらないし意味がない」「ここに書いても解決しないと思う」「調査結果を、アンケートの回答とそれに対する病院の返答まで公表してほしい」という意見が散見された。

2. その他自由記述から見える課題と改善の方向性

職場の人間関係	<好意的コメント> ・ 人間関係や職場の風通しがよく、雰囲気もいいし働きやすいです ・ 上司に相談しやすい ・ 多職種に相談しやすい ・ 特定の職種とは連携ができています <非好意的コメント> ・ パワハラがある ・ 派閥がある ・ 上司がとても話しにくいのと、威圧的な態度、スタッフにより態度が違う ・ 多職種との連携がスムーズではない <改善に向けて> 個人で評価が大きく分かれる項目、パワハラについては、職員相談窓口を積極的に周知し相談しやすい職場環境を整える。 ハラスメント対策委員会等体制の整備を図り、研修を定期的を実施することでハラスメントの防止に繋がると思われる。
病院としての魅力	<好意的コメント> ・ 院外の活動や地域貢献活動を活発に行っている ・ スタッフは笑顔で親切な方が多い ・ 地域医療を長年守り、多種多様な診療科や優秀な人材がいる <非好意的コメント> ・ 病院としての売りやコンセプトが欲しい ・ 病院の特色として何があるのか、もっと発信してよいのでは ・ 患者のこともそうだが、今いるスタッフを大切にしてほしい ・ PHS、ノート PC 等や、病院の設備が古すぎる <改善に向けて> 「人員不足」「離職率の増加」「報酬の不満」などの意見多く、職員にとって働きやすい環境を整えることで職員満足度の向上、ひいては人材の定着に繋がると思われる。

部署別業務実績

医 局

部門紹介

2024 年度の医局は病院の中心部署として頑張ってきました。その構成は内科 21 名(内科初診担当 1 名、総合内科 2 名、呼吸器 3 名、循環器 6 名、消化器 9 名)、外科 10 名、麻酔科 6 名、整形外科 4 名、産婦人科 6 名、小児科 4 名、脳神経外科 1 名、泌尿器科 1 名、眼科 2 名、形成外科 1 名、耳鼻咽喉科 1 名、放射線科 2 名、救急科 2 名 (1 名は兼任)、心療内科 1 名、人間ドック 4 名、病理診断 2 名、専攻医 7 名、初期研修医 15 名の計 89 名となっていました。

また、初期研修医・専攻医の指導に加え、年間 40 ～ 50 名程のクリニカルクラークシップ（琉球大学医学部生）に対応しています。

医師数（常勤）

(2025 年 3 月 1 日現在)

	内科	外科	乳腺外科	救急科	小児科	産婦人科	整形外科	脳神経外科	リハビリテーション科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	心療内科	麻酔科	予防医学	形成外科	病理診断科	合計
全医師数 (専攻医・研修医除く)	21	9	1	2	4	6	4	1	1	1	1	2	2	1	6	4	1	2	67
うち各種学会認定・ 専門医数	70	38	4	9	4	5	9	1	3	5	2	2	3	3	15	7	1	4	185
うち臨床研修指導医数	19	9	0	2	2	2	3	1	1	1	1	1	1	1	3	1	0	1	49
専攻医	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
初期研修医	1 年目：8 名 2 年目：7 名																		15

※救急科 1 名は兼任

医局方針

1. 患者の安全・QOL を第一とし、インフォームドコンセントによる良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性確立のため学会活動などの自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 他科との緊密な連携により、患者にとって最高の医療提供を目指す。
4. 他部署との交流・院内各行事への参加を積極的に行う。
5. 地域の医療機関、保健・福祉施設との連携を積極的に行う。
6. 研修医をはじめとする若い医師および他部署への教育、指導を積極的に行い、自身の能力向上につなげる。
7. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

活動実績

Journal Club（抄読会 / 毎週水曜日 8:15 ～ 8:30）

年	月日	担当者	演題名
2024 年	4 月 3 日	川越 得弘	小児の肘関節骨折について
	4 月 10 日	比嘉 建介	中性脂肪の動脈硬化への影響
	4 月 17 日	上笹 航	早期離床の重要性
	4 月 24 日	比嘉 章子	鉄欠乏性貧血
	5 月 1 日	嘉川 春生	精巣捻転
	5 月 8 日	西原 実	成人に対する LPEC
	5 月 15 日	赤澤 幸則	良性発作性頭位めまい症について～平衡覚の基本から前庭リハビリの話まで
	5 月 22 日	古波藏 都秋	小児の肥満診療
	5 月 29 日	宮平 工	ロボット支援手術
	6 月 5 日	立津 朝成	フットケア
	6 月 12 日	太田 沙也加	ロボット支援手術の麻酔管理
	6 月 19 日	當山 全哉	骨形成不全症
	6 月 26 日	比嘉 宇郎	原発性小腸癌
	7 月 3 日	安木 大地	効果的な学習方法
	7 月 10 日	田口 泰透	漢方薬について
	7 月 17 日	仲本 学	GERD 治療 -PPI/P-CAB の使い方 -
	7 月 24 日	金城 太貴	心臓突然死一次予防を考える
	7 月 31 日	仲舩 拓	アルコールと肝疾患
	8 月 7 日	崎原 徹裕	食物アレルギーの臨床～疫学、検査、アナフィラキシー～
	8 月 14 日	新垣 珠代	特発性間質性肺炎 診断基準と重症度分類の変更
	8 月 21 日	秋元 芳典	高血圧について
	8 月 28 日	佐藤 直行	総合診療専門研修 当院のプログラムについて
	9 月 4 日	中石 祐木	内科外来症例
	9 月 11 日	石野 信一郎	肝移植の概要 大学での移植
	9 月 18 日	外間 敦	TKA 後のスポーツ活動
	9 月 25 日	渡名喜 望海	HPV ワクチンについて
	10 月 2 日	宮城 孝雅	総合診療について（患者中心の医療）
	10 月 9 日	愛知 高明	角膜移植とアイバンク
	10 月 16 日	佐久川 廣	血液を介して感染する感染症 特に肝炎ウイルス感染について
	10 月 23 日	照屋 周	当院における整形外科緊急手術症例
	10 月 30 日	與那覇由依子	Lynch 症例群の診断と病理
	11 月 6 日	山里 雄飛	急性肝障害の 1 例
	11 月 13 日	杉江 翼	癌緊急症に対する緊急放射線照射 - 転移性脊髄圧迫症の場合 -
	11 月 20 日	堀本 直幹	産科医療補償制度
	11 月 27 日	島袋 泰	術後疼痛管理チーム加算
	12 月 4 日	折田 均	胸やけ外来 21 年の歩み
	12 月 11 日	菅野 善一郎	～指導者講習では教えてくれない～脳機能でみる指導・教育のヒント
	12 月 18 日	末吉 健次	トルソー症候群
2025 年	1 月 8 日	奥島 憲彦	Heller-Dor 手術後再発例に POEM を行った食道アカラシア症例の検討
	1 月 15 日	宮崎 優樹	プレコンセプションケアについて
	1 月 22 日	花城 直次	高アンモニア血症を呈した癒着性イレウスの 1 例
	1 月 29 日	仲村 義一	PAD の現状と EVT の総まとめ
	2 月 5 日	新垣 萌香	neffy：エビネフリン点鼻スプレーの開発～重度アレルギー反応に対する針を使わない新しい選択肢～
	2 月 12 日	恩河 朝光	右膝の痛み
	2 月 26 日	大城 匡恭	Stanford A 型大動脈解離による CPA 症例
	3 月 5 日	竹田 和輝	誤嚥性肺炎での抗菌薬の嫌気性カバーの利益と害：後ろ向きコホート研究
	3 月 12 日	富田 千晶	H.Pylori ガイドライン改訂について
	3 月 19 日	宮城 真尋	沖縄子どもメディカルラリー
	3 月 26 日	石井 慶美	BAQSIMI 点鼻グルカゴン製剤

院内 CPC（臨床病理検討会）

症例	発表者	日付	参加者
間質性肺炎の急性増悪で死亡した一例	知念 佳奈（研修医）	2024 年 6 月 19 日	知念佳奈、又吉貴也、普天間光彦、古謝景輔、青山肇、佐久川廣、秋元芳典、比嘉章子、佐藤直行、新垣珠代、大城義人、與那覇由衣子、栗國結愛 合計 13 名
アルコール性肝硬変により死亡に至った症例	本永 圭吾（研修医） 新垣 萌香（研修医）	2024 年 10 月 30 日	本永圭吾、新垣萌香、佐久川廣、青山肇、秋元芳典、宮城純、宮平工、新垣珠代、大城義人、仲吉博亮、加藤滋、與那覇由衣子、宮城孝雅、具志堅結、足立達哉、伊波雅人、恩河朝光、富田千晶 合計 18 名
代謝機能障害関連脂肪肝炎（Metabolic Dysfunction Associated Steatotohepatitis, MASH）由来の肝硬変により死亡に至った症例	伊波 雅人（研修医） 脇田 夏鈴（研修医）	2024 年 11 月 27 日	伊波雅人、脇田夏鈴、佐久川廣、青山肇、秋元芳典、比嘉章子、大城義人、新垣珠代、仲吉博亮、仲里博恵、具志堅結、新垣萌香、恩河朝光、富田千晶 合計 14 名
右冠動脈閉塞による急性心筋梗塞により心室細動となり死亡に至った症例	足立 達哉（研修医）	2024 年 12 月 18 日	足立達哉、大瀧千夏、秋元芳典、青山肇、普天間光彦、比嘉章子、大城義人、新垣珠代、仲吉博亮、與那覇由衣子、具志堅結、垣花実、知念佳奈、眞弓愛、本永圭吾、大城匡恭、恩河朝光、宮城真尋、脇田夏鈴 合計 19 名
間質性肺炎を既往に持ち細菌性肺炎 / 胸膜炎により入院・死亡した症例	垣花 実（研修医） 眞弓 愛（研修医）	2025 年 1 月 29 日	垣花実、眞弓愛、普天間光彦、青山肇、佐久川廣、比嘉章子、大城義人、新垣珠代、仲本学、與那覇由衣子、佐藤直行、宮城孝雅、又吉貴也、大城匡恭、恩河朝光、富田千晶 合計 16 名
肺悪性腫瘍に対する緩和治療中に Coarse crackle を伴う発熱・悪寒を生じ死亡した症例	松波 尚典（研修医） 竹田 和輝（研修医）	2025 年 3 月 12 日	松波尚典、竹田和輝、普天間光彦、與那覇由衣子、青山肇、佐久川廣、宮平工、大城義人、佐藤直行、又吉貴也、伊波雅人、知念佳奈、石井慶美、大城匡恭、恩河朝光 合計 15 名

研修医向け教育

研修医向けに、毎週下表のスケジュールで各種ミニレクチャーを開催しています。また、外部講師を招聘した講習会も行っています。

時間	月	火	水	木	金	土
8:00 ～ 8:15	ミニ救急症例検討会					
8:15 ～ 8:45	総合内科カンファ		抄読会	総合内科カンファ		総合内科カンファ

外部講師による教育回診

教育回診・講演会名	内容（主訴）	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（90 歳女性 呼吸苦）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 4 月 18 日	足立達哉、垣花実、石井慶美、大城匡恭、恩河朝光、竹田和輝、富田千晶、宮城真尋、脇田夏鈴、琉大生 5 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（69 歳男性 発熱）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 5 月 2 日	本永圭吾、足立達哉、伊波雅人、新垣萌香、大城匡恭、富田千晶、宮城真尋、脇田夏鈴、琉大生 2 名
感染症コンサルタント 青木眞先生による教育回診	症例検討（25 歳女性 右下腹部痛、嘔吐）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 5 月 28 日	本永圭吾、足立達哉、知念佳奈、松波尚典、新垣萌香、大城匡恭、恩河朝光、竹田和輝、富田千晶、宮城真尋、脇田夏鈴、琉大 5 名、佐藤直行先生、宮城孝雅先生、又吉貴也先生、田口泰透先生
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（62 歳男性 COVID-19 陽性、発熱、SpO2 低下）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 6 月 6 日	新垣萌香、足立達哉、垣花実、知念佳奈、石井慶美、大城匡恭、竹田和輝、富田千晶、宮城真尋、琉大生 6 人

教育回診・講演会名	内容（主訴）	主催	実施日	参加者
松本謙太郎先生による教育回診	症例検討（81 歳男性 黄疸）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 6 月 11 日	石井慶美、足立達哉、垣花実、新垣萌香、大城匡恭、竹田和輝、宮城真尋、琉大生 6 人
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（54 歳女性 頭痛、嘔気）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 7 月 4 日	大城匡恭、足立達哉、石井慶美、富田千晶、琉大生 3 名、九大生 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（73 歳男性 発熱、体動困難）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 7 月 18 日	恩河朝光、新垣萌香、大城匡恭、竹田和輝、宮城真尋、琉大生 3 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（70 歳女性 顔面の発赤、下顎痛）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 8 月 1 日	竹田和輝、足立達哉、伊波雅人、新垣萌香、恩河朝光、山口大生 1 名、九州大学生 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（83 歳男性 下腹部痛、血便）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 8 月 15 日	富田千晶、足立達哉、知念佳奈、新垣萌香、大城匡恭、恩河朝光、九州大学生 1 名、杏林大学生 1 名、岡山大学生 1 名
福井大学医学部医学科 地域医療推進講座 特命教授 兼 群星沖縄臨床研修センター副センター長 寺澤秀一先生による ER 教育回診	症例検討（86 歳男性 嚥下困難）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 9 月 6 日	宮城真尋、松波尚典、新垣萌香、石井慶美、大城匡恭、竹田和輝、富田千晶、脇田夏鈴、上杉楓、琉大 6 名、中石祐木先生、宮城孝雅先生
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（70 歳男性 呼吸困難）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 9 月 25 日	竹田和輝、松波尚典、石井慶美、恩河朝光、産業医科大学 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（68 歳男性 心窩部違和感、気分不良）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 10 月 3 日	脇田夏鈴、足立達哉、伊波雅人、新垣萌香、竹田和輝、富田千晶、宮城真尋
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（61 歳男性 吐血、嘔吐）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 10 月 29 日	恩河朝光、足立達哉、本永圭吾、新垣萌香、石井慶美、琉大生 3 名
松本謙太郎先生による教育回診	症例検討（54 歳男性 全身倦怠感、体重減少）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 11 月 13 日	恩河朝光、伊波雅人、知念佳奈、新垣萌香、宮城真尋、富田千晶、脇田夏鈴、白石隆也、琉大生 3 名
Dr. Gautam Deshpande による教育回診	症例検討（62 歳女性 直腸癌による大腸閉塞）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 11 月 21 日	宮城真尋、伊波雅人、新垣萌香、大城匡恭、竹田和輝、富田千晶、脇田夏鈴、琉大 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（93 歳女性 嘔吐）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 12 月 10 日	新垣萌香、足立達哉、知念佳奈、眞弓愛、石井慶美、大城匡恭、恩河朝光、竹田和輝、宮城真尋、脇田夏鈴、久高蓮、琉大生 2 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（62 歳女性 労作時呼吸苦、心窩部痛）	群星沖縄プロジェクト	2024 年 12 月 26 日	富田千晶、足立達哉、知念佳奈、眞弓愛、本永圭吾、新垣萌香、恩河朝光、竹田和輝、宮城真尋、脇田夏鈴、久高蓮
ミシガン大学 Dr. Kathryn Louise Levy による教育回診	症例検討（74 歳男性 発熱、腰痛）	群星沖縄プロジェクト	2025 年 1 月 16 日	大城匡恭、足立達哉、伊波雅人、垣花実、知念佳奈、眞弓愛、本永圭吾、新垣萌香、石井慶美、恩河朝光、富田千晶、宮城真尋、琉大生 5 名、筑波大生 1 名
ミシガン大学 Dr. Nathan Houchens による教育回診	症例検討（57 歳男性 健忘症）	群星沖縄プロジェクト	2025 年 2 月 25 日	富田千晶、垣花実、眞弓愛、石井慶美、竹田和輝、琉大生 7 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討（54 歳男性 心窩部痛）	群星沖縄プロジェクト	2025 年 3 月 6 日	竹田和輝、足立達哉、伊波雅人、松波尚典、新垣萌香、石井慶美、大城匡恭、恩河朝光、琉大 6 名

研修医学会発表

学会名（開催場所）	タイトル	日時	発表者と研究者
第 121 回医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2024 東京	免疫不全を背景に Nocardia farcinica 菌血症および多発皮下膿瘍・脳膿瘍をきたした一例	2024 年 4 月 13 日	知念佳奈、山入端敦、佐藤直行
第 121 回医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2024 東京	入院患者のアルコール離脱症候群（AWS）予測に有用な入院時間診項目の探索	2024 年 4 月 13 日	松波尚典、眞弓愛、又吉貴也、崎原徹裕、佐藤直行
第 121 回医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2024 東京	免疫正常者のサイトメガロウイルス感染症による脾梗塞の一例	2024 年 4 月 13 日	本永圭吾、又吉貴也、佐藤直行
第 124 回日本外科定期学術集会	心窩部痛を伴った十二指腸 Brunner 腺過形成の 1 切除例	2024 年 4 月 18 日～20 日	伊波雅人、宮平工、森岡弘光、国吉史雄、阿嘉裕之、比嘉宇郎、花城直次、西原実、奥島憲彦
第 136 回沖縄県医師会医学会総会（研修医部門推薦）	1～2 歳児における少量ピーナッツ経口負荷試験の安全性の検討	2024 年 6 月 9 日	足立達哉、崎原徹裕
第 78 回日本食道外科学会学術集会	COVID-19 感染が発症の契機となったと思われる食道アカラシアの一例	2024 年 7 月 4 日～5 日	本永圭吾、花城直次、松尾聖哉、森岡弘光、国吉史雄、阿嘉裕之、比嘉宇郎、宮平工、西原実、奥島憲彦
第 78 回日本食道外科学会学術集会	Jackhammer esophagus に対して POEM を施行した一例	2024 年 7 月 4 日～5 日	垣花実、奥島憲彦、森岡弘光、国吉史雄、阿嘉裕之、比嘉宇郎、花城直次、宮平耕、西原実、井上晴洋
第 52 回日本救急医学会総会・学術集会	放火された熱傷、刺創の被害者、火傷した加害者のいる現場ヘドクターカー出動経験	2024 年 10 月 12 日～14 日	松波尚典、三戸正人
第 137 回沖縄県医師会医学会総会（研修医部門推薦）	COVID-19 に伴う咳嗽が原因と考えられた腹直筋血腫に対して TAE を施行した 1 例	2024 年 12 月 8 日	伊波雅人、宮平工、松尾聖哉、国吉史雄、阿嘉裕之、加藤滋、比嘉宇郎、花城直次、西原実、奥島憲彦

※各科より初期研修医のみ再掲。専攻医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

医師卒後臨床研修 第 20 期生（2023 年 4 月 1 日～）

（後左より）

町田 香菜子（琉球大学卒）

眞弓 愛（琉球大学卒）

伊波 雅人（琉球大学卒）

本永 圭吾（琉球大学卒）

眞壁 知花（琉球大学卒）

足立 達哉（琉球大学卒）

垣花 実（琉球大学卒）

松波 尚典（名古屋市立大学）

知念 佳奈（琉球大学卒）



※町田と眞壁は琉球大学病院のたすき掛け研修医

医師卒後臨床研修 第21期生（2024年4月1日～）

（左より）

石井 慶美（琉球大学卒）

富田 千晶（琉球大学卒）

脇田 夏鈴（琉球大学卒）

新垣 萌香（琉球大学卒）

宮城 真尋（琉球大学卒）

恩河 朝光（琉球大学卒）

大城 匡恭（琉球大学卒）

竹田 和輝（琉球大学卒）

※脇田は琉球大学病院のたすき掛け研修医



各科概要・実績

総合内科

総合内科は平成 31 年 1 月に開設され、外来および入院診療を行っています。スタッフ医師 1 人体制ではありますが、感染症全般、呼吸器疾患、循環器疾患、電解質異常、腎疾患、脳梗塞、リウマチ膠原病、消化器疾患など幅広い領域で診療し、必要に応じて専門診療科へ紹介させていただいております。精査や全身管理の依頼など、院内各科からのコンサルトにも対応しています。5 つの委員会に所属しており、内科専門研修委員会（委員長）、AST、Polypharmacy 対策委員会（委員長）、臨床研修管理委員会（副委員長）、臨床倫理委員会で活動しています。

医師プロフィール

（2025 年 3 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
部長 6 階病棟医長	佐藤 直行	総合内科、Hospital medicine 感染症、リウマチ膠原病、医学教育	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本病院総合診療医学会認定医・評議員 感染症専門医 ICD 制度協議会認定インфекションコントロールドクター JHN-POCUS (Point-of-Care Ultrasound) コース instructor・assistant director 米国内科学会会員 医学博士 ハワイ - 沖縄医学教育フェローシップ certified
	宮城 孝雅	総合診療 スポーツ医学	総合診療専門医 認知症サポート医 日本医師会 健康スポーツ医 日本禁煙学会 禁煙サポーター
専攻医	又吉 貴也		
専攻医	田口 泰透		

検査・治療件数

入院症例数：334 例（うち当科への転入 25 例）平均年齢：74.6 歳

平均在院日数：14.0 日（検査入院なし）

コンサルト：45 件

研究業績

学会発表

タイトル	学会名	開催地	日時	発表者と研究者
入院患者のアルコール離脱症候群（AWS）予測に有用な入院時間診療項目の探索	医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ 2024 東京	東京	2024 年 4 月 13 日	松波 尚典、眞弓 愛、又吉 貴也、崎原 徹裕、佐藤 直行
免疫不全を背景に Nocardia farcinica 菌血症および多発皮下膿瘍・脳膿瘍をきたした一例	医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ 2024 東京	東京	2024 年 4 月 13 日	知念 佳奈、山入 端敦、佐藤 直行
免疫正常者のサイトメガロウイルス感染症による脾梗塞の一例	医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ 2024 東京	東京	2024 年 4 月 13 日	本永 圭吾、又吉 貴也、佐藤 直行

タイトル	学会名	開催地	日時	発表者と研究者
保存的治療のみで加療し得た、非糖尿病患者に発症した両側気腫性腎盂腎炎の一例	医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ2024 東京	東京	2024 年 4 月 13 日	又吉 貴也、佐藤 直行
離島にて認知症に罹患した夫の介護をする妻に適応障害を発症した症例	第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	静岡	2024 年 6 月 8 日	宮城孝雅、平山結佳子、仲里信彦
線維筋痛症の疼痛に対して加味八仙湯が奏効した 1 例	第 74 回東洋医学会学術総会	大阪	2024 年 6 月 1 日	田口 泰透、中尾桂子、竹内 肇、原田直之、吉永亮、矢野博美、井上博喜

- ・ 第 3 回群星沖縄アカデミア発表会：「当院の入院患者における Polypharmacy 介入の実態調査」石井慶美先生の指導 2024 年 12 月 16 日

その他業績

< 学生・研修医対象の病院説明会・院外セミナー >

- ・ 病院説明会：2024 年 7 月 6 日（16 名参加）・2025 年 3 月 8 日（15 名参加）
- ・ 群星沖縄 新研修医オリエンテーション「プロフェッショナリズム」 2024 年 4 月 3 日
- ・ 群星沖縄と日本病院総合診療医学会理事長との意見交換会でプレゼンテーション 2024 年 11 月 4 日
- ・ 琉球 GIM 2024 秋：宮城孝雅先生プレゼンターの指導 2024 年 10 月 14 日
- ・ 琉球 GIM 2025 冬：コメンテーター 2025 年 1 月 16 日
- ・ 総合診療レクチャーシリーズ（琉球大学ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業「島医者・山医者・里医者育成プロジェクト」の企画）第 2 回で講師担当 2024 年 8 月 26 日：医学部生向けオンデマンド講義へ
- ・ 日経メディカル・レジデントチャンピオンシップ 2025：予選問題作成委員

< 院外講師招請 >

- ・ 地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 救急救命科医長 坂本壮先生
「Smart ER Diagnostics」（学生・研修医対象セミナー） 2024 年 8 月 30 日
- ・ まどかファミリークリニック 本村和久先生（元・沖縄県立中部病院）
倫理講演会「最期のときをどう考えるか～プロセスを重視する意思決定支援と倫理～」 2024 年 9 月 6 日

< 院内勉強会 >

- ・ 研修医向けの朝の内科カンファレンス：年間 96 回開催

< 執筆関連 >

【雑誌】

- ・ 「総合診療」2024 年 5 月号 オール沖縄カンファレンス 論文 1 編（又吉貴也先生と共著）
- ・ 「medicina」2024 年 6 月号内 目でみるトレーニング 問題 1 題
- ・ 「レジデントノート」2024 年 10 月 論文 1 編（宮城孝雅先生と共著）
- ・ 「週刊 日本医事新報」2024 年 10 月 12 日号 巻頭コラム 1 編
- ・ 「総合診療」2024 年 10 月号 ゲストエディターとして特集企画＋論文 2 編（1 編は又吉貴也先生と共著）

【雑誌連載】

- ・ 「ドクターズマガジン」 Dr 徳田のクリニカルパールズ 原作：2024 年 6 月号・12 月号分
- ・ 「総合診療」 オール沖縄カンファレンス リレーコラム：2024 年 7 月・11 月・2025 年 3 月号分

【書籍】

- ・ 徹底深掘り！蜂窩織炎 ジェネラリストのための皮膚軟部組織感染症診療ガイド、南山堂 2024 年 4 月（共同編集：佐藤直行、長野広之）
- ・ 救急対応のエビデンスをぎゅうっとまとめました、メディカルビュー社 2024 年 10 月（共著）
- ・ シュロスバーグの臨床感染症学 第 2 版、メディカルサイエンス・インターナショナル 2024 年 10 月（共著）

年度総括

平成 31 年 1 月の開設から 6 年目となりました。今年度は初めてスタッフ医師 2 人体制となり、臨床と教育面でバランスよく貢献できる体制となりました。朝の内科教育カンファレンスは、年間 96 回を開催することができ、研修医の先生たちの成長の一助として継続できています。当科主体で行っている学生向け説明会では、教育体制のアピールも行っています。医局の先生方のご協力もあり、臨床研修マッチングで 4 年連続フルマッチを継続できています。

引き続き今年度も初期研修医の先生方の多くが当科をローテーションしました。専攻医については、当院の専攻医の先生以外にも他院からの専攻医の先生のローテーションも長くありました。結果として昨年度よりもさらに症例数も増え、収益も約 2 億 4 千 4 百万円と改善されました（昨年は 1 億 5 千万円弱）。初期研修医への現場での教育も充実し、当院の内科教育で中心的な役割を担うことができるようになってきています。

対外的なところでは、今年度も引き続き多くの商業誌に執筆を行いました。大きかったものとしては、佐藤が企画編集した書籍を出版できたことで、その書籍が m3.com の行う医学書大賞 2025 で総合 9 位にランクインしたことです（本書では当法人関連の先生方にも複数執筆いただいています）。これに加え、今年度は商業誌「総合診療」でも特集を企画編集でき、院外へのアピールができたと思います。スタッフや専攻医にも共著で執筆してもらい、執筆の指導もしています。学術活動としては、学会発表 6 演題を発表し（診療科としては院内最多）、今年度も群星沖縄の学術発表を指導させていただきました。引き続き学術的な仕事も頑張っていきたいと思います。

今年度はスタッフ医師も増え、これまで以上に幅広く活動し貢献できました。臨床・教育・研究面でバランスよく貢献できるようになってきており、対外的なアピールの仕事も行えるようになってきています。2025 年度からは当院でも総合診療専門研修プログラムが立ち上がります。研修プログラムも整備しながら、今後もしっかりと人材を確保できるような部署になっていきたいと考えています。引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

総合内科部長 佐藤 直行

呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師 3 名体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等と多岐に渡っており、他疾患を合併した患者さんも多く診療しています。当科のスケジュールとしては、金曜日の午後 2 時より 7 階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・MSW・MC と一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療を目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の午後からグループカンファレンスを行い、火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。水曜日の午後は医師・看護師・リハビリ・臨床工学士等の各職種と連携した RST ラウンドを行っています。

医師プロフィール

(2024 年 4 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長・呼吸器内科部長・7 階病棟医長 ＜専門外来＞睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 外来	普天間 光彦	肺炎、気管支喘息、肺気腫、肺癌、肺結核	日本呼吸器学会インфекションコントロールドクター
呼吸器内科副部長	新垣 珠代	呼吸器内科一般	
呼吸器内科副部長	仲吉 博亮	呼吸器内科一般	日本内科学会認定内科医
専攻医	具志堅 結		

検査・治療件数

検査・治療	件数	検査・治療	件数
気管支鏡検査	47	睡眠時無呼吸外来のべ患者数	1,169 名

研究業績

学会発表

タイトル	学会名	開催地	日時	発表者と研究者
腎盂腎炎を契機に血流感染経由で発症した人工関節感染の 1 例	第 345 回日本内科学会九州地方会	宮崎県	2024 年 5 月 25 日	仲吉博亮、川越得弘

年度総括

2024 年度は年間 634 名の入院患者の診療を行い、47 名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては呼吸器学会に参加して見聞を広めました。また、呼吸器同好会や胸部レントゲン勉強会等の県内の研究会へ参加し他医療機関との連携や診療の向上に努めています。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。来年度は学会参加や県内の発表会等の院外活動をさらに活発にしていこう予定です。

呼吸器内科部長 普天間 光彦

循環器内科

循環器内科では、狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患、不整脈、心不全、心臓弁膜症、大動脈疾患、末梢血管疾患などの循環器疾患一般の診療を行っています。

虚血性心疾患や末梢血管疾患に対するカテーテル検査及び治療だけではなく、不整脈に対するカテーテルアブレーションやペースメーカー植込み術、心不全の入院管理や外来通院加療を行い、さらにそれらの疾患に対する予防にも力を入れて診療を行っております。エビデンスに基づく最新かつ最良の医療を提供できるような体制づくりを常に目指しております。定期的に心臓血管研究所付属病院、東京ベイ・浦安市川医療センターから医師を招聘し、難治症例にも取り組んでいます。心臓血管研究所付属病院は内科専門研修プログラムの連携施設にもなっており、若手医師の育成にも積極的に取り組んでいます。

また、致命的な救急救命患者に対する緊急カテーテル治療に加えて、V-A ECMO などの導入も精力的に行っております。三戸先生が循環器内科と救急部門を兼任されている強みを生かして、短時間でカテーテルや V-A ECMO 導入を可能としている、横の連携の強さが当院の特徴の一つです。関連部門のスタッフトレーニングも充実しており、より迅速に対応できるよう今後も一層努力して参ります。

心臓リハビリにおいても、リハビリスタッフと協力して入院患者のみならず、外来心臓リハビリも再開することができております。急性期の高度医療だけではなく、再発防止の観点からも地域へ貢献していきたいと思います。

医師プロフィール

(2024 年度 5 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
副院長 内科部長	秋元 芳典	循環器一般	日本循環器学会循環器内科専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医 心臓リハビリテーション指導士
救急総合診療部救急部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器一般、救急一般 地域医療、スポーツ医学	日本循環器学会循環器内科専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本救急医学会救急科専門医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 日本 DMAT インストラクター 統括 DMAT 登録者 JMECC インストラクター ICLS インストラクター MCLS インストラクター MCLS CBRNE インストラクター 日本心臓核医学会評議員 心臓リハビリテーション指導士 病院前救急統括体制認定機構認定民間メディカルコントロール医師 沖縄県災害医療コーディネーター 中部地区 MC 協議会 運営委員

役職	氏名	専門分野	学会認定など
循環器内科部長	仲村 義一	循環器一般、末梢血管	日本循環器学会循環器内科専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 JMECC インストラクター ICLS インストラクター POCUS(Point Of Care Ultrasound) コースインストラクター
循環器内科副部長	金城 太貴	循環器一般、不整脈	日本循環器学会循環器内科専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医
	比嘉 建介	循環器一般	日本内科学会認定内科医
	中石 祐木	循環器一般	

研究業績

学会発表

名称	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 37 回日本心血管インターベンション治療学会 九州・沖縄地方会	高度石灰化病変に Diamondback を用いてアブレーション施行しステント留置後、後拡張により冠動脈穿孔を来したもののペイルアウトに成功した一例	佐賀県	2024 年 8 月 24 日	中石 祐木、仲村 義一

世話人・座長

名称	開催地	発表年月日	発表者
第 30 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	座長：一般演題 ポスター 5「患者教育・指導・禁煙 1」 兵庫県	2024 年 7 月 15 日	秋元 芳典

検査・治療・手術件数

検査件数一覧

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
冠動脈造影検査 (CAG)	135	113	162	123	128
冠動脈 CT	433	392	434	384	350
心筋 MRI	8	14	18	30	33
心筋シンチ	86	86	67	47	64
経胸壁心エコー	3,073	3,437	3,564	3,613	4,557
経食道心エコー	32	41	33	29	10
トレッドミル運動負荷心電図	38	42	15	17	15
長時間心電図 (24 時間、1-3 週間)	188	258	245	284	205

治療件数一覧

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
経皮的冠動脈インターベンション (PCI)	161	165	123	99	114
大動脈バルーンパンピング (IABP)	9	14	15	6	13
V-A ECMO;PCPS	15	11	6	7	5
経皮の下肢動脈形成術 (EVT)	55	88	72	55	60
経皮的シャント拡張術 (VAIVT)	106	84	63	73	75
ペースメーカー植込み術	23	16	24	12	22
ペースメーカー電池交換術	9	5	12	12	16
一時的ペースメーカー	8	10	19	16	14
カテーテルアブレーション	9	10	17	11	11

年度総括

2024 年度から専攻医として中石 祐木先生が加わり、秋元 芳典、三戸 正人、仲村 義一、金城 太貴、比嘉 建介 医師の 6 名で診療を行っております。

経皮的冠動脈インターベンション (PCI) は、一時期より症例数は減少していますが、虚血評価をしっかりと行った上で治療適応を適正に判断しています。冠動脈造影検査は例年通りの件数であり、その中に PCI が困難で外科的に血行再建を行っている症例が一定数含まれており、治療適応となっている割合も同等で推移しています。当院には心臓血管外科がないため他院へ紹介することになりますが、他院心臓血管外科との連携も非常にスムーズとなっており、治療の遅れとなることはほとんどありません。また、当院の PCI のおよそ半数が急性冠症候群となっており、救急隊からの心電図伝送システムが必要不可欠となっています。病院前から早期に診断を行えることで早期治療が実現し、患者様の予後改善に繋がっています。定期的に心臓血管外科研究所附属病院から及川 裕二先生にもご指導にお越しいただいています。

下肢閉塞性動脈疾患 (LEAD) の特徴として、沖縄県民は歩くことが少ない生活習慣のため跛行症状よりも進行した状態で発見されることが多い印象です。形成外科とチームを組んで診療に取り組んでおり、血管の閉塞長が長く、高度石灰化を伴った比較的重症の包括的高度慢性下肢虚血 (CLTI) の症例に対しても積極的に経皮的下肢動脈形成術 (EVT) を行っています。CLTI であれば、膝窩動脈、前脛骨動脈、後脛骨動脈、腓骨動脈、足背動脈、足底動脈などへの EVT も施行しております。3 ヶ月に 1 回程度、東京ベイ・浦安市川医療センターから仲間 達也先生をお招きし、ご指導のもと難治症例にも取り組んでいます。下肢切断となると、患者の予後だけではなく家族の介護負担にも大きな問題となります。2025 年 4 月からは仲村先生が訪問診療医として独立することとなりますが、継続的に当院での EVT 治療には携わっていただく予定です。その中で、LEAD を有する要介護者などもより早期にケアをして、EVT に繋げることで下肢切断を防いでいく狙いもあり、今後の院外連携における重要な取り組みになると考えています。

不整脈については、徐脈性不整脈に対するペースメーカー植込み術のほか、発作性上室頻拍や発作性心房細動を中心にカテーテルアブレーションを行っています。アブレーションについては症例ごとに心臓血管研究所附属病院から大塚 崇之先生をはじめ計 3 名の先生に、応援・指導に来ていただき治療を行っています。症例数は多くはありませんが、安全・安心な治療を目指して、患者さんにしっかりご理解いただいたタイミングで治療に臨んでおります。治療後の外来フォローもしっかり行っており、治療成績も安定しております。

心不全においては、原因疾患をしっかりと鑑別しながら入院および外来診療を行っております。心筋症などで近年新しい治療薬が出てきている背景から、心臓カテーテル検査に加えて、心筋シンチや心筋 MRI などの検査を積極的に勧めております。

昨今、心不全パンデミックがトピックスとなっており、当院でも高齢者心不全の患者が増加しています。また、他疾患で入院中の患者に心不全が併発していることも多く、循環器内科として関わる症例は年々増えています。高齢者心不全は心臓だけを診ても治療はうまくはいかず、併存疾患の管理のみならず、フレイルや栄養状態の評価、介護や精神的・社会的ケアを含めた包括的な管理が重要となります。その中で、入院中の心臓リハビリを行える体制が回復し、さらにはコロナ禍も明けて外来心臓リハビリを再開することができました。薬物治療もエビデンスが十分に出てきている中で、リハビリや栄養指導、生活指導など他職種を交えた心不全チームとして関わりを持ち、来たる心不全パンデミックに備え、地域のみなさまに還元していければと考えています。

循環器内科副部長 金城 太貴

消化器内科

消化器内科では主に下記消化管・肝胆膵疾患の診療等幅広く行っています。

消化管：胃癌 / 大腸癌 / 大腸ポリープ等上下部消化管内視鏡診断（拡大 / EUS 等）・治療（ESD/EMR 等）、消化管出血に対する内視鏡的止血術、GERD（胃食道逆流症） / 食道運動異常等精査（pH モニター / 食道内圧検査等）・治療、IBD（炎症性腸疾患）治療、ヘリコバクターピロリ 3 次自費除菌等。

肝胆膵：肝炎 / 肝硬変 / 肝癌診断（肝生検等）・治療（ラジオ波 / TACE / 化学療法等）、胆管炎 / 総胆管結石 / 胆膵腫瘍診断・内視鏡治療（EST / 結石砕石・採石術 / 胆管ステント等）、食道静脈瘤治療（EVL / EIS）等。

外来・病棟・検査等担当の 7 人（佐久川・折田・宮城・仲本・圓若・仲舂・山里）及び、検診内視鏡担当の 5 人（宮里・洲鎌・小橋川・川田・川満）で内視鏡診療を行っています。

医師プロフィール

（2024 年 5 月時点）

役職	氏名	専門分野	学会認定
顧問	佐久川 廣	肝炎、肝硬変、肝癌、B 型および C 型慢性肝炎の治療	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
内視鏡センター長 【専門外来】胸やけ外来	折田 均	胸やけ外来（機能的消化管疾患）、胃癌・大腸癌の内視鏡的治療	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内科部長 内視鏡センター副センター長	仲本 学	消化管内視鏡診断・治療（ESD）、GERD 診療等消化管一般	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内科学会指導医
	宮城 純	上部・下部消化管疾患の診断・治療。	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
肝臓内科部長	圓若 修一	消化器内科、肝臓内科	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
肝臓内科副部長	仲舂 拓		日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医
	小橋川 ちはる	上部・下部消化器疾患を中心に消化器疾患全般	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医
	山里 雄飛		

検査・治療・手術件数

1. 検査内視鏡実績

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
胃内視鏡	8,872	9,754	9,642	9,573	9,546
大腸内視鏡	2,581	2,844	2,874	2,999	2,961
ERCP	147	236	203	242	175

※外科症例を含みます。

2. 治療内視鏡実績

上部消化管（内訳）	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
EMR	10	11	6	9	14
ESD	25	18	27	28	14
EVL	49	37	51	34	24
EIS	0	0	0	0	0
止血術	24	18	24	10	18
焼灼術	21	0	9	4	6
異物摘出術	6	13	15	13	12
下部消化管（内訳）	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
EMR	295	357	384	451	427
ESD	8	11	5	12	9
止血術	22	12	9	20	16

年度総括

2019 年度は、検診内視鏡を含む上部消化管内視鏡（GIF）件数が 11,583 件、下部消化管内視鏡（CF）件数が 3,170 件と過去最高を記録しましたが、2020 年の COVID-19 以降は GIF が 9,000 件台、CF が 3,000 件弱で推移しており、2024 年度も GIF 9,546 件、CF 2,961 件と、COVID-19 以前の水準にはまだ戻っておりません。ただし、ESD・EMR といった治療内視鏡は COVID-19 前と比べても増加・維持しており、2025 年度は GIF・CF 件数の増加に努めてまいります。

また、2025 年度からは、食道外科の奥島先生が県内で唯一実施している食道アカラシアに対する POEM 治療を、消化器内科でもバックアップしていく予定です。

2025 年度の目標としては、消化器疾患の診断能・治療技術のさらなる向上、消化器関連学会・研究会への積極的な参加・発表、消化器病専門医や内視鏡専門医の確保、消化器内科を志望する後期研修医の確保、近隣病院・医院等からの紹介患者の積極的な受け入れ、地域施設との症例検討会の開催、他科とのカンファレンスの充実と連携、技術向上を目的とした県外医師の招聘および技術指導の継続、胃検診内視鏡の充実などが挙げられます。

消化器内科部長 仲本 学

肝臓内科

肝臓内科は肝臓の病気、さらに当院では胆道、膵臓疾患の検査治療を担当しています。

具体的にはC型肝炎、B型肝炎などのウイルス性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎などの自己免疫に関与した肝炎、さらに近年増加傾向にあるメタボリックシンドロームの肝臓への表現型である代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）、またアルコール性肝障害といった生活習慣に起因した肝障害を診療しています。また肝臓がんの治療である経皮的ラジオ波焼灼術、肝硬変の様々な合併症（肝性腹水、食道胃静脈瘤、特発性細菌性腹膜炎等）の治療を行っています。胆道、膵臓疾患としては総胆管結石、胆道・膵臓腫瘍による閉塞性黄疸に対する内視鏡的診断・治療を行っています。

医師プロフィール

（2024年5月時点）

役職	氏名	専門分野	学会認定
顧問	佐久川 廣	肝炎、肝硬変、肝癌、B型およびC型慢性肝炎の治療	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
肝臓内科部長	圓若 修一	消化器内科、肝臓内科	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
肝臓内科副部長	仲舩 拓		日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医

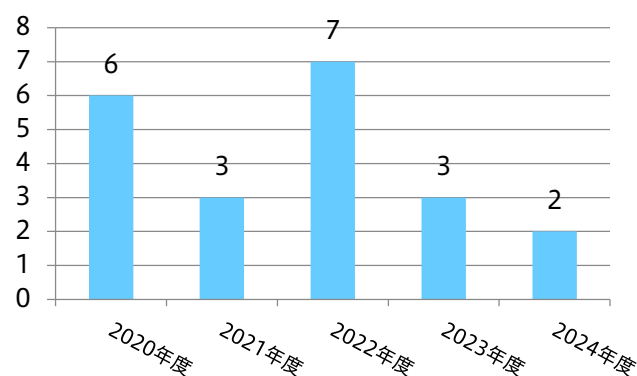
研究業績

論文著書

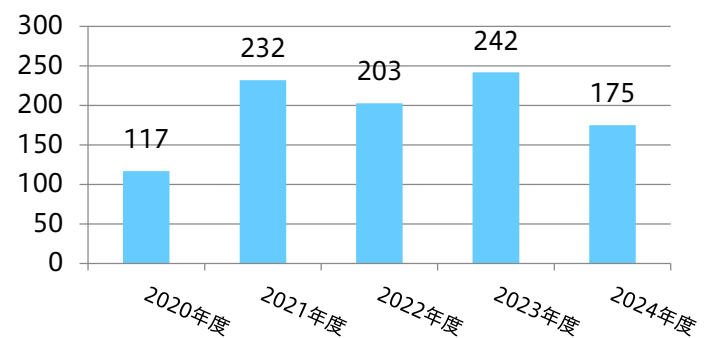
題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
アルコール性肝硬変患者診療の実際と課題	沖縄県医師会報 (0917-1428)	60巻7号 Page533-535(2024.07)	圓若 修一

検査・治療件数

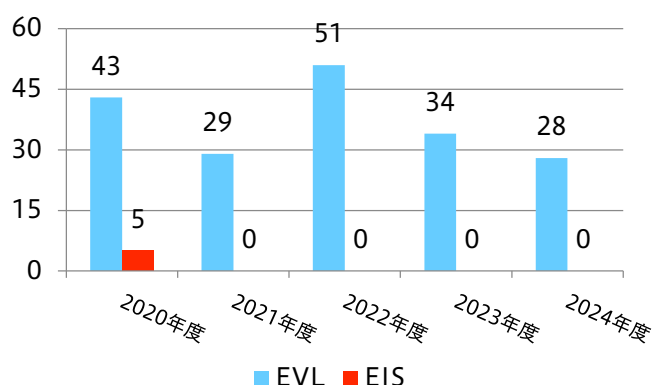
経皮的ラジオ波術症例数の推移



内視鏡的胆管膵管造影（ERCP）の推移



食道静脈瘤に対する予防的内視鏡的結紮術（EVL）、硬化療法（EIS）



年度総括

肝細胞がんに対する経皮的ラジオ波焼灼術は少ない傾向にあります。これはC型肝炎に起因した肝細胞がんが減少傾向にあるためと思われます。一方で今後 MASH 肝硬変、アルコール性肝硬変に起因した肝細胞がんは相対的に増加することが予想されます。今後も早期発見・早期治療を目指し診療していきたいと思います。

胆道膵臓疾患に関する内視鏡的検査・治療は、侵襲を伴う処置ですが、重篤な合併症は少なく安全に施行できていました。また琉球大学病院第一内科の宮里公也先生が、木曜日に胆膵領域の超音波内視鏡を施行しています。慢性膵炎、IPMN（膵管内乳頭粘液性腫瘍）、胆のうポリープ、膵がんなどの診断に重要な検査で、今後も継続していきたいと思います。

肝臓内科部長 圓若 修一

小児科

ハートライフ病院の小児科では地域医療支援病院として紹介患者を中心に診療を行い、外来部門であるハートライフクリニックからの入院を含め、病院小児科常勤医として4名の医師が感染症などの一般的な疾患、予防接種、小児の手術の術前診察、術後管理を行っています。また、当院で出生する新生児の管理や1か月健診を行っています。

中城村や西原町、与那原町などの近隣市町村の乳幼児健診や中城小学校および西原小学校の学校医、近隣保育園の園医の活動を通して地域の小児の健康管理への貢献も目標としています。

平成28年度からは小児アレルギー外来を開設しており、アレルギー専門医、看護師、栄養士、薬剤師と連携しながら食物アレルギーに対する食物経口負荷試験や食事療法指導、アトピー性皮膚炎に対するスキンケア指導などを行っています。また、近隣市町村の保育園や小学校から依頼を受け、エピペン指導などの講演も行っています。

医師プロフィール

(2024年5月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科部長・地域医療連携部長	崎原 徹裕	一般小児科、小児アレルギー	日本小児科学会専門医 日本小児科学会指導医 日本アレルギー学会専門医
小児科医員	古波蔵 都秋	一般小児科、膠原病	日本小児科学会専門医 日本小児科学会指導医 日本リウマチ学会専門医
小児科医員	安木 大地	一般小児科	日本小児科学会専門医
小児科医員	金城 優美	一般小児科	日本小児科学会専門医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
アトピー性皮膚炎への早期介入	Moizerto Web Symposium	オンライン	2024年6月10日	崎原徹裕
食物アレルギーの臨床	第19期アレルギー大学(沖縄)	沖縄	2024年7月15日	崎原徹裕
アトピー性皮膚炎・食物アレルギーの予防と管理におけるスキンケア	女性薬剤師会講演会	沖縄	2024年10月22日	崎原徹裕
シンポジウム2 食物アレルギー発症予防：「早めに食べる」だけでは不十分	第61回日本小児アレルギー学会	名古屋	2024年11月2日	崎原徹裕
特別プログラムII「食物アレルギー診療はどこまで進んだか」発症予防：抗原摂取と湿疹への抗炎症治療	第25回食物アレルギー研究会	横浜	2025年2月9日	崎原徹裕
小児期の食物アレルギー発症予防戦略	宮城県食物アレルギーフォーラム2025	オンライン	2025年3月6日	崎原徹裕

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・項	発表者と研究者
Continuous cow's milk protein ingestion during infancy may promote casein-specific IgG4 production	Journal of Allergy and Clinical Immunology: Global	2024; 3: 100257.	Tetsuhiro Sakihara, et al.
Regular consumption following early introduction of allergenic foods and aggressive treatment of eczema are necessary for preventing the development of food allergy in children	Current Opinion in Allergy & Clinical Immunology	2024; 24: 160-165.	Tetsuhiro Sakihara
食物アレルギー発症予防戦略 UP TO DATE	アレルギー	2024; 73: 260-267.	崎原徹裕
0～2 歳児における卵白経口負荷試験プロトコル選択基準の有用性と安全性の検証	日本小児アレルギー学会誌	2024; 38: 435-443.	崎原徹裕, 金城優美, 古波蔵都秋, 安木大地

その他の著書

題名	雑誌名	掲載年・号・項	発表者と研究者
食物アレルギー発症予防 食物アレルギー診療ガイドライン 2021 以降の動向	アレルギーの臨床	2024; 44: 837-841.	崎原徹裕

年度総括

令和 6 年度の新生児を除いた小児科の総入院患者数は 782 人（前年度 586 人）であり、コロナ禍以前（約 500～600 人）の水準を超えました。入院患者の多くは 3 歳未満の乳幼児であり感染性疾患が大半を占めますが、食物アレルギーの経口負荷試験の入院数は 467 人（前年度 344 人）で入院全体の大半を占めています。出生新生児は 496 人でした（前年度 544 人）。小児科医は全出生児の出生時診察と退院時診察を行っており、産科医からの要請に応じてハイリスク分娩の立会いや 24 時間オンコール体制で新生児蘇生を行なっています。

外来業務では病院とクリニック小児科との役割分担を明確にし、病院小児科は慢性患者の定期フォローや紹介患者の受け入れを、クリニック小児科は発熱などの急性期患者の対応を行っています。今年度は病院小児科の外来患者数は 6,002 人（前年度 6,000 人）、このうちアレルギー外来 1,745 人（前年度 1,660 人）、予防接種 1,099 人でした。クリニック小児科の外来患者数は 7,790 人（前年度 9,559 人）、このうち予防接種は 855 人（前年度 1,007 人）でした。

日常診療と並行して臨床研究にも注力しています。2021 年に当科の主導で行った沖縄県内の乳児を対象とした多施設共同研究である「SPADE 試験」の研究成果を報告し、米国アレルギー学会の監修する学会誌に掲載され国内外で高く評価されました。本研究の知見は、2021 年 11 月に改訂された本邦の「食物アレルギー診療ガイドライン 2021」にも大きく掲載され、海外の離乳食ガイドラインにも影響を与えています。その後も SPADE 試験をベースにした追加の研究成果も海外雑誌に掲載され、大きなインパクトを与えています。今後も、地域医療支援病院ならではの観点から、臨床の現場へ情報を発信していくことを目標としています。

小児科部長 崎原 徹裕

心療内科

当科は医師 1 名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、身体疾患のため入院中の方のメンタルヘルストラブルの対応や相談なども行っています。なお、当科での入院治療は行っていない。

よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神経の治療を専門とする科ということになります。

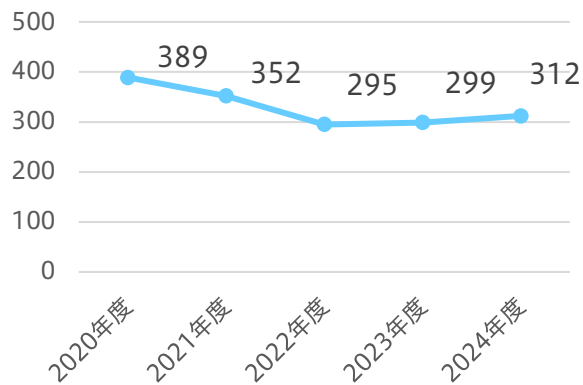
自律神経の機能がうまく調整できなくなる理由は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労、熱中症などさまざまです。近年は新型コロナウイルス感染症の後遺症としての自律神経失調症も増えている印象です。うつ病などの精神疾患や認知症が原因のこともあります。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないといわれたけど体調が悪いという方は、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれません。

医師プロフィール

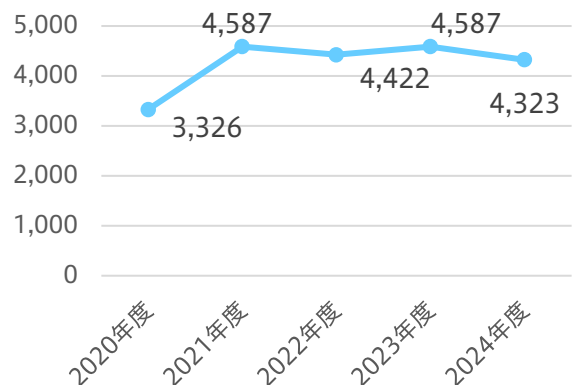
(2024 年 5 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
心療内科副部長	菅野 善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

心療内科への院内コンサルト件数



外来患者数推移



年度総括

心療内科を立ち上げて 15 年が経ちました。これまで、外来診療および他科と連携した診療を続けていましたが、院内・院外ともに紹介をいただくことが増え、外来は飽和状態になっています。

2024 年 2 月から新規患者の紹介をお断りしています。これまでご紹介いただきありがとうございました。

心療内科 菅野 善一郎

外科

医師プロフィール

(2024 年 5 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定
名誉院長	奥島 憲彦	消化器外科、食道外科、食道癌の内視鏡的治療、食道アカラシアの POEM 治療	日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会専門医 日本外科学会認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 日本食道学会認定医 日本医師会認定産業医
院長 患者総合支援センター長	西原 実	一般消化器外科、肝胆膵外科、ヘルニア外科、内視鏡外科、抗がん剤治療	Best Doctors in Japan 認定 日本外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本臨床外科学会評議員 日本肝胆膵外科学会評議員 日本ヘルニア学会評議員 日本コンピュータ外科学会評議員 日本外科病理学会評議員
外科部長	宮平 工	胃癌・大腸癌に対する手術治療、抗がん剤治療、各種消化器疾患に対する腹腔鏡手術	日本外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本内視鏡外科学会評議員
消化器外科部長 4 階病棟医長	花城 直次	一般外科、腹腔鏡下大腸切除術、食道癌の胸腔鏡下手術	日本外科学会専門医 日本外科学会認定医
消化管外科部長	比嘉 宇郎	一般外科、胃癌・大腸癌に対する手術治療	日本外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
大腸・肛門外科部長 医局長	阿嘉 裕之	肛門科・消化器外科、各種肛門疾患（痔核・痔瘻・裂肛・直腸脱・尖圭コンジロームなど）、便通異常などに対して注射療法	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
消化器外科副部長	加藤 滋	消化器外科（大腸）、腹腔鏡手術、ロボット支援下手術	日本外科学会外科専門医 日本外科学会外科指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科指導医 ダヴィンチ手術支援ロボットコンソール術者認定医
肝胆膵外科副部長	石野 信一郎	消化器外科（肝胆膵）	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
外科副部長	国吉 史雄	ヘルニア外科、胆道・膵外科、一般外科	日本外科学会専門医
	松尾 聖哉	一般外科	
	仲栄真 盛保 (非常勤)	血管外科	日本外科学会専門医 日本心臓血管外科学会専門医 日本脈管学会専門医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医

役職	氏名	専門分野	学会認定
	前田 達也 (非常勤)	血管外科	日本外科学会専門医 日本心臓血管外科学会専門医 胸部ステントグラフト実施医 腹部ステントグラフト実施医
	久田 正昭 (非常勤)	一般・小児外科	日本小児外科学会専門医 日本外科学会専門医 小児慢性特定疾病指定医 医学博士
	梁 英樹 (非常勤)	脾・胆道外科、消化器外科全般	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本乳癌学会認定医 検診マンモグラフィ読影認定医

検査・治療・手術実績

術式別一覧

手技	件数
食 道	19
食道悪性腫瘍手術	5
POEM 手術	10
食道癌 ESD	2
APC 焼灼術	2
胃	8
腹腔鏡下胃悪性腫瘍切除術	2
開腹胃悪性腫瘍手術	3
腹腔鏡下胃悪性全摘術	1
開腹胃悪性全摘術	1
腹腔鏡下胃良性腫瘍切除術	1
胆嚢・胆管	126
腹腔鏡下胆嚢摘出術	121
開腹胆嚢摘出術	1
腹腔鏡下胆管切開結石摘出術	1
開腹胆管切開結石摘出術	3
肝 臓	8
肝切除術	5
腹腔鏡下肝嚢胞開窓術	3
脾 臓	4
脾頭部十二指腸腫瘍切除術	3
脾体尾部腫瘍切除術	1
小 腸	18
開腹小腸切除術（悪性）	1
腹腔鏡下小腸切除術（悪性以外）	1
開腹小腸切除術（悪性以外）	2
腸閉塞症手術	14
虫 垂	45
腹腔鏡下虫垂切除術	44
虫垂切除術	1
結 腸	64
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	36
ロボット支援下結腸悪性腫瘍切除術	12
開腹結腸悪性腫瘍切除術	6
腹腔鏡下結腸良性腫瘍切除術	7
開腹結腸切除術	3

手技	件数
直 腸	60
腹腔鏡下直腸悪性腫瘍切除術	20
開腹直腸良性腫瘍切除術	1
直腸脱手術	12
直腸腫瘍摘出術	2
直腸ポリープ切除術	1
人工肛門造設術・人工肛門閉鎖術	24
肛 門	70
痔核硬化療法	40
痔核根治手術	14
痔核結紮術	2
痔瘻根治手術	12
肛門皮膚剥離術	1
肛門狭窄形成術	1
ヘルニア	97
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	79
鼠径ヘルニア手術	3
臍ヘルニア手術	4
腹壁瘢痕ヘルニア手術	11
胃 瘻	38
胃瘻造設術	38
その他部位	93
大網、腸間膜、後腹膜手術	2
大網、腸間膜、後腹膜手術（腹腔鏡）	1
リンパ節生検	9
体表の手術	2
CV ポート	48
腹腔鏡下急性汎発性腹膜炎手術	1
開腹急性汎発性腹膜炎手術	5
腹腔鏡下十二指腸潰瘍穿孔縫合術	7
胃腸吻合術	3
その他	15
計	650

（外来小手術は除く）

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 22 回日本ヘルニア学会学術集会	高齢女性に発症した鼠径ヘルニア嵌頓に対して LPEC を行った 1 例	新潟県	2024 年 5 月 23 日	国吉史雄、西原実、嵩原裕夫
	Occult hernia に対する LPEC			西原実、松尾聖哉、国吉史雄、嵩原裕夫
第 86 回日本臨床外科学会学術集会	Occult hernia に対する LPEC の長期成績	栃木県	2024 年 11 月 22 日	西原実、松尾聖哉、国吉史雄、石野信一郎、阿嘉裕之、比嘉宇郎、花城直次、宮平工、奥島憲彦、嵩原裕夫
第 37 回日本内視鏡外科学会総会	Occult hernia に対する LPEC の成績と手技	福岡県	2024 年 12 月 7 日	西原実、松尾聖哉、石野信一郎、加藤滋、阿嘉裕之、比嘉宇郎、宮平工、花城直次
第 137 回沖縄県医師会医学会総会	高齢者直腸癌術後の補助化学療法中に脳梗塞を発症した 1 例	沖縄県	2024 年 12 月 8 日	宮平工、国吉史雄、石野信一郎、加藤滋、阿嘉裕之、比嘉宇郎、花城直次、西原実、奥島憲彦
第 27 回 Needlelesscopic Surgery Meeting	短期間に Nuck 管水腫、外鼠経ヘルニア小腸嵌頓、内鼠経ヘルニアを発症し、手術を繰り返した 1 例	東京都	2025 年 2 月 7 日	西原実、国吉史雄、嵩原裕夫、松尾聖哉、森岡弘光、阿嘉裕之、比嘉宇郎、宮平工、花城直次、奥島憲彦

論文・著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
【鼠径部・腹壁瘢痕ヘルニア手術を極める - 直達手術から腹腔鏡・ロボット支援手術まで】 鼠径部ヘルニア LPEC 法 とくに成人外鼠径ヘルニアに対する Adv.LPEC 法	手術 (0037-4423)	78 巻 8 号 Page1269-1276(2024.07)	嵩原 裕夫
中結腸動脈瘤破裂による腹腔内出血に対し REBOA 導入後、開腹止血術を行った 1 例	日本腹部救急医学会雑誌 (1340-2242)	44 巻 5 号 Page753-755(2024.07)	石嶺 伝羽、宮平 工
緊急手術を行った小型胃 GIST の捻転・壊死の 1 例	日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)	86 巻 2 号 Page257-263(2025.02)	森岡 弘光 ほか
【これだけは押さえておきたい 鼠径部ヘルニア手術 - 組織修復法からロボット手術まで】 腹腔鏡下修復法 成人外鼠径ヘルニアに対する LPEC 法	臨床外科 (0386-9857)	80 巻 2 号 Page224-229(2025.02)	西原 実 ほか

世話人・座長

学会名	役割	開催地	発表年月日	発表者
第 11 回サマーセミナー in Okinawa	座長：一般口演 痔臓②	沖縄県	2024 年 7 月 6 日	石野信一郎
第 22 回日本ヘルニア学会学術集会	座長：関連地域研究会推薦演題 4	新潟県	2025 年 5 月 24 日	西原実

年度総括

2024 年度は名誉院長の奥島 憲彦（食道）、院長兼患者総合支援センター長の西原 実（ヘルニア・肝）、外科部長の宮平 工（胃・大腸）、消化器外科部長の花城 直次（胃・大腸）、消化管外科部長の比嘉 宇郎（胃・大腸）、大腸肛門科部長の阿嘉 裕之（大腸・肛門）、肝胆膵外科副部長の石野 信一郎（肝・胆・膵）、外科副部長の国吉 史雄（胆膵・ヘルニア）と、仲栄真 盛保（血管）、前田 達也（心臓、大血管）、久田 正昭（一般、小児外科）、梁 英樹（肝胆膵）各先生方のご尽力を頂き、外科診療を運営してまいりました。また、年度途中から常勤医として加藤滋（大腸・ロボット支援手術）が消化器外科副部長として加わりました。敬称略（カッコ内は専門領域）

手術件数は 650 件（外来小手術を除く）でした。手術術式別の症例数は、多い順に腹腔鏡下胆嚢摘出術 121 例、腹腔鏡下ヘルニア手術 79 例、CV ポート造設術 48 例、腹腔鏡下虫垂切除術 44 例、痔核硬化療法 40 例、内視鏡的胃瘻造設術 38 例、腹腔鏡下結腸悪性腫瘍手術 35 例でした。良性疾患のほとんどが腹腔鏡を用いた MIS (Minimal Invasive Surgery) で施行されていました。2024 年 8 月より、結腸癌に対してロボット支援手術を導入し、着実に症例を重ねています。

外科は手術だけでなく、消化器癌の化学療法や終末期の緩和医療も担当しています。初期研修医の指導はもちろん、琉球大学医学部学生の臨床実習も受け入れており、外科の魅力を伝えることで、外科医減少の歯止めに微力ながらも貢献できればと考えています。臨床や教育の合間には県内外での学会発表や論文投稿も積極的に行っています。さらに指導医クラスの医師は緩和ケアチーム、感染対策チーム、NST（栄養サポートチーム）、クリニカルパス委員会、化学療法委員会など各種委員会の中心メンバーとして病院全体の診療を影から支えています。

今後もより安全で質の高い医療を目指すだけでなく、最新の医療も提供すべく邁進してまいります。皆様方のますますのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

外科部長 宮平 工

整形外科

スタッフは、渡慶次学、川越得弘、琉球大学からのローテーター外間敦・中谷太・上江洲諒の 5 名です。琉球大学整形外科講座より、金曜日は関節外科 上原史成先生の応援を得ています。また、火曜日は屋良哲也先生に脊椎専門外来および手術、水曜日はじのん整形外科クリニックの新垣薫先生、木曜日はK A Z Uクリニックの新垣和伸先生に関節専門外来および手術等の御協力いただいています。渡慶次学・川越得弘は手の外科を担当し、上肢外傷、末梢神経絞扼障害等の手術を行っています。外間敦は膝関節を担当し、変形性膝関節症に対する骨切り術・人工膝関節置換術および関節鏡を用いた靱帯再建・半月板縫合術等の手術を行っています。中谷太・上江洲諒は一般外傷を担当し、整形外科医として研鑽を積んでいます。

医師プロフィール

(2024 年 5 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長 外来診療部長	渡慶次 学	手外科	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会認定手外科専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
整形外科部長	川越 得弘	手外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
整形外科医長	外間 敦	膝関節外科	日本整形外科学会専門医
	照屋 周		
	新垣 勝男	脊髄脊椎外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
	屋良 哲也	脊髄脊椎外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
	金城 英雄	脊髄脊椎外科	日本整形外科学会専門医
	新垣 薫	股関節外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
	新垣 和伸	膝関節外科 医学博士	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
	上原 史成	膝関節外科 スポーツ	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会認定スポーツ医 琉球ゴールデンキングスチームドクター 沖縄県サッカー協会医学委員 日本スポーツ協会公認スポーツドクター IOC diploma Sports Physician FC 琉球チームドクター
	東 千夏	関節リウマチ	日本整形外科学会指導医 日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会指導医 日本リウマチ学会専門医

論文・著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
体重 135kg の肥満患者に行った人工膝関節単顆置換術の 1 例	日本膝関節学会誌	2024 年 1 巻 2 号 260-261 頁	外間敦、比嘉浩太郎、上原史成

開催セミナー

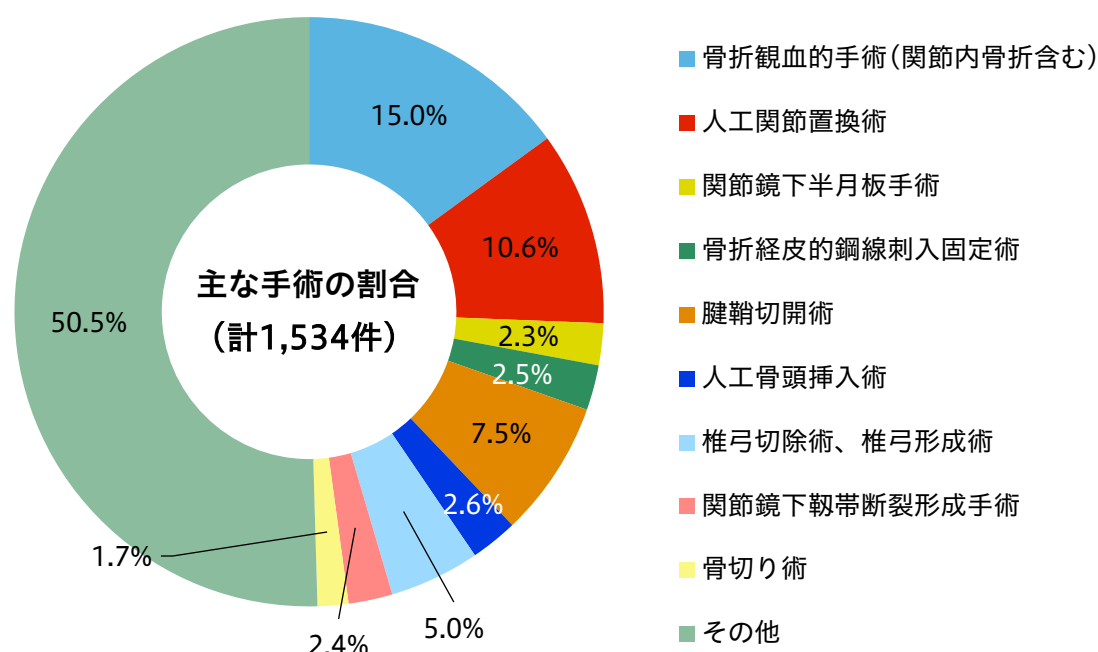
名称	講師	開催日
第6回ハートライフ病院エコーハンズオンセミナー ～医療サイエンスとアート～	城東整形外科 皆川 洋至 先生	2025 年 1 月 31 日

検査・治療・手術件数

主な手術一覧

部位・行為	件数
骨折観血の手術（関節内骨折含む）	248
人工関節置換術	176
関節鏡下半月板手術	38
骨折経皮的鋼線刺入固定術	41
腱鞘切開術	124
人工骨頭挿入術	43

部位・行為	件数
椎弓切除術、椎弓形成術	82
関節鏡下靱帯断裂形成手術	40
骨切り術	28
その他	835
合計	1,655



年度総括

2024 年度は昨年度よりさらに手術件数が増え、特に脊椎外科の手術が増加したため売り上げも増加しています。今年度は、若手医師が増えたため教育、サポート体制を構築しながら現在の診療体制を維持していきたいと考えています。

これからも、より安全に配慮しスポーツ外傷手術（前十字靱帯再建術・半月板縫合術）・変形性膝関節症手術（骨切り術・人工膝関節置換術）・脊椎外科・手外科疾患手術を継続していく予定です。

整形外科部長 川越 得弘

形成外科

当科の特徴は、形成外科専門施設として、難治性皮膚潰瘍、皮膚軟部組織腫瘍摘出術、巻き爪などの爪のトラブル、眼瞼下垂症やわきがなどの美容的手術のみならず、悪性腫瘍切除後の再建手術や四肢のリンパ浮腫、重度顔面外傷、重症熱傷などオールラウンドに形成外科的疾患に対応できるよう心がけていることです。特に近年急増する下肢難治性皮膚潰瘍に対する予防を含めた総合的な治療に力を入れております。今後も、ニーズに応じてますます発展させて形成外科治療で県民に広く貢献して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

施設認定など

- ・ 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実地基準による実地施設 認定証（登録番号 H00789）

医師プロフィール

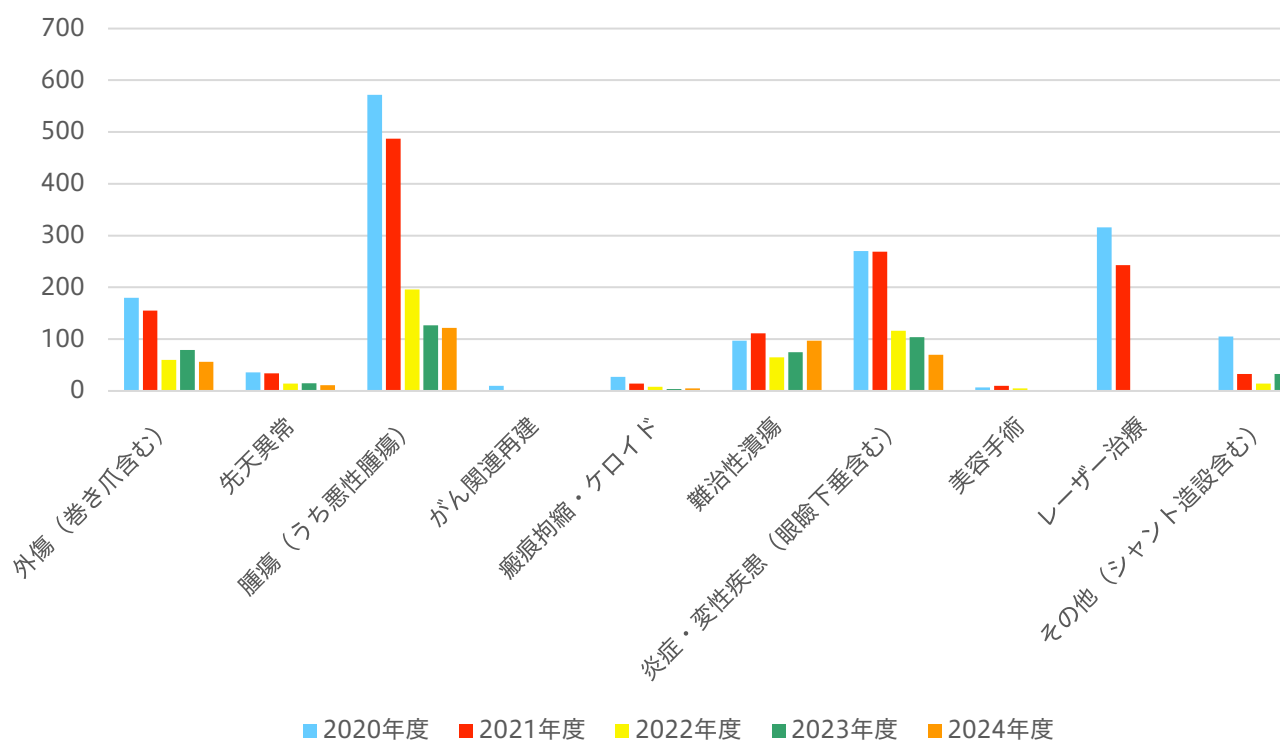
（2024 年 5 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
医長	立津 朝成	形成外科一般	日本形成外科学会専門医
非常勤	東盛 貴光	下肢難治性潰瘍、足の外科、広範囲重症熱傷、マイクロサージャリー、頭頸部癌・乳がんに対する再建術、レーザー治療、下肢静脈瘤、美容外科	日本形成外科学会専門医 日本形成外科学会領域指導医 日本形成外科学会熱傷分野指導医 日本形成外科学会創傷外科分野指導医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会指導医 日本レーザー医学会専門医 日本創傷外科学会専門医 日本乳房オンコプラスチックサージャリー 学会認定エキスパンダー・インプラント責任 医師 身体障害者福祉法指定医（肢体不自由） 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施認 定医 日本フットケア・足病医学会 九州・沖縄地 方世話人 日本褥瘡学会 九州・沖縄地方世話人

検査・治療・手術件数

検査・治療実績

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
外傷（巻き爪含む）	180	155	60	79	56
先天異常	36	34	14	15	11
腫瘍（うち悪性腫瘍）	572(19)	487(24)	196	127	122
がん関連再建	10	2	0	0	0
瘢痕拘縮・ケロイド	27	14	8	4	5
難治性潰瘍	97	111	65	75	97
炎症・変性疾患（眼瞼下 垂含む）	270	269	116	104	70
美容手術	7	10	5	0	0
レーザー治療	316	243	0	0	0
その他（シャント造設含む）	105	33	14	33	15
合計	1,620	1,358	478	437	376



年度総括

2022 年度より医長に就任いたしました立津と申します。当方のみ常勤となり 3 年が経過しました。形成外科の変化は大きくはないものの、形成外科に関わる看護師にリンパ浮腫特定看護師が増えたり、フットケア外来を新たに立ち上げたりと形成外科周囲の環境が変化してきました。

当院では特に足の難治性潰瘍に力を入れておりますが、フットケア外来を立ち上げることで潰瘍になってからの治療のみではなく潰瘍を作らないための予防まで行うことができる施設となっております。引き続き患者さんの健康寿命をのばすことを目標にしております。

しばらくは常勤医一人という状況です。他科へのご迷惑は今後もおかけしてしまいますこととなりますが、どうかご了承ください。

形成外科医長 立津 朝成

脳神経外科

主に脳卒中、外傷を中心に診療しております。発症早期の脳梗塞に対しては t-PA、血管内血栓除去術を行い患者さんの日常生活が保てるように努めております。脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対しては低侵襲な血管内治療を first choice としております。また、脳内出血に対しても神経内視鏡手術を導入して侵襲の少ない手術が可能となりました。今後も安全、安心の医療を提供できるようにスタッフと協力していく所存です。

医師プロフィール

(2024 年 5 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉 健次	脳卒中・脳外科一般	日本脳神経外科学会専門医

検査・治療・手術件数

名称	件数
急性硬膜下血腫除去	2
頭蓋内血腫除去	1
急性硬膜下血腫除去	2
慢性硬膜下血腫穿頭ドレナージ	16

名称	件数
脳出血開頭血腫除去	1
頭蓋形成術	1

年度総括

当院脳外科は主に脳卒中、外傷を対象に治療を行っております。

現在、脳外科医は 1 人体制になっていることで救急が制限されている状況です。当院で対応できる疾患、時間帯では救急を受け入れておりますが、それ以外の疾患に対しては速やかに近隣の医療機関へ紹介、搬送できる体制づくりをしております。何卒ご理解をよろしくお願いいたします。

脳神経外科部長 末吉 健次

眼 科

当科の特徴は、前眼部（角膜・結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、外来では一般的な眼科診療はもとより、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重症アレルギー性疾患や、細菌・真菌性角膜炎などの前眼部感染症の症例経験も豊富です。また円錐角膜や角膜移植後に用いる特殊なハードコンタクトレンズ処方も行っています（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病性網膜症などの網膜疾患や、緑内障に対する治療も行っています。緑内障や網膜疾患に関しては、必要に応じて琉球大学病院の専門外来と連携しており、患者さんにとって最適な医療を提供できるよう工夫しています。

手術は、白内障手術や翼状片手術をはじめ、年間約 15 件の角膜移植手術を行っており、表層角膜移植や角膜内皮移植といった角膜部分移植（パーツ移植）は、県内では当科のみが行っています。当科での手術は白内障や翼状片手術も含め、基本的に入院手術となりますが、患者さんの状況に合わせてご希望があれば、白内障の日帰り手術も行うことが可能です。近隣の眼科クリニックからも多数の患者さんをご紹介いただいております、皆様に安心して手術を受けていただけるものと思っています。

医師プロフィール

（2025 年 5 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
眼科部長	照屋 明子	一般眼科・角膜	日本眼科学会専門医
	愛知 高明	一般眼科・角膜	日本眼科学会専門医

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
眼感染、炎症、アレルギー学会 2024in 札幌 (第 60 回 日本眼感染症学会)	ヘルペスウイルス属角膜炎の臨床的特徴	北海道	2024 年 7 月 5 日	愛知高明、福岡秀記（京都府医大）、外園千恵（京都府医大）

論文・著書

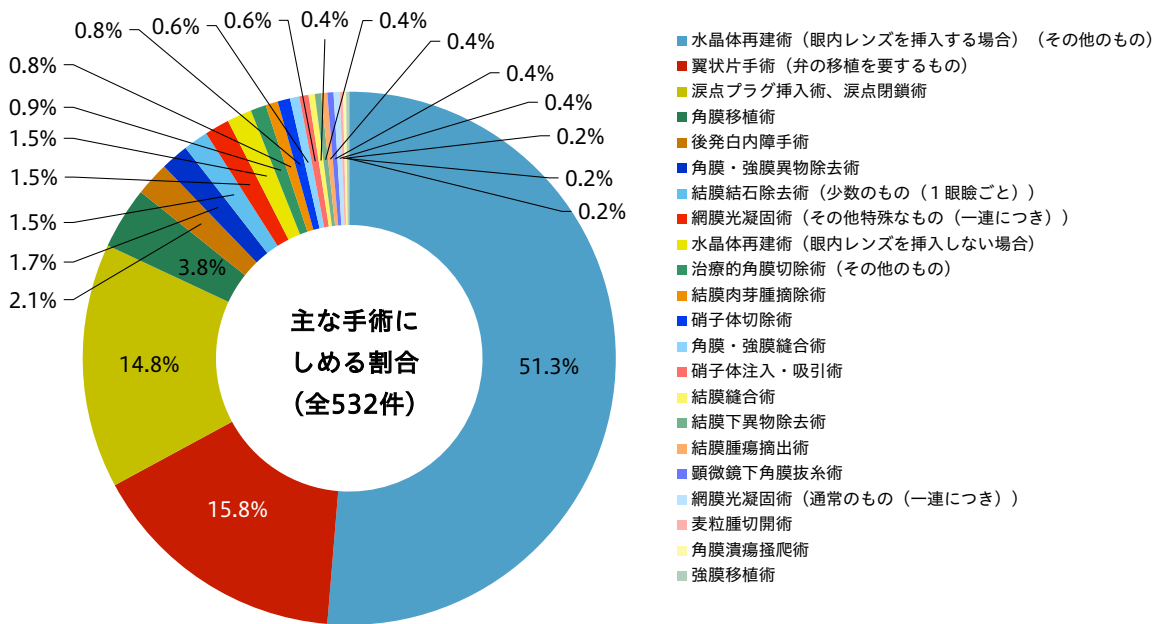
題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
Identification of risk factors for persistent corneal edema associated with acute corneal hydrops in keratoconus	Japanese Journal of Ophthalmology	2025 May;69(3):365-370	Aichi T, Kitazawa K, Sotozono C

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

名称	件数
涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	79
麦粒腫切開術	1
結膜縫合術	2
結膜結石除去術（少数のもの（1眼瞼ごと））	8
結膜下異物除去術	2
翼状片手術（弁の移植を要するもの）	84
結膜腫瘍摘出術	2
結膜肉芽腫摘除術	4
角膜・強膜縫合術	3
顕微鏡下角膜剥糸術	2
角膜潰瘍掻爬術	1

名称	件数
角膜・強膜異物除去術	9
治療的角膜切除術（その他のもの）	5
角膜移植術	20
強膜移植術	1
網膜光凝固術（通常のもの（一連につき））	2
網膜光凝固術（その他特殊なもの（一連につき））	8
硝子体注入・吸引術	3
硝子体切除術	4
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）（その他のもの）	273
水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	8
後発白内障手術	11
計	532



年度総括

2024 年度も引き続き当院では、白内障や緑内障、糖尿病網膜症などの一般眼科疾患から、角膜・結膜を中心とする前眼部疾患に至るまで、常勤医 2 名と大学からの外来応援医師による体制で診療を行っております。

角結膜疾患、特に角膜移植に関しては、2023 年度に引き続き、稲富勉先生（国立長寿医療研究センター眼科部長／京都府立医科大学眼科客員教授）に定期的にお越しいただき、角膜専門外来および手術執刀・指導をご担当いただいております。沖縄にしながら全国トップレベルの角膜診療を実現できていることは、当院にとって大きな支えであり、患者さんにとっても大きな福音となっております。

また、県内の各総合病院や琉球大学病院、さらには本島北部や離島の眼科クリニックとの地域連携も継続され、紹介患者さんへの対応も円滑に進めることができました。多くの医療機関からのご支援に改めて感謝申し上げます。

依然として外来の待ち時間には課題が残るものの、手術待機期間に関してはおおむね 1 ～ 2 ヶ月以内に対応可能な状況が維持されております。今後も診療の質のさらなる向上を目指し、患者様一人ひとりにって最適な医療を提供できるよう、スタッフ一同尽力してまいります。

眼科 愛知 高明

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は耳、鼻、咽頭、喉頭、頭頸部と幅広く、聴覚・嗅覚・味覚といった感覚器に加え、摂食嚥下、発声、呼吸といった重要な機能を取り扱っている診療科です。

医師プロフィール

(2025 年 5 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
耳鼻咽喉科副部長	赤澤 幸則	中耳炎、難聴、顔面神経、めまい	日本耳鼻咽喉科学会認定専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門研修指導医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医 日本耳科学会認定医 補聴器適合判定医 騒音性難聴認定医 医学博士
	照喜名玲奈	アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎	日本耳鼻咽喉科学会認定専門医

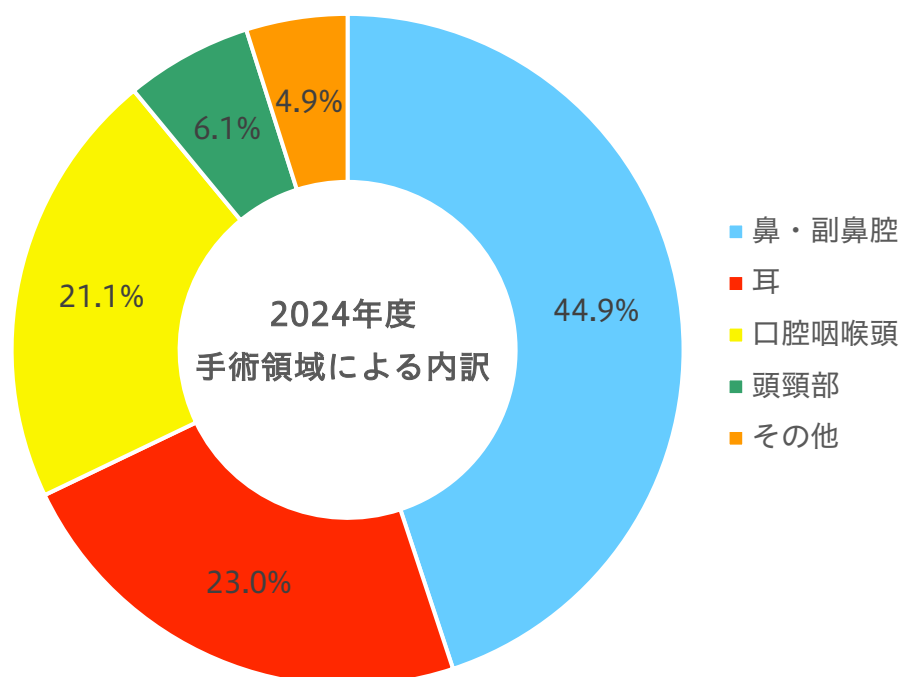
研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 第 149 回沖縄県地方部会総会・ 学術講演会	聞きとりづらさを感じて受診し た患者さんに対する診療マニ ュアルの活用について	沖縄県	2024 年 8 月 3 日	赤澤 幸則

診療実績

手術名		件数	手術名		件数
耳科手術	鼓室形成術（耳小骨温存術）	20	口腔咽喉頭手術	咽頭異物摘出術（簡単なもの）	1
	鼓室形成術（耳小骨再建術）	8		咽頭異物摘出術（複雑なもの）	3
	乳突削開術	7		唾石摘出術（表在性）	1
	鼓膜形成術	13		唾石摘出術（深在性）	1
	鼓膜穿孔閉鎖術（リテンパ®）	22		口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	1
	鼓膜切開術	12	頭頸部手術	顎下腺摘出術	1
	鼓膜チューブ挿入術	23		顎下腺悪性腫瘍手術	1
	先天性耳瘻管摘出術	2		耳下腺腫瘍摘出術（浅葉）	9
	外耳道異物除去術	5		耳下腺腫瘍摘出術（深葉）	6
外耳道腫瘍摘出術	1	耳下腺悪性腫瘍手術（全摘）		3	
鼻科手術	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅱ型	1		下顎骨悪性腫瘍手術（切除）	1
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型	23		甲状腺部分切除術	4
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅳ型	24		頸癭摘出術	2
	内視鏡下鼻腔手術 1 型（下鼻甲介手術）	73	甲状舌管嚢胞摘出術	1	
	内視鏡下鼻中隔手術 1 型（鼻中隔矯正）	54	頸部郭清術	2	
	後鼻神経切断術	38	その他	リンパ節摘出術	6
	鼻副鼻腔腫瘍摘出術	1		気管切開術	12
	鼻腔粘膜焼灼術（鼻出血止血）	5		気管切開孔閉鎖術	1
	経上顎洞的顎動脈結紮術	1		皮下腫瘍摘出術	1
	鼻前庭嚢胞摘出術	1		皮膚切開術	3
口腔咽喉頭手術	口蓋扁桃摘出術	92		創傷処理	1
	アデノイド切除術	3			
	喉頭ポリープ切除術(直達喉頭鏡による)	2			



年度総括

耳鼻咽喉科副部長の赤澤幸則と申します。令和 6 年度は、照喜名玲奈先生と 2 人体制で可能な限り地域の先生方からのご紹介に対応させて頂けたかと存じます。

私は耳科領域を専門としており、大学病院等より頭頸部腫瘍、鼻科、音声、嚥下の各専門医師による外来及び手術を可能としているため、耳鼻咽喉科のほぼ全領域を高いレベルで対応可能となっております。

平成 30 年度より、嚥下チーム（医師・言語聴覚士・看護師・栄養士・歯科衛生士）を立ち上げ、嚥下障害患者の回診などチームでの活動を開始いたしております。他科よりコンサルトされた入院患者を中心に、正確な嚥下機能評価及びそれに基づく適切なリハビリ指導を行って参りました。さらに令和 6 年度より、リハビリテーション科の上笹航先生も加わり中心となって頂いており、嚥下リハビリはより充実したものとなっております。

今後も地域医療支援病院として、他院ならびに他科の先生方からも患者さんをご紹介いただけるよう病診連携の維持に努めてまいります。できるだけわかりやすい説明を心がけ、それぞれの患者さんに合った医療を提供できることをモットーにし、本年度も入院患者数・手術症例数の増加を目指し、引き続き努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科副部長 赤澤 幸則

泌尿器科

2024年度は、常勤医として嘉川 春生、外来非常勤医師として琉球大学医学部腎泌尿器外科学講座から猪口 淳一 教授、木村 隆 講師、芦刈 明日香 講師、琉球大学医学部システム生理学講座の宮里 実 教授に応援をいただきました。外来患者数は毎月700人前後で推移しており、年間累計患者数は8,713人でした。

主な検査としては、膀胱ファイバーが年間165件。経直腸前立腺針生検が48件、(内前立腺癌は36件)。手術は経尿道的膀胱腫瘍切除術が19例、経尿道的前立腺切除術が4例と尿管ステント留置術102例を中心に実施しています。腎癌、前立腺癌の手術に関しては、琉球大学病院、中部徳洲会病院、南部徳洲会病院に紹介しています。前立腺癌に対するサイバーナイフ等放射線治療は南部徳洲会病院、南部医療センター、琉球大学病院へ紹介しており各病院と連携を取らせていただきながら治療にあたっています。

院内活動として2017年度から排尿ケア回診を実施しています。第二、第四金曜日の月2回、医師、排尿ケアチーム専任看護師、リハビリ、各病棟リンクナースで取り組んでいます。

医師プロフィール

(2024年5月時点)

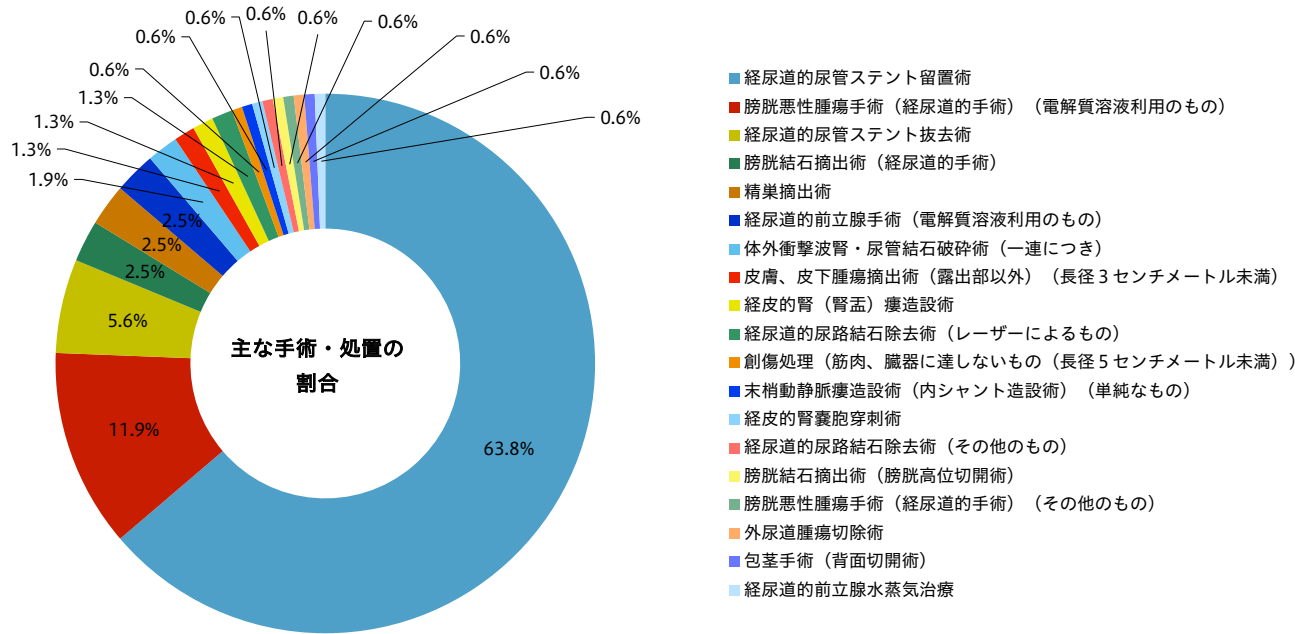
役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会専門医 日本透析医学会指導医
	宮里 実	泌尿器科一般、排尿、小児泌尿器科	日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本排尿機能学会認定医 日本小児泌尿器学会認定医 日本透析医学会専門医
	猪口 淳一	泌尿器系癌を専門としており、前立腺がんを得意としております。	日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器ロボット支援手術プロクター
	木村 隆		
	芦刈 明日香	女性泌尿器科(尿失禁・骨盤臓器脱など)、下部尿路機能障害	日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本泌尿器内視鏡学会技術認定医 日本排尿機能学会専門医

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 137 回日本泌尿器科学会沖縄 地方会	ハートライフ病院でのトリプ レット症例	沖縄県	2025 年 2 月 1 日	嘉川 春生

検査・治療・手術件数



年度総括

人口の高齢化が進む中、泌尿器科を受診される患者さんは年々増加の一途をたどっています。病診連携により患者さんの円滑な受け入れ、また逆紹介に取り組んで参ります。2024 年度は常勤医 1 人体制で業務に携わりましたが、琉球大学腎泌尿器外科からのサポートをいただきながら乗り切ることができました。

2024 年 8 月に手術支援ロボットが導入され外科と産婦人科で手術開始されています。当科では将来の手術開始に向けて準備中です。

泌尿器科部長 嘉川 春生

産婦人科

常勤医師 6 名、助産師 21 名、看護師 14 名、看護助手 5 名、クラーク 3 名の体制でした。産科領域では 36 週以降の分娩、婦人科領域では良性、悪性腫瘍の開腹、経腔、腹腔鏡手術 / 化学療法や緩和医療、不妊内分泌ホルモン療法、更年期の薬物療法等を行い、放射線及び体外受精以外の治療を幅広く行なっています。

医師プロフィール

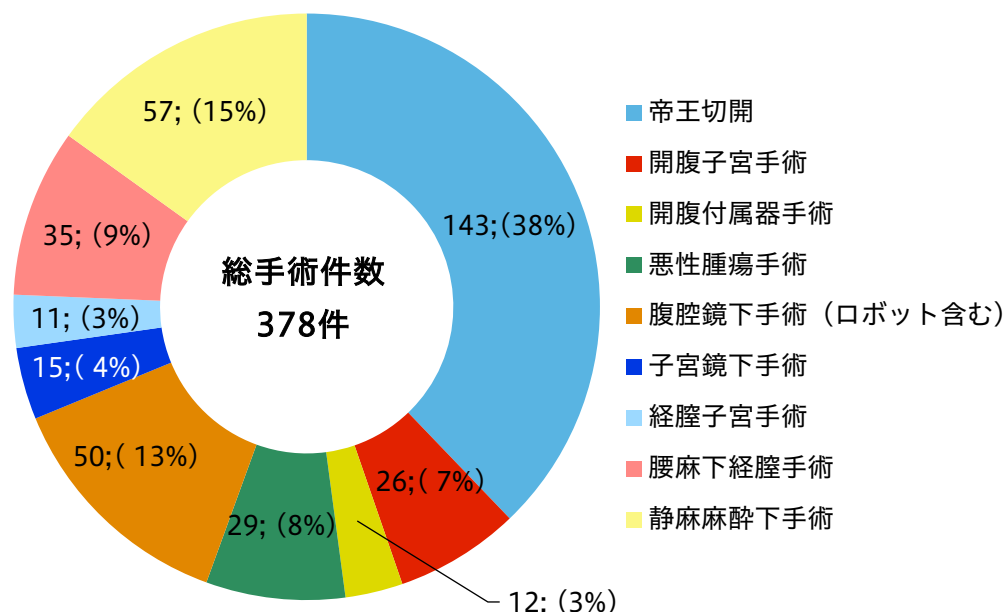
(2024 年 5 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定
産婦人科センター長 婦人科部長 産婦人科医長	武田 理	産婦人科全般、婦人科腫瘍、腹腔鏡下手術	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医・指導医 ダヴィンチロボットコンソール術者認定医
産婦人科部長 東館 4・5 階病棟医長	堀本 直幹	産科全般	
産婦人科医長	仲里 博恵	産婦人科全般	日本産科婦人科学会専門医 母体保護法指定医 検診マンモグラフィ読影認定医
産婦人科医長	宮崎 優樹	産婦人科全般	日本産科婦人科学会専門医
	渡名喜 望海	産婦人科全般	日本産科婦人科学会専門医
産婦人科専攻医	正元 真利子	産婦人科全般	
非常勤	大西 勉	産婦人科全般	日本産科婦人科学会専門医 母体保護法指定医
非常勤	當眞 真希子	婦人科	日本産科婦人科学会専門医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医
非常勤	比嘉 博香	一般産婦人科	日本産科婦人科学会専門医

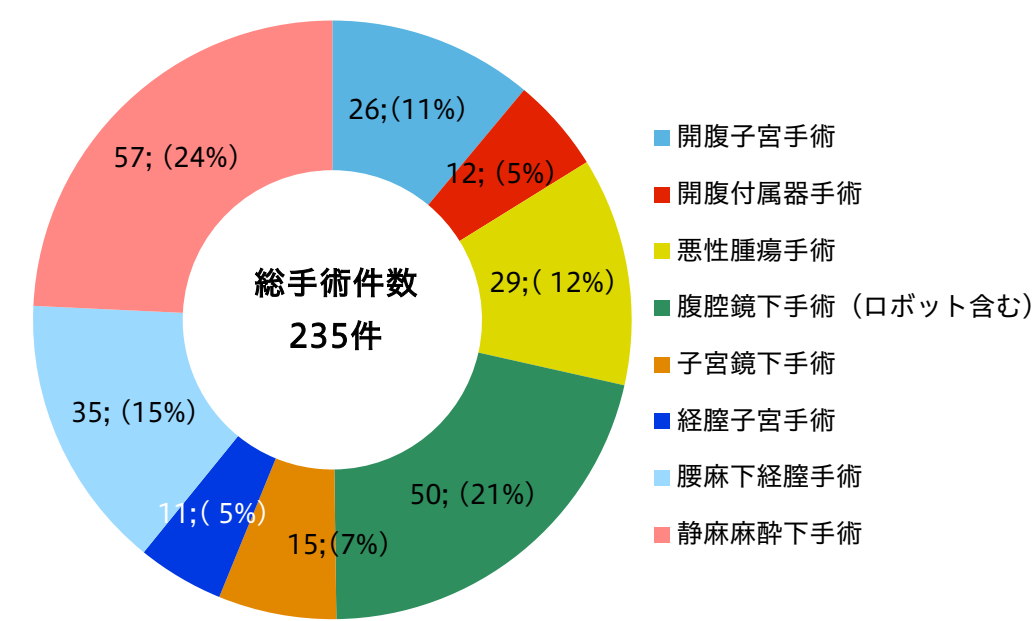
統計

総分娩件数 491 件（うち帝王切開術 143 件）

産婦人科手術



婦人科手術



研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 76 回日本産婦人科学会学術講演	巨大卵巣嚢胞性顆粒膜細胞腫の 1 例	神奈川県	2024 年 4 月 19 日 ～ 21 日	武田理、宮崎優樹、比嘉博香、堀本直幹、大西勉、金子侑暉
第 66 回日本産婦人科腫瘍学会学術講演会	子宮体部中腎様腺癌の 1 例	鹿児島県	2024 年 7 月 18 日 ～ 20 日	武田理、宮崎優樹、比嘉博香、堀本直幹、大西勉、金子侑暉、青山肇
第 58 回沖縄産科婦人科学会学術集会	ホルモン療法により進行を抑制しえた低異型度子宮内膜間質肉腫の 1 例	沖縄県	2024 年 9 月 29 日	武田理、宮崎優樹、比嘉博香、堀本直幹、仲里博恵、大西勉、渡名喜望海、青山肇

年度総括

産科は前年度から 60 件分娩数減少。帝切は 40 件減少。産婦人科医師、病棟スタッフ減少によりマンパワー不足で予め計画した分娩数の制限が要因と思われます。今年度は制限上限枠を増やして少なくとも一昨年度の分娩数まで回復増加を図る予定です。

婦人科では昨年度 196 件から 235 件と増加。婦人科疾患が増加したのは要因不明ですが昨年度と比較し内視鏡手術が飛躍的に増加していました。ロボット手術の導入と内視鏡手術の得意なスタッフの加入、技術認定医習得へのモチベーションがトレーニング参加や技術の向上につながり、結果症例の増加につながったものと考えます。

昨年度の患者減少を今年度はすみやかに回復して収益増加を図りたいと考えておりますが何よりマンパワーが必要です。今年も宜しくお願いします。

産婦人科センター長 兼 婦人科部長 武田 理

放射線科

放射線科の診療はCT、MRI、RI（ラジオアイソトープ）、マンモグラフィー等の検査内容の指示、診断、検査報告書作成など画像のみを扱う分野と、画像支援で治療を行うIVR（血管内治療）が主な業務内容になっております。IVRには肝動脈化学塞栓療法などの待機的治療から、出血に対する血管塞栓術など緊急を要する治療も他科と連携しながら行っています。

医師プロフィール

（2024年5月時点）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科部長	高良 誠	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 日本医学放射線学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医
	儀間 ゆりか	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 日本核医学会核医学専門医 日本核医学会PET核医学認定医 検診マンモグラフィ読影認定医
	杉江 翼		日本放射線学会専攻医

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第137回沖縄県医師会医学会総会	頭部MRIの多発性信号変化で鑑別を要した痙攣後脳症の一例	沖縄県	2024年12月8日	杉江翼

各種検査・治療件数と推移一覧

医療技術部 放射線科のページに業務実績を掲載しております。

年度総括

2024年度のCT、MRIの件数は、前年度と比較してやや増加しました。

RIも持ち直しており、全体としては減少傾向にあるものの、他の検査では代用できない特性もあるため、引き続き放射線科として広報活動に努めてまいります。

マンモグラフィーは前年度よりやや減少しています。

IVRの件数については年度によるばらつきがあるものの、概ね大きな変化は見られませんでした。

2024年度は常勤3名体制によりダブルチェック体制を強化し、至急読影やIVRにも対応してまいりました。

今後も放射線科医と放射線科スタッフが連携し、各診療科の要望に応えられるよう、より良い診断と治療の提供に努めてまいります。

放射線科部長 高良 誠

麻酔科

医師プロフィール

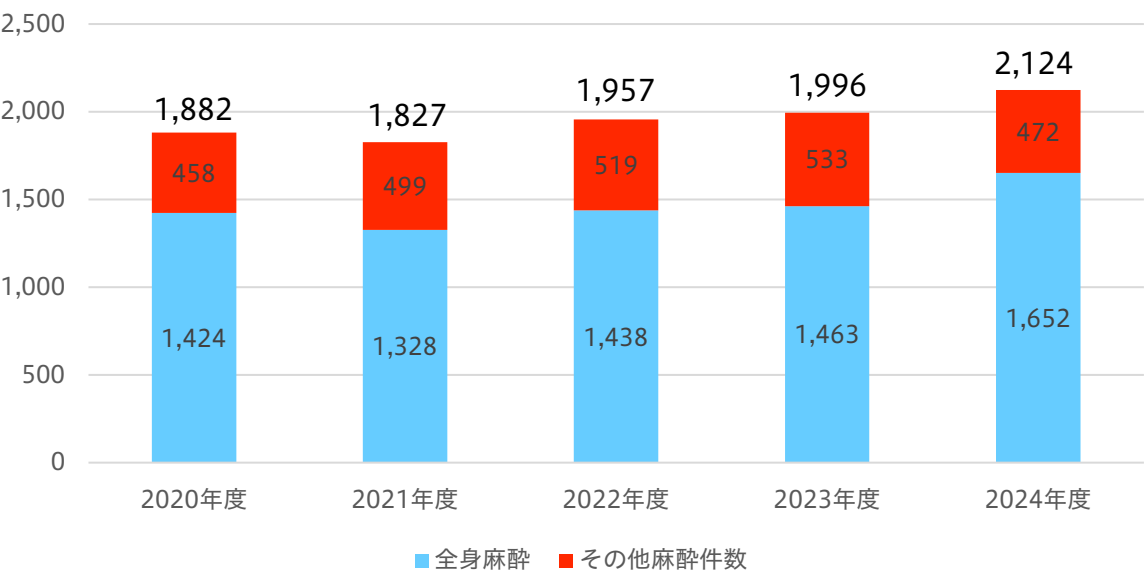
役職	氏名	専門分野	学会認定など
麻酔科部長 ICU 診療部長	島袋 泰	一般麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医 日本麻酔科学会指導医 麻酔科標榜医
手術室部長 副医局長	釜野 武志	一般麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医 日本麻酔科学会指導医 麻酔科標榜医
麻酔科副部長	嘉手苺 由梨	一般麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医 麻酔科標榜医
医師	太田 沙也加	一般麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医 麻酔科標榜医
医師	平良 志子	一般麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医 麻酔科標榜医
麻酔科相談役	久場 良也	集中治療・麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医 日本麻酔科学会指導医 麻酔科標榜医 日本集中治療医学会専門医

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
九州麻酔学会第 62 回大会	起坐呼吸を呈した低心機能透析患者のシャント造設術に対し半坐位で腕神経叢ブロックと鎮静による麻酔管理を行った一例	福岡県	2024 年 9 月 7 日	平良志子、久場良也、釜野武志、太田沙也加、嘉手苺由梨、島袋泰
九州麻酔学会第 62 回大会	重傷心不全患者の大腿切断術を区域麻酔中心に管理した 1 症例	福岡県	2024 年 9 月 7 日	釜野武志、平良志子、太田沙也加、久場良也、嘉手苺由梨、島袋泰
日本臨床麻酔学会第 44 回大会	巨大ブラを合併した右上腕骨頸部骨折患者で陽圧換気を避け区域麻酔中心に麻酔管理を行った 1 症例	東京都	2024 年 11 月 21 日	釜野武志、太田沙也加、久場良也、島袋泰

麻酔件数推移



年度総括

2024 年度の麻酔管理件数は 2,124 件（前年 6.4% 増）、全身麻酔管理件数 1,652 件（同 12.9% 増）と大きく増加しました。太田医師および平良医師の産休で人員が減少し、琉球大学麻酔科の応援派遣が増えたとはいえ、残りの常勤麻酔科医師への負担が極めて大きい 1 年でした。2024 年 10 月からはロボット支援腹腔鏡下手術、いわゆるダビンチ手術が始まり、軌道に乗るまでの負担も大きかったです。安全を保つぎりぎりのラインで手術室運営を行わざるを得ず、危ない状況です。そのような中でも患者個々の病状や状態に合わせたいわゆる「オーダーメイド」麻酔を心がけ患者の安全を保つように努力しています。手術室外でも前年度まで同様、covid-19 患者を含めた困難患者の挿管を散発的に受けています。手術室運営が極めて多忙であるため、手術室外の仕事はほとんどできていません。

麻酔科関連学会に参加・発表を行い、レベルの高い周術期管理を実践できるよう日々研鑽しております。忙しい中 2024 年度はなんとか 3 題発表を行えました。今後も現地ハンズオンセミナーには定期的に参加する必要がありますし、可能であれば発表も継続します。その際、手術制限をしていきます。

手術室が受けることが可能な手術件数を大幅に超える手術希望があり、今後もこの状況が続くと慢性的に手術室スタッフへ負担がかかり、手術室運営が一気に崩壊する直前まで来ています。食道外科、歯科口腔外科も開設され、那覇市立病院小児外科佐辺医師の外来も始まる状況では、すべての手術希望が通るはずはありません。各科の中での調整、各科同士の調整も手術室に投げるのではなく手術室を使う医師自分たちで行う時期に来ているのではないのでしょうか。

安全で効率的な手術室管理へのご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

手術室部長 釜野 武志

血液浄化部

2024 年度の人員体制は、医師 5 名、嘉川 春生、比嘉 健介 医師（毎週金曜日午前）、佐久川 廣 顧問（毎週水曜日午前）、安里 哲好 理事長（月 2 回木曜日午前）、小原 正也 医師（毎週土曜日）、CE が 7 名、看護師が 22 名、看護助手が 4 名、医事課が 1 名、医師事務作業補助係が 3 名でした。透析室のコンソールは 57 台（内個室 2 台）で、外来維持透析の患者さんは 146 名でした。

患者さんの数ですが、月水金は午前 55 名、午後（14 時から 18 時）9 名、夜間（16 時から 21 時）27 名の 3 クールでした。火木土は午前 55 名の 1 クールですが、午後はコロナの陽性または濃厚接触の患者さんの隔離透析にあてました。感染対策を万全に行い透析室内でのクラスターの発生はありませんでした。これまでの取り組みとして末梢動脈疾患に対してフットチェック実施してきました。それに加えて、腎臓リハビリテーションとして透析中の運動療法にも本格的に取り組みを始め患者さんの QOL の向上を図っています。

ICU、HCU 等での血液浄化療法として CHDF、白血球除去療法（GCAP、LCAP）、LDL 吸着、エンドトキシン吸着（PMX）、腹水ろ過濃縮療法（CART）、自家末梢血幹細胞移植（PBSC）等 183 件実施しました。

医師プロフィール

（2024 年 5 月時点）

役職	氏名	専門分野	学会認定
理事長	安里 哲好	循環器疾患、生活習慣病・禁煙外来	日本循環器学会専門医 日本透析医学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医
顧問	佐久川 廣	肝炎、肝硬変、肝癌、B 型および C 型慢性肝炎の治療	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
血液浄化部長 泌尿器科部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本透析医学会指導医 日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会指導医
ハートライフクリニック 糖尿病内科副部長	小原正也	糖尿病、内分泌	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医 日本糖尿病学会専門医 日本糖尿病学会研修指導医 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 日本内分泌学会内分泌代謝科指導医 日本骨粗鬆症学会認定医 日本医師会認定産業医 医学博士
	比嘉建介		

研究業績

学会発表

学会名	開催地	発表年月日	参加
第 69 回日本透析医学会学術集会	神奈川県	2024 年 6 月 7 日～ 6 月 9 日	嘉川 春生
第 35 回日本サイコネフロロジー学会学術集会	福島県	2024 年 7 月 27 日～ 7 月 28 日	嘉川 春生
第 5 回フットケア・足病医学会学術集会	兵庫県	2024 年 11 月 29 日 ～11 月 30 日	嘉川 春生

活動実績

エコー下穿刺の実績

- ・ 3 名の看護師が技術を習得する
- ・ 年間 139 名実施
- ・ エコー下穿刺件数 2419 件

腎臓リハビリテーション実績（透析時運動指導等加算）

10 月から開始 5 名実施 年間件数 70 件

年度総括

2024 年度、医師、CE、看護師、助手、医事課、メディカルクラーク全員で協力して業務にあたりました。

特にメディカルクラークは昨年度より人数も増え 3 人体制となり、さらにタスクシフトが進められ業務の効率化が図られました。

当院の透析患者さんの平均年齢は 70 歳を超え年々高齢化が進行しています。これまで同様、患者さんに寄り添いながら多職種連携で安心、安全な透析療法の提供を心掛けて業務を進めて行きます。透析看護認定看護師の育成や各種研修への参加を推奨しスタッフのスキルアップを目指しています。

これからもより良い透析療法を目指してスタッフ一丸取り組んでまいります。

血液浄化部部長 嘉川 春生

口腔ケア科

概要・実績

2017 年（平成 29 年）4 月より診療科を立ち上げ 7 年目を迎えました。月曜～金曜日まで非常勤医師・歯科衛生士により、周術期患者や化学療法患者を対象としたケア中心の診療を行ってまいりました。次年度より歯科口腔外科を開設予定です。

職員数

歯科医師（非常勤） 5 名 歯科衛生士 2 名

医師

氏名	専門分野	学会認定
村橋 信	口腔外科一般、顎関節症 摂食嚥下	日本口腔外科学会専門医 日本顎関節学会認定医 リハビリテーション学会認定医
井手 健太郎	口腔外科一般	日本口腔外科学会認定医
伊佐 美歌奈	口腔外科一般	日本口腔外科学会専門医
村橋 佳代子	口腔外科一般	日本口腔外科学会認定医
徳知 秀祐	口腔外科一般	

歯科衛生士

氏名	認定
仲山 綾子	歯科衛生士
當山 あすか	歯科衛生士

診療実績

診療科別患者数

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
延患者数	1,111	1,216	1,944	1,521	1,960
月平均患者数	93	101	162	127	163
1 日平均患者数	15	13	16	17	16
日当点（円）月平均	10,036	11,494	11,027	12,032	12,569

5 年間の推移

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
周術期 I 280	44	46	76	85	101
周術期 I 190	7	2	7	1	1
周術期 II 500	204	330	562	565	632
周術期 II 300	41	28	38	84	63
周術期 III 200	211	226	157	101	47
周術期 IV					82
パノラマ X 線撮影	405	424	857	881	969
歯科衛生実施指導料1	791	1,000	1,175	1,192	1,474

年度総括

当科では、手術後に発生しやすい誤嚥性肺炎などの合併症予防や、化学療法・緩和ケアを受ける患者における口腔内トラブルの軽減と予防を目的に、口腔内ケアを中心とした診療を行っています。

手術に関連して口腔内に問題が認められる場合には、主治医や麻酔科医と情報を共有し、術中に歯牙欠損が生じないように努めてまいりました。さらに、術後においても歯科医師と歯科衛生士が協働して患者の回診を行い、個々の状態に応じた継続的な口腔ケアを実施しています。

また、本年度より、ICU や HCU に入院中の重症患者に対して、リハビリテーション科医師、理学療法士、栄養士、薬剤師、歯科衛生士を含む多職種チームで連携し、早期からの経口摂取の開始と低栄養の予防に取り組んでいます。これらの活動を通じて、患者一人ひとりの生活の質（QOL）の向上に貢献できるよう努めています。

2023 年度より開始している新人看護師教育の一環として、口腔管理に関する教育も継続しています。周術期の合併症予防にとどまらず、入院中患者の口腔ケア方法や義歯の取り扱いについても学び、実践を通して高い看護の質を提供できるよう取り組んでいます。

2025 年度には「歯科口腔外科」の設置が予定されており、今後も中南部東海岸側全体で口腔内の包括的な治療とケアを担える体制の強化を目指してまいります。

外来師長 米須 智子

救急総合診療部

コロナ禍で一時的に増加した救急搬送件数は、現在では地域本来の水準に落ち着いてきました。しかし「救急搬送は断らない」という方針のもとで運営されている一方、脳神経外科の夜間・休日対応が困難となった影響により、「突然の片麻痺」だけでなく、「意識障害」「けいれん」「飲酒後の転倒・頭部外傷」なども不応需と判断する症例が増加し、不応需率は脳神経外科が2名体制であった時期と比較して高止まりしています。そのため、救急搬送件数は微増にとどまっています。

医師の働き方改革に加え、脳神経外科医の集約化と地域偏在が進むなかで、中北部における脳外科救急体制を維持するには、まずは一旦当院で診察を行い、そのうえで適切な施設への二次転送を行うシステムの定着が必要です。当直を担当いただく先生方にはご負担をおかけしますが、地域の救急医療を支えるため、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

2022 年度に初開催した「おきなわ子どもメディカルラリー」は、2023 年 9 月に第 2 回をイオンモール沖縄ライカムで、そして第 3 回は 2025 年 2 月 23 日に当院敷地内で開催し、県外からも多数の医療スタッフにご参加いただき、大変盛況となりました。また、進路に悩む本気の高校生を応援し、医療従事者の魅力に気づいてもらう試みとして、高校生を対象とした「医療体験実習」も昨年度に引き続き、2023 年夏に 1 クール 4 名×3 週間（4・5 日間）の 12 名の高校生の実習を引き受けることができました。

医師の確保は「待っていても実現しない」時代です。病院の名前、部署、部門の名前を地域だけでなく、県内、県外に知ってもらうことで「ここで一緒に働きたい」と思ってもらえる医療人が増えることを期待し、今後も広報活動に力を入れてまいります。

医師プロフィール

（2024 年 5 月時点）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
救急総合診療部救急部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、病院前救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会循環器内科専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 日本 DMAT インストラクター 統括 DMAT 登録者 JMECC インストラクター ICLS インストラクター MCLS インストラクター MCLS CBRNE インストラクター 日本心臓核医学会評議員 心臓リハビリテーション指導士 病院前救急統括体制認定機構認定民間メディカルコントロール医師 沖縄県災害医療コーディネーター 中部地区 MC 協議会 運営委員
救急総合診療部 シニア・アドバイザー（SA）	銘苅 正		日本医師会認定産業医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
外傷のあるショック患者では内因性だけでなく高エネルギー外傷を考慮する必要がある	第 28 回日本救急医学会九州地方会	鹿児島県	2024 年 6 月 15 日	三戸 正人
病院敷地内と大型ショッピングモールでのこどもメディカルラリーを運営して	第 27 回日本臨床救急医学会総会	鹿児島県	2024 年 7 月 18 日	三戸 正人
ランチョンセミナー「心電図伝送による水際戦略のカギ」	第 64 回 日本心血管治療インターベンション治療学会 関東甲信越地方会	東京都	2024 年 10 月 11 日	三戸 正人
こどもメディカルラリー開催を通して病院と消防、院内部署間の距離は近くなる	第 52 回日本救急医学会総会・学術集会	宮城県	2024 年 10 月 10 日～14 日	三戸 正人
放火された熱傷、刺創の被害者、火傷した加害者のいる現場へのドクターカー出動経験	第 52 回日本救急医学会総会・学術集会	宮城県	2024 年 10 月 10 日～14 日	松波 尚典、三戸 正人
能登半島地震での病院避難ミッションの実際	第 30 回日本災害医学会総会	愛知県	2025 年 3 月 6 日	三戸 正人
災害対応にも臨床推論が必要だ	第 30 回日本災害医学会総会	愛知県	2025 年 3 月 6 日	三戸 正人
DMAT 業務調整員、病院救命士としての経験を活かした能登半島地震における JMAT 活動	第 30 回日本災害医学会総会	愛知県	2025 年 3 月 6 日	森元 一晟、三戸 正人

その他の活動実績

ハートライフ病院 院内災害対策訓練

	日時
机上訓練	2024 年 11 月 8 日
実働訓練	2024 年 11 月 15 日

ドクターカー連携訓練

名称	日時
消防主催 東部消防主催 多数傷病者対応訓練	2024 年 6 月 25 日～27 日
島尻消防主催 ドクターカー連携訓練	2024 年 10 月 24 日～25 日
ASTRO CUP (ロープを用いた救助技術競技大会)	2024 年 11 月 25 日
ハートライフ病院主催 多数傷病者事案・ドクターカー連携訓練 (中北消防)	2025 年 1 月 31 日

救急症例検討会

名称	参加人数	日時
第 51 回救急症例検討会	消防 95 名、院内職員 20 名 115 名 情報交換会 72 名	2024 年 5 月 17 日
第 52 回救急症例検討会	消防 72 名、院内職員 23 名 計 95 名	2024 年 8 月 23 日
第 53 回救急症例検討会	消防 60 名、院内職員 15 名 計 75 名	2024 年 11 月 29 日

おきなわ子どもメディカルラリー

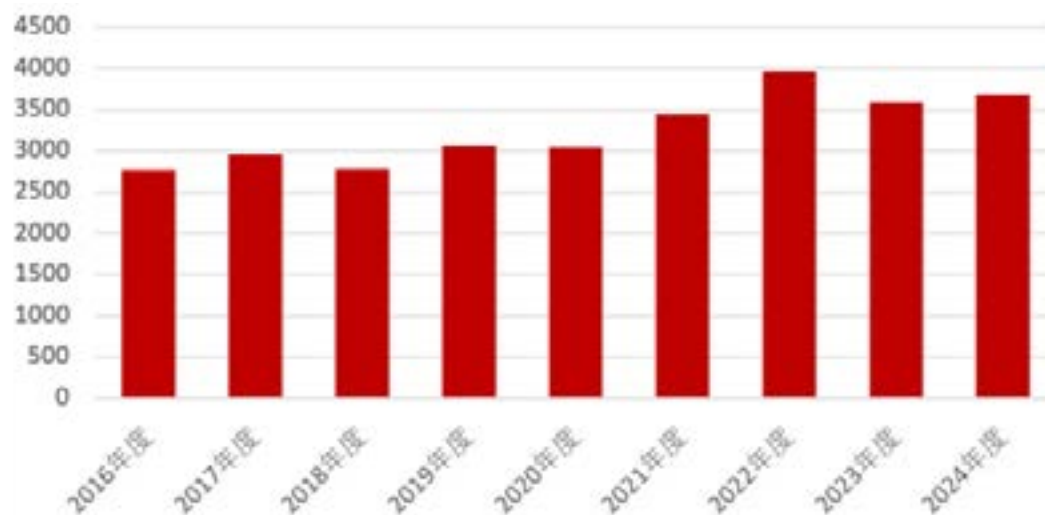
名称	参加人数	日時
第 3 回おきなわ子どもメディカルラリー	ラリー参加小学生 36 名 運営スタッフ (院内 52 名、院外 86 名) 90 名 合計 126 名 + 保護者、見学者	2025 年 2 月 23 日

院内メディカルコントロール（MC）体制

2021 年 10 月、救急救命士法の法改正があり、「病院若しくは診療所への搬送のため重度傷病者を救急利用自動車等に乗せるまでの間、又は重度傷病者が病院若しくは診療所に到着し当該病院若しくは診療所に入院するまでの間」と救急救命処置が行える場所が拡大しました。病院救命士が上記条件で活動するためには、院内メディカルコントロール体制と、「指示・指導・助言」が行える必要性があり、院内 MC 委員会を立ち上げ、院内二次検証体制を確立し、運営を始めています。

実績

救急搬送件数



2021 年度の救急搬送件数は 3,444 件、2022 年度は過去最高の 3,963 件となり、コロナ禍による一時的な増加が見られました。しかし 2023 年度は 3,589 件と、前年度比で約 10% の減少となりました。この背景には、昨年度の年報でも報告したように、当院における急性期脳梗塞患者への血管内治療が困難となったことが大きく影響しています。その結果、脳出血を含む脳卒中が疑われる症例だけでなく、発症初期で脳卒中を否定しきれないような麻痺や意識障害の症例についても、受け入れが難しくなり、搬送不応需となるケースが増加しました。さらに、近隣に救命救急センターである浦添総合病院が移転してきたこともあり、重症度・緊急度の高い患者は他院へ搬送される傾向が強まりました。

一方、2024 年度は 3,683 件と、前年比で約 100 件の増加が見られました。この数値が維持されているのは、「救急搬送を断らない」という当院の使命にご理解を示し、ご協力くださっている各科の当直医の先生方、そして緊急入院を快く引き受けてくださる病棟看護師の皆様のご尽力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

しかしながら、2024 年度から本格的に施行された「医師の働き方改革」の影響により、これまで沖縄県の強みとされてきた「断らない救急」体制が揺らぎ始めています。県内 3 か所の救命救急センターは、高度急性期医療への移行を進める中で、高齢者や手術適応のない患者の受け入れを断る例が増加しており、患者のたらい回しや搬送困難も生じ、地域住民に対して安心・安全な医療提供が難しくなりつつあります。

地域の医療崩壊を食い止めるために、当院救急部としては、すべての救急患者を一旦引受け、初期治療を行い、手術や当院で根本治療が困難な患者さんへは、適切な医療機関への二次転送を行うことを今後の

目標としていきたいと考えています。

当院が救急搬送を断れば、より遠方に搬送されるため患者さんが重症化する恐れがあることや、地域から傷病者を乗せた救急車と救急隊が不在になり、その地域の助けられるはずの救急患者、重症患者を失うことにつながるということを共通認識としてご理解いただけているからと考えております。「まず受け入れ」「安定化した後、必要に応じて二次転送」という当院 ER の方針を今後もご協力をよろしくお願いいたします。

ドクターカー出動件数

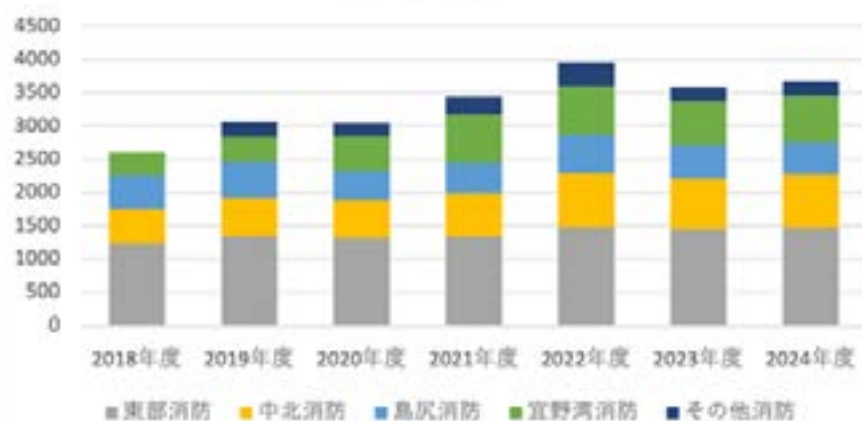


2024年度は、計353件のドクターカー出動要請に対応し、昨年度から90件の増加となりました。そのうち現場要請は100件で、前年に比べて10件増加しています。

一方で、ドクターヘリと併用してドクターカーを運用している救命救急センターの移転に伴い、これまで当院に要請されていた地域の急病患者に対し、当院ドクターカーが呼ばれないケースが増加しています。この傾向は今後も続く予想され、現場への出動件数は年間100件程度にとどまる可能性があります。

また、令和6年度の診療報酬改定により、救急搬送患者を3日以内に連携病院へ二次転送した場合、「救急患者連携搬送料」として保険点数が算定されるようになりました。この制度変更を受けて、救急車型ドクターカーを用いた転院搬送は、2023年度の48件から2024年度は102件へと、2倍以上に増加しました。今後もさらなる増加が見込まれることから、救急車型ドクターカーで緊急走行が可能な病院救命士の増員が必要と考えられます。

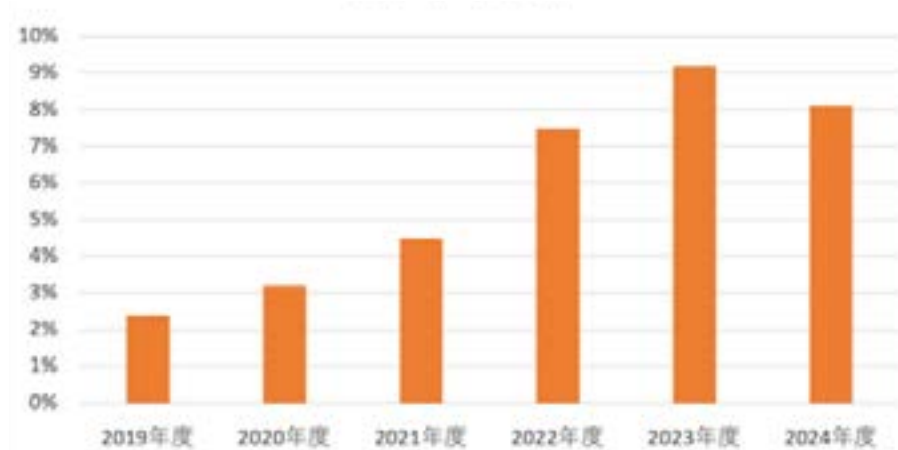
消防別搬送件数



当院は東部消防・中北消防・宜野湾市消防・島尻消防の4消防から94%の救急搬送を引き受けています。東部消防・中北消防・宜野湾市消防さんからの搬送件数は微増でしたが、コロナ禍が終わり、島尻消防からの搬送件数は約30件の減少がありました。

2024年1月に浦添総合病院が浦添市前田に移転したことで、東部消防西原分署管轄の救急搬送、重症患者の搬送も減少しており、脳神経外科救急を引き受けられる体制確立と維持が急務だと思われます。

救急不応需率



当直担当医の減少に加え、2022年10月から週末の脳神経外科救急オンコール体制が休止となり、さらに2023年4月からは平日夜間のオンコール体制も休止となったことで、2023年度の救急搬送における不応需率は過去最悪の9.2%に達しました。

しかしながら、2024年度は当直医の先生方のご尽力により、不応需率は8.1%まで低下しています。ご協力いただいている医師の皆様にご心より感謝申し上げます。

救急総合診療部では、当直医の支援として「夜間脳外科救急対応マニュアル」の整備や、南部医療センターの脳卒中担当医との画像相談システムの構築に取り組んできました。これらの取り組みが徐々に効果を上げていていると感じていますが、専門外の診療を求められることによる精神的ストレスや不安も大きく、当直医の負担を軽減するさらなる方策が必要だと考えています。

また長年、時間外のL&Gが宣言される多発外傷・重症外傷にオンコール対応していただいた銘苅医師の年齢的、体力的問題と、院内に外科当直医が待機する体制が維持できなくなってしまったことから、外

科救急体制の確保、充実も喫緊の課題だと考えています。

現在の大きな課題は、飲酒後の転倒による頭部外傷や意識障害、発熱を伴う意識障害など、これまでであれば受け入れていた救急患者をどれだけ再び受け入れられるかという点です。「脳外科手術が必要となる可能性があるから断る」のではなく、「まず診察を行い、必要であれば脳外科救急を担う救命救急センターへ適切に転院搬送する」という姿勢がなければ、県内の脳神経外科救急体制は崩壊しかねません。

地域医療の維持のため、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

来年度の目標

- ・ 救急症例検討会の定期開催と充実
- ・ 院内ドクターカーシミュレーションの定期開催
- ・ 消防と連携したドクターカー連携訓練の開催、拡大
- ・ 救急医学会、臨床救急医学会、救急看護学会などへの演題提出、学会発表
- ・ 院外コース（ICLS、AHA-BLS、AHA-ACLS、JPTEC、JNTEC、MCLS、MCLS-CBRNE、DMAT）などへのインストラクター・タスク派遣
- ・ ドクターカーを含めた病院前診療の質の向上、多数傷病者事案、災害発生時の病院体制、ER体制を確立するための活動を本格的にしていく必要があると考えています。
- ・ また、当院だけでは地域災害、局地災害を乗り越えることは困難であり、地域や、県全体の災害対応のレベルを上げる活動もしていかなければいけません。
- ・ 目の前の「助けて」を助けるため、「断らない救急」「ちゃんと助ける救急」を実践できるように「もっと助けるドクターカー」を活用しながら、院内職員、スタッフと一緒に勉強しながら活動を続けていきたいと考えています。

年度総括

ハートライフ病院救急総合部では、2022年度より開始した地域の子どもたちを対象としたイベント「おきなわ子どもメディカルラリー」を、今年度も継続して開催することができました。この取り組みは、参加する子どもたちだけでなく、保護者や運営に関わる医療従事者の皆様にも、救急初期診療や外傷初期対応の重要性を知っていただく貴重な機会となっています。今後もこのイベントを定期的かつ継続的に開催し、さらには他地域での展開も視野に入れ、近隣病院や消防機関との連携を一層強化してまいりたいと考えています。

また、将来に悩みながらも真剣に自分の進路を考えている高校生たちに、医療従事者という仕事の魅力を伝えたいという思いから始めた「医療体験実習」は、予想を上回る大きな反響と好評をいただきました。参加した高校生だけでなく、受け入れ側の医療スタッフにとっても、「なぜこの職業を選んだのか」「自分の仕事に誇りを持つことの意味」を再認識する良い機会となったように感じています。次年度以降も継続して開催できるよう努めてまいります。

2024年度から施行された医師の働き方改革により、当院を取り巻く医療環境はこれまで以上に厳しくなっています。それでもなお、地域の救急医療を支える存在として、「断らない救急」を実践し続けるためには、何よりも医療従事者自身が元気で、笑顔であることが大切です。そのためにも、職員一人ひとり

の笑顔を大切にする取り組みを、病院全体で積極的に進めていければと考えています。

これからも地域に信頼してもらえる救急医療機関として、また災害拠点病院としての役割を果たしていけるように頑張っていきたいと思います。

「断らない救急」を、地域とともに守りぬく

ハートライフ病院は、沖縄県中南部の地域において、「断らない救急」の姿勢を貫き続けてきました。医師の働き方改革や専門医の偏在など、地域医療を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、それでも私たちは「まず診て、初期治療で安定化させ、必要があれば転送する」ことで、地域医療の最後の砦であり続けようとしています。

「一人でも多く助けたい」

「困っている患者さんに最初に応える病院でありたい」

そう願うスタッフとともに、私たちはこの救急体制を維持・発展させていきます。

救急総合診療部救急部長 三戸 正人

病理診断科

当科では、手術や検査などで採取された組織・細胞について、肉眼および顕微鏡を用いて評価を行い、良悪性の判断と詳細な疾患名、病期や病変の広がりなどを診断しています。また不幸にしてお亡くなりになられた患者さんの病理解剖も担当しています。2024 年度からは常勤病理専門医 2 名体制となり、臨床検査科の細胞検査士・臨床検査技師とともに精度の高い病理組織診・細胞診を心がけています。

医師プロフィール

(2024 年 5 月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
病理診断科部長	青山 肇	外科病理学一般	日本病理学会専門医・指導医・学術 評議員 日本臨床細胞学会専門医 死体解剖資格 日本消化器病学会専門医 日本内科学会認定内科医 医学博士
	與那覇 由衣子	外科病理学一般	日本病理学会専門医 死体解剖資格

検査件数

臨床検査科のページに業務実績を掲載しております。

年度総括

2023 年と 2024 年を比較すると、手術検体は増加したものの、生検検体は減少しており、病理組織診断全体の件数は若干減少しました。細胞診の件数は、緩やかな増加傾向にあります。今後も件数の増加に柔軟に対応できるよう、標本作製および診断体制の整備に努めてまいります。また、検体を受付けてから最終報告までに要する日数は、生検材料で平均 3.1 日、手術材料で 4.6 日、細胞診で 2.7 日となっており、いずれも昨年度よりわずかに延長しています。業務フローの見直しなどを通じて、より迅速な報告を心がけてまいります。

2024 年より、日本病理精度保証機構のサーベイランスに参加し、免疫染色の染色性や遺伝子検査に適した標本処理について、新たに精度管理を開始しました。

人材育成については、これまで沖縄県病理専門研修プログラムの連携施設として、専攻医のローテーション受け入れを行ってきました。その結果、2024 年度には常勤病理専門医 2 名体制となりました。細胞診に関しては、現状ではスクリーニングを担当する細胞検査士一人あたりの負担が大きく、若手技師が細胞検査士資格を早期に取得できるよう、教育環境の整備を進めてまいります。これらの人材育成を通じて、スピーディーで見落としのない、正確な病理診断の提供に努めてまいります。

病理解剖は死因の究明のみならず、臨床病理カンファレンス（CPC）を通じて、当院の医療の質の担保や研修医の教育にも欠かせない医療行為です。2024 年は 3 例の病理解剖を担当させていただきました。病理解剖にご承諾くださったご遺族の皆様、ならびにご依頼いただいた主治医の先生方に、深く御礼申し上げます。当院の診療、特にがん診療の基盤として、迅速かつ正確な病理診断を提供できるよう、今後もスタッフ一同、努めてまいります。

病理診断科部長 青山 肇

医局年度総括

当院の医局は、救急医療から専門的な医療まで、科の垣根を越えた合同医局で接しやすい医局です。

新型コロナウイルス感染症は現在も散発的に発生していますが、日頃からの感染対策が定着していることもあり、医局内ではインフルエンザと同様の対応で落ち着いて対応できるようになりました。これにより、コロナ禍で制限されていた医局行事も少しずつ再開し、再び医局員同士の交流や情報共有の場として、有意義な時間を過ごせるようになっていきます。

以前紹介した SF 小説「マードーボットダイアリーズ」が Apple TV でドラマ化し心が躍りました。こうした娯楽に触れながら気分転換をはかり、またコロナ禍以前の様にリフレッシュして仕事に集中出来るよう、医局秘書、病院の助けを借りて医局を充実させていきます。

大腸・肛門外科部長 兼 医局長 阿嘉 裕之

看護部

部門紹介

職員数（2024年4月1日現在）

総数 520名

保健師 6名

助産師 26名

正看護師 391名

准看護師 9名

看護補助者 62名

保育士 1名

クラーク 26名

歯科衛生士 2名

認定看護師・認定看護管理者

分 野	氏 名
感染管理認定看護師	大城 美那 城間 克也
皮膚・排泄ケア認定看護師	宮平 良太
緩和ケア認定看護師	高宮 理沙 長濱 博美
救急看護認定看護師	兼本 愛美
手術室看護認定看護師	富田 賢一
糖尿病看護認定看護師	又吉 直美
糖尿病看護認定教育課程修了	比嘉 由布香
集中ケア認定看護師	内間 幸人
乳がん看護認定看護師教育課程修了者	奥田 美奈子 長濱 博美
乳がん看護認定看護師教育課程修了者	成田 明日香
特定行為研修修了者	富里 康太 大城 美那 城間 克也 宮平 良太 高宮 理沙 長濱 博美 兼本 愛美 富田 賢一 又吉 直美 比嘉 由布香 奥田 美奈子 長濱 博美 成田 明日香
医療安全管理者	比嘉 暢 外間 真紀子 安谷屋 佳子 屋宜 鮎美 米須 智子 安村 公均 勝連 しのぶ
医療安全管理者養成研修修了者	外間 真紀子 安谷屋 佳子 屋宜 鮎美 米須 智子 安村 公均 勝連 しのぶ

分 野	氏 名
認定看護管理者ファーストレベル履修	安谷屋 佳子 東恩納 小百合 宮城 つかさ 崎山 久美 屋宜 鮎美 米須 智子 島袋 すが子 勝連 しのぶ 田下 茜 仲宗根 香織 山内 美咲（ハートラ イフクリニック） 喜屋武 香織 山城 敏裕 奥間 有太郎 花城 優子
認定看護管理者セカンドレベル履修	安谷屋 佳子 外間 真紀子

看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

看護部運営方針

1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
2. 専門職として看護の基本を大切にした質の高い看護を実践する
3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

看護体制

【看護体制】

入院基本料 7 対 1

勤務体制 二交代制

看護方式 固定チーム + デイパートナー方式

看護単位

- 一般病棟
 - 7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）
 - 6 階病棟（総合内科・泌尿器科）
 - 5 階病棟（消化器内科・小児科）
 - 4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・脳神経外科）
 - 3 階病棟（整形外科・形成外科・眼科）
 - 東 4・5 病棟（産婦人科・乳腺外科・外来併設）
- ICU 8 床
- HCU 12 床
- 外来
 - 一般外来
 - 救急外来
 - 透析室
- 手術室、中央材料室
- 内視鏡センター
- 予防医学センター
- 入院支援室

各部署概要・実績

外来

外来師長 米須 智子

職員数

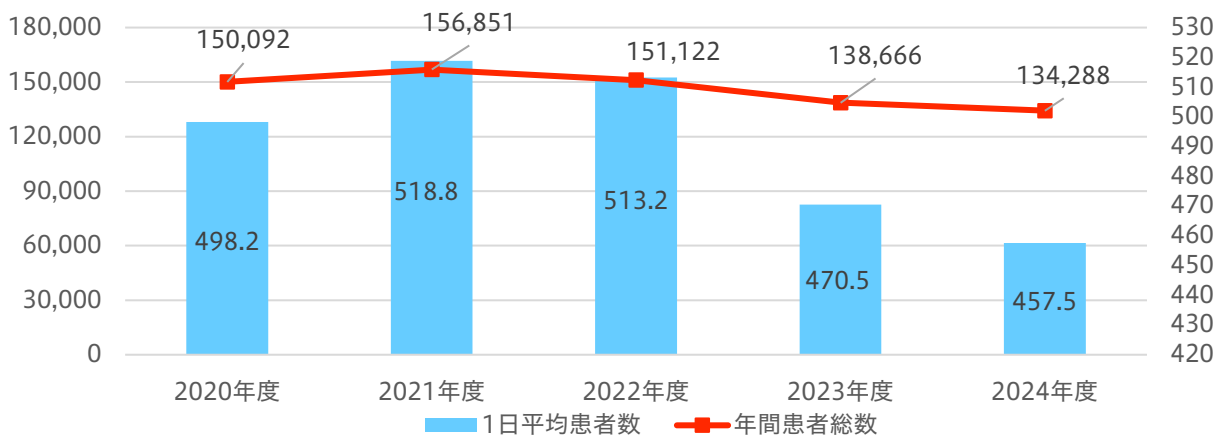
総数	47 名		
看護師	27 名	クラーク	14 名
看護補助者	4 名	歯科衛生士	2 名

資格・認定など

氏名	名称
米須 智子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 医療安全管理者養成研修修了 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了 看護補助者活動推進のための看護管理者研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了 実習指導者研修修了
玉城 秀美	実習指導者研修修了 医療安全管理者養成研修修了
石原 桂子	緩和ケア研修会 PEACE
新垣 薫	排尿機能検査士 リンパ浮腫複合的治療技術者 認定排尿ケア専門員コンチネンスリーダー 排尿自立指導専任ナース 快適 CIC 指導士 特定行為研修修了（瘻孔管理）
志喜屋 幸子	肝炎コーディネーター資格
大滝 正美	肝炎コーディネーター資格
砂川 敦子	肝炎コーディネーター資格
金城 こずえ	肝炎コーディネーター資格
山川 七七女	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 フットケア指導士
島田 春奈	介護支援専門員 認知症キャラバンメイト 緩和ケア研修会 PEACE
島袋 彩加	リンパ浮腫複合的技術者資格
藤岡 杏奈	排尿自立指導専任ナース
成田 明日香	乳がん認定看護師教育課程研修修了 緩和ケア研修会 PEACE
神谷 かおり	リンパ浮腫複合的技術者資格
幸喜 恭子	災害支援ナース養成研修修了 沖縄県災害支援ナース養成研修修了 皮膚・排泄ケア認定看護師課程修了

業務実績

年間外来患者数と 1 日平均患者数（人）



院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
糖尿病患者の看護①～患者背景を考慮した療養支援 聴く力・看る力～	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 7 月 30 日	山川 七七女
心不全患者の看護～セルフケア能力向上と重症化予防支援～	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 8 月 23 日	冨加見 香余理
糖尿病患者の看護～足病変と爪ケア、合併症予防～	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 8 月 29 日	山川 七七女
死に近づく人の心に寄り添う ～看取る力、寄り添う力を育む～	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 10 月 31 日	山川 七七女
糖尿病関連研修	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 12 月 17 日 ～ 12 月 19 日	山川 七七女

年度総括

当院は 31 の診療科に加え、各種専門外来を設置しています。2024 年 4 月より血液内科と乳腺外科が閉診し、通院治療室での化学療法や外来処置室での骨髄穿刺・輸血などの処置が減少しました。患者数が減少した時期をチャンスと捉え、クランクの教育を進めることで、一部業務のタスクシフトを実現しました。当外来では「質の高い看護の提供」を目標に、IC への積極的な立ち会いや意思決定支援に関与しています。タスクシフトの推進により、現在患者数が再び増加する中でも、質の高い看護の提供を継続できる体制が整っていると考えています。

2024 年 9 月に乳腺外科専門医が赴任し、2025 年 1 月には乳がん看護認定看護師が誕生したことで、乳がん診療における専門性がさらに高まりました。認定看護師は入院病棟と外来に各 1 名配置され、入院前から退院後まで一貫した看護を提供できることは、当院の強みとなっています。

患者数減少時代に突入した今、外来部門の役割意識を一層明確にし、医療資源の最適化や医療の質向上、地域医療との連携強化に努め、患者が満足し納得できる医療・看護を提供してまいります。

救急外来

救急外来師長 兼本 愛美

職員数

総数	26 名
看護師	23 名
救急救命士	2 名

認定・資格など

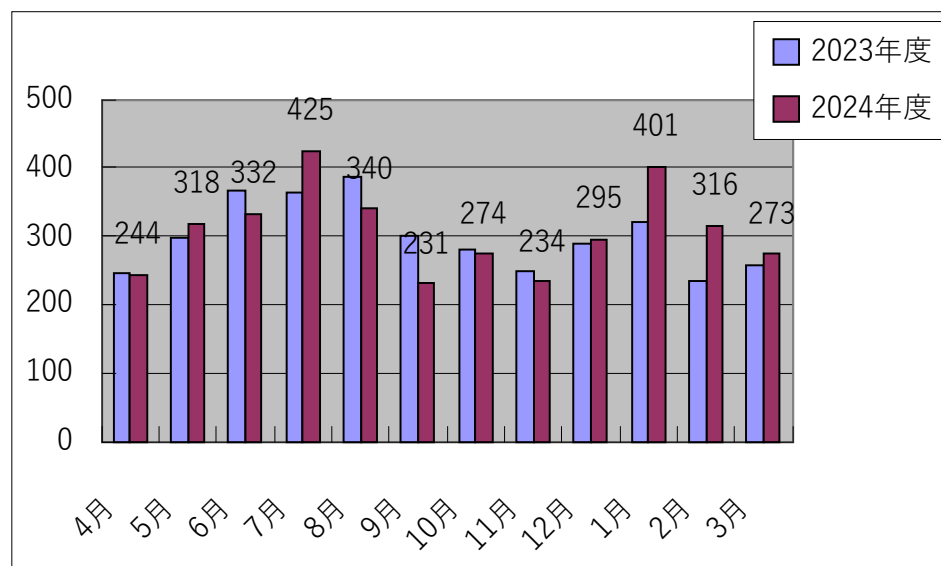
氏名	認定・資格・終了
兼本 愛美	クリティカルケア認定看護師 特定行為研修修了 DMAT 隊員 AHA BLS インストラクター JPTEC インストラクター ICLS インストラクター
玉木 紀光	新人職員研修実施指導者研修修了
大宜見 千佳	新人職員研修実施指導者研修修了 AHA BLS インストラクター AHA ACLS インストラクター
新垣 仕言	ICLS インストラクター 心不全療養指導士
アーノルド 寿々奈	特定行為研修修了
大宜見 宗史	DMAT 隊員 JPTEC インストラクター 災害支援ナース
篠原 花織	JPTEC インストラクター
森元 一晟	DMAT 隊員 JPTEC インストラクター
萩原 良幸	AHA BLS インストラクター JPTEC インストラクター ICLS インストラクター

業務実績

救急車受け入れ件数

2023 年度 3,589 件

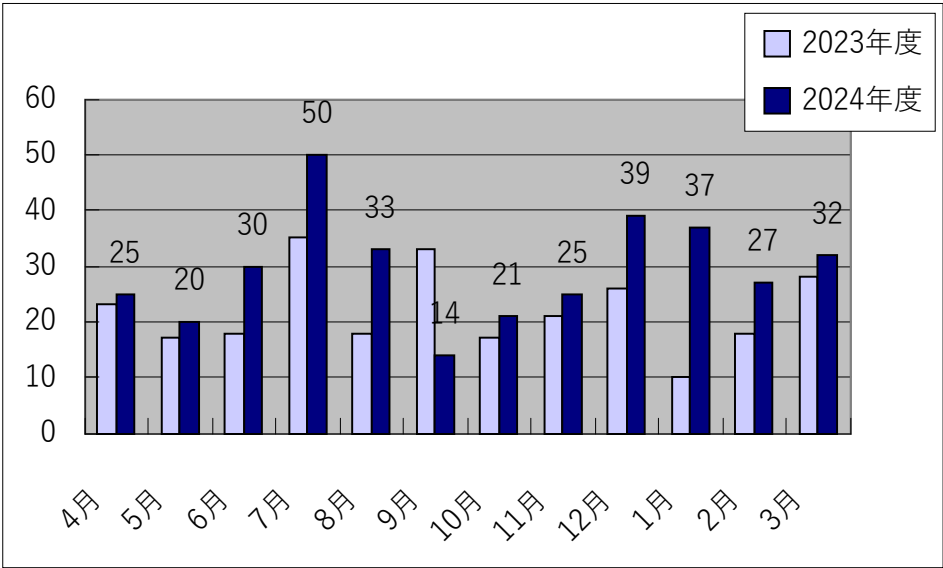
2024 年度 3,683 件



ドクターカー出動件数

2023 年度 264 件

2024 年度 353 件



活動実績

学会発表・講演

名称	種類	開催地	年月日	発表者と研究者
高齢者のフィジカルアセスメントと救急看護の基礎	講義・演習	沖縄県看護協会	2024 年 7 月	兼本 愛美
DMAT 能登半島地震支援活動報告会	講義	東部消防	2024 年 7 月	兼本 愛美
災害看護論	講義	名城大学	2024 年 12 月	兼本 愛美
急性期看護	講義	琉球大学	2025 年 4 月	
喀痰吸引について	喀痰吸引指導者講習会	看護協会	2025 年 2 月	兼本 愛美
DMAT 業務調整員・病院救命士としての経験を活かした能登半島地震における JMAT 活動	学会発表	日本災害医学会	2025 年 3 月	森元 一晟

研修実績

氏名	認定・資格・終了
兼本 愛美	看護師特定行為研修指導者講習会受講
大宜見 千佳	救急初療コース フィジカルアセスメントセミナー
友寄 聡子	災害支援ナース養成研修
アーノルド 寿々奈	看護師特定行為研修指導者講習会受講
大宜見 宗史	特定行為研修受講
篠原 花織	救急医療業務実地修練事業受講
櫻井 宏美	NCPR スキルアップコース
我那覇 命	FCCS コース受講
喜久山 愛	AHA ACLS プロバイダーコース
比嘉 駿	AHA ACLS プロバイダーコース
島袋 健太	特定行為研修受講
屋宜 花鈴	AHA BLS プロバイダーコース
熊野 有美	災害支援ナース養成研修
森元 一晟	日本災害医学会学術集会 発表

年度総括

2024 年度も、沖縄県の地域中核病院として、多くの救急患者さんに対応し、地域住民およびご家族の生命と健康を支える重要な役割を果たしてまいりました。

当院の救急外来は、一次から三次救急まで幅広い救急搬送を 24 時間 365 日体制で「断らない救急」を目指し、受け入れております。特に初期診療における迅速かつ的確な対応を強みとしています。また、地域特性に対応するため、ドクターカーを活用した現場出動型の救急医療にも注力しています。看護師は現場でのトリアージ・初期観察・救命処置補助・家族看護においても重要な役割を担っています。

本年度は、高度なアセスメント能力や臨床判断力を持つ看護師の育成を進めるとともに、ドクターカー出動時の実践対応力の強化とシミュレーション訓練の充実により、現場対応力の底上げを図りました。また、救命士へのタスクシフト・タスクシェアを推進することで、看護師が専門性を発揮できる場面を拡大し、より実効的なチーム医療の実現に繋げています。

今後も、地域の救急医療の要として、安全・迅速・的確な看護実践のさらなる質向上に努めてまいります。

人工透析室

師長 田下 茜

職員数

総数 28 名

正看護師 23 名

看護補助者 4 名

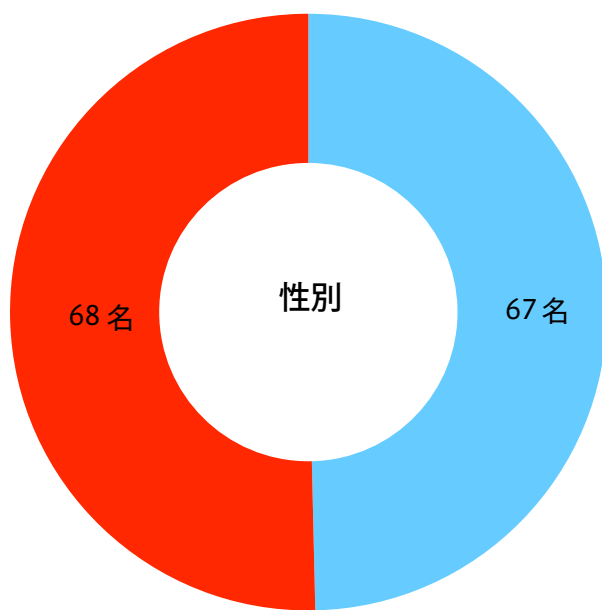
准看護師 1 名

認定・資格取得状況

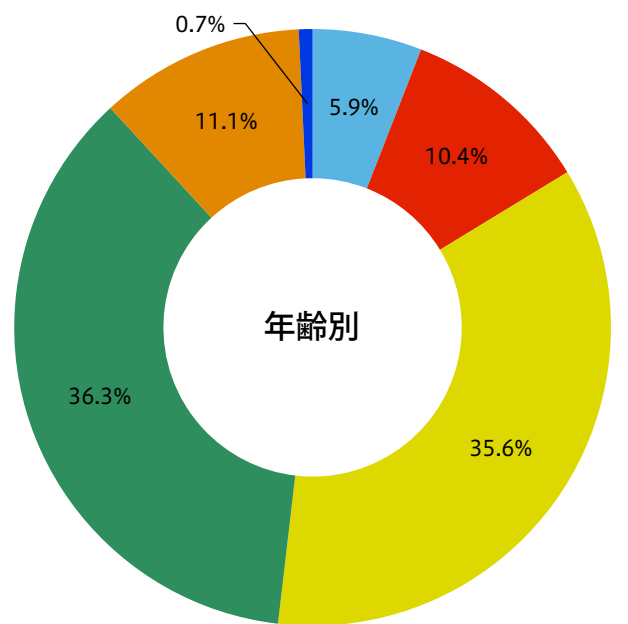
氏 名	名称
田下 茜	慢性腎臓病療養指導士 CAPD 認定指導看護師 透析技術認定士 認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修修了 認知症対応力向上研修修了
上原 千晶	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 新人看護職員研修教育担当者研修修了 フットケア指導士 糖尿病重症化予防（フットケア）研修修了 腎臓リハビリテーション指導士
瀬底 真由美	透析技術認定士 フットケア指導士 糖尿病重症化予防（フットケア）研修修了 保健師助産師看護師実習指導者講習会受講修了
赤嶺 美智江	透析技術認定士 日本糖尿病療養指導士 沖縄県糖尿病療養指導士 腎臓リハビリテーション指導士
伊保 和加子	透析技術認定士 腎臓リハビリテーション指導士
呉屋 久子	透析技術認定士
平良 美幸	腎臓リハビリテーション指導士
儀間 裕子	腎臓リハビリテーション指導士
久場 良勇	呼吸療法認定士 沖縄県糖尿病療養指導士 JHRS 認定心電図専門士 終末期ケア専門士

業務実績

- ・年間透析患者総数 208 名
- ・維持血液透析患者数 135 名 (2024 年 3 月)
- ・新規導入患者数 12 名
- ・男性 67 名 女性 68 名 平均年齢:69.3 歳

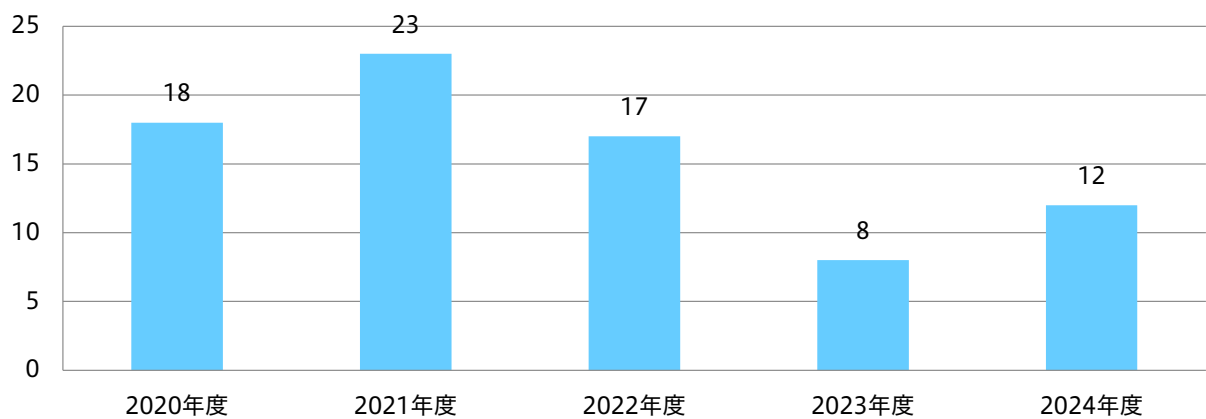


■ 男性 ■ 女性

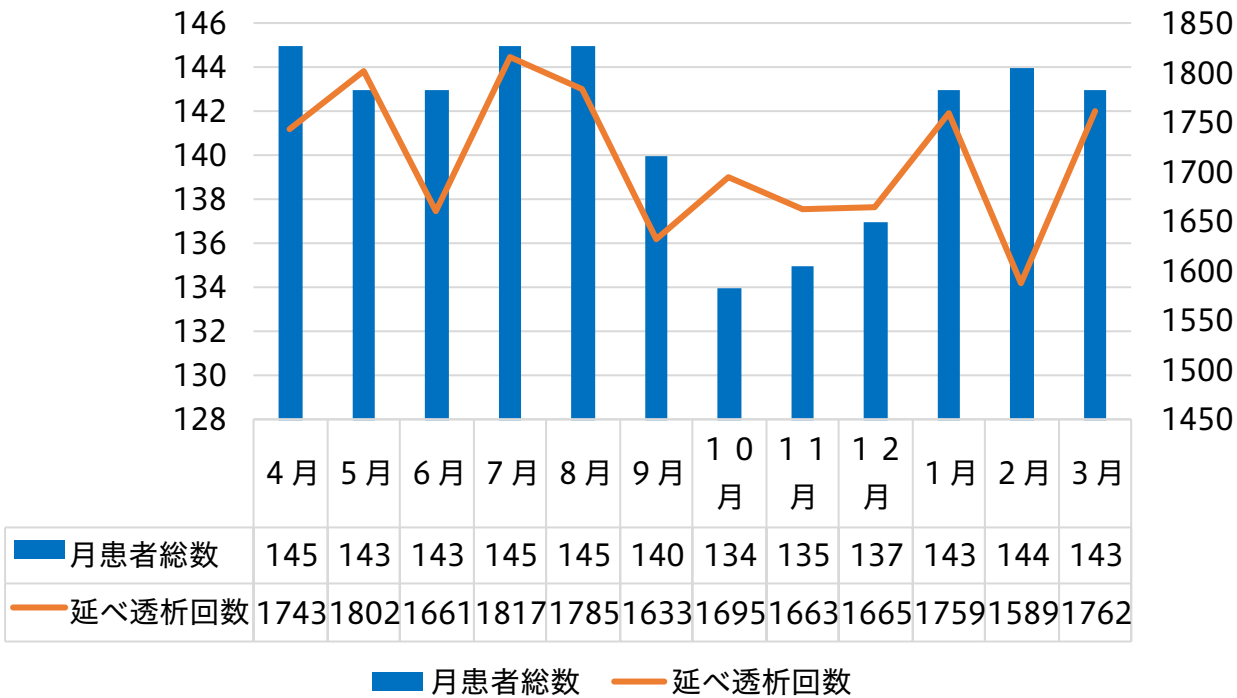


■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代

新規導入患者総数（人）



月患者総数および延べ透析回数



研究業績

学会発表

学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
第 42 回沖縄県人工透析研究会	沖縄県	2024 年 3 月 23 日	田下 茜 (発表) 瀬底 真由美 (発表) 儀間 裕子 (発表)

活動実績

学会参加

名称	主催	開催地	開催年月日	参加者
第 69 回日本透析医学会学術集会	日本透析医学会	神奈川県	2024 年 6 月 7 日～9 日	上原 千晶、川上 美和子
第 35 回日本サイコネフロロジー学会学術集会	日本サイコネフロロジー学会	福島県	2024 年 7 月 27 日～28 日	田下 茜、渡眞利 久美子
第 5 回フットケア・足病医学会学術集会	日本フットケア・足病医学会	兵庫県	2024 年 11 月 29 日～30 日	瀬底 真由美、上原千晶

院外研修参加実績

研修名	主催	開催年月日	参加者
「労働と看護の質向上のためのデータベース事業・診療報酬改訂のポイント」	看護協会	2024 年 4 月 13 日	田下 茜、上原千晶
みんなが笑顔になれる！「アンガーマネジメント」	看護協会	2024 年 6 月 7 日	新垣直樹
令和 6 年度沖縄県看護協会通常総会	看護協会	2024 年 6 月 15 日	田下 茜、上原 千晶
認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）	看護協会	2024 年 6 月 24 日	上原千晶
看護職と倫理（入門編）～患者の権利擁護を考える～	看護協会	2024 年 6 月 25 日	安間 理乃
リーダーシップとメンバーシップ・コミュニケーション・ファシリテーション	看護協会	2024 年 7 月 5 日	比嘉 桐子
2024 年度沖縄県看護連盟通常総会	看護連盟	2024 年 7 月 13 日	田下 茜、呉屋 久子

研修名	主催	開催年月日	参加者
第89回新おきなわ ICLS コース	日本救急医学会	2024 年 7 月 14 日	川上 美和子
医療者のための共育コーチング～心を動かし、チームを動かす～	看護協会	2024 年 7 月 24 日	高江洲 百合
2024 年度第1回ポリナビワークショップ in 沖縄	看護協会	2024 年 7 月 27 日	又吉 香菜子、安里 朋花
糖尿病患者の看護① ～患者背景を考慮した療養支援 聴く力・見る力～	看護協会	2024 年 7 月 30 日	高良 美乃莉
看護師長のレジリエンス	看護協会	2024 年 8 月 5 日	田下 茜
令和6年度沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会	看護協会	2024 年 8 月 6 日	瀬底 真由美
セカンドライフセミナー	看護協会	2024 年 8 月 20 日	佐次田 桃子
糖尿病患者の看護②～足病変と爪ケア、合併症予防～	看護協会	2024 年 8 月 29 日	高良 美乃莉
2024 年度沖縄県看護管理者等セミナー	看護連盟	2024 年 9 月 7 日	田下 茜
看護職の働き方改革セミナーⅠ	看護協会	2024 年 9 月 13 日	上原 千晶
ミッションマネジメントと組織開発～対話に基づく開発～	看護協会	2024 年 9 月 21 日	田下 茜
高齢者のフィジカルアセスメント～高齢者に多い症状や疾患に対するケア～	看護協会	2024 年 9 月 25 日	又吉 香菜子
リーダーシップとメンバーシップ・コミュニケーション・ファシリテーション	看護協会	2024 年 10 月 23 日	儀間 裕子
看護職の働き方改革セミナーⅡ	看護協会	2024 年 10 月 24 日	上原 千晶
講義「透析療法を受ける患者の看護」	ぐしかわ看護専門学校	2024 年 11 月 5 日	
ビリーブメントカンファレンス in 沖縄	日本臨床腎臓病	2024 年 11 月 17 日	田下 茜、上原 千晶、渡眞利 久美子、久場 良勇、赤嶺 美智江、瀬底 真由美
ケア提供者のためのメンタルヘルス-セルフマネジメントスキルを高める -	看護協会	2024 年 11 月 21 日	安里 朋花
看護実践能力を育てる	看護協会	2024 年 11 月 22 日	大工 夏希
病院と地域を看護がつなぐ - 地域包括ケアを支える看護連携へ -	看護協会	2024 年 11 月 26 日	渡眞利 久美子
がん患者・家族の価値観を尊重するためのコミュニケーション	看護協会	2024 年 12 月 13 日	佐次田 桃子
糖尿病関連研修（糖尿病合併症管理加算関連）	看護協会	2024 年 12 月 17 日～19 日	上原 千晶、瀬底 真由美
看護組織におけるサーバントリーダーシップ - 看護のリーダーであるために -	看護協会	2024 年 12 月 21 日	田下 茜
リーダーシップ研修 プロフェッショナルマネージャーを目指す	看護協会	2025 年 1 月 28 日	儀間 裕子、渡眞利 久美子
医療現場における苦情と倫理的問題への対応	看護協会	2025 年 1 月 31 日	大工 夏希
講師「VA ハンズオンセミナー」	沖縄県人工透析研究会	2025 年 3 月 23 日	大工 夏希

年度総括

透析室では、腎代替療法として血液透析を行っています。2024 年度は、透析患者総数 208 名となり、新規透析導入患者さん以外にも他院で透析管理をされている入院患者の増加がありました。当院は急性期病院のため、内科や外科、眼科や産婦人科など、さまざまな診療科で入院される患者さんがいらっしゃいます。入院中の患者さんの透析管理においては、主科の主治医、透析医、看護師、MSW 等、多職種で連携し、入院から退院までの支援につなげることができました。地域支援病院としての透析室の役割を十分に発揮していけるよう、さらなる連携を図り、患者さんの生活や療養のサポートにつなげていきたいと思っています。近年、透析患者さんの高齢化が進み、70 代以上の患者さんが半数を占め、平均年齢 69 歳となっています。泌尿器外科の嘉川先生を中心に、循環器医師や糖尿病医師と連携しながら日々診療に当たっています。糖尿病腎症の患者さんも多く、月に 2 回、透析糖尿病外来にて糖尿病医師の小原先生に診察していただき、糖尿病患者さんの血糖管理やセルフケア指導など、生活の質（QOL）向上につながるよう糖尿病看護も行っています。

透析患者さんは、動脈硬化や血管の石灰化などの血管病変により足トラブルが多く、下肢切断に至る方もいらっしゃいます。透析看護では、毎月患者さんのフットチェックを行い、足を守るためのセルフケア指導やフットケアに力を入れています。「患者さんが最後まで自分の足で歩く」を目標に、患者さんの下肢切断をゼロにする取り組みを今後も継続して実施していきます。昨年度に引き続き、看護師のエコー下穿刺技術の習得に取り組み、今年度は 3 名の看護師が技術を習得しました。患者さんからは穿刺の苦痛や不安の軽減につながっていると評価をいただいています。今後も、患者さんが安心して透析治療を継続できるよう、安全管理、感染管理を徹底してまいります。

昨年から今年度にかけて、災害対策にも力を入れてきました。有事の際に、患者さんやご家族の不安を少しでも軽減できるよう、また安全に透析治療が継続できるように、地域災害拠点病院の透析室として役割が果たせるよう、医療者と患者家族が協働で災害訓練や災害に関する知識の共有を継続して実践していきます。

人生 100 年時代といわれるようになり、透析患者さんの高齢化が進み、独居の方や老老介護の方、社会的支援が必要な方など、患者さんのニーズも多様化しています。それぞれの個性を大切にしながら、求められるニーズにお応えし、透析患者さんが住み慣れた地域で安心して生活および透析治療が継続できるよう、地域や多職種と連携しながら取り組んでいきたいと思っています。また、患者さんの「自分らしく生きる」を支援していけるよう、患者さんやご家族と一緒に ACP（アドバンス・ケア・プランニング）にも取り組んでいきたいと思っています。

手術室・中央材料室

手術室・中央材料室師長 東恩納 小百合

職員数

総数 29 名

正看護師 21 名

看護補助者 4 名

クラーク 1 名

臨床工学技士 3 名

認定・資格取得状況

氏名	名称
東恩納 小百合	認定看護管理者教育課程ファースト研修終了 重症度・医療・看護必要度評価者 院内指導者研修
富田 賢一	周術期管理チーム認定看護師 手術看護認定看護師 特定行為研修修了（術中麻酔管理領域パッケージ）
呉屋 真由美	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者
久手堅 緑	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 普通第一種圧力容器取扱作業主任者
久志 周子	周術期管理チーム認定看護師
山田 彩花	新人職員研修実施指導者研修修了

業務実績

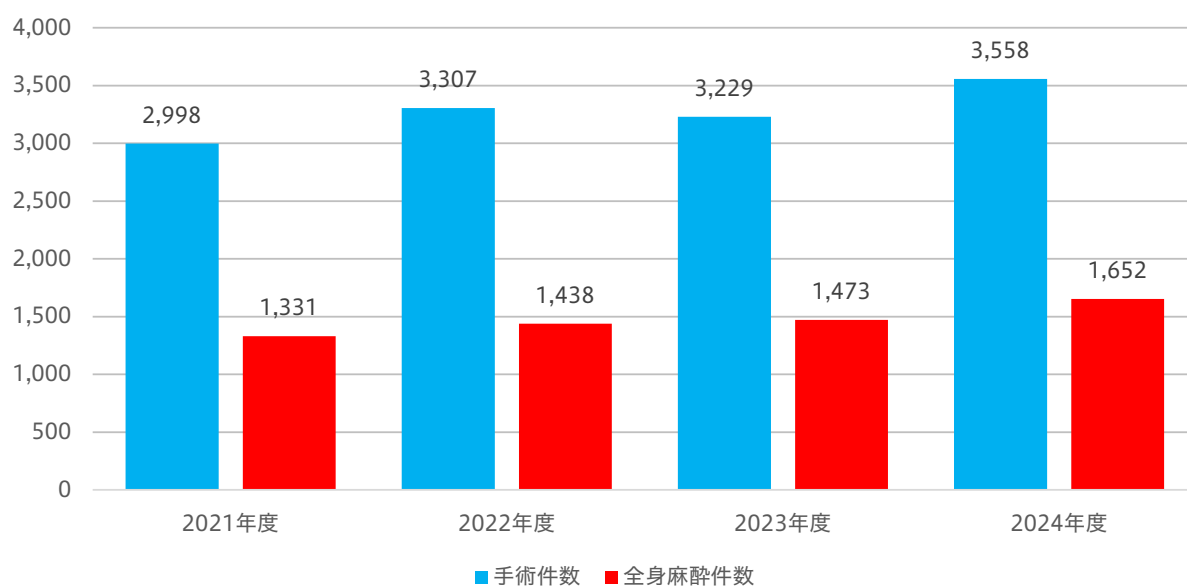
手術実績

月平均手術件数 269 件

1 日最大手術件数 23 件

1 日平均手術件数 15 件

手術件数推移



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 5 月 8 日	島袋 楓子
新人看護師（フレッシュマン）研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 5 月 10 日	金城 里怜
みんなが笑顔になれる「アンガーマネジメント」	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 6 月 7 日	久志 周子
回復力を促す周術期ケア	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 6 月 12 日	與那覇 孝介
新人看護職員研修Ⅱ～医療安全と感染管理	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 6 月 18 日	島袋 楓子・金城 里怜
新人看護職員研修Ⅱ～新人のためのフィジカルアセスメント～	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 7 月 4 日	島袋 楓子・金城 里怜
新人看護職員研修Ⅱ～身に付けよう社会人基礎力～	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 7 月 6 日	島袋 楓子・金城 里怜
糖尿病患者の看護①～患者背景を考慮した療養支援 聴く力・見る力～	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 7 月 30 日	安里 樹乃
アサーションコミュニケーションスキル	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 8 月 30 日	棚原 舞
リーダーシップとメンバースhip・コミュニケーション・パシリテーション	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 10 月 23 日	仲嶺 千絵
特定行為研修終了者ステップアップ	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 12 月 7 日	富田 賢一
基礎から学ぶ褥瘡予防とケア	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 12 月 10 日	濱門 梨子
臨床診断能力を育てる - 臨床診断モデルで思考をつなぐ新人からエキスパートへ -	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 12 月 14 日	弥永 玲多
医療安全管理者スキルアップのために	沖縄県看護協会	南風原町	2025 年 1 月 17 日	呉屋 真由美
医療現場における苦情と倫理問題への対応	沖縄県看護協会	南風原町	2025 年 1 月 31 日	呉屋 真由美

年度総括

2024 年度の目標手術件数 3,500 件に対し、今年度は 3,558 件を達成し、目標を上回る結果となりました。中でも整形外科の手術件数は引き続き高水準を維持しており、1,130 件と前年を上回る件数となりました。

また、全身麻酔の件数は前年の 1,473 件から 1,652 件へと大幅に増加しました。この増加には、2023 年度に特定行為研修（麻酔科パッケージ）を修了した看護師・富田賢一の活躍が大きく貢献しています。麻酔科 IC 対応の一部を担うことで麻酔科医師の業務負担軽減と効率化に寄与し、件数の確保に繋がりました。現在は、さらに 1 名（米田梓）が特定行為研修を受講中であり、修了後は一層の業務効率化と対応の質向上が期待されます。今後も看護師が多職種の一員として積極的に関与し、安全かつ安心な医療提供を支えてまいります。

一方で、今年度は退職者が多く、体制維持が困難な場面もありましたが、2025 年 1 月および 3 月に正看護師 2 名が新たに加わり、スタッフの育成や教育を通じて組織力の再構築に取り組んでいます。これまで以上に、チーム全体で支え合いながら成長できる職場環境づくりを大切にまいります。

また、物品管理においては、価格交渉や代替品の導入などの取り組みにより、約 200 万円のコスト削減を実現しました。物価高騰が続く中、各部門との連携による工夫と努力の成果といえます。

来年度も引き続き、手術件数の増加を見据えつつ、多職種連携による業務の効率化と、安全で質の高い医療提供を目指してまいります。

ICU

ICU 師長 勝連 し の ぶ

職員数

総数 20 名

正看護師 18 名

看護補助者 2 名

認定・資格取得状況

氏名	認定・資格
勝連 し の ぶ	認定看護管理者教育課程ファースト研修修了 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 医療安全管理者養成研修修了
山城 奈保子	実習指導者研修修了 重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 呼吸療法認定
洲鎌 正子	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 重症度、医療・看護必要度指導者研修修了
玉城 玲奈	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度、医療・看護必要度指導者研修修了
阿部 誠	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 臨床工学技士 呼吸療法認定
富里 康太	特定行為研修修了 呼吸療法士認定
山城 敏裕	認定看護管理者教育課程ファースト研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
石戸谷 也寸志	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 呼吸療法認定
森下 佳美	呼吸療法士認定
太田 尾裕太	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 呼吸療法士認定

業務実績

月平均入院患者状況	2022 年度	2023 年度	2024 年度
新規入院患者数（総数）	244	215	209
病床利用数（平均）	44.3	39.9	3.3
在院日数（平均）	9.2	9.7	11

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	年月日	参加者
臨時研修会「労働と看護の質向上のためのデータベース事業・診療報酬改定のポイント」	看護協会	2024 年 4 月 13 日	勝連 し の ぶ、 山城 奈保子
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	看護協会	2024 年 5 月 10 日	新垣 安結花、 赤嶺 優菜
院内 BLS 研修	BLS 委員会	2024 年 6 月 7 日	新垣 安結花、 赤嶺
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	看護協会	2024 年 6 月 8 日	山田 義長
DMAT 研修	沖縄県保健医療介護 医療政策課	2024 年 6 月 16 日	山田 義長

研修名	主催	年月日	参加者
新人看護職員研修Ⅱ～医療安全と感染管理～	看護協会	2024 年 6 月 18 日	赤嶺 優菜
第 20 回日本クリティカルケア看護学会学術集会 運営サポート	日本クリティカルケア看護学会	2024 年 6 月 22 日	勝連 しのぶ、山城 奈保子、山田 義長
POCUS超音波検査トレーニングコース		2024 年 6 月 29 日	富里 康太
新人看護師研修Ⅱ「新人のためのフィジカルアセスメント」	看護協会	2024 年 7 月 4 日	赤嶺 優菜、新垣 安結花
リーダーシップとメンバーシップ・コミュニケーション・ファシリテーション研修	看護協会	2024 年 7 月 5 日	具志 亮太
新人看護師研修Ⅱ「身に付けよう社会人基礎力」	看護協会	2024 年 7 月 6 日	新垣 安結花
令和 6 年度 第 1 回沖縄県移植情報担当者会議	沖縄県保健医療福祉事業団	2024 年 7 月 12 日	勝連 しのぶ
看護連盟通常総会	看護連盟	2024 年 7 月 13 日	勝連 しのぶ
電子カルテシステム勉強会	SSI	2024 年 7 月 19 日	勝連 しのぶ
ポリナビワークショップ in 沖縄	看護連盟	2024 年 7 月 27 日	赤嶺 優菜、新垣 安結花
DMAT 隊員養成研修	兵庫県災害医療センター	2024 年 8 月 7 日	山田 義長
重症度、医療・看護必要度評価者及び院内指導者研修	日本臨床看護マネジメント学会	2024 年 8 月 28 日	玉城 玲奈
JNA 収録 DVD 研修「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」「認知症ケア加算 2・3 対応」	看護協会	2024 年 9 月 3 日	山城 奈保子
沖縄県看護管理者等セミナー「看護職賃金アップの取り組み」	沖縄県看護連盟	2024 年 9 月 7 日	山城 奈保子
九州・沖縄ブロックDMAT技能維持研修	沖縄県保健医療介護医療政策課	2024 年 9 月 18 日	山田 義長
看護職の働き方改革セミナーⅠ	看護協会	2024 年 9 月 19 日	山城 奈保子
リーダーシップとメンバーシップ・コミュニケーション・ファシリテーション研修	看護協会	2024 年 10 月 23 日	具志 亮太
看護職の働き方改革セミナーⅡ	看護協会	2024 年 10 月 24 日	山田 義長
沖縄県看護連盟リーダー研修	沖縄看護連盟	2024 年 11 月 7 日	山田 義長
裁判例から考える看護実践と看護記録	看護協会	2024 年 11 月 15 日	米田 梓
看護実践能力を育てる	看護協会	2024 年 11 月 22 日	玉城 玲奈
令和 6 年度九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練	沖縄県	2024 年 11 月 23 日	山田 義長
特定校医研修終了者ステップアップ研修	看護協会	2024 年 12 月 7 日	富里 康太
令和 6 年度大阪第 7 回DMAT隊員養成研修（インストラクター資格取得）	DMAT事務局	2025 年 1 月 8 日	山田 義長
美ら島レスキュー 2024	沖縄県	2025 年 1 月 16 日	山田 義長
医療現場における苦情と倫理的問題への対応	看護協会	2025 年 1 月 31 日	山田 義長
DMATインストラクター取得研修	大阪DMAT	2025 年 2 月 2 日	山田 義長
2024 年度沖縄県看護連盟・沖縄県看護協会共催研修	看護協会・連盟	2025 年 2 月 8 日	勝連 しのぶ
那覇空港航空機事故対処部分訓練	沖縄県	2025 年 2 月 8 日	山田 義長
AHA BLSプロバイダーコース	日本ACLS協会	2025 年 2 月 15 日	沖田 歩武

年度総括

2024 年度は、診療報酬改定に始まり、保健所立入調査、九州厚生局適時調査、病院機能評価と、コロナ禍明けの調査対応に追われた 1 年でした。その状況下でも、スタッフは「安全な医療の提供」を掲げ、患者誤認、インシデントレベル 3b 以上、重篤な静脈炎発生ゼロという部署目標を達成できました。

スタッフ育成に関しては、専門性の高い看護ケア実践を目指し、特定行為研修受講者 1 名を HCU から受け入れ、研修終了後の来年度も ICU で活動を継続する予定です。2025 年度も特定行為研修を 1 名受講予定としており、その後も受講者を増やし、モチベーションアップにつなげられるよう目標管理を行います。特定行為研修生が増えることで、質の高い看護提供を目指します。2024 年度は新人看護師 2 名を受け入れました。前年度まで新人定着が課題であったため、病棟全体で教育体制を見直し、課題克服に取り組んでいます。教育体制の強化、業務の効率化を進めるため、看護管理者を 1 名増員し、来年度も新人看護師の受け入れや職員定着、働きやすい職場づくりを目指します。

看護師の定着だけでなく、看護の質向上も必須です。チーム医療の推進として、カンファレンスや多職種連携の強化を目標にしていたましたが、医師を交えたカンファレンスの継続が難しく、課題となりました。次年度はカンファレンスの体制を見直し、退院支援に向けた取り組みを含め、強化していきます。ICU では治療優先となり、抑制実施率の低減が十分にできていない現状がありますが、多職種と連携し、抑制低減に向けた取り組みを強化していきます。

2024 年度は BLS 受講者を 1 名増員しました。2025 年度は部署内伝達講習を充実させ、さらに院内急変対応訓練も計画しています。また、2024 年度は院内外の研修受講が増加しました。2025 年度は研修内容を部署に還元し、看護の質向上につなげるため、勉強会を計画的に実施できるよう教育委員を中心に計画しています。

2025 年度も「安全な医療提供」「看護の質向上」「チーム医療強化」を目標に、ICU 運営を行っていきます。

HCU

HCU 師長 勝連 しのぶ

職員数

総数 20 名
正看護師 18 名
看護補助者 2 名

認定・資格など

氏名	認定・資格
又吉 愛美	重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 新人看護師研修教育担当者研修修了修了 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
與那嶺 史子	重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 呼吸療法認定
安次嶺 徹	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
吉川 麻香	重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
伊佐 香朱美	重症度、医療・看護必要度指導者研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
長濱 航	AHA BLS プロバイダーコース修了

業務実績

月平均入院患者状況	2022 年度	2023 年度	2024 年度
新規入院患者数（総数）	477	474	393
病床利用数（平均）	5.7	4.9	4.3
在院日数（平均）	7.6	6.8	6.8

活動実績

研修実績

研修名	月日	参加者
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	2024 年 5 月 8 日	安里 拓矢
院内 BLS 研修	2024 年 6 月 7 日	安里 拓矢
新人看護師研修Ⅱ「医療安全と感染管理」	2024 年 6 月 18 日	安里 拓矢
第 20 回日本クリティカルケア看護学会学術集会 運営サポート	2024 年 6 月 22 日	又吉 愛美
新人看護師研修Ⅱ「新人のためのフィジカルアセスメント」	2024 年 7 月 4 日	安里 拓矢
リーダーシップとメンバーシップ・コミュニケーション・ファシリテーション研修	2024 年 7 月 5 日	安次嶺 徹
新人看護師研修Ⅱ「身に付けよう社会人基礎力」	2024 年 7 月 6 日	安里 拓矢
看護連盟通常総会	2024 年 7 月 13 日	又吉 愛美
ポリナビワークショップ in 沖縄	2024 年 7 月 27 日	長濱 航
重症度、医療・看護必要度評価者及び院内指導者研修	2024 年 8 月 28 日	吉川 麻香
アサーションコミュニケーションスキル研修	2024 年 8 月 30 日	與那嶺 史子
沖縄県看護管理者等セミナー「看護職賃金アップの取り組み」	2024 年 9 月 7 日	又吉 愛美
看護職の働き方改革セミナーⅠ	2024 年 9 月 19 日	又吉 愛美
新人看護職員研修実地指導者研修	2024 年 10 月 8 日	伊佐 香朱美
リーダーシップとメンバーシップ・コミュニケーション・ファシリテーション研修	2024 年 10 月 23 日	安次嶺 徹
看護職の働き方改革セミナーⅡ	2024 年 10 月 24 日	又吉 愛美

研修名	月日	参加者
チームで取り組むせん妄対策	2024 年 11 月 1 日	西間木 一徳
裁判例から考える看護実践と看護記録	2024 年 11 月 15 日	長濱 航
看護実践能力を育てる	2024 年 11 月 22 日	吉川 麻香
基礎から学ぶ褥瘡予防とケア	2024 年 12 月 10 日	長濱 航
看護組織におけるサーバントリーダーシップ	2024 年 12 月 21 日	又吉 愛美
人口減少社会における看護DXの活用	2025 年 1 月 10 日	又吉 愛美
受賞祝賀会・新年会	2025 年 1 月 11 日	又吉 愛美
新人看護職員研修教育担当者研修	2025 年 1 月 21 日	又吉 愛美
2024 年度沖縄県看護連盟・沖縄県看護協会共催研修	2025 年 2 月 8 日	與那嶺 史子
AHA BLS プロバイダーコース	2025 年 2 月 15 日	長濱 航

年度総括

診療報酬改定により、ハイケアユニットの重症度・医療・看護必要度が見直されました。B 項目が削除され、基準①②での評価が開始となり、9 月からはレセプト電算処理システム用コードを用いた評価に移行しました。看護必要度を維持するため、ハイケアユニット専任医師との連携を強化し、現状と課題を常に協議した結果、2024 年度も看護必要度の基準値を維持することができました。2025 年度も必要度維持のため、入室基準に加えて、退院を見据えた情報共有を多職種で行える体制を整備していきます。

今年度は、退院に向けた支援も強化しました。入退院支援看護師の育成に努め、退室先の病棟との連携を図ることができました。今後は ICU と連携し、適正なベッドコントロールを行っていきます。

安全な看護の提供として、患者誤認および内服・点滴関連インシデントゼロを目標としていましたが、達成は困難でした。インシデント回避のため、作業環境の整備を進め、スタッフ全員で安全確認を徹底するなど、連携の強化を図ります。

また、今年度は積極的な研修参加を促し、人材育成に力を入れました。キャリア支援として、特定行為研修受講生を ICU へ異動させ、院内外の研修へ積極的に参加。2024 年度には重症度、医療・看護必要度指導者研修修了者 1 名、新人看護職員研修実地指導者研修修了者 1 名、AHA BLS プロバイダーコース修了者 1 名を育成しました。2025 年度は、認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了者や ACLS 修了者の育成を計画し、看護の質向上を目指します。

前年度からの課題である職員の定着については、部署全体で育成に関わり、新人看護師の退職者ゼロで 1 年を終えることができました。2025 年度は教育委員会活動をさらに活性化させ、HCU の教育体制を評価し、職員が働きやすい現場づくりを進めます。2024 年度からは所属長が ICU・HCU を兼任し、部署間の連携強化を図っています。今後も個々の目標管理を行い、職員一人ひとりが充実し、その成果が看護の質向上につながるよう取り組んでいきます。

東館 4・5 階病棟（産科・婦人科、乳腺外科）、産婦人科外来

東館 4・5 階病棟師長 我那覇 美帆

産婦人科センターとして、産婦人科外来、産婦人科、乳腺外科病棟として、2018 年 9 月に西館より移転しました。東 5 階を産科病棟、東 4 階を婦人科、乳腺外科、一般内科、外科病棟として運用しています。産婦人科外来は、平均 700 人 / 月の受診者があります。

職員数

総数 41 名

助産師 20 名

看護補助者 4 名

正看護師 14 名

クラーク 3 名

認定・資格など

氏名	名称
我那覇 美帆	臨床実習指導者研修修了 新人看護職員臨地指導者講習修了 新生児蘇生「専門」コース修了 JPTEC 研修修了 管理者研修ファーストレベル修了
崎山 久美	管理者研修ファーストレベル修了 新生児蘇生「専門」コース修了認定
具志堅 理沙	新生児蘇生「専門」コース修了認定 臨床実習指導者研修受講修了
榮 奈々子	アドバンス助産師 臨床実習指導者研修修了 新生児蘇生「専門」コース修了認定
金城 嘉奈子	アドバンス助産師 新生児蘇生「専門」コース修了認定
多和田 ちひろ	アドバンス助産師 新生児蘇生「専門」コース修了認定
大野 智菜津	新生児蘇生「専門」コース修了認定
中根 汐香	新生児蘇生「専門」コース修了認定
川端 星羅	新生児蘇生「専門」コース修了認定
佐山 杏奈	新生児蘇生「専門」コース修了認定
原 順子	アドバンス助産師 新生児蘇生「専門」コース修了認定
平良 唯香	新生児蘇生「専門」コース修了認定
上原 美佳	新生児蘇生「専門」コース修了認定
前田 奈緒子	新生児蘇生「専門」コース修了認定
富里 由美子	新生児蘇生「専門」コース修了認定
仲原 悠花	新生児蘇生「専門」コース修了認定

2024 年度 部署目標

1. 専門職として質の高い看護を提供する

- 1) 固定チームナースングを継続し、各個人がチーム内の役割を認識し主体的に行動する
- 2) キャリアパスに沿った個人目標を設定し、目標達成できるよう取り組む
- 3) 看護補助者と連携し、患者さんの求める看護を提供できる環境を整える

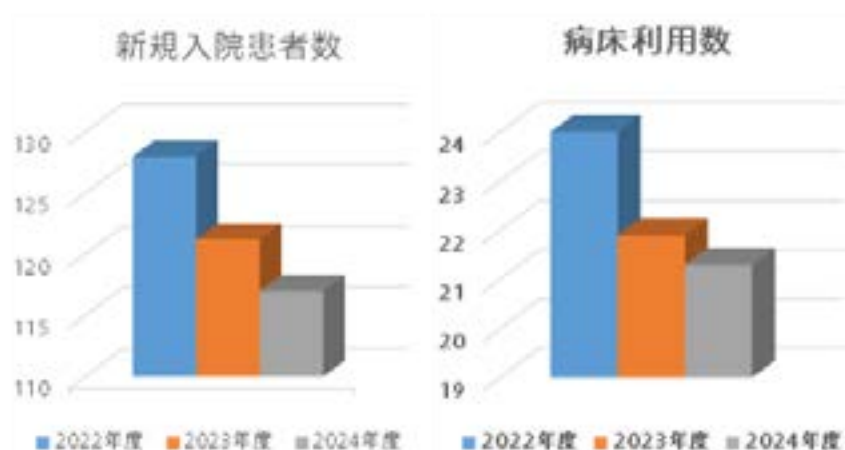
2. 安全・感染行動をルール通りに実践できる

- 1) レベル2以上のクイックセーフターを徹底する
- 2) 安全・感染に関する事象から得た学びをマニュアルに取込み、部署内で周知できる
- 3) 手指衛生を徹底し、院内感染を起こさない

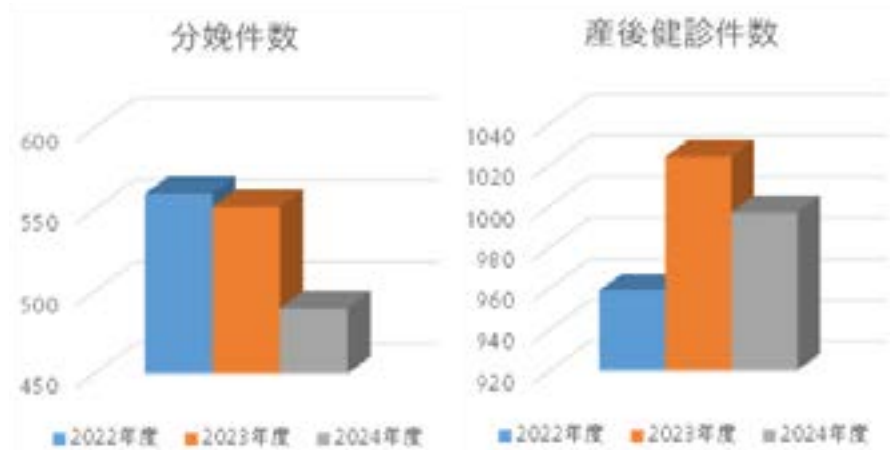
3. 部署間・部署内で丁寧な連携を実践する

- 1) 外来⇒入院の連携を強化し、継続看護を実践する
- 2) 院外からの研修（助産師出向制度）受け入れを行い、他施設との連携を深め、知識・技術向上を目指す
- 3) 訪問看護ステーションと連携し、母子の訪問看護を開始し、退院後も母子を支える体制を整える

業務実績



新規入院患者数、病床利用率ともに前年度より低下しました。2022年度は、コロナ禍において他病棟閉鎖に伴い、新規入院患者数および病床利用率が増加しましたが、今年度は産婦人科医師の減少に伴い分娩制限を行ったことで、病床利用率も減少しました。分娩を取り扱う部署であるため、分娩の安全を担保する目的で、短期予約入院やADLが自立した女性の入院受け入れを中心に、丁寧なベッドコントロールを行い、対応可能な疾患を増やしながら病床利用率の向上を目指します。



分娩件数は減少しました。これは、医師の減少に加え、医師の働き方改革を踏まえた超過勤務時間の把握に基づく分娩制限が要因と考えられます。下半期には新たな医師が入職したため、婦人科手術件数との兼ね合いも考慮しつつ、次年度は年間分娩件数 550 件を目指します。

産後健診は、分娩制限があったにもかかわらず大幅な減少は見られませんでした。これは、助産師が中心となり全市町村を対象に健診を行っていることが要因です。現在は、助産師を増員せず病棟助産師が対応していますが、今後も対応可能な助産師の育成を継続し、人員配置の再検討も行う必要があります。



婦人科および乳腺外科の手術件数はともに増加しました。下半期からは医師の入職に伴い、産婦人科外来枠の拡大や集患を行い、近隣クリニックからの手術目的紹介患者も増加しました。乳腺外科では、10月より常勤医師が入職したことで、手術件数に加えて化学療法件数も増加しています。今後も分娩業務と並行し、婦人科および乳腺外科の周術期看護ケアの質を維持できるよう、部署全体で取り組む必要があります。

活動実績

院外研修実績

研修名	主催	年月日	参加者
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	看護協会	2024 年 5 月 10 日	湯川 あいな
フィジカルアセスメント ・臨床推論の進め方	看護協会	2024 年 5 月 29 日	安村 知紗
重症度、医療・看護必要度評価者及び院内指導者研修	看護協会	2024 年 6 月 8 日	今井 久代
新人看護研修Ⅱ～医療安全と感染管理～	看護協会	2024 年 6 月 18 日	湯川 あいな

研修名	主催	年月日	参加者
認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）	看護協会	2024 年 6 月 24 日	我那覇 美帆
看護職と倫理（入門編）～患者の権利擁護を考える～	看護協会	2024 年 6 月 25 日	高橋 鈴奈
新人看護職員研修Ⅲ ～新人のためのフィジカルアセスメント～	看護協会	2024 年 7 月 4 日	湯川 あいな
リーダーシップとメンバーシップ・コミュニケーション・ファシリテーション	看護協会	2024 年 7 月 5 日	金城 嘉奈子
新人看護職員研修Ⅳ 身につけよう社会人基礎力～	看護協会	2024 年 7 月 6 日	湯川 あいな
医療者のための共育コーチング～心を動かし、チームを動かす～	看護協会	2024 年 7 月 24 日	富里 由美子
ポリナビワークショップ ～なぜ看護の道を選んだのか～	看護協会	2024 年 7 月 27 日	東 由莉
糖尿病患者の看護① ～患者背景を考慮した療養支援 聴く力・見る力～	看護協会	2024 年 7 月 30 日	東 由莉
沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会	看護協会	2024 年 8 月 6 日～ 9 月 27 日	金城 嘉奈子
アサーションコミュニケーションスキル	看護協会	2024 年 8 月 30 日	東江 秋乃
妊産婦に寄り添うパースレビューを実践しよう	看護協会	2024 年 9 月 7 日	川端 星羅、佐山 杏奈
医療安全の動向と法的責任	看護協会	2024 年 10 月 1 日	藤解 瑞穂
リーダーシップとメンバーシップ・コミュニケーション・ファシリテーション研修	看護協会	2024 年 10 月 23 日	前田 奈緒子、具志堅 理沙
死に近づく人の心に寄り添う - 看取る力、寄り添う力を育む -	看護協会	2024 年 10 月 31 日	安村 知紗、上原 志織
看護実践能力を育てる～継続教育担当として効果的な教育計画の企画にどう取り組むか～	看護協会	2024 年 11 月 22 日	具志堅 理沙
医療安全管理者スキルアップのために 患者安全を高めるチーム STEP 5	看護協会	2025 年 1 月 17 日	我那覇 美帆
リーダーシップ研修～プロフェッショナルマネージャーを目指す～	看護協会	2025 年 1 月 28 日	上原 美佳、具志堅 理沙

年度総括

前年度同様、質の高い看護実践の点では、チーム制を導入して 4 年目を迎え、東 4 階、東 5 階、産婦人科外来チームにおいて、リーダーとサブリーダーを中心に主体的なチーム活動が行えた 1 年でした。乳がん患者のパスの見直し、角膜移植、産科救急（グレード A 帝王切開）マニュアルの改訂、シミュレーション実施、小児科医と協働した新生児蘇生シミュレーションの定期開催など、いずれもチームメンバーが主体となり進めることができました。

クイックセーファー率はレベル 2 以上で 67%となり、前年度よりわずかに増加しましたが、リンクナースが主体となり、短時間でクイックセーファーを実施し、要因分析ができる体制を整える必要があるなど、課題も残りました。手指衛生におけるアルコール使用量は目標を達成できず、リンクナースを中心に要因分析を行い、5 つのタイミングでの手指衛生徹底に向けた取り組みが必要です。

連携面では、沖縄県助産師活用促進事業に参加し、赤十字病院や友愛医療センターの助産師を受け入れ、助産師外来研修を提供しました。施設外との連携が深まり、互いの研鑽につながっています。一方、母子訪問看護は訪問看護ステーションとの連携を開始予定でしたが、当科の人員不足（産休入り 8 名）により開始できませんでした。今後も継続して取り組む必要があるのか、次年度に検討します。

院内連携では、産科危機的出血マニュアルを検査室と協働し作成しました。今後も院内での連携を丁寧に重ね、課題解決に向けた取り組みを進めていきます。

3 階病棟（整形外科・形成外科・眼科）

3 階病棟師長 奥間 有太郎

職員数

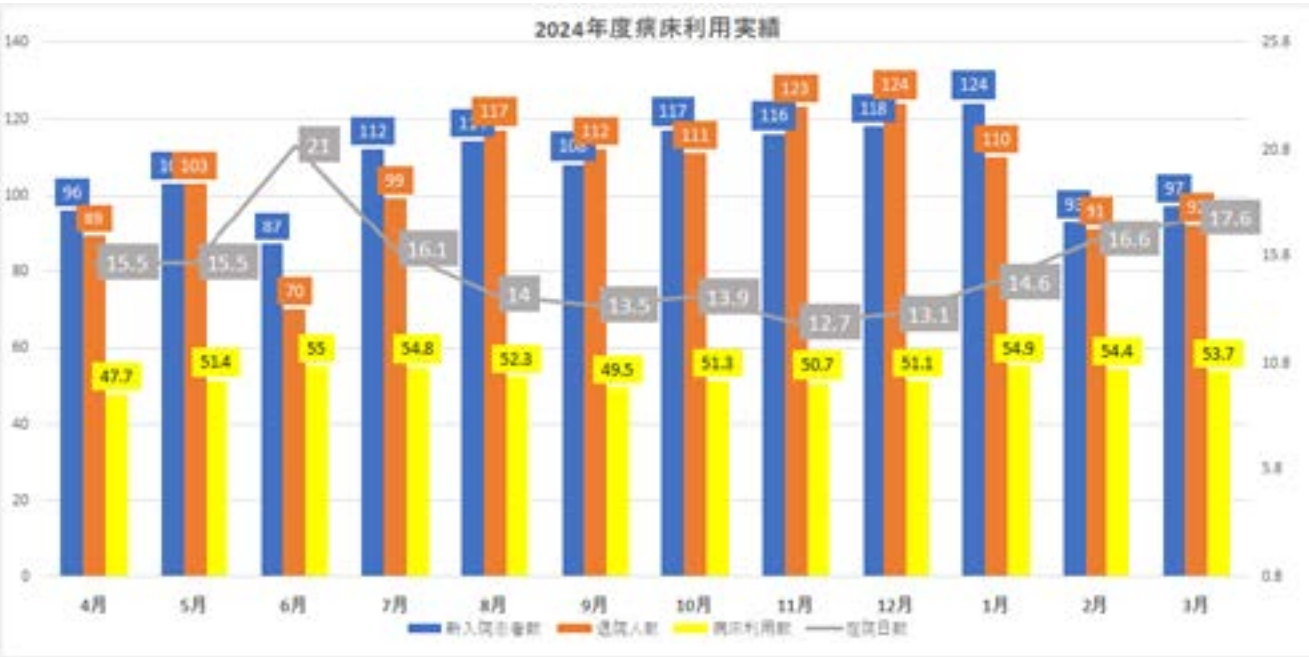
総数 42 名
正看護師 34 名 クラーク 1 名
看護補助者 6.5 名

認定・資格など

氏名	名称
奥間 有太郎	実習指導者研修受講修了 新人職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算Ⅱ対象
大見謝 奈々	病院看護師のための認知症対応力向上研修会修了 認知症ケア加算Ⅱ対象 実習指導者研修受講修了 新人看護職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
福末 直史	呼吸療法士認定
比嘉 由布香	日本糖尿病療養指導士認定 日本看護協会研修学校認定看護師教育課程修了
永村 麻衣子	実習指導者研修受講修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算Ⅱ対象

業務実績

新規入院患者数 1,195 人
1 日平均患者数 平均在院日数 15.3 日
52.2 人 重症度・医療・
病床利用率 93.8% 看護必要度（目標 31%） 38.1%



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催年月日	参加者
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	看護協会	2024年5月8日	平川 美優
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	看護協会	2024年5月10日	大浜 由衣
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	看護協会	2024年5月14日	長山 廉
基礎から学ぶ目標管理	看護協会	2024年5月22日	奥間 有太郎
フィジカルアセスメント・臨床推論の進め方	看護協会	2024年5月29日	徳平 優希、喜屋武 秀磨
基礎から学ぶ救急看護	看護協会	2024年5月31日	比屋根 寧海、多和田 ゆい
回復力を促す周術期ケア	看護協会	2024年6月12日	奥間 有太郎
新人看護職員研修Ⅱ～医療安全と感染管理～	看護協会	2024年6月18日	平川 美優、大浜 由衣、長山 廉
新人看護職員研修Ⅱ～新人のためのフィジカルアセスメント～	看護協会	2024年7月4日	平川 美優、大浜 由衣、長山 廉
新人看護職員研修Ⅱ～身に付けよう社会人基礎力～	看護協会	2024年7月6日	平川 美優、大浜 由衣、長山 廉
糖尿病患者の看護①～患者背景を考慮した療養支援 聴く力・看る力～	看護協会	2024年7月30日	伊礼 佳音
医療安全の動向と法的責任	看護協会	2024年10月1日	永村 麻衣子、徳平 優希
新人看護職員研修 実施指導者研修	看護協会	2024年10月8日～10月10日	町田 歌音、大城 似菜
リーダーシップとメンバーシップ・コミュニケーション	看護協会	2024年10月23日	多和田 ゆい
病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修	看護協会	2024年10月26日	島袋 笑奈、呉屋 友美

年度総括

3階病棟は、整形外科・形成外科・眼科を主とする病棟です。整形外科領域においては、手疾患をはじめ、股関節や膝関節、脊椎疾患に至るまで幅広い患者様を受け入れ、保存療法や手術療法を選択しながら、治療と療養生活をサポートしています。形成外科領域では、難治性潰瘍や褥瘡に対し、軟膏処置から手術療法までを行い、可能な限り足を残し、県民の健康寿命の延長を目指して日々取り組んでいます。眼科領域においては、県内で数少ない角膜移植が実施できる施設として、患者様の手術や治療への不安に寄り添い、患者様やご家族が安心して治療に臨めるよう、多職種でサポートを行っています。

2024年度は、コロナ禍が明け、日常を取り戻しつつある中で、入院患者数も徐々に増加し、コロナ禍前の活気が戻りつつあると感じました。また、数年ぶりに医療監視や医療監査、病院機能評価といった外部機関の訪問が立て続けにあり、これらを通じて、患者様に安心・安全で質の高い医療を提供するための課題を明確にすることができました。当病棟では、周術期管理を徹底するとともに、リハビリ担当者やMSW、薬剤師、栄養士、看護師といった多職種の連携が以前にも増して強化されたと感じています。その結果、円滑な退院支援が実現し、平均在院日数の短縮や病床稼働率の向上につながったと考えています。

さらに、人口構造の変化に伴いさまざまな問題が懸念される「2025年問題」を目前に、患者層にも変化が見られるようになりました。入院患者様の多くが後期高齢者であり、身体的・精神的・社会的側面から患者様の全体像を捉え、多角的にサポートしていくことの重要性が一層高まっています。今後は、急性期病院であっても地域につなぐ医療提供が求められます。患者様とご家族が安心して地域に戻るよう、引き続き専門性を高め、多職種連携を密にしながら邁進してまいります。

4 階病棟（外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、口腔外科）

4 階病棟師長 安村 公均

職員数

総数 47 名
正看護師 39 名 クラーク 1 名
看護補助者 7 名

認定・資格取得など

氏 名	名 称
安村 公均	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 医療安全管理者養成研修修了 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了 看護補助者活動推進のための看護管理者研修修了 重症度、療・看護必要度評価者院内指導研修修了
與那覇 亜紀子	日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストーマ研修修了 新人看護職員研修教育担当者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
里 伸也	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了 看護補助者活動推進のための看護管理者研修修了 排尿ケア 日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストーマ研修修了
高宮 里沙	緩和ケア認定看護師
長浜 洋美	緩和ケア認定看護師
平良 勇	日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストーマ 研修修了 実習指導者研修修了
川崎 聖信	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
玉城 直美	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
大城 千都	日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストーマ 研修修了
長濱 李子	日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストーマ 研修修了

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 108 名 在院日数 11.9 日
病床利用数 47 床

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
フレッシュマン研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 5 月 8 日	坂井 琉華
フレッシュマン研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 5 月 14 日	鎌ヶ迫 千恵子
医療安全と感染管理	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 6 月 18 日	鎌ヶ迫 千恵子
フィジカルアセスメント研修	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 7 月 4 日	坂井 琉華

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
身につけよう社会人基礎力	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 7 月 6 日	鎌ヶ迫 千恵子
医療安全と感染管理	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 7 月 20 日	前里 紀亜羅
ストーマリハビリテーション	ストーマケア学会		2024 年 8 月 1 日	宮里 伸也、大城 千都、長濱 李子
裁判例から考える看護実践と看護記録	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 10 月 1 日	玉寄 喜士
第 47 回日本死の臨床研究会年次大会	日本死の臨床研究会	北海道	2024 年 10 月 11 日～10 月 12 日	長浜 洋美、高宮 里沙
アサーションコミュニケーション研修	沖縄県看護協会	南風原町	2024 年 10 月 27 日	東江 桃佳
日本緩和医療学会 第 6 回東海・北陸支部学術大会	日本緩和医療学会	愛知県	2024 年 11 月 15 日～11 月 16 日	長浜 洋美
第 10 回 沖縄県緩和ケア研修会	厚生省	沖縄県	2025 年 2 月 17 日	長浜 洋美、上里 音彩、安村 公均

年度総括

4 階病棟は、外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、脳外科に加え、2025 年度から口腔外科が加わった混合病棟です。日々、多くの手術患者に対応し、術前・術後を含めた周術期患者様の管理を行っています。また、化学療法も担当しています。

術前から合併症リスクの低減に向けた取り組みを進め、早期の社会復帰を目指してチーム全体で看護実践を行っています。その結果、高齢患者を中心に ADL（日常生活動作）低下を最小限に抑え、退院につなげることができました。また、脳外科などでは、機能低下を最小限にするため、入退院支援看護師を中心にリハビリ病院への転院を含めた多職種連携に取り組んできました。

皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程を修了した看護師が退院支援カンファレンスに参加し、人工肛門を造設した患者が不安なく退院できるよう指導にあたっています。今年度は新たに 3 名のストーマリハビリテーション研修修了者が誕生しました。今後も計画的な研修参加を通じ、人工肛門造設患者への指導・看護の強化に向けて取り組んでいきます。

当科では、多くの術前化学療法や術後補助化学療法が実施されています。化学療法による副作用として骨髄抑制や免疫力低下が生じることがありますが、新型コロナウイルス感染によるクラスターを防げたことは成果と考えています。

がんターミナル期の患者との関わりも多く、緩和ケア認定看護師を配置し、「病気を抱えながらもその人らしく最期を迎えられる看護」を目標に病棟全体で看護実践に取り組んでいます。患者様やご家族の思いに応えられるよう、早期からチームで対応できる体制を今後も強化してまいります。

次年度も「この病院で入院・手術・治療を受けて良かった」と思ってもらえる、質の高い看護を提供できるよう努めてまいります。

5 階病棟（消化器内科・小児科）

5 階病棟師長 大城 祥子

職員数

総数	47 名		
正看護師	36 名	看護補助者	8 名
准看護師	2 名	保育士	1 名

認定・資格取得など

氏名	認定・資格
大城 祥子	認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了 沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了 新人看護職員研修教育担当者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度・医療、看護必要度指導者研修修了 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修修了 災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～
嘉陽 陽子	沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了
知念 晶子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度・医療、看護必要度指導者研修修了
我謝 要子	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修修了 認知症対応力向上研修修了 重症度・医療、看護必要度指導者研修修了
富里 理恵	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度・医療、看護必要度指導者研修修了
新垣 涼香	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
與那嶺 裕	沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了
照喜名 朝郁	沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
松田 夏江	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 AHAガイドライン準拠BLSプロバイダーコース
神山 真琴	特定行為研修修了 特定行為分野：動脈血液ガス分析関連 AHAガイドライン準拠BLSプロバイダーコース
港川 誉志也	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
久保 綾華	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
神谷 詩歩	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了 認知症対応力向上研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
上間 舞子	新人看護職員研修実地指導者研修修了
喜屋武 愛	新人看護職員研修実地指導者研修修了
山城 智子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
島袋 加奈恵	身体ケアを行う看護補助者のための実務研修修了

業務実績

月平均入院患者状況	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
新規入院患者数	136.3	129.5	132.9	170.4	177.7
病床利用	40.7	33.2	28.5	36.4	40.4
平均在院日数	8.9	7.5	6.7	6.3	6.8

年度総括

2024 年度は、病院機能評価、保健所立入検査、適時調査の受審がありました。受審にあたり、職員が一丸となり「医療の質向上」という目標を目指すことができました。これらの第三者評価を通じて、自院の現状把握や各規程・マニュアルの整備等に取り組んだ結果、業務改善や質の向上につながりました。また、病院機能評価でケアプロセス調査の対象病棟となり、安全管理や感染管理、診療・看護部門・多職種連携の実際を評価していただいたことは、質の向上に向けたスタッフの意識改革に大きな影響を与えました。第三者評価の結果、明らかになった課題に取り組むことで、さらなる医療の質向上が図れると考えています。職員の改善意欲が向上し、他職種間の連携も深まり、連携強化や教育効果も期待できます。

部署目標に対する取り組みとしては、安全・感染に関して「同じ失敗は繰り返さない病棟」を目指し、インシデント 0 ～ 1 レベルの積極的な報告や、感染伝播を予測した感染対策の強化を実施しました。また、患者サービスの向上に関しては「自分自身が受けたい看護を提供する」ことを目標とし、合併症を発症することなく DPC II の期間で退院できるよう、医師や多職種との連携を強化しました。そして患者サービスの向上のためには、患者対応を行うスタッフが生き生きとしている必要があると考え、ワークライフバランスを意識した業務調整や、スタッフの有休消化率 100% を達成しました。次に、人材育成では「チームワーク強化」を目指し、今後を見据えたリーダー育成にも注力しました。育成対象者のリーダー実践やフィードバックを通じ、組織としての人材力の底上げを図ることができました。また、多くのスタッフが積極的に院外研修へ参加し、得られた知識を実践に活かすことで、専門性の向上とともにチーム全体の活性化につながりました。そして、2024 年度終盤には特定行為研修修了生が誕生し、次年度は迅速かつ的確な医療の提供とチーム医療の推進が期待されます。

入院病棟としては、他科患者の受け入れにも柔軟に対応し、24 時間救急指定病院の機能を果たすとともに、より多様なニーズに応える体制を構築することができました。

本年度のこれらの取り組みを通じ、5 階病棟として一層の連携強化と課題解決への意識が高まりました。来年度も引き続き、安全・安心かつ専門性の高いケアの提供を目指し、「患者・家族・職員から選ばれる病棟」を目標に、スタッフ全員で取り組んでいきます。

6 階病棟（泌尿器科・総合内科）

6 階病棟師長 喜屋武 香織

職員数

総数 41 名

正看護師 34 名

看護補助者 6 名

准看護師 1 名

認定・資格取得など

氏名	名称
喜屋武 香織	日本消化器内視鏡技師免許取得 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修修了 看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了 認知症対応力向上研修修了 医療安全管理者養成研修修了
木村 有希	重症度、医療、看護必要度ステップアップ研修修了 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修修了 新人看護職員研修実施指導者研修修了
上原 拓也	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 新人看護職員研修実施指導者研修修了
松井 美保	保健師助産師看護師実習指導者講習会修了
宮里 瀬菜	呼吸療法認定士取得 2020 年更新済み
比嘉 哲也	沖縄県緩和ケア研修修了 2019 年
仲村渠 恵理子	沖縄県緩和ケア研修修了 2020 年
神谷 実希	沖縄県緩和ケア研修修了 2022 年
上江洲 花帆	沖縄県緩和ケア研修修了 2023 年

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 92.2 名

在院日数 13.1 日

病床利用数 41.2 床

院内・院外研修実績

研修名	開催年月日	参加者
新人看護職員研修Ⅰフレッシュマン研修	2024 年 5 月 8 日	小谷 綾香
新人看護職員研修Ⅰフレッシュマン研修	2024 年 5 月 8 日	知念 稜
新人看護職員研修Ⅱ医療安全と感染管理	2024 年 6 月 18 日	小谷 綾香
新人看護職員研修Ⅱ医療安全と感染管理	2024 年 6 月 18 日	知念 稜
新人看護職員研修Ⅲ新人のためのフィジカルアセスメント	2024 年 7 月 4 日	小谷綾香
新人看護職員研修Ⅲ新人のためのフィジカルアセスメント	2024 年 7 月 4 日	知念 稜
新人看護職員研修Ⅳ身に付けよう社会人基礎力	2024 年 7 月 6 日	小谷 綾香
新人看護職員研修Ⅳ身に付けよう社会人基礎力	2024 年 7 月 6 日	知念 稜
第 1 回ポリナビワークショップ IN 沖縄	2024 年 7 月 27 日	比嘉 菜月
保健師助産師看護師実習指導者講習会	2024 年 8 月 6 日	松井 美保
身体ケアを行う看護補助者のための実務研修	2024 年 8 月 6 日	大城樹 梨弥
認知症対応力向上研修	2024 年 10 月 26 日	仲村渠 恵理子
人口減少社会における看護 DX の活用	2025 年 1 月 10 日	木村 有希

研修名	開催年月日	参加者
第8回九州ブロックポリナビワークショップ IN 福岡	2025年3月23日	比嘉 菜月

2024 年度総括

6階病棟は、4月から診療科が新たに総合内科になりました。

今年度は、厚生局適時調査や病院機能評価の受審の年でもあり、5Sを中心に病棟の整理整頓から取り組みを開始し、業務面では看護記録のマニュアルを整備しました。質の高い看護の提供を目標に掲げ、スタッフ一丸となって取り組みました。

学習面では、院内研究において身体抑制軽減に向けた取り組みで良い結果を残すことができ、スタッフ全員の努力が良い看護につながったと感じています。

研修に関しては、加算関連に直結する研修受講率が低いため、次年度は研修参加者を増やし、スタッフの知識向上につなげていきたいと考えています。

安全面では、インシデント 3b が2件（転倒と入れ歯の破損）発生しました。インシデント報告では、レベル0が4件、レベル1が68件、レベル2aが99件、レベル2bが71件、レベル3aが29件で、最も多かった事象はスキンケアでした。入院患者の多くが超高齢者であるため、予防に努め、慎重かつ丁寧な看護ケアを心がけていきたいと考えています。

今後はレベル0・1を増やし、事象に対する要因分析を徹底し、同様の事象を繰り返さないよう強化していきます。次年度はKYTの視点を養い、早期危険回避ができる風土づくりを実践します。また、ワークライフバランスの強化により、働きがいのある環境づくりと質の高い看護実践に努めてまいります。

7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）

7 階病棟師長 花城 優子

職員数

総数 42 名

正看護師 34 名

看護補助者 7 名

准看護師 1 名

認定・資格等

氏名	名称
花城 優子	新人看護職員研修教育担当者研修修了 認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）修了
市川 恵	2023 年度 JNA 収録 DVD 研修「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」研修修了
當眞 さゆり	栄養サポートチーム専門療法士認定証取得 沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了
東江 幸恵	沖縄県緩和ケア研修会修了 がんのリハビリテーション研修課程修了（日本理学療法士協会）
宮城 秀成	リハビリ緩和加算研修修了 沖縄県緩和ケア研修会修了 ACLS プロバイダーコース修了
照屋 梨乃	認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
上原 彩夏	ACLS プロバイダーコース終了
宮城 幸菜	沖縄県緩和ケア研修修了 看護補助者活用のための看護管理者研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了 呼吸療法認定士資格取得
松田 沙衣可	コンチネンスセミナー初級コース課程修了
上原 慎	沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了 認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了
屋宜 瀬菜	新人看護職員研修実地指導者研修修了
益子 織江	呼吸療法認定士資格取得
知念 政美	身体ケアを行う看護補助者のための実務研修修了 介護福祉士資格取得

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 91 人

病床利用数 46.2 床

平均在院日数 14.0 日

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催年月日	参加者
臨時研修会 ハイブリット研修 診療報酬改定のポイント	看護協会	2024 年 4 月 13 日	花城 優子、宮城 幸菜
新人看護職（フレッシュマン）研修Ⅰ	看護協会	2024 年 5 月 14 日	花城 友美
新人看護職員研修Ⅱ～医療安全と感染管理	看護協会	2024 年 6 月 18 日	花城 友美

研修名	主催	開催年月日	参加者
看護職と倫理（入門編）～患者の権利擁護を考える～	看護協会	2024 年 6 月 25 日	安次富 桃子、山田 彩花
医療者のための共育コーチング～心を動かし、チームを動かす～	看護協会	2024 年 7 月 1 日	山田 彩花
新人看護職員研修Ⅲ～新人のためのフィジカルアセスメント～	看護協会	2024 年 7 月 4 日	花城 友美
リーダーシップとメンバーシップ・コミュニケーション・ファシリテーション	看護協会	2024 年 7 月 5 日	勝山 琴音
令和 6 年度 看護職の就労環境改善支援事業	看護協会	2024 年 7 月 12 日	花城 優子
看護職員認知対応力向上研修「認知症ケア加算 2.3」対応	看護協会	2024 年 7 月 18 ～ 7 月 20	上原 慎
医療安全管理者養成研修	日本看護協会	2024 年 7 月	花城 優子
医療者のための共育コーチング～心を動かし、チームを動かす～	看護協会	2024 年 7 月 24 日	屋宜 瀬菜
褥創領域研修	院内研修	2024 年 7 月 24 日	高山 星七
心不全患者の看護～セルフケア能力向上と重症化予防支援～	看護協会	2024 年 8 月 17 日	屋宜 瀬菜
心不全患者の看護～セルフケア能力向上と重症化予防支援～	看護協会	2024 年 8 月 23 日	高山 星七、山田 彩花
摂食嚥下リハビリ学会発表	嚥下リハ学会（福岡）	2024 年 8 月 23 日	花城 優子
摂食嚥下リハビリ学会発表	嚥下リハ学会（福岡）	2024 年 8 月 30 ～ 31 日	松田 沙衣可
新人看護職員研修 実地指導者研修	看護協会	2024 年 8 月 30 ～ 31 日	屋宜 瀬菜
チームで取り組むせん妄対策	看護協会	2024 年 10 月 8 日～ 10 日	當眞 さゆり
チームで取り組むせん妄対策	看護協会	2024 年 11 月 1 日	仲村 彩音
裁判例から考える看護実践と看護記録	看護協会	2024 年 11 月 1 日	仲村 彩音
裁判例から考える看護実践と看護記録	看護協会	2024 年 11 月 15 日	宮城 幸菜
看護協会ワールドカフェ	看護協会	2024 年 12 月 22 日	花城 優子
新人看護職員研修教育担当者研修	看護協会	2024 年 1 月 16 日～ 1 月 19 日	宮城 幸菜
緩和病棟見学	アドベンチストメディカルセンター	2025 年 2 月 22 日	上原 慎、市川 恵
緩和病棟見学	アドベンチストメディカルセンター	2025 年 2 月 29 日	宮城 幸菜、翁長 美月
2023 年度ポリナビワークショップ	看護連盟	2025 年 3 月 2 日	安次富 桃子、仲松 さより、山田 彩花

2024 年度病棟目標

1. 患者の安全 患者誤認ゼロ、私物管理の徹底
2. 清潔ケアの充実
3. 環境整備 病室内の整理整頓、患者に合わせたレイアウト
4. 身体抑制の低減 身体抑制 5 件以下

2024 年度総括

2024 年度は、安全の観点からインシデント分析強化を掲げておりましたが、患者誤認や私物の紛失が相次いで発生しました。このことから、下半期より目標の見直しを行いました。直前照合の徹底を再周知し、実施状況を個別に確認することと、私物管理の方法を見直し、療養環境の整理に取り組んでまいりました。また、身体抑制の低減に関して、年度初めは身体抑制実施率 40.5%となっており、日々カンファレンスを重ね、不必要な抑制の解除を行いました。中でも半数以上が転落防止のためのベッド 4 点柵であり、次に離床時の体幹ベルトとなっておりました。取り組みの結果、身体抑制率は 21.8%まで低減しました。身体抑制ゼロを心掛け、今後も日々取り組んでいく予定です。

本年度、病院機能評価、適時調査、保健所監査で第三者評価を受け、課題や問題解決に対して全体で取り組みました。各委員会担当看護師で役割分担を行い、それぞれの分野から対策を発信・周知することで、スタッフ同士の意識改革と、チームを動かす中堅層の育成にもつながりました。また、カルテの整理や記録、カンファレンスについて、医師をはじめ多職種との連携も図りながら共有することができました。今後は、多職種が情報共有できる仕組みとして、情報共有シートの作成・活用に向けて取り組んでいきたいと考えております。

当病棟の 7 割が後期高齢者であり、入院後、臥床状態が長くなることで ADL 低下をきたし、自宅への退院が困難となるケースがありました。このことから、ADL 低下予防のために早期リハビリ介入を行い、看護師による継続した介入の必要性を痛感いたしました。現在、患者様の目指す姿を入退院支援看護師とともに、ご家族を含めリハビリ科とも共有すべく取り組んでおります。今後も、平均在院日数を減らすとともに、患者様が元気に在宅復帰できるよう、「歩いて帰そう」をモットーに医療・看護の提供を行っていきたいと考えております。

看護部 年度総括

看護部長 安谷屋 佳子

【2024 年度 看護部目標】

1、安全・感染行動の意識付け

【ビジョン】

- ①事象を分析しルールを守れる組織
- ②情報が共有できる組織（周知徹底）
- ③安全な医療が提供できる組織

2、きめ細やかな看護サービスの提供

【ビジョン】

- ①誇りと自覚を持ち、専門職として質の高い看護が提供できる組織
- ②外来から入退院支援、地域へつなげる一貫した看護を提供できる組織
- ③看護職と看護補助者が連携し、患者が求める看護を提供できる組織

3、豊かな感性を持ち、質の高い看護実践ができる人材の育成

【ビジョン】

- ①現場に直結した教育ができる組織（中堅看護師の育成）
- ②個人のキャリアアップにつながる目標管理が実践できる組織
- ③働き続けたいと思える組織

4、病院経営への参画

- ①看護部職員一人ひとりが組織体制の仕組みを理解し、報告・連絡・相談ができる組織
- ②看護部職員一人ひとりが病院 3 指標を意識できる組織
- ③人財定着と確保に取り組める組織

患者さんから選ばれる組織づくりを目指し、目標ごとにビジョンを掲げて取り組みました。

安全面では、基本であるルールが徹底されないことによるインシデントが多発しました。対策として、マニュアルの基本の徹底や、インシデント事例ごとの要因分析と対策立案を行動目標としました。その結果、昨年度に比べタイムリーな報告が増加しましたが、業務の多忙さを理由にルール徹底不足によるインシデントは減少に至らず、次年度の課題となりました。

感染面では、コロナ感染症のクラスターが各部署で発生し、標準予防策の遵守不足が要因でした。手指消毒の遵守率が依然として低いことから、標準予防策の重要性を再認識し、基本に立ち返る必要性が明らかになりました。次年度は、患者を感染から守る姿勢を徹底し、標準予防策遵守の強化に努めます。

今年度、特に注力したのは看護の質向上への取り組みです。身体抑制低減に向け、患者の尊厳を守るためにチームで活動内容を見直しました。取り組み開始当初は抑制率が 20 ～ 30 % と高水準で課題でしたが、まずは無理なく実践可能な改善策として、4 点柵から 3 点柵への移行やミトンの使用削減に取り組み、12 ～ 14 % まで低下させ、目標の 12 % 以下達成に近づきつつあります。今回の取り組みは、患者だけでなくスタッフにとっても尊厳について考える貴重な機会となりました。

また、摂食嚥下困難患者への取り組みも昨年度に続き強化しました。60 ～ 80 歳代の入院患者が多く、

誤嚥性肺炎による再入院が課題でした。2023 年度に摂食嚥下認定看護師を迎え、多職種チームを発足させたことで、食支援に対する意識が向上しました。しかし、習得した知識や技術の現場浸透が不十分でした。次年度は周知活動を強化するとともに、地域と連携した「食形態マップ」作成を計画しています。さらに、摂食嚥下認定看護師を目指すスタッフも誕生し、活動成果が着実に広がっています。次年度は摂食嚥下機能回復体制加算取得に向け、活動をさらに推進します。

人材育成では、キャリアラダーを活用した目標管理面談が定着し、特定行為研修受講希望者が 2023 年度の 2 名から 2024 年度は 5 名に増加しました。一方で、中堅看護師のキャリア形成意欲の低下が課題として浮上しました。この課題に対応するため、昨年度効果的だったワールドカフェを継続し、学会発表や研修参加を奨励しました。その結果、今年度は 3 演題の学会発表を行い、学習意欲が向上しました。今後も目標管理面談を通じ、継続的な学びの重要性を動機づけし支援していきます。

院内教育体制については、統一的な指導を目的に独自の指導者資格テストを新設・実施しました。次年度は内容評価を行い改善を図ります。

病院経営面では、診療報酬改定の影響もあり、厳しい 1 年となりました。病床管理では、院長方針「ベッドコントロールの権限は師長にある」のもと、看護部が主導。年度当初は病床稼働率が低調でしたが、適正管理を議論・徹底することで下半期に回復傾向が見られました。また、急性期充実体制加算取得に向け、医師・看護師の人員確保、手術枠見直し、集患活動を進めました。麻酔科医師不足への対応として、特定行為研修修了者を診療に配置し、支援体制を整備しました。さらに、今後も特定行為研修修了者を年 2 名輩出し、より充実したサポート体制の構築を目指します。

看護の質向上は永遠の課題であり、知識・技術に加え、感性豊かな人材の育成に引き続き取り組んでまいります。

医療技術部

放射線科

放射線科技師長 石原 悟

2024 年度は新型コロナウイルス感染症の流行も落ち着き、徐々に通常の生活へと戻りつつあります。当放射線科では、これまでと同様に「一患者一消毒」の徹底など、感染症拡大防止の対策を継続し、安全第一で業務にあたっております。

同年 4 月より、西平医院が新たに当法人かりゆし会の一員となり、同院での放射線業務のバックアップも行っております。

本院での撮影業務については、昨年度と比較して、一般撮影、口腔撮影、CT、MRI、RI、Angio の件数は増加し、TV、MMG に関しては減少しました。引き続き、予約枠の有効活用や地域連携の強化を図り、地域医療サービスへの貢献を目指しています。

9 月からは乳腺外科専門医の就任により新たに乳腺外来が開始され、乳腺外科スタッフの協力のもと、RI 検査の件数も増加しています。CT の撮影方法についても乳腺外科と連携し、乳腺手術支援画像の構築など、技術の向上に取り組んでいます。

撮影技術や 3D 処理技術は年々進歩しており、検査内容や画像作成技術について外科医を含めて情報共有を行い、部署内で勉強会を開催することで、放射線科スタッフ全体のスキル向上につなげています。また、乳腺外来では、VR ゴーグルを用いた 3D モデルによる術前シミュレーションや術中表示の導入をサポートしており、より高度な医療提供に貢献しています。

人員については、12 月に 1 名、3 月に 1 名がそれぞれ退職しましたが、短期契約で 1 名を補充し、年度内の業務に対応しました。欠員 2 名については次年度 4 月採用に向けて活動を行い、新卒者 2 名の採用が決定しました。

設備面では、11 月に予防医学センターのマンモグラフィ撮影装置を更新しました。この装置は、照射野に過去画像の辺縁を投影し、前回撮影時の情報を表示できる機能を備えており、精度の向上に寄与しています。

学術活動においては、今年度の沖縄県放射線技師会学術大会で、当院放射線科より 11 演題中 4 演題を発表いたしました。また、今年度は日本診療放射線技師会と日本放射線技術学会の合同開催による第 1 回日本放射線医療技術学術大会が沖縄県で開催され、当院からも 2 名が発表を行いました。

認定資格の取得も重要視されており、今年度は放射線機器管理士 1 名、放射線管理士 1 名、臨床実習指導者 1 名が新たに認定を受けました。2025 年 7 月には、以前より申請していた胃がん検診専門技師 2 名が、関連学会より認定予定です。

また、2022 年度より開始された厚生労働省指定の告示研修については、2024 年度までに当院の放射線技師全員が修了いたしました。これにより、今後は放射線業務におけるタスクシフトの推進が期待されます。

今後もスタッフ一同、さらなるスキルアップを目指して努めてまいります。

職員数

総数

25 名

職種別

診療放射線技師 21 名

受付事務 1 名

認定・資格

氏名	名称
仲座 義富	アドバンス診療放射線技師
	第一種衛生管理者
	衛生工学衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
石原 悟	胃がん X 線検診技術部門 B 資格
	医療安全管理者認定
	胃がん X 線検診技術部門 B 資格
	胃がん X 線検診読影部門 B 資格
大城 盛寛	臨床実習指導教員
	アドバンス診療放射線技師
	医用画像情報管理士
	核医学検査技能検定 3 級
松田 優二	胃がん X 線撮影部門資格検定
	X 線 C T 撮影認定技師
	第一種衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
	AI 認定技師
	大腸 CT 認定技師
	画像等手術支援認定技師
	医療安全管理者認定

氏名	名称
新垣 弘扇	検診マンモグラフィ認定技師
新垣 千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
	胃がん X 線撮影部門資格検定
宮城 直哉	第一種衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
	放射線機器管理士
程岡 美貴	検診マンモグラフィ認定技師
	胃がん X 線撮影部門資格検定
出津 利恵	検診マンモグラフィ認定技師
	X 線 C T 撮影認定技師
	AI 認定技師
	大腸 CT 認定技師
	画像等手術支援認定技師
宇江城 彩香	放射線管理士
	検診マンモグラフィ認定技師
	肺がん CT 検診認定技師
太田 忍	X 線 C T 撮影認定技師
	検診マンモグラフィ認定技師
仲田 真央	検診マンモグラフィ認定技師
小橋川 亜季	検診マンモグラフィ認定技師

2024 年度機器更新

・ 予防医学センターマンモ装置



術前シュミレーション 3 D 画像

既存モダリティー

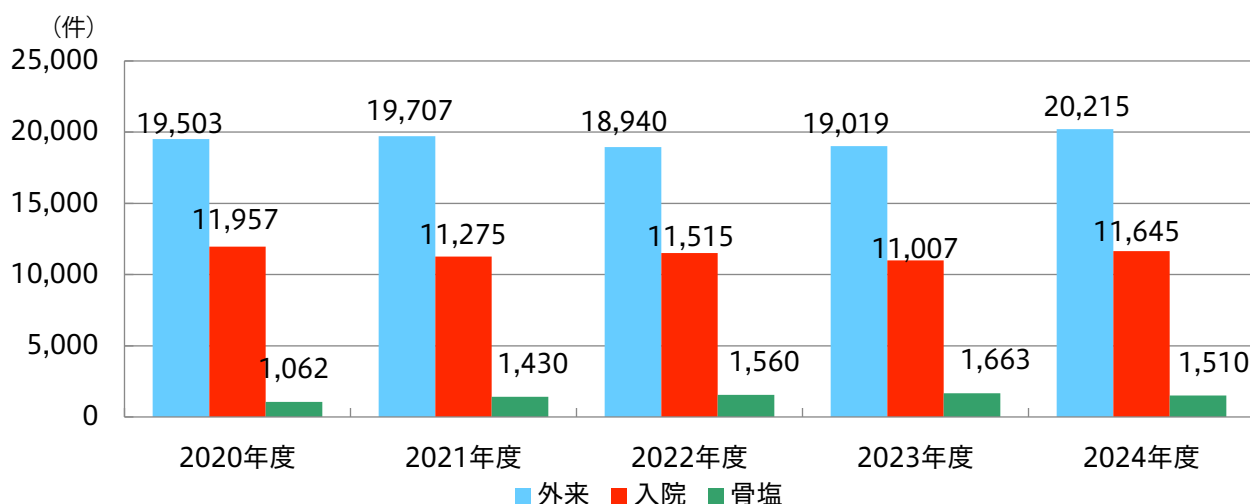
- ・一般撮影装置：4台（ドック1台含む） ・CT装置：3台 ・ANGIO装置：2台
- ・MRI：2台 ・X-TV：4台（ドック2台含む） ・マンモ：2台（ドック1台含む）
- ・骨密度装置：2台 ・RI装置：1台 ・パノラマ装置：1台 ・デンタル装置：1台
- ・外科汎用型X線イメージ装置：3台 ・四肢専用外科用イメージ装置：1台
- ・X線ポータブル撮影装置4台
- ・結石破碎装置（泌尿器）1台

運営方針

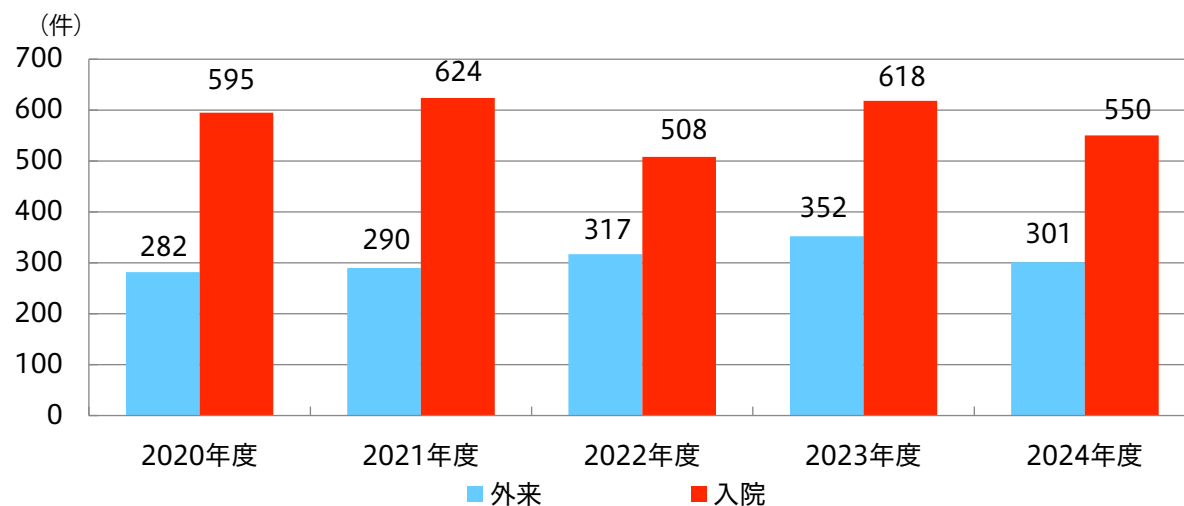
1. 患者さんの医療被ばく低減
2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
3. 技師の技術向上
4. 安全な検査のための機器保守点検

検査・治療実績

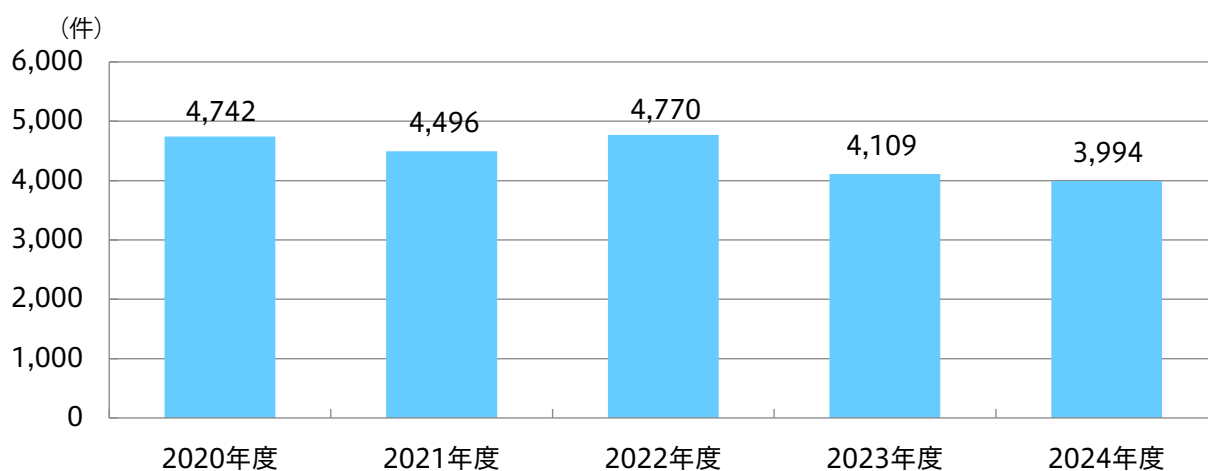
一般撮影



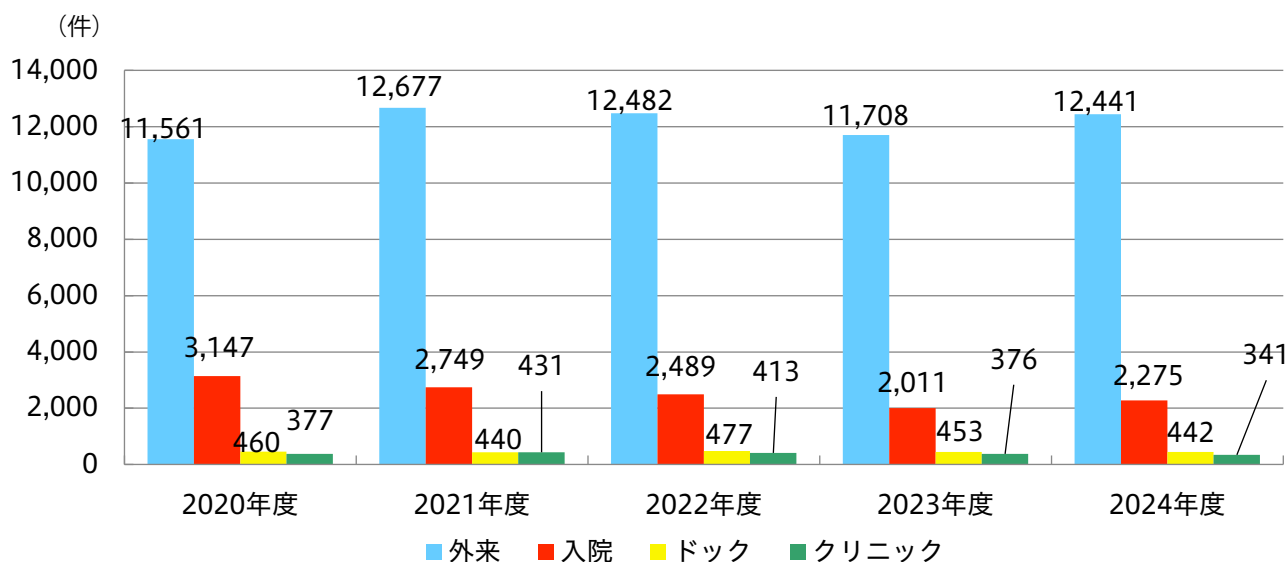
透視検査



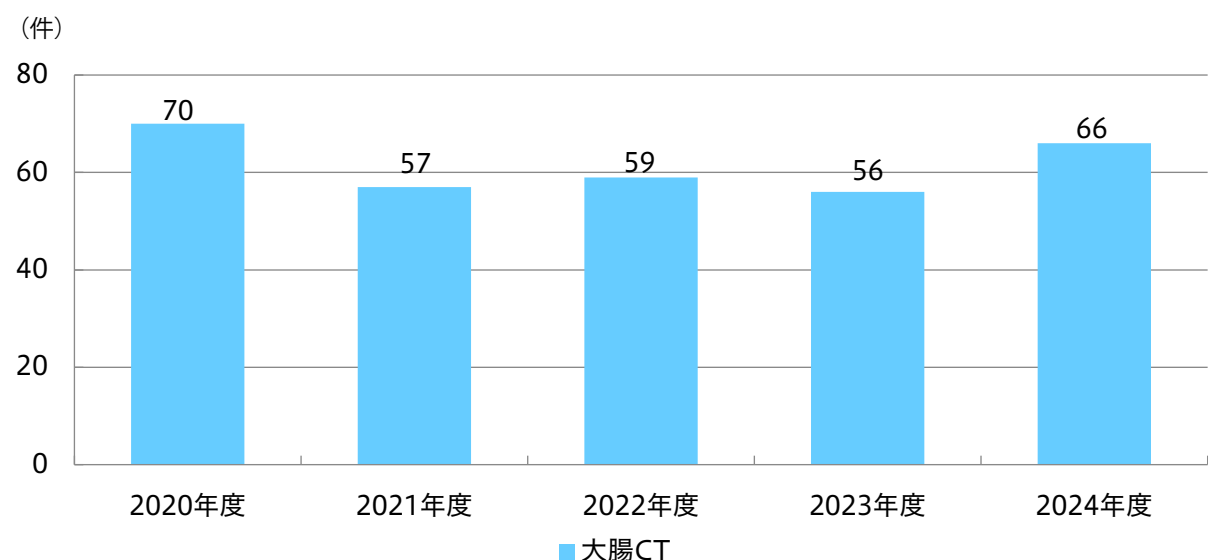
透視検査（人間ドック）



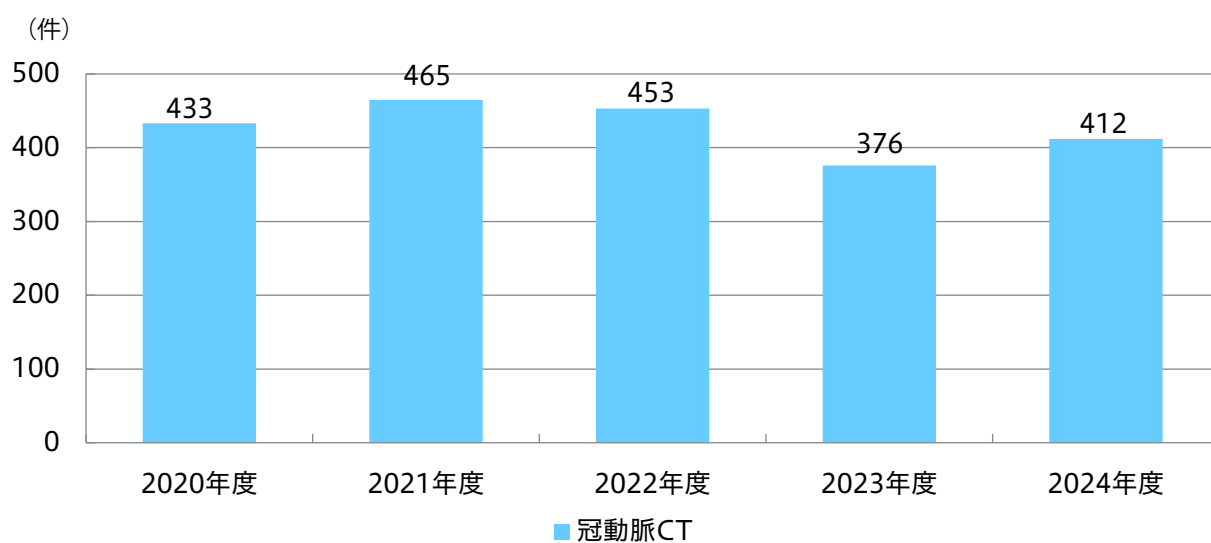
CT 検査



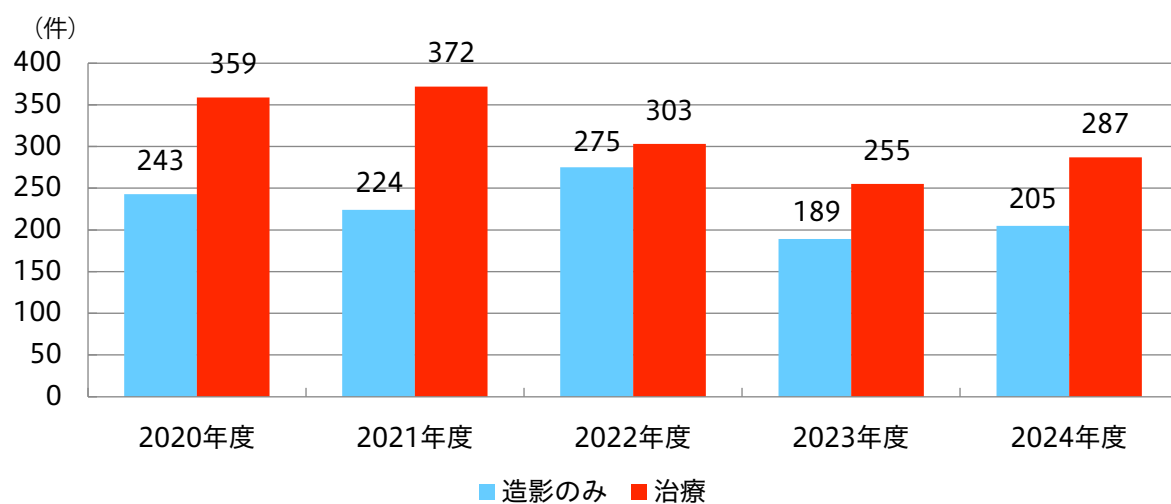
大腸 CT



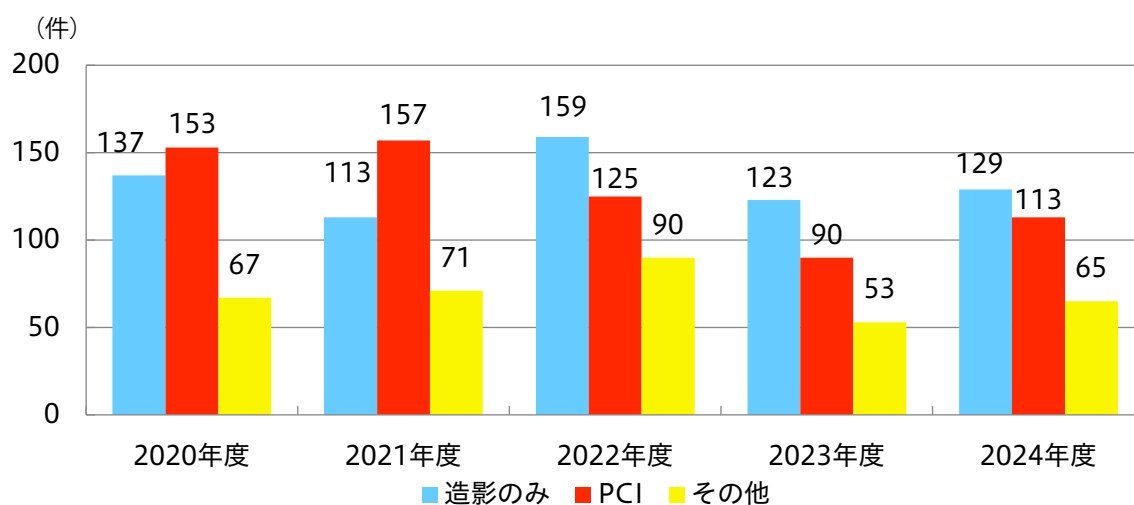
冠動脈CT



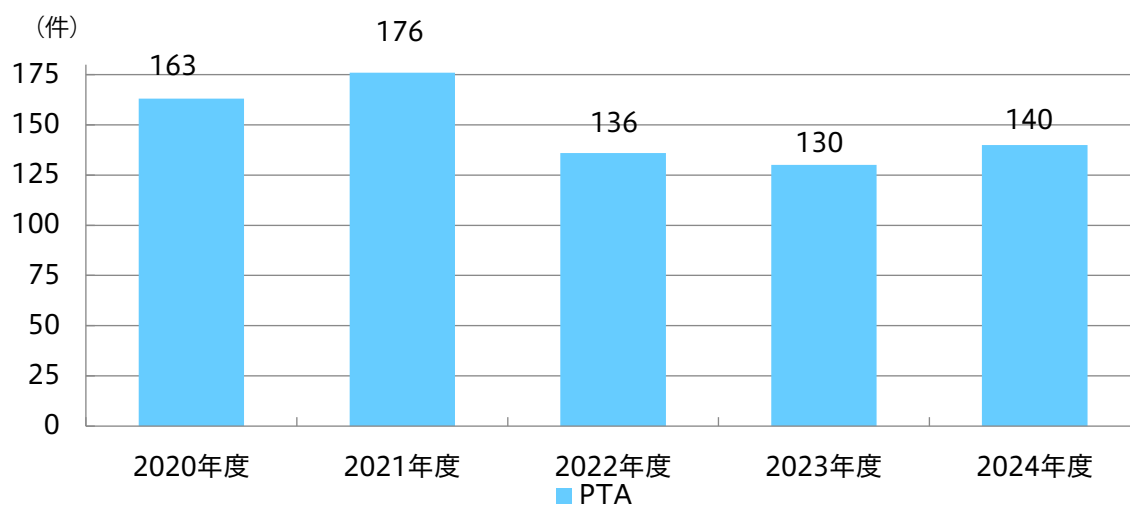
angio 総計



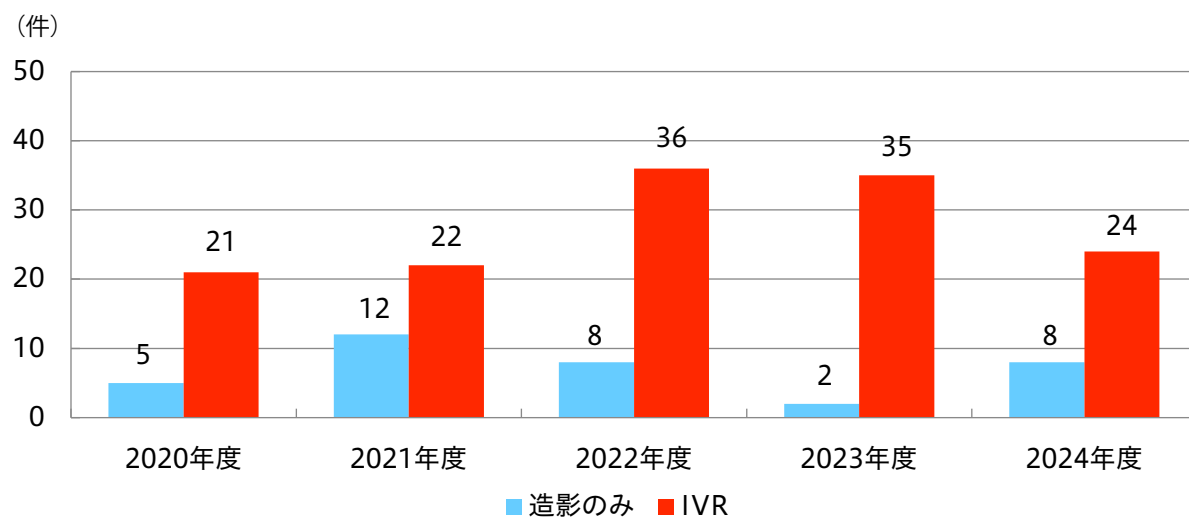
心臓カテーテル



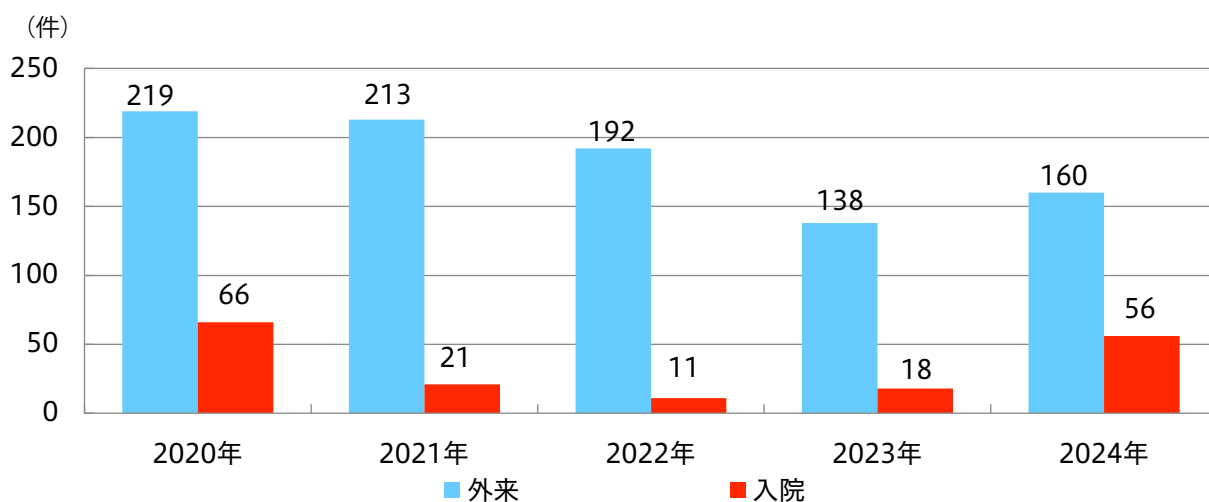
四肢 PTA



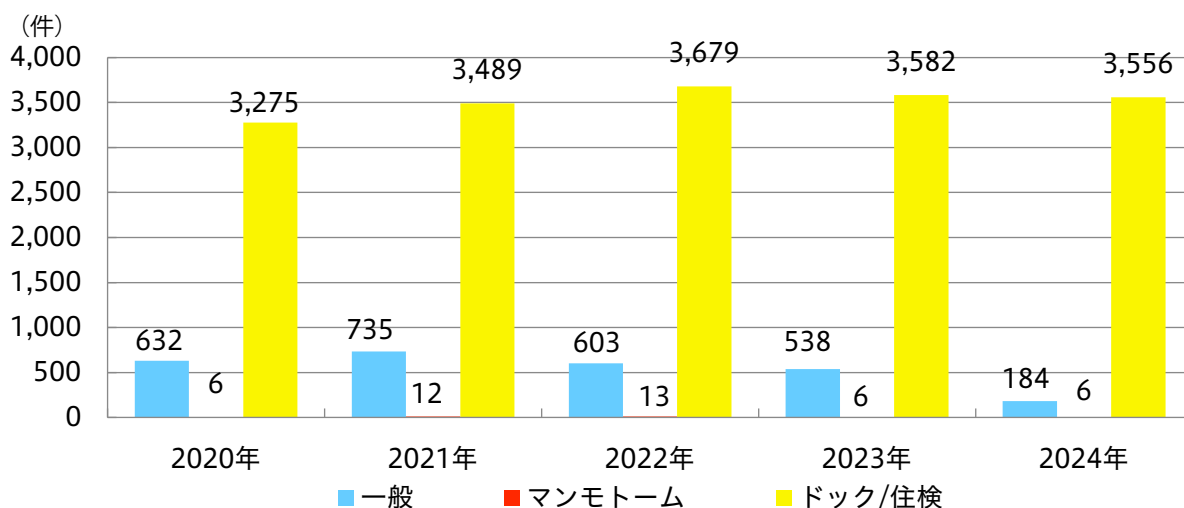
腹部アンギオ



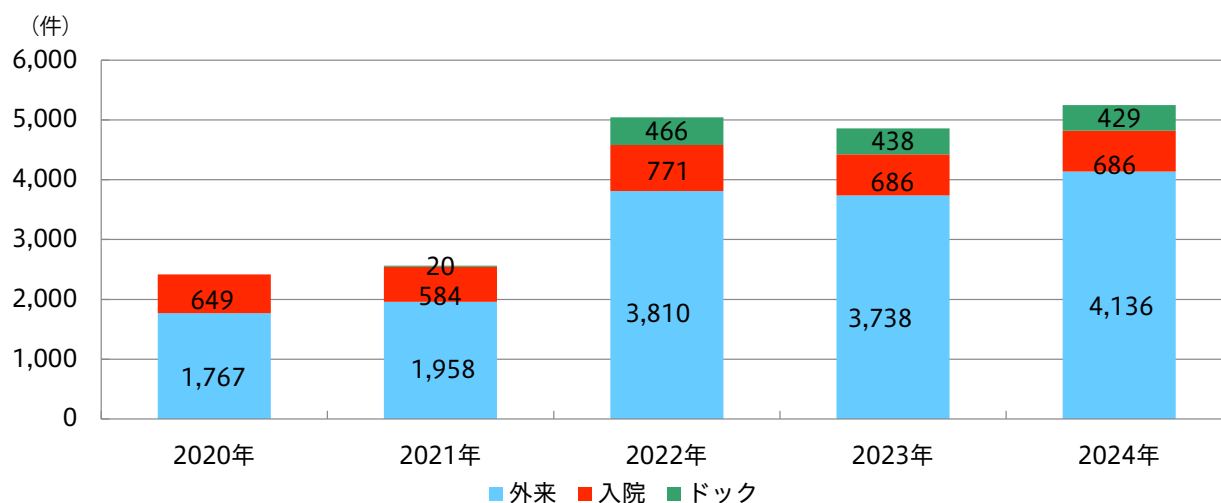
RI 検査



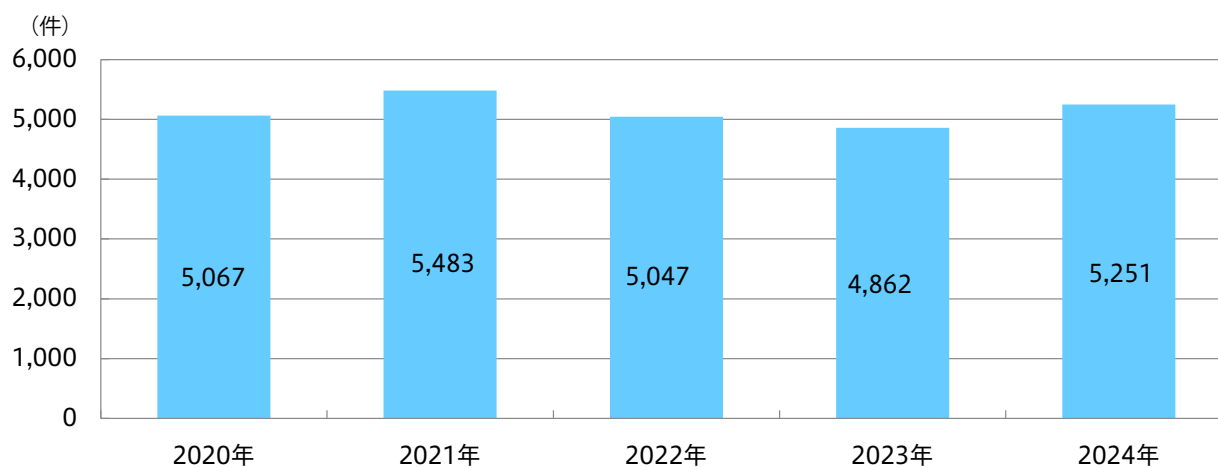
マンモグラフィ検査



3T-MRI

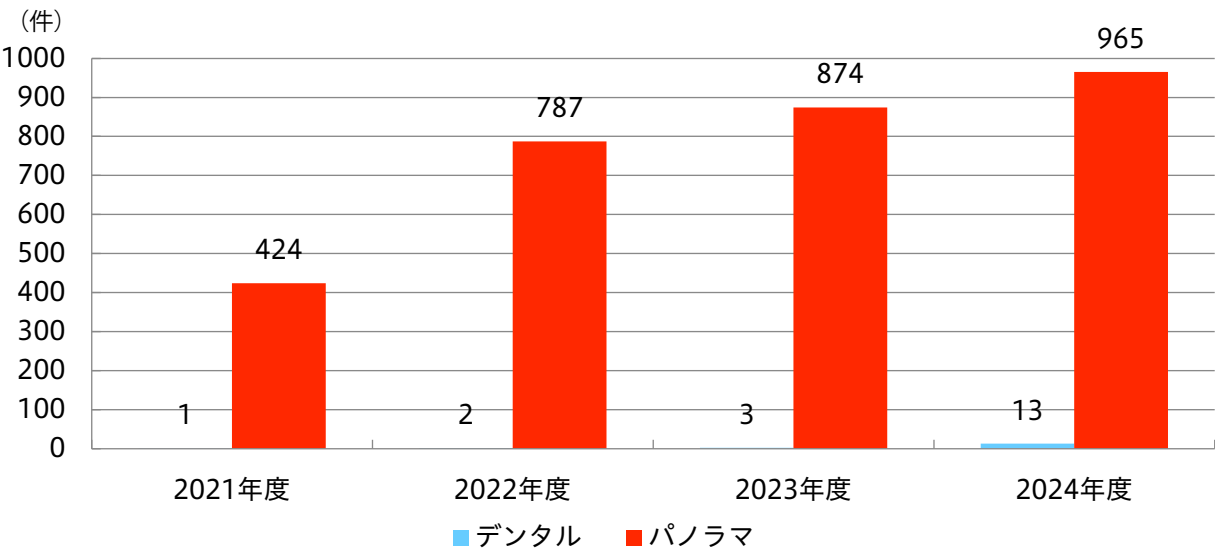


MRI 検査総件数 (1.5T+3.0T)



※ 2021 年度より人間ドックの 3T-MRI も担当しています（それ以前は検査科対応）。
 ※ 2022 年度より 1.5TMRI も放射線科で行う事となり、1.5T と 3T-MRI 件数を合算表示しています。

口腔一般撮影



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者研究者
胃 X 線症例検討会 (症例提示・発表)	日本消化器がん検診学会 (九州地方大会)	南風原町	2024 年 9 月 27 日	宮城 竜也
乳癌健診の要精査率から見えた読影改善への取り組み	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	恩納村	2024 年 9 月 29 日	仲田 真央
GIST の胃 X 線画像	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	恩納村	2024 年 9 月 29 日	程岡 美貴
急激に進行した食道癌の X 線画像	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	恩納村	2024 年 9 月 29 日	石原 悟
胃悪性リンパ腫の X 線画像	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	恩納村	2024 年 9 月 29 日	宮城 竜也
GIST の胃 X 線画像	日本放射線医療技術学術大会	宜野湾市	2024 年 10 月 31 日	程岡 美貴
大腸 CT で描出された側面変形・毛羽立ちから見る遠隔転移の可能性	日本放射線医療技術学術大会	宜野湾市	2024 年 11 月 1 日	松田 優二
沖縄津梁ネットワークを用いた救急画像連携について	日本放射線医療技術学術大会	宜野湾市	2024 年 11 月 3 日	松田 優二

活動実績

院外勉強会発表

名称	勉強会名	開催地	日時	発表者
悪性リンパ腫の X 線画像	沖縄県消化管撮影研究会・銀杏会	沖縄市	2024 年 4 月 26 日	宮城 竜也
急激に進行した食道癌の X 線画像	沖縄県消化管撮影研究会・銀杏会	沖縄市	2024 年 8 月 23 日	石原 悟
当院における乳腺 MRI の現状と課題	沖縄県 MRI 研究会	当院	2024 年 12 月 5 日	程岡 美貴
当院の特徴を活かすため	日本大腸 CT 技術研究会	オンライン	2025 年 2 月 1 日	松田 優二
胃の X 線検査を中心に	沖縄消化器内視鏡会 2 月例回	南風原町	2025 年 2 月 26 日	宮城 竜也

院内研究発表

名称	セッション名	日時	発表者
STAT 画像報告	医療技術部予選	2024 年 2 月 1 日	辺土名 翔平

院内勉強会

名称	セッション名	日時	発表者
食道癌の症例検討	予防医学センター（運営会議）	2024 年 7 月 9 日	石原 悟
レントゲンの見方	プリセプター・メンター合同研修	2024 年 6 月 13 日	仲座 義富

科内勉強会

名称	名称	日時	発表者
ダットスキャンについて（認知症を知ろう）	朝の勉強会	2024 年 4 月 26 日	宮城 直哉
負荷心筋シンチ	朝の勉強会	2024 年 5 月 31 日	大城 盛寛
心筋遅延造影 CT/ECV 解析	朝の勉強会	2024 年 6 月 26 日	出津 利恵
GIST の胃の画像	朝の勉強会	2024 年 7 月 30 日	程岡 美貴
STAT 画像報告会	朝の勉強会	2024 年 8 月 16 日	松田 優二
胃 X 線検査精度管理施設認定取得	朝の勉強会	2024 年 9 月 3 日	新垣 千登勢
脳出血	朝の勉強会	2024 年 10 月 31 日	太田 忍
大腸検査について	朝の勉強会	2024 年 12 月 30 日	渡嘉敷 竜斗
STAT 画像報告	朝の勉強会	2025 年 1 月 30 日	辺土名 翔平
乳腺の CT の撮影方法	朝の勉強会	2025 年 3 月 14 日	下地 彩香

講習会受講

名称	勉強会名	開催地	日時	受講者
厚生労働省告示研修	第 273 号研修	南風原町	2024 年 8 月 11 日	東金嶺 祐太朗、山城 まどか
放射線技師会フレッシューズセミナー	放射線技師の新人教育		2024 年 8 月 25 日	當眞 秀斗
厚生労働省告示研修	第 273 号研修	南風原町	2024 年 10 月 6 日	仲田 真央、喜友名 夢斗
日本診療放射線技師会	業務拡大に伴う統一講習会	南風原町	2024 年 11 月 9 日	太田 忍
厚生労働省告示研修	第 273 号研修	南風原町	2025 年 1 月 12 日	仲座 義富、新垣 弘扇、當眞 秀斗

講習会講師

名称	内容	開催地	日時	講師名
放射線技師会フレッシューズセミナー	放射線技師の新人教育	恩納村	2024 年 8 月 25 日	程岡 美貴
告示研修	ファシリテーター	宜野湾市	2024 年 10 月 6 日	程岡 美貴
告示研修	ファシリテーター	宜野湾市	2025 年 1 月	松田 優二

臨床検査科

臨床検査科技師長 斎藤 辰好

当検査部では、以下の 6 項目を基本方針として掲げ、日々の業務に取り組んでいます。

- ① 5 年後を見据えた人材育成
- ② 医療機器の段階的な更新・導入
- ③ 病院規模に応じた臨床検査業務の構築
- ④ ハートライフクリニックとの業務連携の充実
- ⑤ 予防医学センターとの業務連携への取り組み
- ⑥ チーム医療の構築

若手技師も当直業務に従事し、至急・救急検査等にも対応できる体制を構築しています。人材育成においては、各技師が複数分野の業務に対応できるよう、計画的に育成体制を整備しているところです。本院業務に加えて、クリニックにおける採血・分析・生理検査なども熟知し、突発的な休暇や繁忙時にも柔軟に対応できる体制を確保しています。また、予防医学センターとの業務連携も順調に進んでおり、技師間の相互応援や業務の融合・共有化が進行中です。

心臓カテーテル検査、上肢・下肢の血管治療検査、アブレーション、ラジオ波焼灼、細胞診穿刺、食道内圧・PH 検査、胆嚢穿刺などの特殊検査に加え、NST（栄養サポートチーム）、ICT（感染対策チーム）、AST（抗菌薬適正使用支援チーム）など、チーム医療への積極的な参画も行っています。また、日本医師会、日本臨床検査技師会、沖縄県医師会技師会の精度管理事業にも参加し、良好な評価を得ています。

教育・研修体制の充実にも取り組んでおり、細胞検査士、超音波検査士、血液検査技師、糖尿病療養指導士、緊急検査士など、各種資格取得の支援を通じたスキルアップを推進しています。県内外の大学からの臨地実習も積極的に受け入れており、学生教育にも貢献しています。

また、災害拠点病院として安定した検査体制を維持するため、検査室の電源設備の点検を実施し、今後想定される災害やトラブルにも対応できる体制を構築中です。

機器更新については、精密肺機能検査機器、ABI 測定装置、免疫測定機器、血沈測定器、尿定性測定器などを導入・更新し、より正確な検査データの提供が可能な体制を整えています。

運営方針

臨床検査は疾病の①診断、②治療方針決定、③予後の判定を左右する重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を心がける。

職員数

総数

44 名

職種別

臨床検査技師 39 名（予防医学センター 2 名、クリニック 2 名、パート 2 名含む）

視能訓練士 3 名

検査科事務 2 名

認定・資格

氏名	名称
斎藤 辰好	超音波検査士 (4 領域)
島袋 泰彦	超音波検査士 (4 領域)
	沖縄県地域糖尿病療養指導士
	日本糖尿病療養指導士
	衛生管理者
	衛生工学衛生管理者
	医療安全管理者
仲松 勝彦	超音波検査士 (1 領域)
	衛生管理者
安里 奈美	超音波検査士 (2 領域)
宮城 健	二級臨床検査士 (微生物)
	臨床検査 臨地実習指導者
宮平 優子	二級臨床検査士 (免疫)
	日本不整脈心電学会・JHRS 認定心電図専門士
	心不全療養指導士
新垣 春香	二級臨床検査士 (微生物)
真栄田 奈々子	緊急検査士
比嘉 菜々恵	二級臨床検査士 (微生物)
	緊急検査士
比嘉 勇也	細胞検査士
	国際細胞検査士
	認定病理検査技師
	有機溶剤作業主任者
	特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者

氏名	名称
諸見里 真実	細胞検査士
金城 奈津子	JABTS-C 認定技師
宮平 優子	心不全療養指導士
	二級臨床検査士 (免疫血清)
上地 利恵子	JABTS-C 認定技師
蔵下 かおり	JABTS-A 認定技師
	二級臨床検査士 (免疫血清)
	緊急検査士
金城 明日香	緊急検査士
寺内 悠人	日本不整脈心電学会・心電図検定 1 級
木幡 凌河	第 2 種 ME 技術者
	細胞検査士
	有機溶剤作業主任者
	特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者
武島 有志	緊急検査士

沖縄県臨床検査技師会 役員

	役職
我如古 靖	沖縄県臨床検査技師会 理事
比嘉 勇也	沖縄県臨床細胞学会 幹事 沖縄県医師会精度管理 細胞検査部門 解析委員 沖縄県臨床検査技師会 細胞検査 副分野長

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
当院経験した心臓悪性腫瘍を疑った 1 症例	第 59 回沖縄県医学検査学会	沖縄県	2024 年 6 月 23 日	宮平 優子
HbA1c の異常波形が疑われた一例	第 59 回沖縄県医学検査学会	沖縄県	2024 年 6 月 23 日	前泊 有作
当直帯での輸血対応	第 59 回沖縄県医学検査学会	沖縄県	2024 年 6 月 23 日	武島 有志
t(6;9)(p23;q34.1);DEK-NUP214 を伴う急性骨髄性白血病の一例	第 59 回沖縄県医学検査学会	沖縄県	2024 年 6 月 23 日	金城 海志
細胞診では推定困難だった唾液腺リンパ上皮癌の一例	沖縄県臨床細胞学会	沖縄県	2025 年 2 月 15 日	木幡 凌河

業務実績

科内勉強会

名称	日時	担当者
県学会発表・事前演習	2024 年 4 月 26 日	宮平 優子
頸動脈標準的評価法について	2024 年 5 月 31 日	島袋 泰彦
透析シャントエコーについて	2024 年 6 月 30 日	仲松 勝彦
乳腺エコーについて	2024 年 6 月 26 日	安里 奈美

名称	日時	担当者
A 弁弁口面積測定について（S 状中隔の場合）	2024 年 8 月 29 日	真栄田 奈々子
肺機能 DLCO 測定について	2024 年 9 月 27 日	山川 萌
ABR 測定について	2024 年 10 月 25 日	寺内 悠人
グラム染色トレーニング	2024 年 11 月 20 日	比嘉 菜々恵
生理検査室内 BLS 講習会	2024 年 11 月 22 日	宮平 優子
乳腺エラストグラフィーについて	2024 年 11 月 29 日	島袋 凧瑳
当直帯における血算	2024 年 12 月 11 日	金城 海志
グルーヴ膀胱がん	2024 年 12 月 27 日	邊土名 里紗
当直帯でのホルマリンの取扱について	2025 年 1 月 15 日	木幡 凌河
腎動脈狭窄症エコーについて	2025 年 1 月 31 日	金城 明日香
当直帯での輸血対応	2025 年 2 月 12 日	武島 有志
下腹部膨満感症例（前仙骨部腫瘍）	2025 年 3 月 28 日	星里 綾子
ABI 波形の解釈について	2025 年 3 月 28 日	後藤 遥

検査・治療実績

生理検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
心電図	513	540	496	483	539	485	554	512	566	527	486	522	6,223
CVR-R+ECG	0	1	0	1	3	0	4	1	2	3	2	4	21
マスター心電図	6	0	2	7	3	8	2	3	5	3	5	2	46
トレッドミル負荷	1	0	4	0	0	0	2	2	1	0	0	2	12
ホルター心電図	24	15	20	15	19	14	22	21	22	14	14	16	216
ABPM	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
簡易肺機能（2 項目）	111	111	115	118	115	120	131	111	109	119	94	119	1,373
肺機能（4 項目）	12	16	14	4	11	20	16	17	14	15	16	17	172
ABI 測定	37	30	35	27	26	32	21	35	34	21	130	122	550
サーモグラフィー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼気中尿素試験	34	50	46	36	42	39	25	35	28	30	32	23	420
脳波	3	5	7	7	2	3	5	2	4	5	2	2	47
睡眠・薬物賦活脳波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経伝達速度（MCV）	5	8	6	8	7	4	10	8	7	7	5	5	80
聴性脳幹反応（ABR）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
終夜睡眠ポリグラフ	6	1	2	3	2	3	5	5	2	1	4	8	42
心肺運動負荷試験	1	0	3	1	1	1	1	1	2	1	3	0	15
レートポテンシャル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼気中一酸化窒素	23	19	20	20	23	30	25	27	31	20	25	29	292
食道内圧測定	5	2	2	2	3	2	4	1	2	2	0	2	27
食道 PH モニター	2	1	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	8
経皮的酸素ガス分圧	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	7
皮膚灌流圧測定検査	1	2	0	1	0	0	1	1	0	0	1	4	11
心エコー	286	323	297	305	362	267	331	277	315	330	322	319	3,734
腹部エコー	316	222	222	219	239	252	257	230	237	220	205	239	2,858
泌尿器エコー	107	102	130	103	115	105	116	136	109	112	108	105	1,348
表在エコー	100	63	72	77	95	83	107	104	103	97	105	127	1,133
血管エコー	98	93	104	92	98	97	195	113	116	101	98	120	1,325
胎児エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経直腸エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経食道心エコー	2	0	0	2	2	1	0	1	1	0	1	0	10
ENOG	3	2	4	2	2	0	6	2	3	2	3	3	32
簡易聴力検査	0	0	0	1	2	5	2	6	7	5	1	4	33
標準聴力検査	64	77	67	69	70	55	61	52	84	65	73	75	812
ティンパノメトリー	23	29	17	32	30	23	29	24	29	20	31	40	327
アブミ骨筋反射検査	18	20	11	21	18	12	19	16	20	20	27	34	236

病理・細胞検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織診	317	335	311	347	357	311	368	329	339	324	315	357	4,010
細胞診	224	233	247	226	228	219	278	258	253	237	296	291	2,990
剖検	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	5
迅速組織診	5	2	4	12	10	5	10	11	9	7	7	6	88

血液検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液像目視	237	131	108	125	135	115	300	134	131	171	127	156	1,870
骨髓像	0	2	0	2	2	3	3	2	8	2	2	1	27

細菌検査実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
塗抹	431	590	573	635	571	385	451	454	512	618	449	518	6,187
培養	970	1,321	1,262	1,469	1,365	909	1,111	1,075	1,135	1,417	1,081	1,125	14,240
呼吸器系	135	201	184	209	198	120	143	153	152	205	146	158	2,004
消化器系	12	26	27	22	31	14	37	26	34	27	29	22	307
泌尿生殖器系	204	273	283	318	314	235	246	244	267	318	240	264	3,206
血液	523	702	672	803	728	469	587	578	564	765	584	576	7,551
穿刺液	21	49	39	19	18	20	28	25	36	30	17	29	331
その他	75	70	57	98	76	51	70	49	82	72	65	76	841
嫌気培養	530	707	665	799	730	475	582	585	570	766	594	589	7,592
感受性													
1 菌種	189	272	263	311	281	195	217	228	241	289	265	264	3,015
2 菌種	48	60	54	67	67	41	49	46	60	55	42	50	639
3 菌種以上	14	15	24	35	36	23	23	22	27	12	14	22	267
薬剤耐性菌検出	30	38	46	63	50	35	21	33	24	41	38	36	455

検体検査（科別）

ハートライフ病院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1,076	1,130	1,137	1,217	1,143	1,028	1,137	1,055	1,148	1,227	1,076	1,264	13,638
外科	311	338	341	328	342	327	384	312	333	299	315	332	3,962
整形外科	164	181	173	179	177	152	166	180	149	193	137	153	2,004
眼科	33	38	42	34	31	30	36	30	30	38	26	22	390
透析科	296	178	197	197	170	185	297	170	162	192	174	236	2,454
小児科	122	129	146	138	144	132	143	135	116	113	112	119	1,549
脳神経外科	6	5	1	2	1	1	1	2	2	2	1	0	24
産婦人科	330	380	372	420	419	385	470	396	401	395	459	416	4,843
耳鼻咽喉科	71	58	52	55	55	38	51	52	49	50	64	62	657
心療内科	7	4	5	6	4	4	4	4	2	5	4	4	53
泌尿器科	331	323	353	342	351	337	364	367	375	377	358	382	4,260
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	1	1	0	2	0	1	0	0	1	6
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	22	18	31	32	37	34	22	20	35	29	21	33	334
乳腺外科	6	5	9	13	13	21	27	25	42	38	51	66	316
救急科	608	820	829	972	815	628	659	582	661	1,017	701	648	8,940
本院合計	3,383	3,607	3,688	3,936	3,703	3,302	3,763	3,330	3,506	3,977	3,501	3,748	43,444

検診科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	1,107	1,323	1,442	1,508	1,566	1,380	1,564	1,459	1,510	1,390	1,312	1,433	16,994

ハートライフクリニック

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
糖尿病内科	1,352	1,296	1,317	1,290	1,336	1,220	1,375	1,228	1,391	1,261	1,275	1,293	15,634
内科	519	570	542	619	526	457	509	462	468	486	392	439	5,989
小児科	182	201	193	235	119	110	144	66	83	182	141	99	1,755
合計	2,053	2,067	2,052	2,144	1,981	1,787	2,028	1,756	1,942	1,929	1,808	1,831	23,378

本院 + 検診 + クリニック

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
合計	6,543	6,997	7,182	7,588	7,250	6,469	7,355	6,545	6,958	7,296	6,621	7,012	83,816

検体検査（病棟）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
ICU	154	180	176	166	174	131	160	146	197	217	181	150	2,032
HCU	90	134	138	144	169	93	79	90	126	200	149	147	1,559
東館 4・5 階病棟	242	217	237	232	281	251	272	287	291	283	269	284	3,146
3 階病棟	303	369	345	361	339	248	308	307	290	321	278	284	3,753
4 階病棟	344	396	420	445	426	317	428	339	402	484	423	393	4,817
5 階病棟	425	472	487	573	469	367	421	447	483	564	443	429	5,580
6 階病棟	274	395	354	396	401	322	368	375	294	416	350	354	4,299
7 階病棟	366	417	431	547	487	459	371	438	514	490	380	365	5,265
合計	2,198	2,580	2,588	2,864	2,746	2,188	2,407	2,429	2,598	2,975	2,473	2,406	30,452

臨床工学科

臨床工学科技士長 仲松 晋也

2024 年度は当院初の手術支援ロボットの導入により臨床工学技士 3 名を配置し対応にあたりました。それに伴い 1 名増員し、定数 21 名となりました。

また、例年通り SOLA 沖縄保健医療工学院より 1 名実習生を受け入れ代謝、循環器、ME 機器管理業務に関する実習を実施しました。

各部門の実績の詳細は資料をご参照下さい。

職員数

総数

21 名

職種別

臨床工学士 21 名

理念

臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に他部門との連携を密にし、高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

運営方針

1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
3. 医療機器の医療事故防止に努める。
4. 高度医療機器の効率的運用と安全性の確保。
5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

業務実績

【ME 機器管理実績】

滅菌前点検を充実させ、手術室の医療機器の安全を維持することを進めました。

修理依頼・トラブル対応件数について

1. 年度推移

年度	2020	2021	2022	2023	2024
件数	676	911	702	711	457

2. 月推移

月に関わらず問い合わせ件数が一定数あり、臨床工学技士の対応が必要であることがわかります。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
2020	37	43	38	45	62	65	58	61	70	66	60	71
2021	76	44	54	69	129	98	90	135	64	56	31	64
2022	57	59	57	64	47	50	40	49	55	56	70	97
2023	77	109	101	67	60	49	55	50	45	38	31	29
2024	41	38	34	38	51	36	39	37	48	33	25	37

3. 対応割合

トラブル対応は、86.9%が臨床工学技士によって行われており、迅速な対応ができました。

対応者	件数	割合
CE	397	86.9%
業者	60	13.1%

4. 発見 / 現場依頼割合

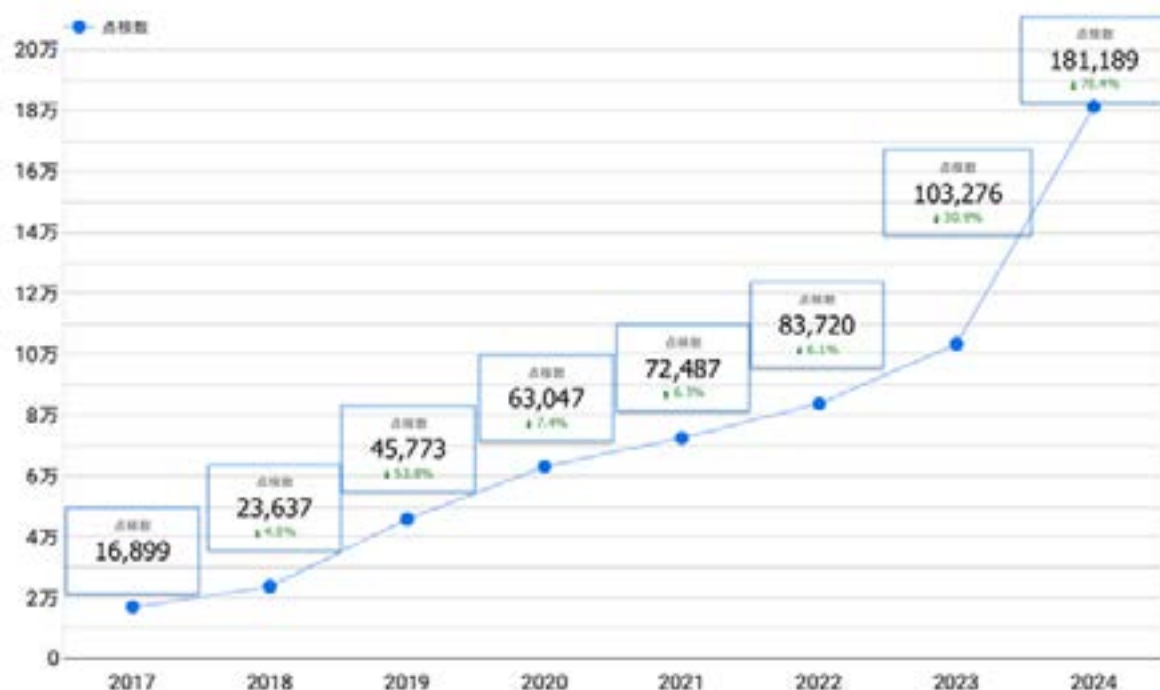
件数は減少しましたが、手術室は 100 件を超えています。

修理依頼部署	件数	修理依頼部署	件数
臨床工学科	304	整形外科・スポーツ関節鏡センター	4
手術室	101	東館 4F	3
東館 5F	45	在宅型有料老人ホーム	3
救急センター (ER)	39	クリニック	3
本館 7 F	31	外来通院治療室	3
本館 6 F	26	脳神経外科・耳鼻咽喉科	3
本館 5 F	25	内視鏡センター	3
本館 4 F	24	予防医学センター	2
本館 3 F	23	ハートライフクリニック	2
HCU	22	整形外科	1
ICU	20	西館アンギオ室	1
リハビリテーション科	15	耳鼻科	1
中央処置室	5	人工透析室	1
		東館アンギオ室	1

5. 保守点検集計

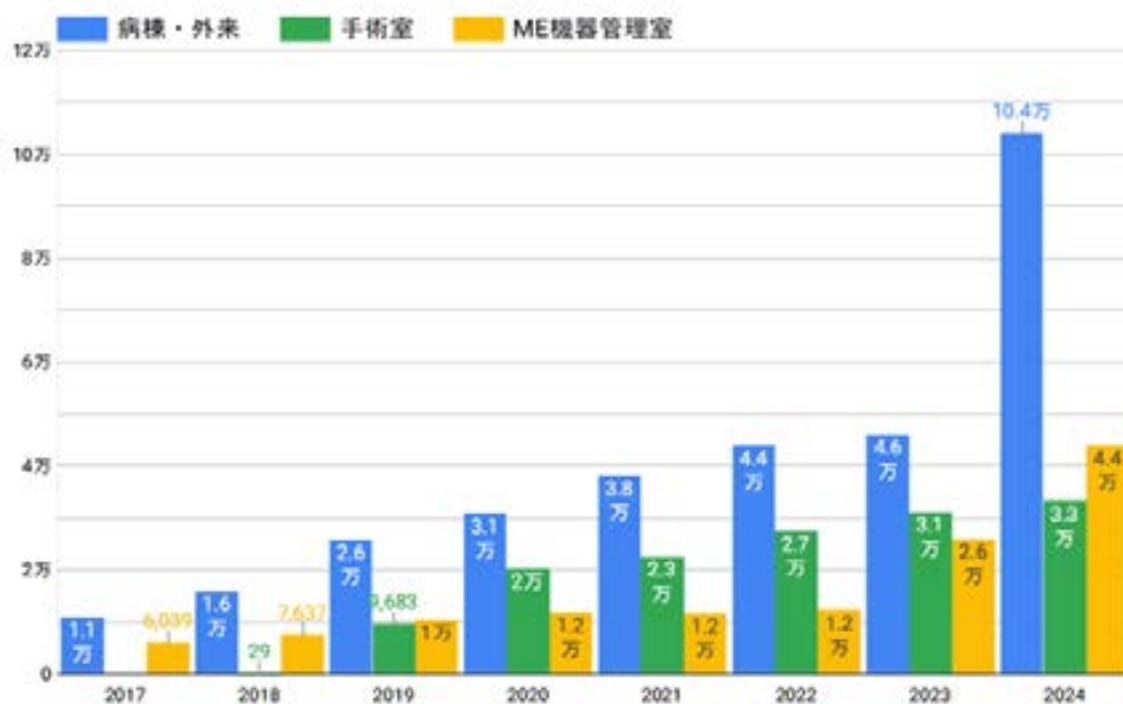
全点検集計

点検を実施できる環境整備を行い、前年より 75.4%増の点検の件数となりました。



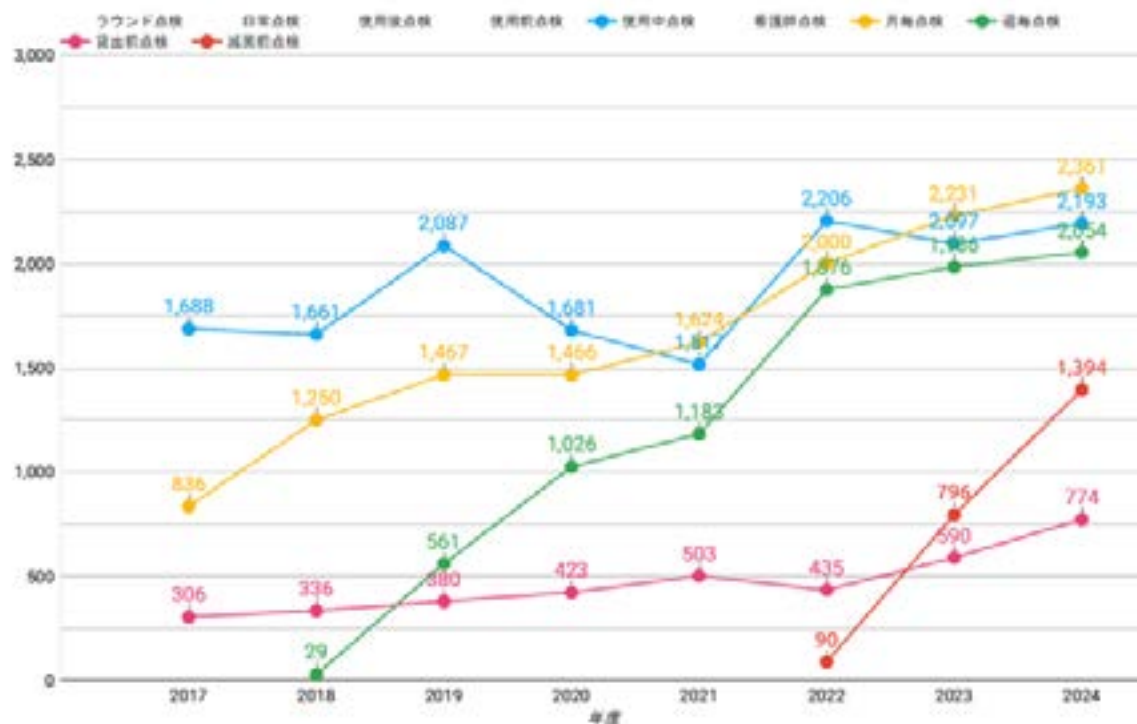
場所別点検件数

すべての場所で増加しており、特に病棟・外来での点検が倍以上に増えています。

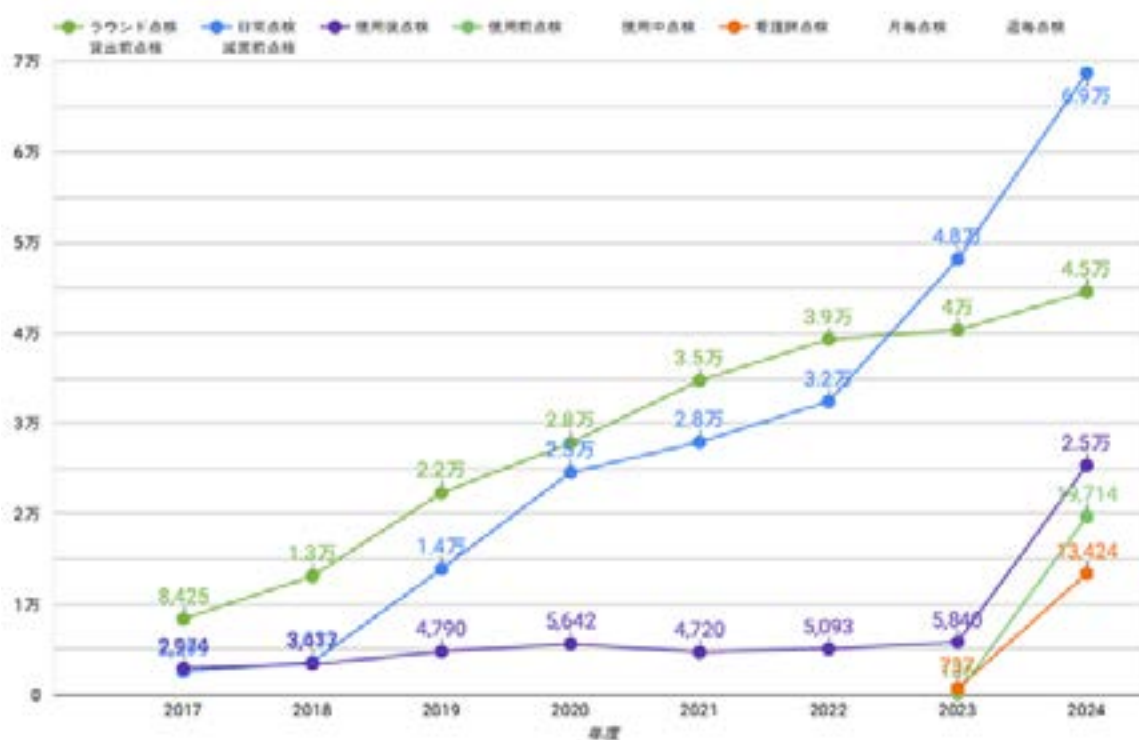


点検種別件数

手術室の機器の安全管理のため 2022 年に開始していた滅菌前点検を増やし安全性を確保できました。



透析室で使用している生命維持管理装置の管理を記録する仕組みを構築し、日常点検、使用前点検、使用後点検が大きく増加しました。2023 年に看護師による点検を開始し、2024 年は増やすことができました。今後、実施を継続できるように働きかけていく予定です。日常点検の充実は、安全使用の第一歩と考えています。



6. 臨床支援業務

臨床工学科では臨床支援業務、臨床業務として、依頼を受けて実施しています。

業務内容	2023 年度	2024 年度
機器管理・呼吸	201	313
循環	162	291
血液浄化	167	189
立ち合い業務	15	17
総計	545	810

人工呼吸器に関する対応

業務内容	件数
移動・検査	- 36
ジャバラ交換	- 23
その他対応	- 14
導入立ち合い	- 4
その他対応	設定変更・設定相談 3
転院搬送	- 3
設定変更	- 2
総計	85

在宅経腸栄養ポンプ

業務内容	件数
退院	- 2
導入指導	入院 2
中止	外来 2
総計	6

在宅酸素療法機器

業務内容	件数
吉田酸素（コイケは吉田酸素経由）	退院 19
吉田酸素（コイケは吉田酸素経由）	中止 1
吉田酸素（コイケは吉田酸素経由）	導入指導 34
吉田酸素（コイケは吉田酸素経由）	その他対応 26
南西	導入指導 14
南西	その他対応 19
南西	中止 7
南西	退院 17
フクダ	中止 2
フクダ	その他対応 3
フクダ	退院 13
フクダ	導入指導 13
オカノ	中止 1
オカノ	その他対応 1
オカノ	退院 2
その他	退院 1
その他	その他対応 4
	総計 177

在宅持続陽圧呼吸療法装置

業務内容	件数
設定変更	外来 1
その他対応	外来 1
導入指導	外来 21

業務内容		件数
その他対応	入院	2
導入指導	入院	2
退院	-	1
総計		28

在宅人工呼吸器

業務内容		件数
フクダ	退院	2
南西	退院	1
南西	その他対応	5
その他	その他の対応	1
総計		9

ASV

業務内容	件数
その他対応	1
退院	3
導入指導	4
総計	8

血液浄化

業務内容						件数
特殊血液浄化	腹水濃縮	-	-	-	-	8
特殊血液浄化	白血球吸着	GCAP	-	-	-	10
特殊血液浄化	LDL 吸着	-	-	-	-	64
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF+PMXDHP	-	-	-	1
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF	膜交換	凝固	返血可	3
出張透析	IRRT (間欠血液浄化)	HD	導入	時間外	-	9
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF	離脱 (返血)	勤務中	-	6
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF	膜交換	-	-	2
出張透析	IRRT (間欠血液浄化)	SLED	導入	-	-	4
出張透析	IRRT (間欠血液浄化)	HD	-	-	-	11
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF	膜交換	時間経過	-	14
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF+PMXDHP	膜交換	返血可	時間外	1
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF	導入	勤務中	-	8
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF+PMXDHP	離脱 (返血)	時間外	-	1
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF	膜交換スキップ	-	-	4
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF	-	-	-	1
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHF	導入	勤務中	-	1
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHF	膜交換	-	-	1
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHF	膜交換	時間経過	-	1
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF	導入	時間外	-	2
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF	導入	-	-	1
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF	離脱 (返血)	時間外	-	1
出張透析	IRRT (間欠血液浄化)	HD	導入	-	-	1
出張透析	IRRT (間欠血液浄化)	SLED	-	-	-	1
出張透析	-	-	-	-	-	1
出張透析	CRRT (持続的血液浄化)	CHDF+PMXDHP	導入	勤務中	-	2
出張透析	IRRT (間欠血液浄化)	HD	導入	勤務中	-	30

循環器

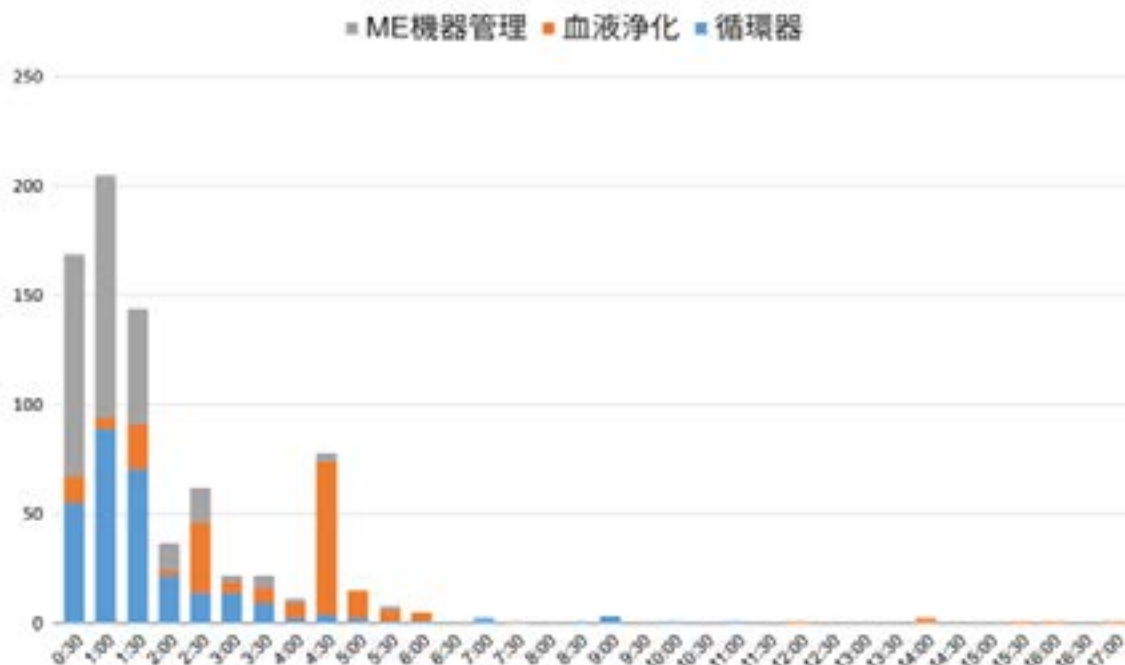
業務内容			件数
緊急カテ	オンコール	IABP のみ導入	3
緊急カテ	オンコール	補助循環なし	12
緊急カテ	勤務対応	-	21
緊急カテ	オンコール	-	5
PM	術前	-	13
PM	-	-	28
PM	1WPM	-	36
PM	遠隔	アラート対応	3
PM	遠隔	-	1
PM	MRI	-	36
PM	術後	-	13
PM	遠隔	その他	6
PM	緊急	-	30
PM	術前・術後	-	13
ICD	緊急	-	4
ICD	MRI	-	3
ICD	CT	-	7
ICD	術後	-	2
ICD	術前・術後	-	1
ICD	術前	-	1
IABP	離脱介助	-	5
IABP	導入介助	-	5
IABP	移動介助	-	2
ECMO	管理	-	13
ECMO	導入介助	-	5
ECMO	離脱介助	-	1
ECMO	移動介助	-	2
CRT	術後	-	2
CRT	術前	-	2
CRT	緊急	-	2
CRT	CT	-	7
CRT	MRI	-	1
CRT	-	-	1
CRT	術前・術後	-	2
-	-	-	3
総計			291

依頼の発生時刻について

通常業務に追加で対応が必要です。



依頼の所要時間について



立ち合い業務

循環器（血管内治療）、器械だし、血液浄化を除く、立ち合い業務の内訳を下表に示します。今回、新規導入機器としてロボット支援手術が開始され立ち合いをしています。

業務内容		件数
新規導入機器	-	13
その他	-	1
RFA	手術室	1
RFA	病棟	2
総計		17

人工呼吸器レンタル業務

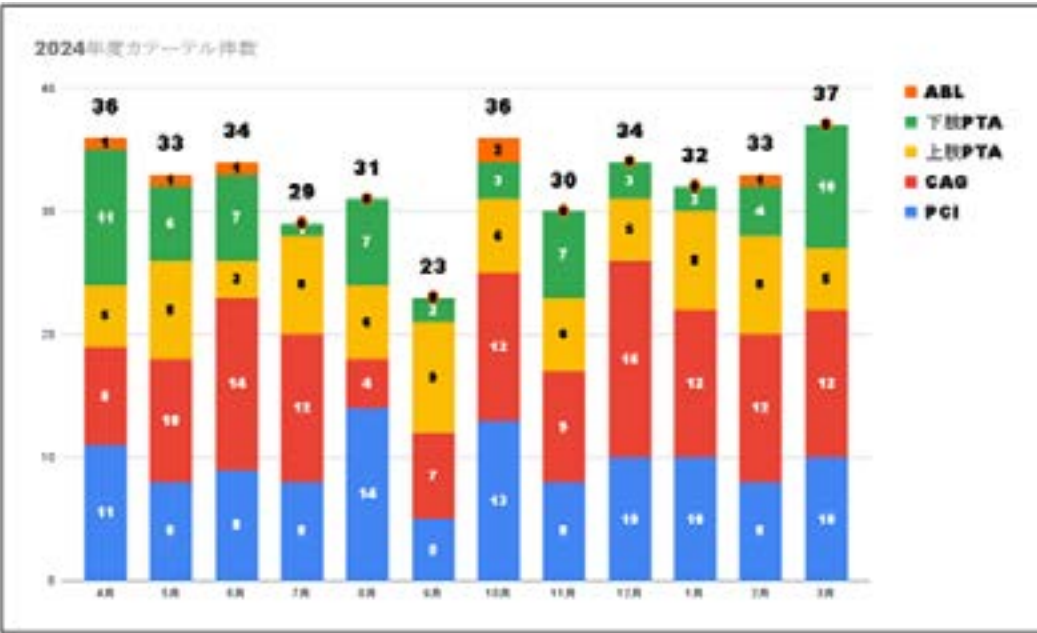
院内で不足する人工呼吸器の貸出返却の対応を引き受け対応しています。機器の在庫状況が適正化され、レンタル件数は減少しました。マスク式人工呼吸器のレンタルが主です。

年度	NPPV (V60)	NPPV (ASV)	NHF ネーザルハイフロー
2020 年度	126	26	16
2021 年度	127	11	16
2022 年度	112	12	2
2023 年度	41	1	0
2024 年度	70	0	0

【循環器実績】

カテーテル件数

項目	件数
PCI	114
CAG	128
上肢 PTA	77
下肢 PTA	63
ABL	6
総件数	388



植込みデバイス関連業務件数

項目	件数
PM 新規植込み / PM 電池交換術	22
挿入1週間チェック	36
緊急チェック	36
MRI 対応	40
CT 対応	14
術前・術後チェック	49



補助循環（ECMO/IABP など）対応実績

ECMO 対応：21 件（導入 5 件）

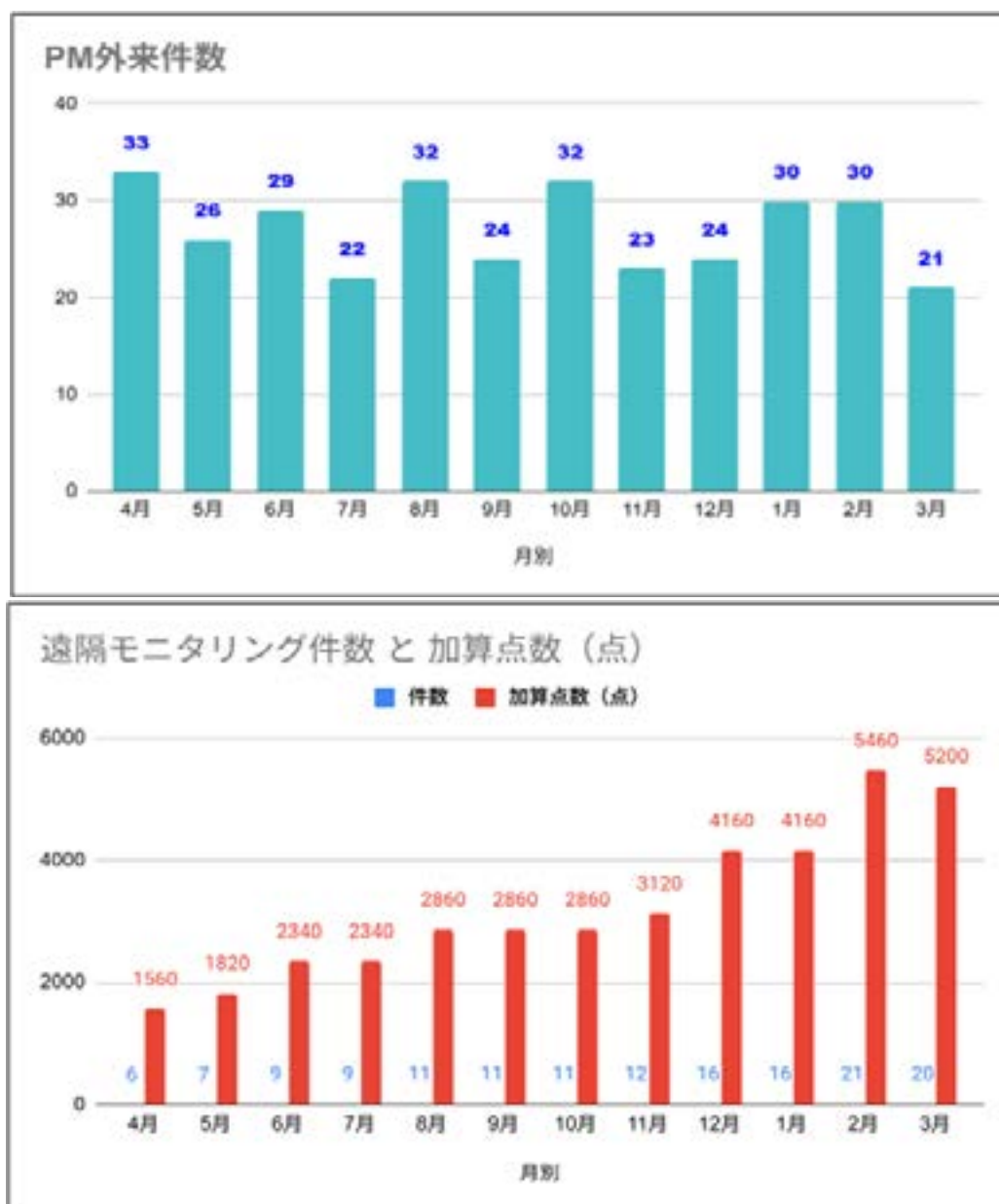
IABP 対応：15 件（導入 13 件）

補助循環での転院搬送対応：7 件（ECMO：2 IABP：5）

各種デバイス設定・管理業務報告

PM 外来時チェック件数・・・326 件

遠隔モニタリング件数・・・149 件



その他活動実績

循環器関連機器点検実績

- ・日常点検・・・1133 件
- ・定期点検・・・6 件（業者点検も含む）

新規導入機器の紹介と評価

2025 年 1 月～ IABP の機器更新でゼオンメディカル社の ZUIRYU を導入しました。コンパクトで搬送に特化しており、心臓血管外科がない当院では転院搬送時の救急車内収容に適しています。また、駆動音も小さく ICU 内での騒音も軽減されています。

臨床工学科の循環器業務に特化したサイトを作成



- ・カテ室内の物品管理をエクセルで作成し、夜間緊急時にも在庫内容をすぐ確認できるようにサイト内へ掲載
- ・マニュアルへ素早くアクセスできるように当院用の各検査・治療のマニュアルをサイト内へ集約 キーワード検索でも確認したい内容にアクセスできるように対応
- ・関連学会へのアクセスが容易にできるようにリンクを貼り付け
- ・サイト内へ関連学会からのお知らせを集約させて最新情報が一括で閲覧できるよう対応

今後の課題と目標

技術向上のための取り組み

1. 後輩教育と OJT の充実化を図り年間スケジュールを立てて計画的に実施できる体制づくりをしている。
2. 学会発表へ積極的に取り組む（循環器担当で年 2 回の発表）

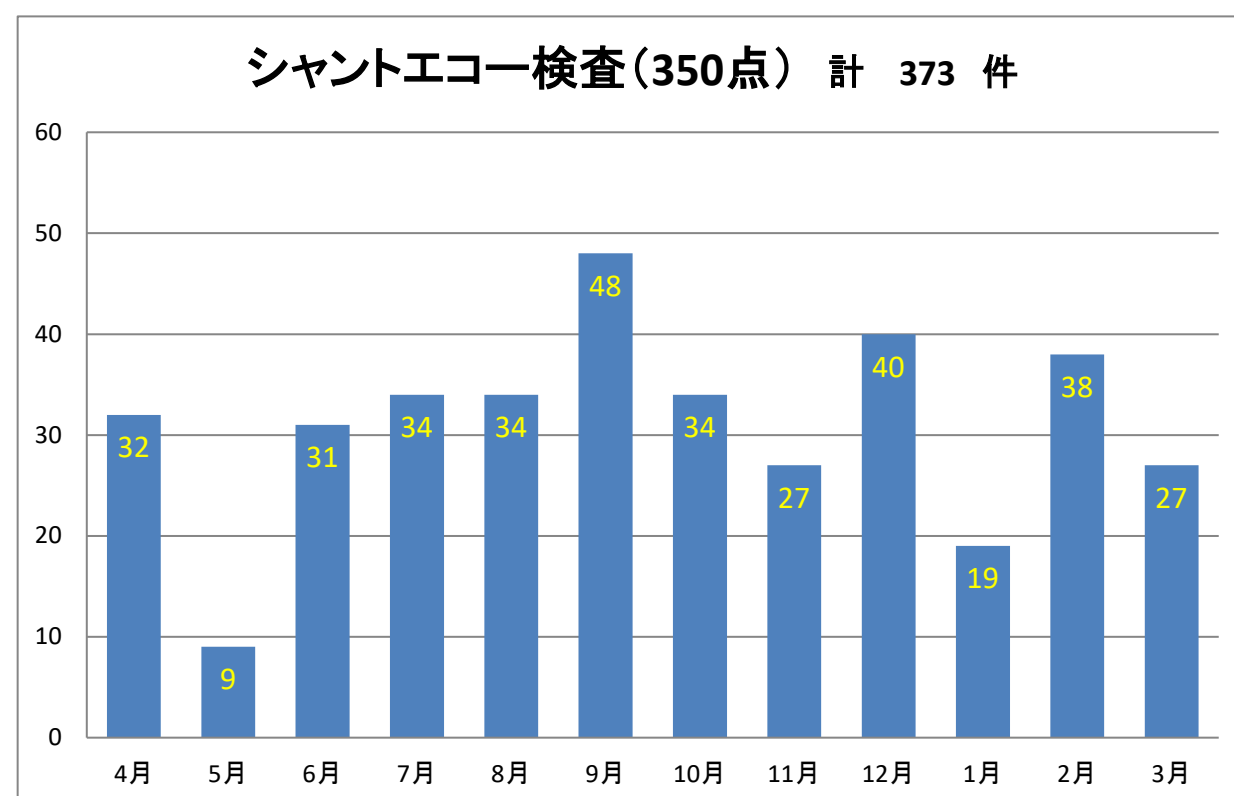
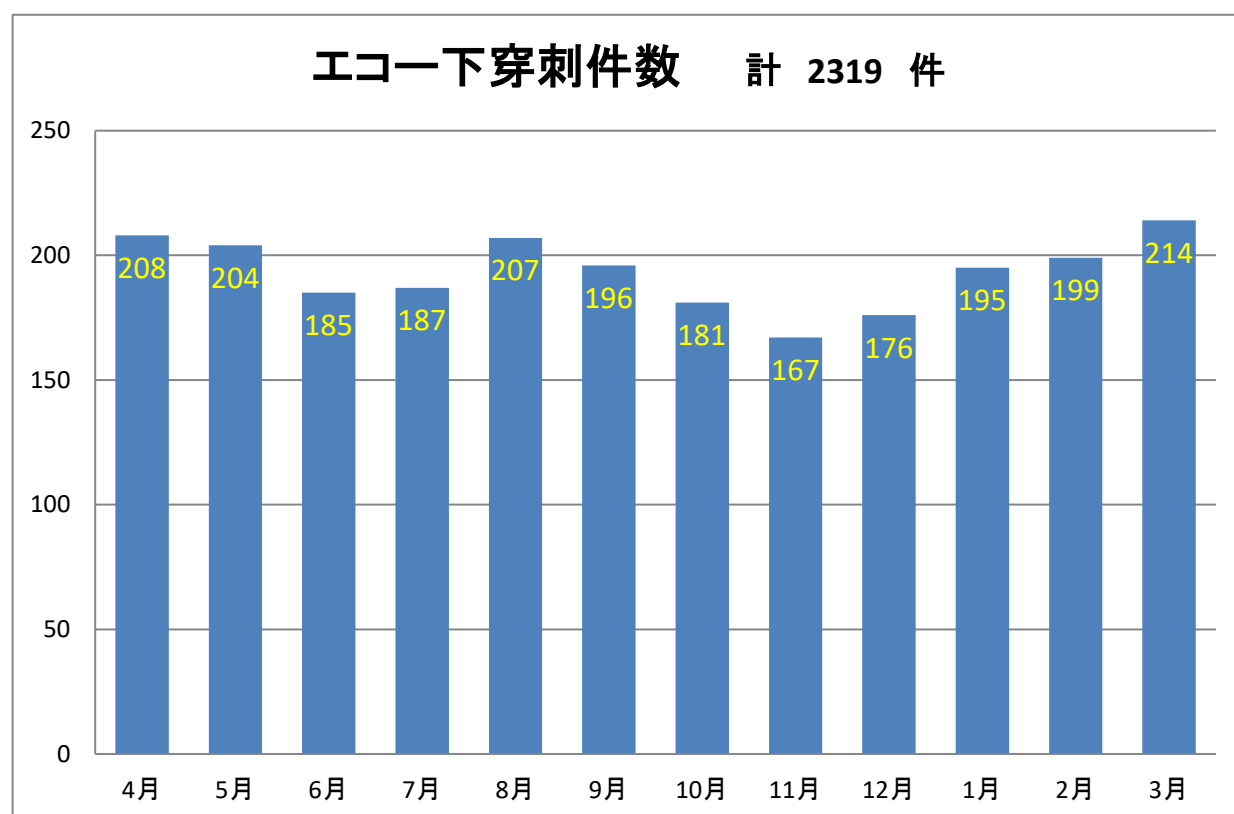
チーム内での連携強化

1. カテ室の他職種に向けて補助循環の導入訓練を主導で実施
2. 循環器関連病棟への植込みデバイスの勉強会を実施
3. 集中治療室への補助循環トラブルシューティングを実施

【血液浄化部実績】

出張血液浄化実績

年月	血液浄化療法										血漿浄化療法			CART	合計
	HD (SLED 含)	HDF (SLED-f 含)	CHD	CHF	CH DF	白血球 除去療法		血液吸着			血漿 吸着	PP			
						GC AP	LC AP	PMX	DHP	LDL	ビリル ビン 吸着	PE	DF PP		
2024.4	2	0	0	0	3	0	0	2	0	9	0	0	0	1	17
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	10
6	4	0	0	0	8	0	0	0	0	2	0	0	0	0	14
7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
8	12	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	1	19
9	4	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	11
10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
12	3	0	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	0	2	13
2025.1	14	0	0	3	11	0	0	0	0	5	0	0	0	0	33
2	6	0	0	0	3	0	0	0	0	8	0	0	0	1	18
3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	1	38
計	57	0	0	3	35	10	0	3	0	67	0	0	0	8	183



【器械出業務実績】

2021 年より臨床工学科から手術室へ出向し器械だし業務を行っています。2024 年度は 1,000 件を超える手術を担当することができました。

術式（一部抜粋）

術式		件数・
1.	腹腔鏡下経膈へ4.7手術(両側)	65
2.	腹腔鏡下胆嚢摘出術	57
3.	胆嚢切開術(胆嚢鏡下によるものを含む)	41
4.	経尿道的尿管(計)留置術	38
5.	帝王切開術2 選択帝王切開	37
6.	創傷処置1.筋肉、臓器に達するもの(長さ5cm未満)	37
7.	水晶体再建術1.眼内IOLを挿入する場合	35
8.	骨内異物(挿入物)除去術3.肋骨	31
9.	骨折脱臼の手術1.大腿	29
10.	骨折脱臼の手術2.肋骨	22
11.	手指関節脱臼手術	17
12.	皮膚、皮下組織摘出術(露出部)1. 長さ2cm未満	17
13.	骨折脱臼の手術2.下腿	15
14.	椎弓形成手術	14
15.	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む)	14
16.	骨内異物(挿入物)除去術3.下腿	13
17.	腹腔鏡下血管切開術(血管開通術を伴わないもの)	13
18.	関節内骨折脱臼の手術2.手	12
19.	帝王切開術1.緊急帝王切開	12
20.	人工骨髄挿入術1.股	11

1-20 / 443 < >

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
Google Appsheet で業務DXへ挑戦	一般社団法人 日本医療機器学会 令和 6 年度 (第 1 回) クリニカルエンジニアリング研究会	東京都	2024 年 7 月 6 日	仲松 晋也
VA 管理におけるクリーンボタンホール法の導入までの取り組み及び現状と課題	第 42 回沖縄人工透析研究会	沖縄県	2025 年 3 月 23 日	照屋 心渉
VA ゆいま〜る会沖縄コミュニティ開設の試み	第 42 回沖縄人工透析研究会	沖縄県	2025 年 3 月 23 日	大瀧 明日香

職員向け医療機器研修

講習名	実施日	講師
【新人看護師研修】輸液、シリンジ、輸血ポンプの標準使用方法習得、操作実践実習	2024 年 4 月 16 日	仲松 晋也
【新人看護師研修】酸素ボンベ使用方法の説明	2024 年 4 月 18 日	兼城 雅
【新人看護師研修】12 誘導心電計、生体情報モニタ、除細動器の操作方法	2024 年 4 月 19 日	仲松 晋也
Cliny Scan 残尿測定エコー器 デモ説明	2024 年 6 月 19 日	クリエートメディック
Cliny Scan 残尿測定エコー器 デモ説明	2024 年 6 月 20 日	クリエートメディック
NKV での HFT (O2therapy) 設定方法	2024 年 7 月 9 日	兼城 雅
看護師日常点検方法	2024 年 7 月 14 日	仲松 晋也
看護師点検説明会	2024 年 7 月 18 日	仲松 晋也
看護師点検説明会	2024 年 7 月 18 日	仲松 晋也
看護師点検実施の方法説明会	2024 年 7 月 26 日	仲松 晋也
インスピロン EZ ウォーターの使用法説明会	2024 年 8 月 2 日	仲松 晋也
泌尿器 洗浄機日常点検方法説明会	2024 年 8 月 27 日	仲松 晋也
看護師点検 説明会 本館 4 階向け	2024 年 8 月 27 日	仲松 晋也
看護師点検 救急外来	2024 年 9 月 9 日	仲松 晋也

講習名	実施日	講師
日本光電セントラルモニタ、ベッドサイドモニタの使用法	2024 年 9 月 11 日	屋比久 雄飛
WEP1200、ZS640 の使用方法説明会	2024 年 9 月 19 日	仲松 晋也
BSM4000 シリーズ ベッドサイドモニタ導入勉強会	2024 年 9 月 20 日	屋比久 雄飛
乳腺外科 センチネルリンパ節生検用機器の導入説明	2024 年 9 月 26 日	仲松 晋也
看護師による医療機器点検方法について	2024 年 10 月 11 日	仲松 晋也
フローサイン使用方法説明会	2024 年 10 月 18 日	兼城 雅
ベントチャンバの使用前、使用後点検の説明	2024 年 10 月 23 日	屋比久 雄飛
看護師による医療機器点検方法について	2024 年 10 月 23 日	仲松 晋也
看護師点検実施方法説明	2024 年 10 月 25 日	仲松 晋也
看護師による医療機器点検方法について	2024 年 10 月 28 日	仲松 晋也
看護師による医療機器点検方法について	2024 年 10 月 28 日	仲松 晋也
看護師点検方法の説明 外来	2024 年 11 月 21 日	屋比久 雄飛
AED 日常点検の説明	2024 年 11 月 29 日	屋比久 雄飛
AED 日常点検、看護師日常点検の説明	2024 年 12 月 5 日	屋比久 雄飛
ディスプレイバックバルブマスク 週毎点検説明	2024 年 12 月 16 日	屋比久 雄飛
エイミー PCA ポンプ説明会	2024 年 12 月 25 日	中村 海斗
フローサイン 101M 追加機能の説明	2025 年 1 月 17 日	屋比久 雄飛
エイミー PCA ポンプの説明会	2025 年 2 月 10 日	中村 海斗

その他

名称	年月日	参加・受講者
JSCIEDs 教育セミナー 2024 (WEB)	2024 年 3 月 26 日 -5 月 28 日	受講 / 兼城
超音波エコー器 ハンズオンセミナー 第 2 回ハンズオンセミナー VA ゆい まる会	2024 年 5 月 26 日	内里 司
志摩子どもメディカルラリー 志摩市民病院	2024 年 7 月 14 日	兼城 雅
超音波エコー器 ハンズオンセミナー 第 3 回 ハンズオンセミナー～エコー下 穿刺～ VA ゆいまる会	2024 年 11 月 3 日	大濱 明日香
VAIVT Webinar for AngioSculpt (WEB)	2024 年 12 月 3 日	受講 / 兼城
救急外来・消防合同院内訓練 (ERCP までの流れ)	2025 年 1 月 31 日	兼城・伊佐
アブレーションを始めるあなたへ (WEB)	2025 年 3 月 14 日	受講 / 兼城
超音波エコー器 ハンズオンセミナー第 42 回沖縄人工透析研究会	2025 年 3 月 23 日 日	内里 司

栄養科

栄養科科长 真栄城 ゆかり

慢性的な人材不足解消のため、2023 年度 10 月よりシダックスフードサービス株式会社へ給食業務の委託を開始しました。双方協力し、患者様に満足いただけるよう安心・安全な給食の提供に努めています。給食業務委託化に伴い、管理栄養士の業務においては栄養管理により従事できるようになり、栄養指導や早期栄養介入管理加算の件数は前年度比増となりました。

また、地域連携室活動の一環として、事業所やショッピングセンター等で行われたイベント（健康講話）に講師として参加しました。

2024 年度は県内外の大学より 4 名の実習生を受け入れ、臨床栄養を中心に指導を行いました。各認定資格においては、資格取得に向けて学会発表やセミナーへ参加し、専門療法士の育成やスキルアップにつながるよう、今後も支援体制を強化していきます。

職員数

総数

33 名

職種別

<ハートライフ病院>

管理栄養士 7 名

<シダックスフードサービス>

栄養士 4 名

調理補助 6 名

調理師 9 名

食器洗浄 7 名

認定・資格

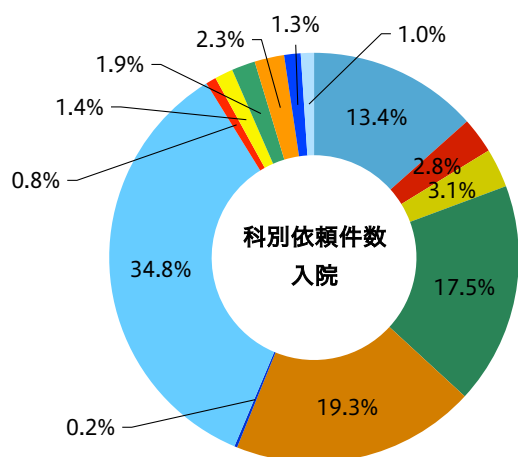
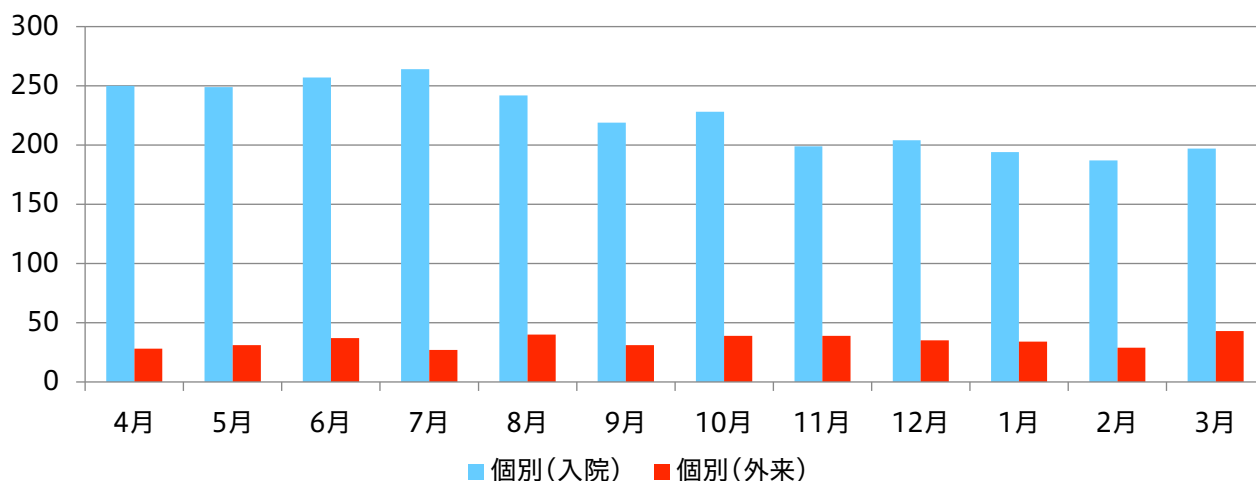
氏名	認定・資格名
真栄城 ゆかり	栄養サポートチーム専門療法士
當眞 結子	沖縄県地域糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士
高屋 美希	沖縄県地域糖尿病療養指導士

氏名	認定・資格名
中村 詩	沖縄県地域糖尿病療養指導士
末吉 花穂子	沖縄県地域糖尿病療養指導士
島袋 夏音	沖縄県地域糖尿病療養指導士
大屋 リサ	沖縄県地域糖尿病療養指導士

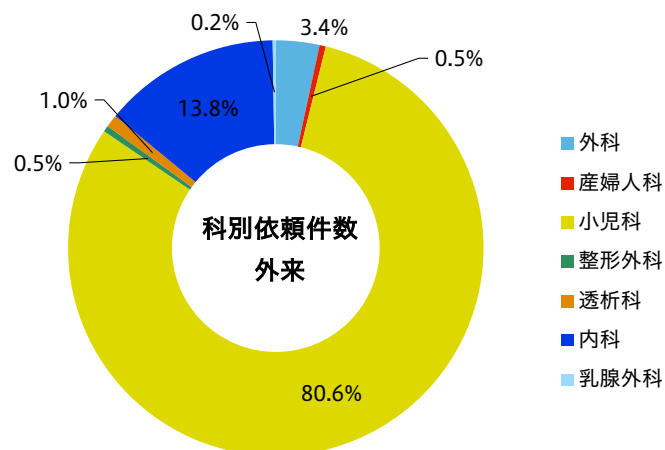
運営方針

- ・患者様のニーズに応える食事を提供します。
- ・衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
- ・患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

栄養指導実施件数

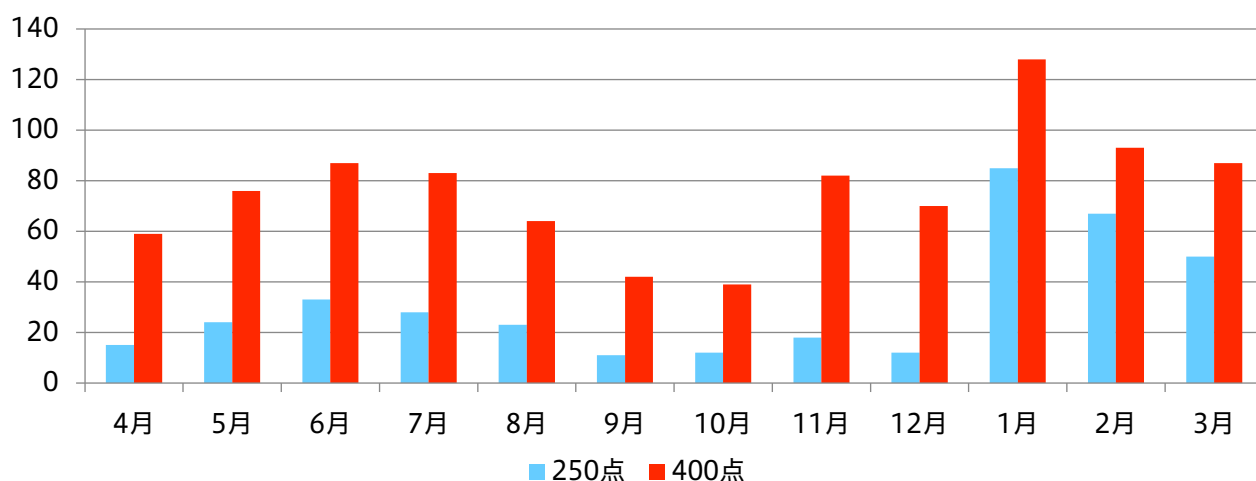


外科
形成
産婦人科
小児科
整形外科
透析科
内科
脳外
救急科
耳鼻科
泌尿器科
眼科
乳腺外科



外科
産婦人科
小児科
整形外科
透析科
内科
乳腺外科

早期栄養管理加算



活動実績

学会発表

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
褥瘡治癒における栄養管理	日本栄養治療学会	神奈川県	2025 年 2 月 15 日	當眞 結子

科内研修

名称	実施年月日	担当
機能性表示食品	2024 年 5 月 16 日	大浦
清掃について	2024 年 7 月 4 日	當眞
食品の温度管理	2024 年 8 月 27 日	島袋
調理環境の衛生「5S」	2024 年 10 月	大屋
ノロウイルス	2024 年 12 月 30 日	末吉
安心安全なトロミ食	2025 年 2 月 28 日	大屋

研修受講実績

研修名	開催地	実施年月日	参加
栄養懇話会	県医師会館	2024 年 5 月 18 日	真栄城、當眞
診療報酬改定を見据えた栄養管理	オンライン	2024 年 5 月 24 日	真栄城、高屋、當眞、末吉、島袋、大屋、大浦
GLIM 基準	オンライン	2024 年 6 月 19 日	真栄城、高屋、當眞、末吉、島袋、大屋、大浦
中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会勉強会	オンライン	2024 年 9 月 12 日	當眞
NST 専門療法士必須セミナー	オンライン	2024 年 9 月 21 日	真栄城、當眞
メディカルスタッフの為の栄養管理セミナー	オンライン	2024 年 10 月 19 日	末吉、島袋
がん化学療法における栄養療法のコンセンサス	オンライン	2024 年 11 月 1 日	高屋
第 15 回糖尿病週間学術講演会	那覇市	2024 年 12 月 6 日	當眞
沖縄 CDE 講演会	浦添市	2024 年 12 月 8 日	當眞
NST フォーラム	中頭病院	2025 年 3 月 8 日	當眞
栄養管理、体液管理に役立つ実践フィジカルアセスメント	オンライン	2025 年 3 月 12 日	高屋
日本栄養治療学会	神奈川県	2025 年 2 月 14 ～ 15 日	真栄城、當眞
食事療法学会	オンライン	2025 年 3 月 7 日	島袋、大屋
嚥下食、物性のバラつき解決セミナー	オンライン	2025 年 1 月 25 日	真栄城、高屋、當眞、大浦、島袋、大屋
JASPEN	オンライン	2025 年 2 月	真栄城、高屋
学会分類 2021(とろみ)と粘度調整のポイントを徹底解説セミナー	オンライン	2024 年 2 月 28 日	真栄城、高屋、當眞、大浦、末吉、島袋、大屋
その褥瘡どうケアする?	オンライン	2024 年 3 月 21 日	真栄城、高屋、當眞、大浦、末吉、島袋、大屋
食糧学会	オンライン	2024 年 3 月	真栄城、高屋

院内研究発表会

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
食べるを支える嚥下食の考案	院内発表会	院内	2025 年 2 月 6 日	大屋 リサ

講師依頼

題名	開催地	実施年月日	参加
糖尿病腎症	糖尿病委員会	2024 年 3 月	島袋 夏音
生活習慣病	サンエー西原シティー	2024 年 8 月 10 日	當眞 結子
生活習慣病	オキサン(事業所)	2024 年 10 月 4 日	末吉 花穂子
生活習慣病	綿久(事業所)	2024 年 11 月 19 日	末吉 花穂子
骨粗鬆症	じのん整形外科	2024 年 11 月 23 日	島袋 夏音
小児糖尿病サマーキャンプ	玉城青年自然の家	2024 年 12 月 1 日	當眞 結子、大屋 リサ

薬局

薬局長 大関 秀和

部署紹介

医薬品の新規採用とそれに関わる医薬品情報の整備を行っています。特に年々発売数が増えるがん治療領域で抗がん剤プロトコルの作成、改訂を行っています。患者指導箋などを活用し、患者指導に力を入れています。ポリファーマシーと言われる多剤併用について、患者持参薬情報などを活用し取り組みを強化しています。

職員数

総数

21 名

職種別

薬 剤 師 17 名

一般事務 1 名

薬局助手 3 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
田中 泉	認定実務実習指導薬剤師
大関 秀和	認定実務実習指導薬剤師

氏名	認定・資格名
義田 育美	NST 専門療法士

薬局理念

薬物療法のプロとして、安全に、安心な治療が受けられるようにサポートします。

目標

- 1. 医薬品の安全使用と管理の徹底
- 2. 多職種と連携した適切な薬物治療の推進
- 3. 新しい知識・技能の習得

2024 年度計画及び実績

項目		実績
薬剤管理指導	指導料1	1,241 件 (380 点)
	指導料2	7,076 件 (325 点)
	麻薬管理加算	96 件 (50 点)
	退院時加算	285 件 (90 点)
無菌製剤処理料		1,019 件 (180 点)
薬剤調整加算		92 件 (150 点)
薬剤総合評価調整加算（入院）		251 件 (100 点)
退院時薬剤情報連携加算		285 件 (60 点)
薬剤総合評価調整管理料（外来）		9 件 (250 点)
バイオ後続品導入初期加算		3 件 (150 点)
バイオ後続品使用体制加算		430 件 (100 点)

項目		実績
情報配信	DI ニュース	4 報
	後発品採用率	94.4% (2024 年 3 月 目標 80%以上)
	厚労省通知	0 報
	メーカーの通知	20 報
	エントランス案内	80 報

薬事審議会開催 10 回 / 年

新規採用品目数：29 品目 採用切り替え：46 品目 採用削除：10 品目

後発品使用率は年間を通して 90% 以上を保っています。薬品マスターの新規作成及び、後発品目への切り替え設定を行いました。後発品への切り替えでは、患者セットや医師セット、クリニカルパスなどの修正を行いました。更に各部門への切り替え案内を発行し、電子カルテエントランスにて案内を行っています。がん管理指導料の自動算定のための設定やインスリン管理画面への登録など、薬品マスターの作成、設定業務は多岐に及びます。

2024 年度よりバイオ後続品を使用することで入院時に取得できる加算が新設されました。取得の施設基準がバイオ後続品の使用率の向上であったため、変更を進め加算を取得することが可能となりました。

抗がん剤プロトコール新規作成

内科：6 件 外科：12 件 婦人科：4 件

文献や製薬メーカーのパンフレットなどを使用し、投与量の設定や支持療法の決定などを行っています。催吐性リスクや血管外漏出時の薬剤レベルなどの確認を行っています。

薬局がポリファーマシーへの取り組み

6 剤以上の多剤服用患者に対し服用理由を見直し減薬に取り組むことで薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算、退院時薬剤情報連携加算を取得しています。薬剤師が不足している中でも積極的に取り組みを行い昨年度より取得件数を増加させることができています。

リハビリテーション科

リハビリテーション科療法士長 新垣 健

2024 年度は、リハビリテーション科担当医師を含めたリハ科スタッフと病棟看護師等とで多職種カンファレンスを頻回に行い、対象症例の把握に努めました。その結果、脳血管疾患リハⅠ、運動器疾患リハⅠ、呼吸器疾患リハⅠ、心リハⅠ、がんリハの施設基準を満たしながら、必要とされる急性期リハビリテーションを提供することができました。また、更に充実したリハの実践を目指し、県内外から人材を獲得すべくリクルート活動を活発に行った一年でもありました。

急性期医療に求められる価値観が多様化する現在に適応できるよう、急性期リハの「質」と「量」の担保、および人材獲得・育成を含むスタッフが働きやすい職場環境の整備、リハ対象者の拡充に対する取り組み等を引き続き推し進めて参ります。

職員数

総数 51 名

職種別

理学療法士	32 名	言語聴覚士	6 名
作業療法士	11 名	助手	2 名

認定・資格

氏名	資格・認定資格
理学療法士	
新垣 健	がんのリハビリテーション研修終了
波平 静香	呼吸療法認定士 がんのリハビリテーション研修終了
金城 勝一朗	がんのリハビリテーション研修終了
仲村 和也	がんのリハビリテーション研修終了 日本フットケア・足病医学会認定師
知花 勝也	がんのリハビリテーション研修終了
神里 祥子	がんのリハビリテーション研修終了
福地 美香	呼吸療法認定士 がんのリハビリテーション研修終了
天久 真理子	がんのリハビリテーション研修終了
呉屋 絵美里	がんのリハビリテーション研修終了
仲里 かな子	がんのリハビリテーション研修終了
西里 彩花	がんのリハビリテーション研修終了
渡部 尚悟	心臓リハビリテーション指導士

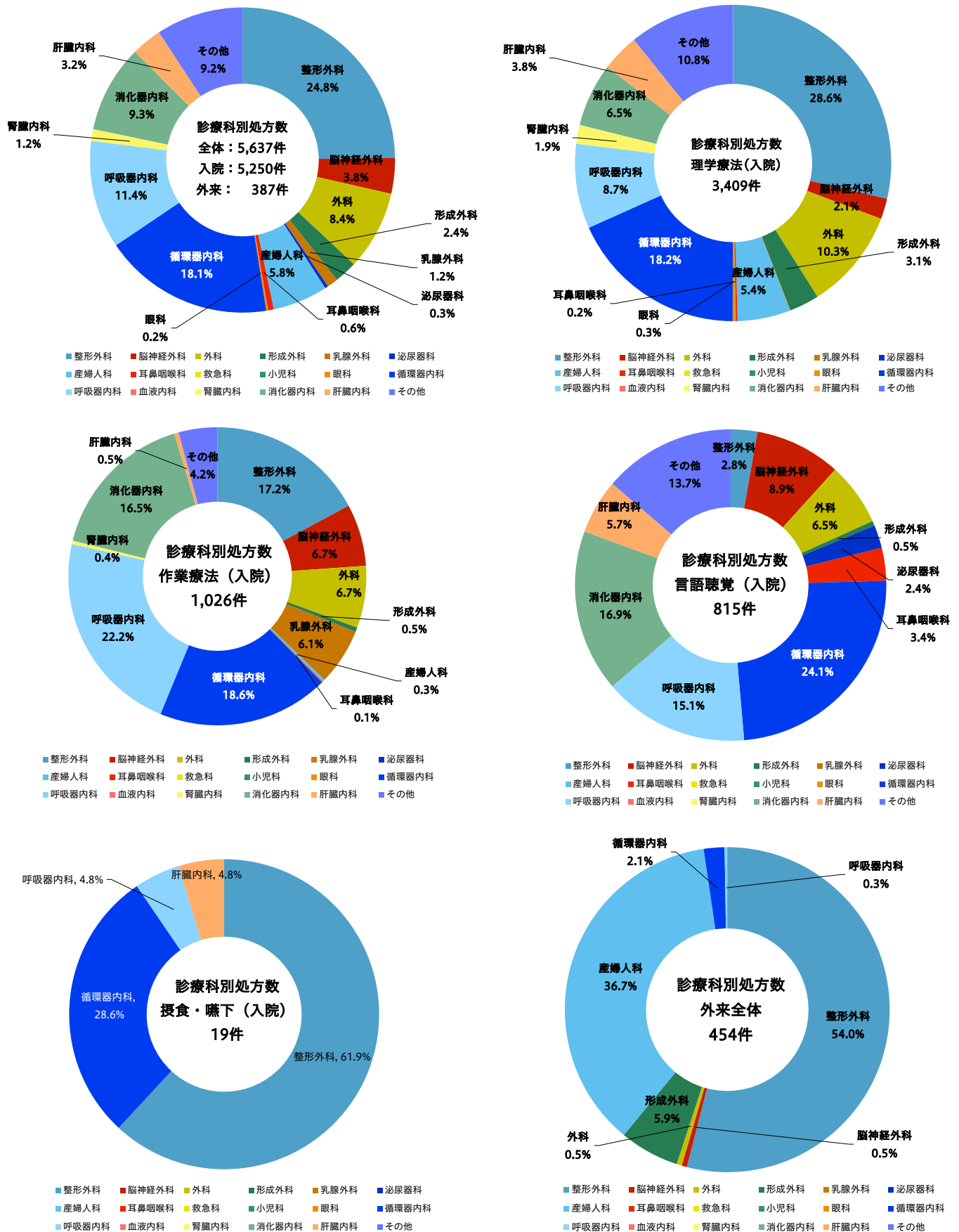
氏名	資格・認定資格
作業療法士	
富永 涼子	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士 公認心理師
渡嘉敷 こずえ	がんのリハビリテーション研修終了
金城 春菜	がんのリハビリテーション研修終了
安慶名 正樹	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
言語聴覚士	
大城 盛彦	がんのリハビリテーション研修終了
比嘉 豊子	がんのリハビリテーション研修終了

運営方針

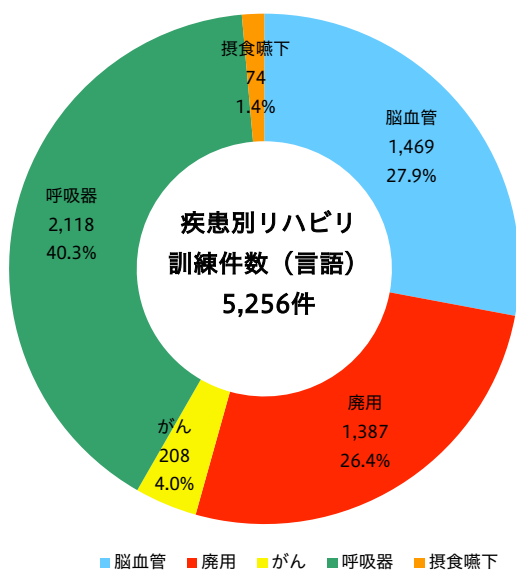
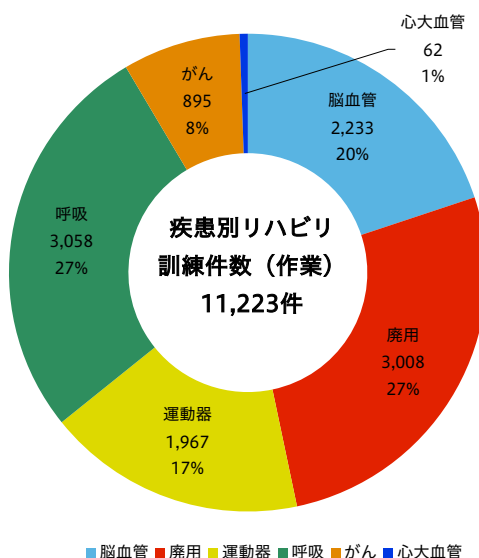
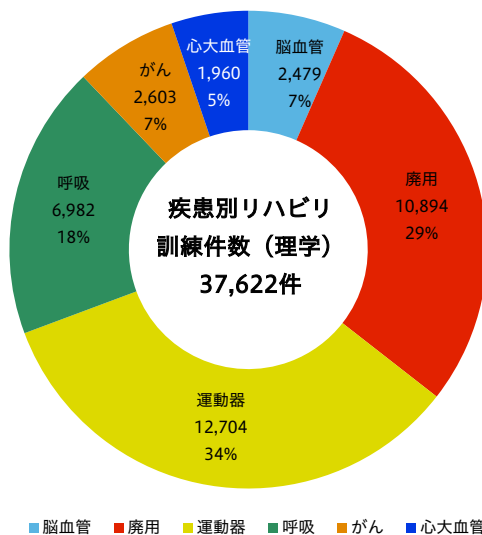
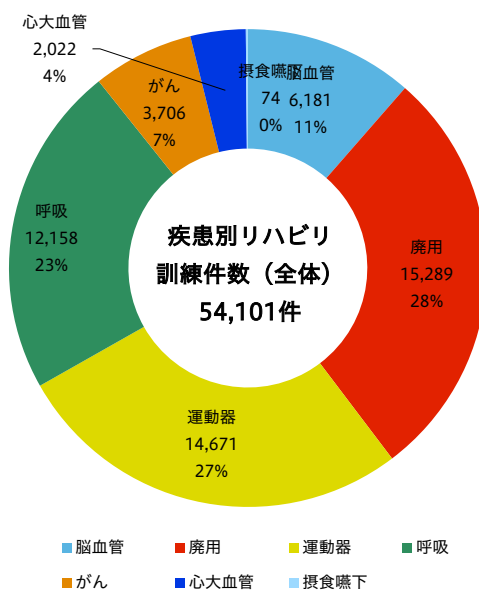
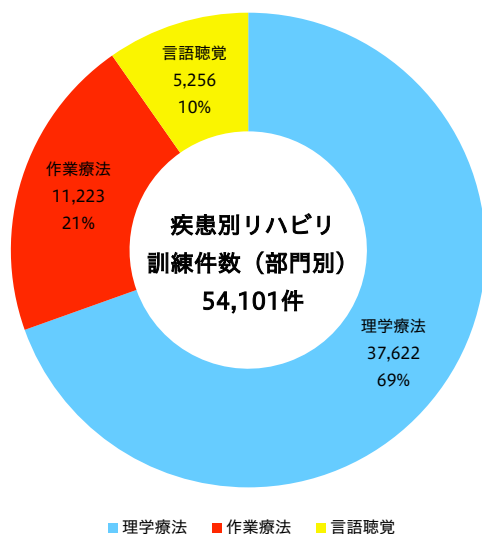
- 「質」と「量」を担保した急性期リハの提供
- 働きやすい職場作り・環境整備の更なる促進 / 人材確保・育成
- リハビリテーションの職域と対象患者の拡大

検査・治療実績

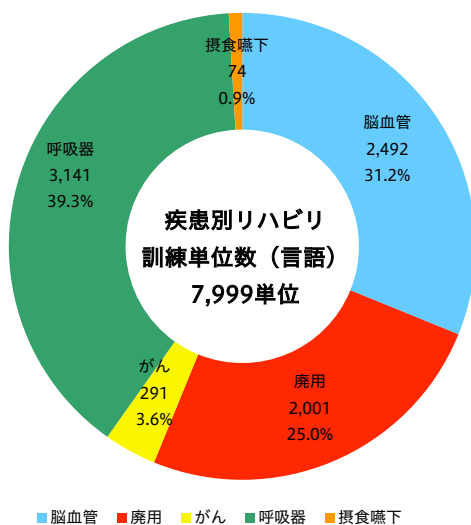
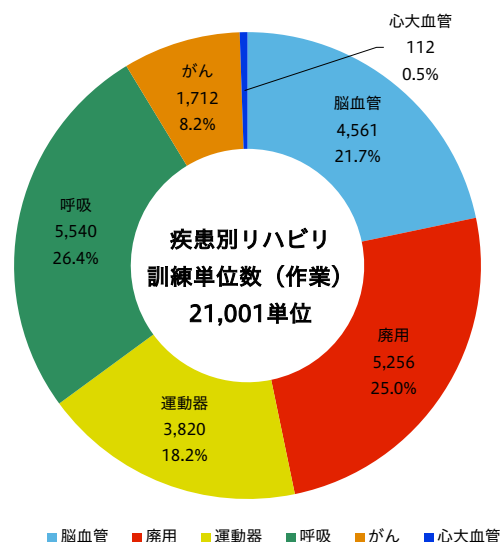
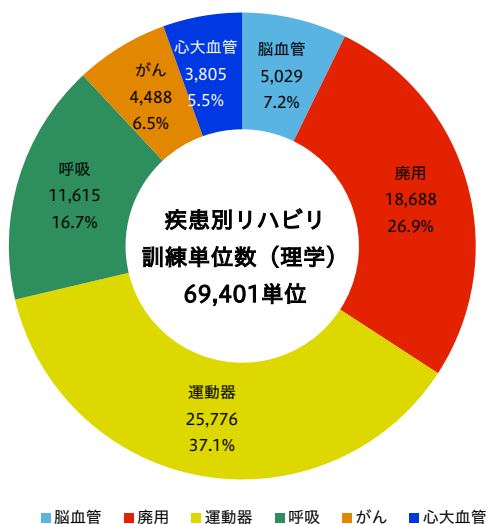
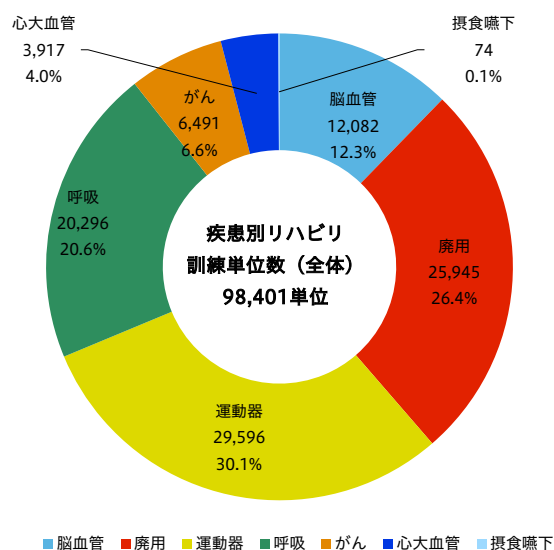
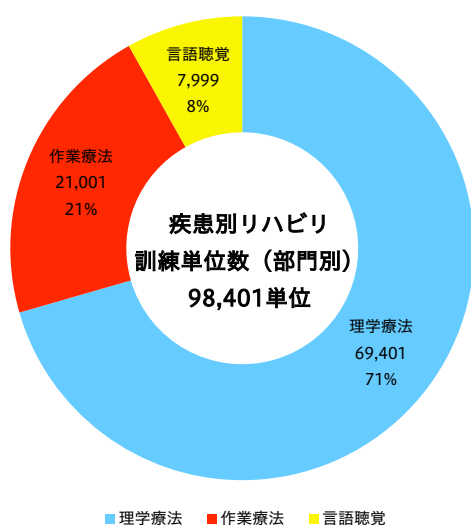
診療科別リハビリテーション処方状況



疾患別リハビリテーション実施状況

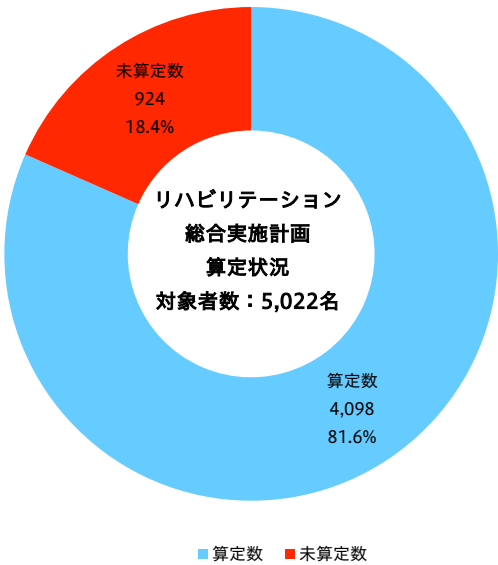


疾患別リハビリ訓練単位数



リハビリテーション総合実施計画

対象患者数	5,022
算定数	4,098
未算定数	924
算定率	81.6%
未算定率	18.4%
算定点数	1,229,400
未算定点数	277,200



活動実績

院内講師

名称		開催地	年月日	講師
(講師) 摂食嚥下障害と食事介助の基礎知識	新人看護研修	院内	2024 年 4 月	大城 盛彦
(講師) 移乗動作について	新人看護研修	院内	2024 年 4 月	阿次富 啓太、比嘉 七瀬、 譜久村 日和、仲村渠 友弥、 宮里 脩治、安慶名 正樹、 照屋 俊樹、天久 真理子、 仲村 和也

医療技術部年度総括

医療技術部 部長 宮城 竜也
副部長 仲座 義富

2024 年度は、医療技術部において人員確保に大変苦労した一年となりました。西平医院が当法人へ加わったことにより、各部署との連携強化を図ってきました。臨床工学技士、診療放射線技師、臨床検査技師、調理師と連携し、西平医院のスタッフが不在の際には当院よりスタッフを派遣することで、業務が滞ることなく円滑な運用に寄与しています。

また、2024 年に実施された病院機能評価では臨床工学科が S 評価を取得するなど、医療技術部の各部署も A または B 評価を獲得し、5 年前より高い評価をいただきました。これを糧に、今後も患者さんに安心・安全な医療を提供できるよう邁進してまいります。

医療技術部が中心となった互助会活動でも、5 年ぶりのビーチ BBQ や大忘年会が成功を収め、各サークル活動の再開など、さまざまなイベント復活への足掛かりを作ることができました。

以下に、医療技術部各部署の 2024 年度の人事計画の振り返りをまとめます。

■ 薬局

薬剤師の定数 22 名に対し、2024 年度は 16 名という状況で、積極的な欠員補充を掲げました。薬科大学への訪問や就職活動などを積極的に展開しましたが、人材確保は依然として厳しい状況です。2025 年度は、当院が新たに開始した「LINE を活用した就活」なども活用し、引き続き欠員募集を行っていきたいと考えています。薬剤管理指導料、無菌調整処理料、緩和ケア診療加算、外来化学療法加算などの加算は、取りこぼしなく確実に取得できています。

■ リハビリテーション科

理学療法士（PT）は、定数が 2024 年度に 25 名から 32 名へ増員されましたが、実際の在籍は 24 名にとどまり、増員計画を満たすことができませんでした。募集は行ったものの、結果的に充足には至っていません。作業療法士（OT）は定数 11 名に対し、2023 年度 6 名→2024 年度 7 名と増えたものの、依然として 4 名の欠員が生じており、定数を満たすことができていません言語聴覚士（ST）は定数 6 名に対し 4 名で、こちらも増員ができていません。心大血管リハビリテーション担当者は現在 1 名であり、もう 1 名の資格取得を目指しましたが不合格となり、1 名体制のままとなっています。一方で、ICU 早期離床リハビリ加算、退院時リハビリテーション指導加算、心臓リハビリテーション加算などは取りこぼすことなく確実に取得できました。

■ 栄養科

2023 年 10 月より給食業務をシダックスへ委託していますが、2024 年度は委託業務が安定的に定着したと考えられます。これにより、当院の管理栄養士は栄養指導加算により集中して取り組むことができました。さらに、嚥下チームや NST チームとも連携を強化できた一年となりました。

■ 臨床工学科

内視鏡に配属されていた臨床工学技士（CE）2 名のうち 1 名を、看護部所属から臨床工学科へ正式配置し、透析室への異動を行いました。また、2024 年度に運用を開始したダヴィンチ（手術支援ロボット）に対応できる CE の育成も順調に進み、3 名がすでに独り立ちし、1 名が研修中です。計画どおりに進捗していると言えます。

■ 臨床検査科

2024 年度に目標としていた病理スクリーナーの増員は実現できませんでした。現在の病理スクリーナーは 3 名で変更はありません。2025 年度は、新規採用または院内育成のいずれかの方法で 4 名体制の構築を目指します。

■ 放射線科

2024 年度は 2 名が退職しましたが、新卒 2 名が就職したため、人員体制としては問題ありませんでした。放射線科特有の高額医療機器については、2024 年度より検討を進めている MRI（1.5T）の更新計画を、2025 年度も継続して検討していきます。また、8 階健診センターのマンモグラフィ装置、および病棟用ポータブル撮影装置の更新は、計画どおり完了しました。

医療安全管理室

部門紹介

医療安全管理者 比嘉 暢

平成 19 年に当院の医療安全管理部門として、組織横断的活動を行うために病院長からの直属として医療安全管理室が設置されました。副院長を医療安全管理責任者とし、専従で医療安全管理者が配置されています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の管理者総勢 33 名で構成され、毎月の委員会と毎週のカンファレンスを開催しています。

医療安全管理指針 基本理念

1. 心と心を結ぶ信頼される医療を目指す
2. 医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

職員数

総数

2 名

職種別

医療安全管理室 専従看護師 1 名 専従事務 1 名

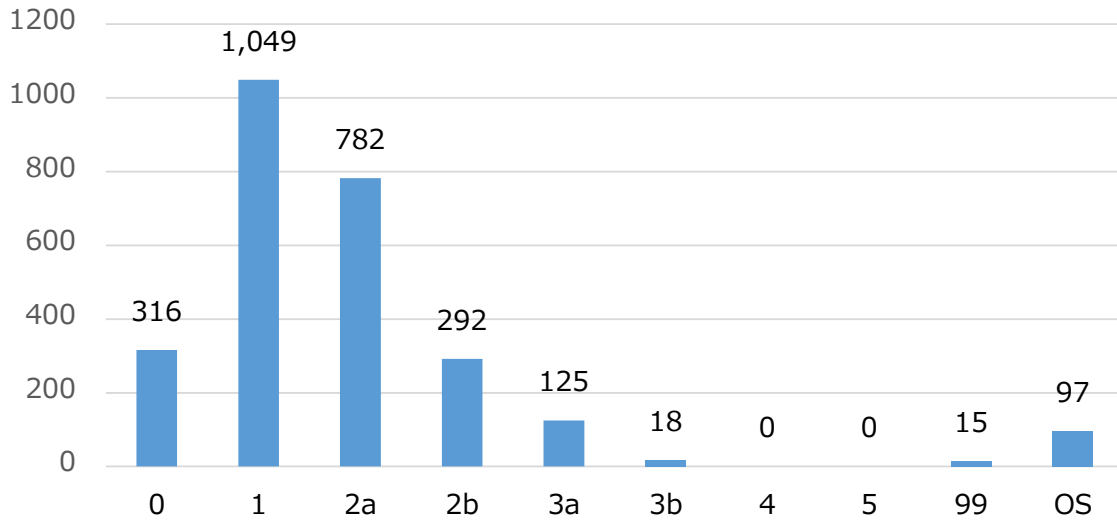
認定・資格

氏名	認定・資格名
比嘉 暢	医療安全管理者養成研修修了

2024 年度 目標

1. 安全風土の醸成
 - 1) インシデント・アクシデント報告件数：1540 件以上（病床数の 5 倍）
 - 2) 医師報告件数：報告件数全体の 1 割以上
 - 3) オカレンス報告の定着
2. インシデントレベル 0・1 件数の増加
3. アクシデントレベル 3 件数の減少
4. 高難度新規医療技術評価委員会の立ち上げおよび運営

2024年度 事象レベル毎発生件数：2,694件



0：当該行為が患者に実施される前に気づいた

1：当該行為が実施されたが患者に変化がなかった 【すぐ気づいた為、問題にならなかった】

2a：当該行為が実施され一時的な観察が必要となった 【内部調査が必要になった】

2b：当該行為が実施され検査が必要となった 【内部調査に加え患者家族への対応が発生した】

3a：当該行為のため簡単な治療や処置を要した 【患者家族へ病院として謝罪や説明が必要になった】

3b：当該行為のため濃厚な治療や処置を要した 【患者家族へ謝罪に加え何らかの保障が必要になった】

4：当該行為により障害が残った

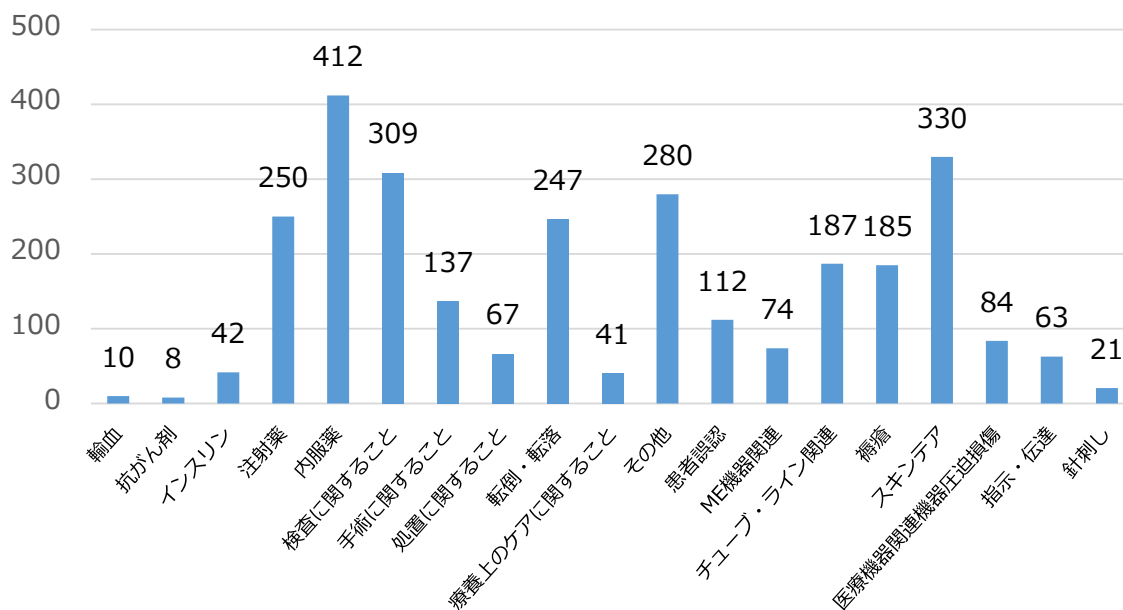
5：当該行為が死因となった

99：その他（原因不明）

OS：患者サポート

※「OS」は当院独自の基準で患者サポート委員会で検討し対応を協議しています

2024年度 事象区分毎発生件数



医療安全管理室 年度総括

安全風土の醸成において、2024 年度のインシデント・アクシデント報告件数は 2,453 件であり、QI 指標とされる「病床数の 5 倍」(1,540 件)を大きく上回る報告がなされました。

また、レベル指数は 1.48 と、昨年度の 1.29 よりやや高い数値となりましたが、インシデントレベル 0・1 の報告件数は、昨年度の 1,399 件に対し、2024 年度は 1,365 件と大きな差は見られませんでした。これらのことから、安全文化の醸成は概ね維持されていると考えられます。

医師からの報告件数は目標には届きませんでした。多職種が関与したインシデントとしての報告があり、チーム医療の視点からも安全文化の浸透がうかがえました。

オカレンス報告については、事例規定に基づき各部署からタイムリーな報告が行われており、報告体制が定着してきたことが見受けられます。

インシデントレベル 0・1 の件数増加という目標は達成できなかったものの、2024 年度の件数は 1,365 件であり、昨年度の 1,399 件と同程度の報告数を維持しました。また、アクシデントレベル 3 の件数については、昨年度 147 件から 2024 年度は 143 件へと、わずかではありますが減少させることができました。

2024 年度には、高難度新規医療技術として、当院でも患者さんの身体的負担が少ないロボット支援下手術「ダビンチ」を導入いたしました。これに伴い、適正な提供体制を整えることを目的として「高難度新規医療技術評価委員会」を立ち上げ、運営を行っております。

今後も、患者さんに安全で質の高い医療を提供できるよう、病院全体で継続して取り組んでまいります。

医療安全管理室 比嘉 暢

感染対策管理室

部門紹介

感染対策管理室 城間 克也

感染対策管理室は平成 20 年に院長直下の感染に関する諮問機関として設置され、専従看護師が配置されました。感染対策教育は、全職員を対象とする講習会を年 2 回実施。他には、新人教育、研修医研修、看護部中堅研修、助手研修、部署別研修、手指衛生改善活動などを実施しています。

抗菌薬適正使用支援チーム（AST）を平成 30 年に立ち上げ、検査技師 1 名が業務専従のため感染対策管理室に配置されました。抗菌薬適正使用や耐性菌発生抑制への各取り組みを AST の中心となり活発的に活動しています。

感染対策管理室では日々病棟をラウンドし感染対策の実施状況を確認、感染対策に関する問題や課題を挙げ、必要な指導や教育、感染対策マニュアルの見直しや改訂などを通し改善活動を行っています。サーベイランスで得られた情報や結果を基に、ICT 耐性菌ラウンドや AST 抗菌薬適正使用ラウンドを実施。続けて ICT/AST ミーティングを行い現場での感染対策実践や適正な感染症診療への支援に繋がっています。看護部、医療技術部、事務部の各部署より選出されたメンバーで構成される感染対策小委員会の企画運営を行い、全職種で感染対策に挑む体制作りとその実践を遂行しています。

感染管理対策室 理念

感染管理を通して、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

職員数

総数

3 名

職種別

専従看護師 1 名

専従検査技師 1 名

一般事務 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
城間 克也	感染管理認定看護師

氏名	認定・資格名
宮城 健	二級臨床検査士（微生物学）

活動実績

2024 年度の目標と実績（実績 / 目標）

MRSA 院内発生	54 件 / 50 件以下
アルコール製剤使用達成度 （推奨使用量に対し）	62.2% / 100% 以上
手指衛生遵守率「患者に触れる前」	38.4% / 80% 以上
針刺し切創・粘膜汚染	20 件 (17・3) / 15 件以下

血液培養 汚染率	1.5% / 3.0% 以下
血液培養 複数セット採取率	96.3% / 90% 以上
カルバペネム系抗菌薬 AUD 2020 年度比	± 0% (増減なし) / 20% 減

主な活動

1) 職員教育

AST4 職種（医師、看護師、検査技師、薬剤師）対象講習会受講率 61.6%【グループセッション、youtube】

全職員対象感染対策講習会（兼 AST 枠）受講率 82.4%【グループセッション、youtube】

2) 感染委員会の開催

院内感染対策委員会を月 1 回定例開催で 12 回開催、緊急会議 1 回開催（7 月新型コロナウイルス対策緊急会議）

院内感染対策小委員会を月 1 回定例開催で 12 回開催

3) アウトブレイク調査と対策介入

入院病棟における患者及び職員の COVID-19 集団感染 / 濃厚接触者発生への対策介入

4) 職業感染予防および職員フォロー

針刺し事例 17 件への介入（状況調査、解決案検討と提示）

5) 外部サーベイランス参加、医療関連感染サーベイランスの実践

厚生労働省サーベイランス（JANIS）の全入院患者部門（耐性菌）、検査部門それぞれの集計・管理・報告

デバイス関連感染サーベイランス、SSI（手術部位感染）サーベイランスの新規整備、集計、評価

6) 感染対策向上加算、指導強化加算における連携施設との活動

向上加算 1 施設間の相互ラウンド

中部保健所と中部地区医師会と連携し、外部の感染対策加算取得施設との合同カンファレンスを 4 回実施（うち 1 回は感染症訓練）

連携のある向上加算 3 施設と外来感染対策向上加算施設の 2 施設に対し訪問指導を実施

7) 施設訪問研修

高齢者施設等感染対策加算取得の連携施設 1 施設へ訪問研修実施（相手の加算報酬要件）

地域連携会議は一とネットワーク関連で依頼のあった介護老人保健施設 4 施設へ訪問研修実施

沖縄県看護協会感染委員会より依頼のあった介護事業所（2 ヶ所）などへの訪問研修実施

8) AST 活動

菌血症患者のモニタリング・介入

血液培養の 1 セット提出と汚染事例の監視と介入

届出抗菌薬使用（バンコマイシン / チエクール / メロペン）モニタリング

届出抗菌薬チエクール / メロペンの AST 多職種カンファレンスを実施（182 件介入し 163 件提案採用、介入採用率 89.5%）

主要な菌の院内アンチバイオグラム報告

連携先クリニックへ経口抗菌薬処方状況アンケートを実施、対象 16 施設中 6 施設回答（回答率 38%）

研修・学会参加

名称	開催地	年月日	主催	参加者
感染対策担当者のためのセミナー	オンライン	2024 年 8 月、12 月・ 2025 年 1 月	日本病院会	石川 和也
感染管理認定看護師フォローアップ研修 災害時の感染管理	沖縄県看護協会	2024 年 9 月 28 日	沖縄県看護協会	城間 克也
第 13 回日本感染管理ネットワーク九州・沖縄支部地方会	福岡県	2024 年 11 月 16 日	日本感染管理ネットワーク九州・沖縄支部	城間 克也

勉強会実施実績

名称	開催地	年月日	演者	対象
院内感染対策新入職オリエンテーション	当院	2024 年 4 月 1 日	城間 克也	新入職者全員
看護部入職者研修「療養環境と感染対策、PPE 着脱、手指衛生」	当院	2024 年 4 月 4 日	城間 克也	看護部新入職者
院内感染対策研修医 1 年目オリエンテーション	当院	2024 年 4 月 8 日	城間 克也	1 年目研修医
看護部入職者研修「針刺し事故の対応」	当院	2024 年 4 月 15 日	城間 克也	看護部新入職者
平時からクラスターを防ぐ COVID-19 対策	介護老人保健施設 池田苑	2024 年 6 月 26 日	城間 克也	施設職員
看護補助者研修「手指衛生と手袋について」	当院	2024 年 9 月 12 日	城間 克也	看護補助者
看護部領域研修「疥癬、CD、ノロ、結核について」	当院	2024 年 9 月 21 日	城間 克也	看護部プリセプター、教育 リンクスタッフ
全職員対象感染対策講習会「知ろう AMR、考えようあなたのクスリ 薬剤耐性」	当院	2024 年 11 月 5 日	宮城 健	全職員対象
インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の感染対策	浦添市社会福祉センター	2024 年 11 月 6 日	城間	浦添市社会福祉協議会会員
看護部領域研修「デバイス関連感染、ノロ吐物処理方法について」	当院	2024 年 11 月 30 日	城間 克也、 大城 美那	看護部プリセプター、教育 リンクスタッフ
感染対策向上加算 感染症対策訓練「アイソレーション防護具着脱訓練」	当院	2024 年 12 月 16 日	城間 克也	ハートライフクリニック、北 中城若松病院、ファミリー クリニックきたなかぐすく、 中村内科クリニック、ゆい ゆい内科クリニック、のだ けこどもクリニック、あか し内科クリニック
4 職種対象感染対策講習会「入院患者における抗微生物薬適正使用」	当院	2025 年 1 月 28 日	宮城 健	4 職種（医師、看護師、 薬剤師、臨床検査技師）
ノロウイルス感染対策における吐物処理	介護老人保健施設 西原敬愛園	2025 年 3 月 5 日	城間 克也	施設職員
介護施設における感染対策	介護老人保健施設 信成苑	2025 年 3 月 12 日	城間 克也	施設職員
COVID-19 発生時の感染対策・対応	介護老人保健施設 うりずん	2025 年 3 月 12 日	城間 克也	施設職員
平時の感染対策	那覇市社会福祉協議会 デイサービスあしび なー	2025 年 3 月 21 日	城間 克也	施設職員

2024 年度目標

- ・ MRSA 院内発生 50 件以下
- ・ アルコール製剤使用達成度（推奨使用量に対し）100% 以上
- ・ 「患者に触れる前」手指衛生遵守率 80% 以上
- ・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜汚染 15 件以下
- ・ 血培汚染率 3.0% 以下
- ・ 血液培養複数セット採取率 90% 以上
- ・ カルバペネム系抗菌薬 A U D（抗菌薬使用密度）2020 年度比 20% 減
- ・ 職員対象感染対策講習会受講率 90% 以上

感染対策管理室 年度総括

2024 年度は入院病棟において、CD 感染、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザのアウトブレイクが発生しました。インフルエンザはコロナ禍前の 2019 年度以来のアウトブレイクであり、CD 感染については当院で初めての発生でした。手指衛生をはじめ、感染症や微生物別の感染対策遵守が不十分であったことが一因と考えられます。現場での感染対策実践の確認、評価、適宜の指導が求められており、マニュアル整備だけではなく、「対策の遵守」「対策の実践」へのアプローチの重要性を痛感しました。

感染制御に係る通常業務としては、前年度に引き続き、電子カルテシステムを活用したデバイス関連感染症および手術部位感染（SSI）のサーベイランスを実施しました。尿道留置カテーテル関連尿路感染率は病棟別にみると、ICU・HCU・5 階病棟が全国サーベイのベンチマークと比較して高い状況でした。尿カテーテル管理を含めた要因を分析中であり、次年度は対策を実践し、感染率の低減を目指します。看護職者を対象とした手指衛生調査では、目標を大きく下回る結果となりました。新年度は、現場での実践および指導方法を模索し、チームステップスの手法を取り入れた介入アプローチを計画しており、この活動によって手指衛生の改善を図ります。

他施設との関わりとしては、地域連携会議「はーとネットワーク会議」へ参加し、連携施設との感染管理に関する情報交換を行うとともに、依頼のあった 4 施設への訪問研修を実施しました。法人内にとどまらず、感染管理者の立場から地域や連携先にも一定の貢献ができたものと考えています。

抗菌薬適正使用支援チーム（AST）は、昨年度の課題をふまえて目標を設定し、活動を展開しました。血液培養の複数セット採取率および汚染率は、2019 年度から 6 年間目標を達成しており、適切な採血手技の習慣化が継続しています。

2024 年度のカルバペネム系抗菌薬の抗菌薬使用密度（AUD）は 20 で、目標の 16 以下には届きませんでした。抗菌薬使用日数（DOT）は前年度の 23 から 16 に短縮されました。AST 多職種カンファレンスにおいてカルバペネム系抗菌薬の使用症例を検討し、継続的な介入を行った結果、不適切な使用が減少し、DOT の短縮につながったと考えています。

院外活動としては、2021 年度から継続している経口抗菌薬適正使用の啓発を目的とした連携施設向けのアンケート調査を今年度も実施し、2023 年度と同様に 16 施設中 6 施設から回答を得ました。なお、経口抗菌薬であるセファレキシンおよびセファクロルが 2024 年 7 月から供給不安定となっており、抗菌

薬の選択肢が限られる中での適正使用の啓発は、困難を伴う 1 年となりました。引き続き、抗菌薬の適正使用を通じて、患者に理論的かつ安全で効果的な抗菌薬療法を提供できるよう努めてまいります。

新年度も ICT（感染対策チーム）および AST が実働部隊として、感染制御と抗菌薬適正使用支援という重要な役割を全うし、法人における医療の質の向上に寄与してまいります。

栄養サポート室

部門紹介

栄養サポート室 當眞 結子

栄養サポート（以下 NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。

栄養サポート室 理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

栄養サポート室 運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し適切な栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

職員数

総数

1 名

職種別

栄養サポート室 管理栄養士 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
當眞結子	栄養サポートチーム専門療法士 日本栄養治療学会

NST 回診&カンファレンスについて

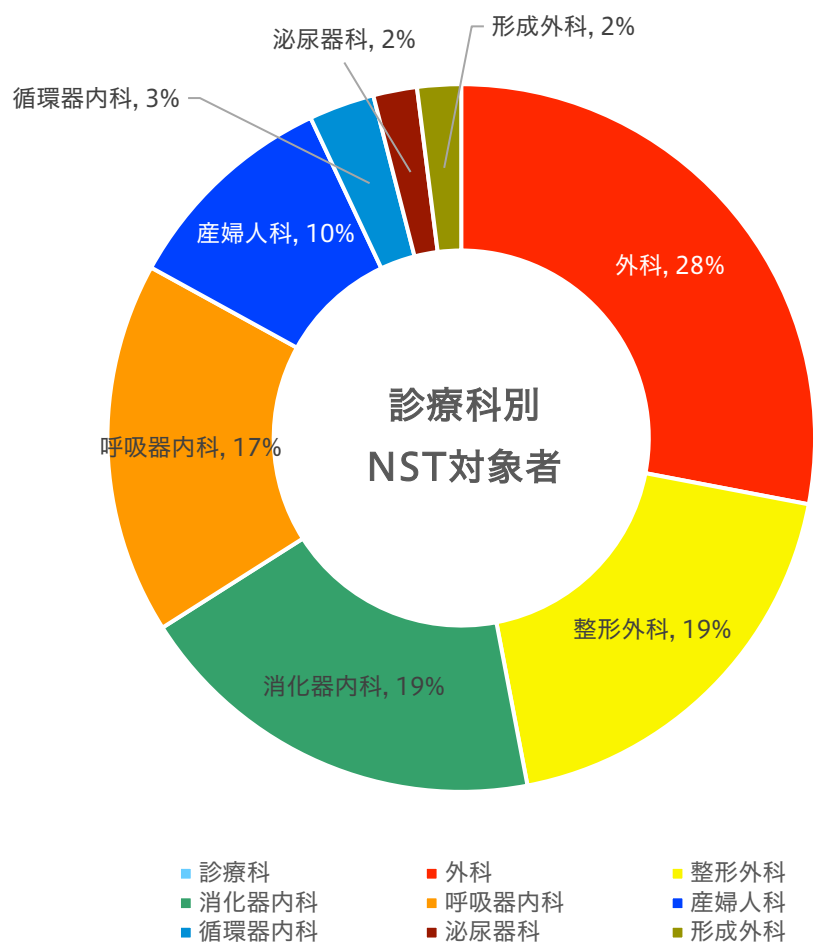
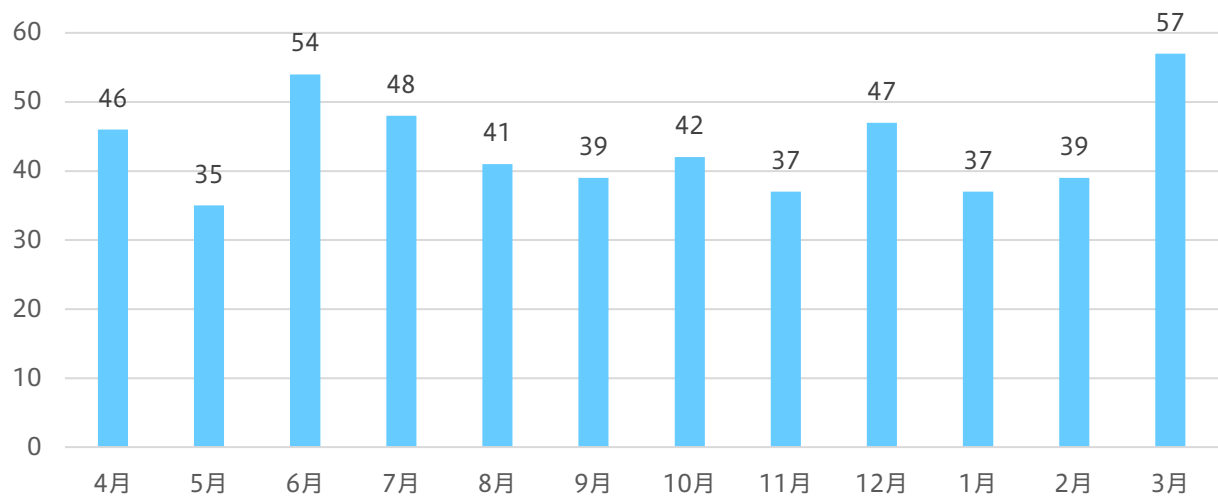
NST 対象患者選択

- GLIM 基準で低栄養と診断された患者
- 褥瘡を有してる
- 摂食・嚥下障害がある
- 経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

NST 対象除外

- GLIM 基準で低栄養と診断されなかった患者
- ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
- 化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績
NST 加算件数



活動実績

研修実績

研修名	主催	開催地	開催日
院内勉強会（栄養科）	NST 委員会	院内	2024 年 4 月 22 日
第 19 回 臨床栄養懇話会	ニュートリノ株式会社	南風原	2024 年 5 月 18 日
院内勉強会（栄養科）	NST 委員会	院内	2024 年 5 月 27 日
院内勉強会（クリニコ）	NST 委員会	院内	2024 年 9 月 30 日
第 41 回 日本栄養治療学会学術集会	日本栄養治療学会 発表：當眞	横浜	2025 年 2 月 14 日～2 月 15 日
第 18 回沖縄 NST フォーラム	大塚製薬工場 発表：義田	中頭病院	2025 年 3 月 8 日

栄養サポート室 年度総括

2024 年度は、外科部長を栄養サポート室委員長、外科医師 1 名、消化器内科医師 1 名を副委員長とし、看護師 27 名、医療技術部 10 名、事務部 1 名の構成でした。

栄養サポート室では全入院患者さんの中から、GLIM 基準で低栄養と診断された方をカンファレンス対象者としてリスト作成を行い、そのリストからリンクナースにより選出された患者さんを毎週月曜日にカンファレンス及び病棟回診を行っています。毎月第 4 月曜には NST 委員会も実施しています。

カンファレンスでは適切な静脈経腸栄養剤の選択、食事形態や食事量を検討し、主治医や病棟スタッフへ提案・助言を行った後、フィードバックを重ねる事で栄養状態の改善に努めました。また、栄養サポートを学んだスタッフを育成し、院内 NST の活性化へ繋げるために今年度も院外 NST 臨床実習へスタッフを派遣予定でしたが、臨床実習が開催されず参加できませんでした。次年度も今年度と同様に NST 療法師取得者増加に向けて、臨床実習への派遣を計画しています。その他にも、創傷カンファレンスへ参加し褥瘡委員会と協働で活動する事で褥瘡の予防からケアに至るまで強化する事ができたと思います。

平成 30 年度に設立された嚥下チームへも参加し、毎週水曜日の病棟ラウンドとカンファレンスにて加齢や様々な疾病により食べる機能が低下した患者さんが「食べる楽しみ」を得られるように支援しています。

栄養管理は、すべての疾患治療の上で共通する基本的医療のひとつです。症状や疾患に対する専門的な栄養療法の知識を習得し、患者さん個々に応じた栄養管理が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

内視鏡センター

部門紹介

内視鏡センター長 折田 均

内視鏡センターは日本内視鏡学会の指導施設で、指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む 33 名が従事しています。当センターでは、通常検査や予防医学センター健診の他、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石等の胆・膵の処置（ERCP）関連や従来は外科的手術が必要であった、早期の食道癌・大腸癌に対して ESD（内視鏡的粘膜剥離術）を取り入れています。2015 年に厚生労働省から全国で 7 番目、沖縄県で初めて食道アカラシアの新しい治療法 POEM（経口内視鏡的食道筋層切開術）に認定され、2024 年 12 月時点で 90 症例行い全国 16 位でした。

職員数

総数	33 名	看護師	13 名
職種別		（うち内視鏡技師	4 名）
指導医	4 名	クラーク	1 名
専門医	9 名	助手	3 名
その他	1 名	臨床工学技士	2 名

担当医師

(2024 年 5 月時点)

	氏名	学会認定など
名誉院長	奥島 憲彦	日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会専門医 日本外科学会認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
内視鏡センター長	折田 均	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内科部長 内視鏡センター副センター長	仲本 学	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内科学会指導医
予防医学センター副センター長	宮里 稔	日本消化器内視鏡学会専門医 日本東洋医学会認定医 日本内科学会認定内科医

	氏名	学会認定など
大腸・肛門外科部長 医局長	阿嘉 裕之	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本大腸肛門病学会専門医
肝臓内科部長	圓若 修一	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
肝臓内科副部長	仲舩 拓	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医
	宮城 純	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
	洲鎌 理知子	
	小橋川 ちはる	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医
	川満 美和	
	川田 晃世	

看護師認定・資格取得状況

	氏名
渡久山 すえの	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ 看護補助者活動推進のための看護管理者研修修了
上江洲 さやか	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ
松本 唯	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
宮城 愛子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ

内視鏡センター 運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に応える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

目標

- (1) より高い診療技術の向上
- (2) 患者安全の確保
- (3) 洗浄・消毒の徹底と管理

検査・治療件数

内視鏡検査及び内視鏡的治療

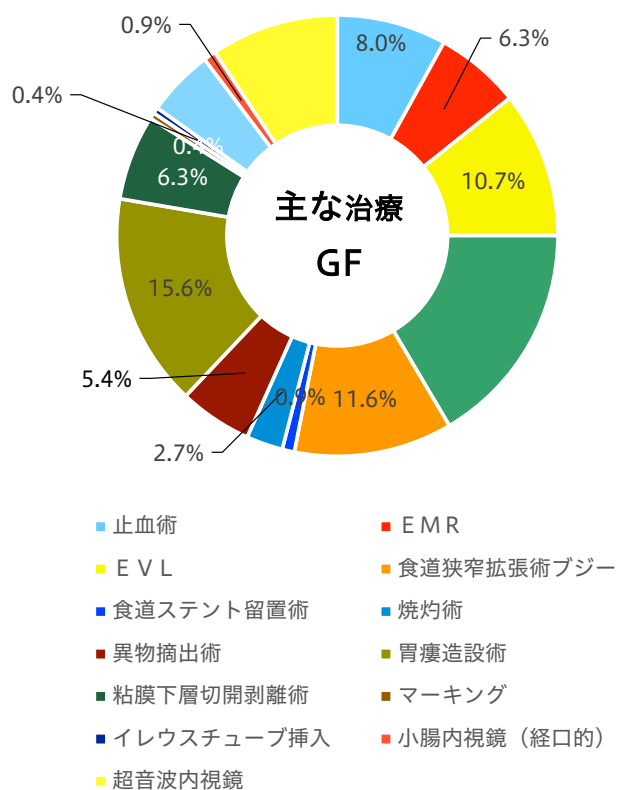
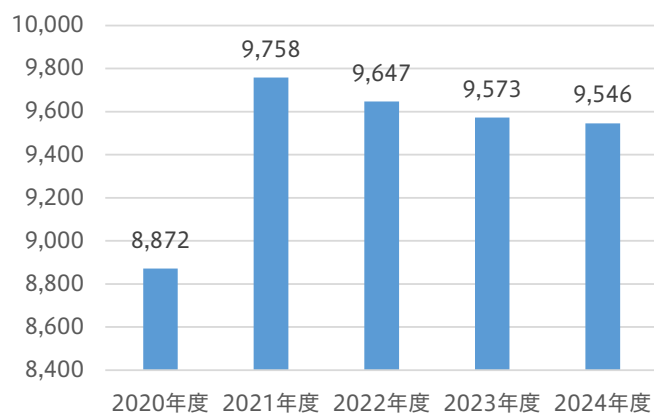
種別	合計
胃内視鏡	9,546
大腸内視鏡	2,961
ERCP	175
気管支鏡	56

種別	合計
上部消化管（内訳）	
止血術	18
EMR	14
EVL	24

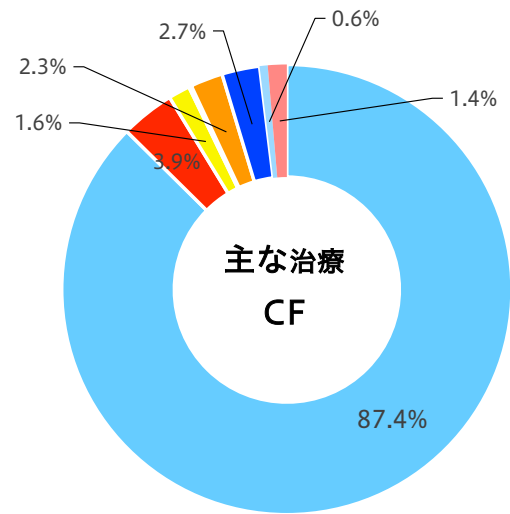
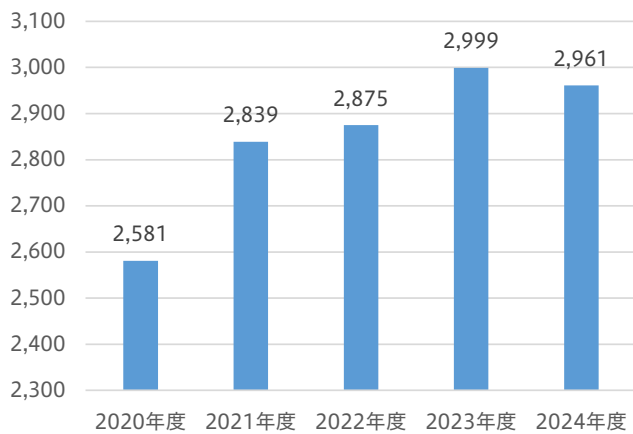
種別	合計
食道狭窄拡張術バルーン	37
食道狭窄拡張術ブジー	26
食道ステント留置術	2
焼灼術	6
異物摘出術	12
胃瘻造設術	35
粘膜下層切開剥離術	14
マーキング	1
イレウスチューブ挿入	1
POEM	11
小腸内視鏡（経口的）	2
超音波内視鏡	21
下部消化管（内訳）	合計
EMR	427
止血術	16
直腸狭窄拡張術	4
焼灼術	1

下部消化管（内訳）	合計
粘膜下層切開剥離術	9
マーキング	13
ステント	8
整復術（腸捻転）	8
胆道・膵管（内訳）	
乳頭切開術（EST）	40
乳頭拡張術（EPBD）	17
総胆管結石砕石 / 採石術	39
胆管stent	140
膵管stent	29
気管支鏡	
経気管支肺生検（TBLB）	19
肺胞洗浄（BAL）	8

GF 件数

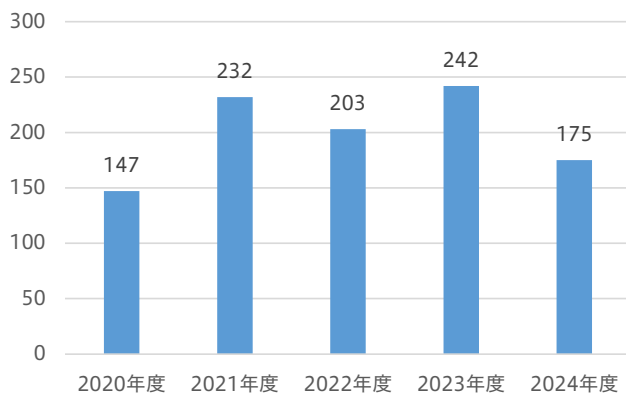


CF 件数

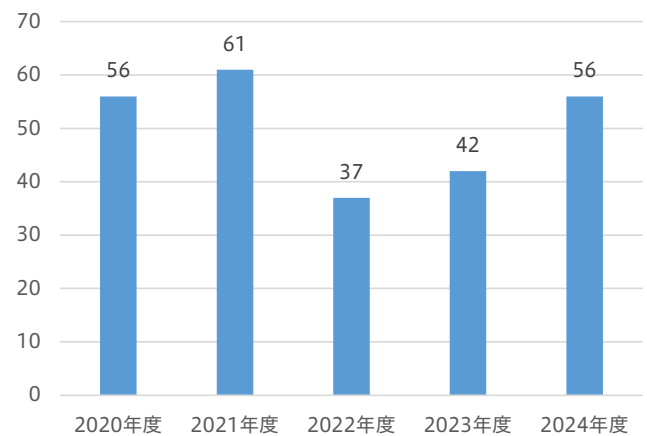


- E M R
- 止血術
- 直腸狭窄拡張術
- マーキング
- イレウスチューブ挿入
- ステント
- 整復術（腸捻転）

ERCP 件数



BF 件数



活動実績業績

院内・院外発表

名称		場所	開催年月日	発表者
臨床工学技士への教育を見直して	第 85 回九州消化器内視鏡技師学会	福岡県	2024 年 6 月 22 日	山入端 桃香 (発表者)、 東江 辰郎、 渡久山 すえの (参加者)
大腸検査における前処置説明の改定	中堅研修	当院	2024 年 11 月 28 日	山城 由佳
検査前タイムアウト方法の見直しに向けた取り組み	第 4 回かりゆし会研究発表	当院	2025 年 1 月 24 日	桃原 レナ

研修実績

名称	主催	開催地	開催日	参加者
オリンパス・スケルトン勉強会	オリンパス		2024 年 5 月 3 日	隆・寿賀子・安座間・ 與儀・愛子・仲松(綿久)
基礎から学ぶ目標管理	看護協会		2024 年 5 月 2 日	渡久山
みんなが笑顔になれる!「アンガーマネジメント」	看護協会		2024 年 6 月 7 日	山城・山入端
看護補助者の活用促進のための看護管理者研修「看護補助者体制充実加算」	看護協会		2024 年 6 月 8 日	渡久山
高周波装置の使用法	中央医療器		2024 年 8 月 8 日	宮城・山入端・玉城・ 隆・宮平・東江
ERCP の流れと処置具の使用法	中央医療器		2024 年 8 月 1 日	松本・宮城・屋嘉比
手指消毒	感染管理 認定看護師 城間 克也		2024 年 9 月 5 日	東江・與儀・宮平・隆・ 島袋・當間 (クラーク)
気管支鏡検査について	内視鏡後 期研修医 具志堅		2024 年 10 月 8 日	宮城・松本・桃原・隆・ 山入端・宮平・上江洲・ 大城・前田
沖縄県内視鏡技師学会教育セミナー・情報交換会	沖縄県内 視鏡技師 会		2024 年 10 月 19 日	上江洲・宮里・松本
高周波 VIO3			2024 年	宮城・與儀・東江
粘膜下切除術 (ESD)	内視鏡セ ンター長 Dr 折田		2024 年 12 月 5 日	宮城・山入端・山城・ 東江・與儀・隆・大城 笑子

2024 年度 看護部総括

2024 年度の目標件数、上部 10,000 件、下部 2,700 件に対して上部 9,546 件、下部 2,961 件でした。上部は目標値には達成しませんでした、下部は目標値に達し、次年度の目標件数は 3,000 件としました。

食道アカラシアの治療として POEM（経口内視鏡筋層切開術）を行っています。2024 年 12 月時点で 90 例行っており、POEM 全国集計で 25 病院中、全国 16 位と報告を受けました。大学病院が多い中で 16 位は、奥島名誉院長を中心にスタッフ一丸となって取り組んだことの成果であり、名誉なことです。今後も内視鏡検査及び治療内視鏡を必要としている患者様に、「ハートライフで内視鏡検査を受けたい、受けて良かった」と思ってもらえるよう、質の高い内視鏡看護を提供できるようスタッフ一丸となって努めていきます。

1. 安全管理

2024 年度インシデント報告は計 36 件で、0～1 レベル報告件数は 13 件でした。0～1 レベルを報告し振り返り・対策することで重大なインシデントを未然に防ぐことができますので、次年度、0～1 レベルの報告件数増加を目標に掲げていきます。鎮静剤使用後の転倒・車椅子移動中の足をぶつけたインシデ

ントが3件発生しています。これから高齢者の内視鏡は増加していきます。高齢者に寄り添った内視鏡看護を提供できるよう努めていきます。危険予知能力、インシデント発生時の分析・対策・評価に対してまだまだ弱い面があり、安全対策委員会を中心に安全風土の構築に向けて取り組みを次年度も継続していきます。

2. 感染管理

感染事故などが起きた際の対応で、消毒薬濃度や洗浄・消毒の履歴管理が推奨されており、2024年度ディスオーバ消毒薬濃度測定機を購入しました（2023年度までは外注依頼し消毒液濃度検査を行っていました）。機器の購入に伴い、洗浄機5台の消毒薬濃度を毎回測定・記録し、基準値をクリアしていることを確認しています。また、スコープ培養検体検査を年2回行い、結果は陰性で、患者さんへ安全なスコープを提供しています。

3. 教育

第85回九州消化器内視鏡技師学会へ参加し、発表することができました。また、沖縄県消化器内視鏡技師学会教育セミナー・情報交換会へ3名出席し、他施設の情報を知ることにより知識が深まり、業務改善へとつながり、いい刺激となりました。教育委員会を中心に、内視鏡内で勉強会を毎月開催することを目標に掲げました。業務が時間外となり開催できない月もありましたが、年8回開催し、業者によるスコープの構造、デバイスの使用方法、消化器医師による粘膜下層切開剥離術等の勉強会を行いました。これからも、日本・九州内視鏡学会、看護協会主催の研修へ積極的に参加し、処置技術と看護技術のバランスが取れた実践力を発揮できる人材育成を目標とし、安全・安心な検査・治療が提供できるよう継続していきます。

4. 機器管理

前年度、スコープ先端部の破損（レンズ割れ等）が5件あり、対策としてスコープ先端カバーを導入しました。検査・洗浄以外は先端カバーを装着し、2024年度は1件の発生と、先端カバー装着の効果が見られました。もっとも財務の視点でマイナスとなったのが、スコープ挿入部の噛まれで¥815,873と高額の修理費用となりました。前回の所見を参考に、体動が激しい、反射が強い患者さんの介助は2名で担当し、安全に検査が行え、スコープの破損防止に努めていきます。機器の点検・修理・予防、マニュアルの整理をCEで行っています。ミーティングでスコープ修理報告書をスタッフへ伝達し、注意喚起を行っています。今後もCEを中心に機器管理を行い、修理費用を抑え、財務に貢献できるよう取り組んでいきます。

5. 業務

前年度に引き続き、2024年度もスタッフ有休消化率は100%でした。有休残が多いスタッフに対してリーダーが中心となり、検査が早めに終了した日は時間有休で帰宅させる等、全スタッフによる協力体制の成果だと評価しています。医師の働き方改革に向け、当直明けの医師が早めに帰宅できるよう、また治療件数が多い時は、治療開始時間を医師と看護師で相談し、思いやりをもって協力体制で取り組んでいます。次年度は、人材育成・クランクへのタスクシフトに取り組み、魅力ある職場づくりに努めていきます。

内視鏡センター師長 渡久山 すえの

内視鏡センター 年度総括

2024年度の内視鏡業務は新型コロナウイルスの影響を受けない一年でしたが、件数は伸び悩み、前年実績を若干下回る結果となりました。原因としては常勤内視鏡医の1名減の影響があると思われました。今後は内視鏡医の増員を図り、大腸癌による死亡率が高い沖縄県の現状にも鑑み、内視鏡検査、とりわけ大腸内視鏡検査の件数を伸ばしていきたい所存です。

内視鏡センター 折田 均

予防医学センター

部門紹介

予防医学センター長 大城 義人

2021 年 4 月予防医学センター長を拝命し、5 年目と迎えます。掲げられてきた「受診者の視点にたった人間ドック健診」（「受診者目線のドック健診」）という基本理念を継続し、受診した皆様が、ご自身の心身について「安心」と「勇気」そして「満足」を少しでも得られるように努力しております。

予防医学センターは、お一人でも多くの地域の皆様に人間ドック健診を受けて頂き、病気をできるだけ早期に発見し早期治療につなげられるよう、また、心臓病・脳卒中・心不全・血管疾患・腎臓病・代謝異常等の発症を予防し、生活習慣病を抱える方々が安心して日常生活を送り、健康長寿が実現できるようお手伝いさせていただく場を目指しております。受診者目線で個々人の現実の日常生活にできるだけ即した対策を実行できるよう考え提案し、心身両面においてサポートできるよう心がけております。

当センターは、人間ドック健診専門医・指導医、看護師・保健師・放射線技師・臨床検査技師・医療クラーク・事務の各職員が、皆で一体となりチーム医療を実践していこうという場所です。そして消化器内科や産婦人科・放射線科・脳神経外科・循環器内科・眼科の各科専門医・スタッフの直接参画のプラットフォームとなり献身的なご協力を得ながら、受診後は指摘された異常について放置する事なく勇気を持って受診できるよう、当院診療科や近隣他施設とネットワークを作って繋がり、専門医・コメディカルスタッフの支援・連携をさらに強化してきました。

私たちの施設は、2015 年に人間ドック健診専門医研修施設認定、2018 年 12 月本館 8 階ワンフロア全体が人間ドック健診専用となり、2021 年には人間ドック健診施設機能評価において優秀賞を受賞、年間総受診者数は、2024 年度現在 18,522 名を数えます。

検査内容・検査項目として、内視鏡検査より先に腹部エコーを行うという従来の順序固定を排すべく、上部消化管内視鏡検査への炭酸ガス送気法の導入や、下部消化管内視鏡検査の前処置・検査完遂困難な方へ次善策として、大腸 CT 検査の本格導入を行いました。また、便潜血検査は至急検査として結果が出ますが、陽性者には当日健康相談の場で精密検査受診するよう支援し、即日紹介状（「ご高診願い」）を手交しきっちり受診勧奨を行っています。2024 年 9 月には、当院で乳腺外科センターが新たに開設され、経験豊富で著名な先生が入職されるとともに同センターコメディカルスタッフの充実が図られました。これに伴い当センターも乳癌検診受診者のさらなる便宜を図るべく、先生のご厚意により積極的に連携・情報共有できる様になっております。さらに、2025 年度から慢性腎臓病への早期介入を目的に簡便な腎機能のオプション検査を設けました（名称「腎機能チェックプラス」）。最終的には、透析導入者の減少に少しでも貢献できれば、と考えております。

コロナ禍によって受診者数減少や二次検診受診数低下を招いた事も記憶に新しく、コロナ禍に加えて世界情勢変化の余波も影響し受診者の皆様にはご不便をおかけしましたが、今後とも、築かれた信用を維持しさらには向上できていくよう謙虚に日々励んでいきたいと思っております。

今後とも受診者目線の勇気と安心・満足の予防医学センターを目指し、一致団結して日々真摯に取り組んでいきたいと存じます。

施設認定

- ・ 日本人間ドック・予防医療学会健診施設機能評価認定
- ・ 全日本病院学会人間ドック実施施設認定
- ・ 特定健診・特定保健指導機関認定

職員数

総数

54 名

職種別

医 師	10 名	臨床検査技師	2 名
保 健 師	6 名	一般事務	13 名
看 護 師	13 名	ク ラ ーク	9 名
管理栄養士	1 名		

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
予防医学センター長	大城 義人	総合内科、循環器内科	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医 日本人間ドック学会人間ドック健診指導医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医 日本医師会認定健康スポーツ医 医学博士
予防医学センター副センター長	宮里 稔	東洋医学、消化器内科（内視鏡検査）	日本消化器内視鏡学会専門医 日本東洋医学会認定医 日本内科学会認定内科医
常勤	大城 志乃	内科	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医 日本人間ドック学会人間ドック健診指導医 日本医師会認定産業医 日本人間ドック学会認定医 日本内科学会認定内科医 検診マンモグラフィ読影認定医
常勤	川田 晃世	消化器内科	日本内科学会認定内科医 日本人間ドック学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本医師会認定産業医 医学博士 日本消化器がん検診学会総合認定医
常勤	川満 美和	消化器内科	日本消化器内視鏡学会専門医
非常勤	奥島 しょう子		日本人間ドック学会人間ドック健診専門医 日本人間ドック学会人間ドック健診指導医 日本医師会認定産業医
非常勤	金城 詩子		日本内科学会認定内科医
非常勤	松元 真紀子		
非常勤	楚南 いずみ		日本内科学会認定内科医 日本人間ドック学会人間ドック健診専門医
非常勤	謝花 隆光	消化器内科	日本内科学会認定内科医 日本人間ドック学会人間ドック健診専門医

認定・資格

氏名	名称
安次富 道代	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー） ITパスポート
桃原 勝美	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
呉屋 みなみ	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
友寄 一乃	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
又吉 美鈴	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
山内 敦子	腎臓病療養指導士 腎代替療法専門指導士
宮城 さおり	第 1 種衛生管理者免許

予防医学センター 理念

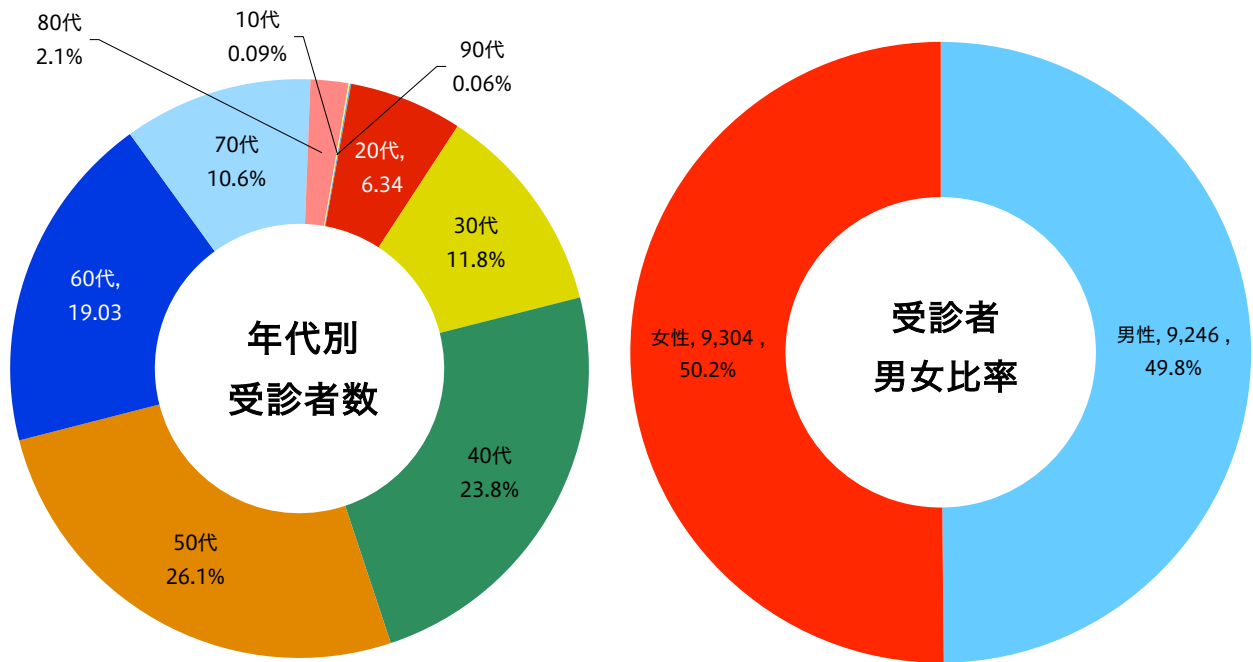
- 1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
- 2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
- 3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
- 4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

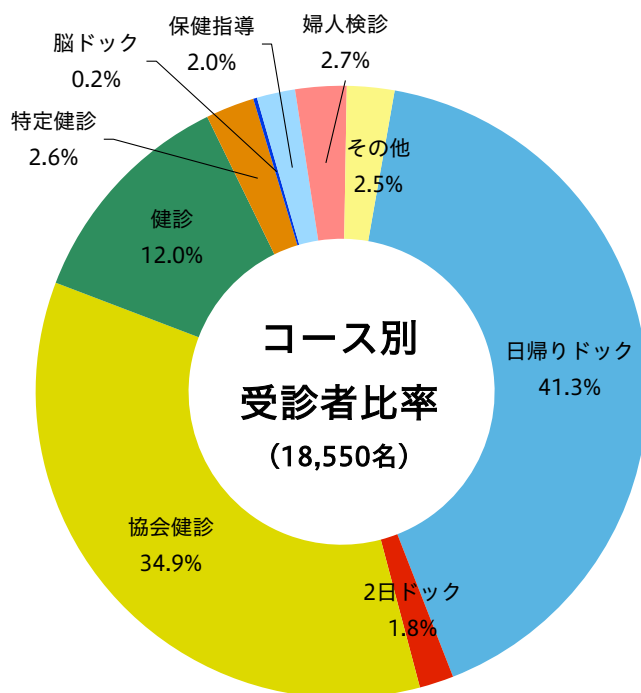
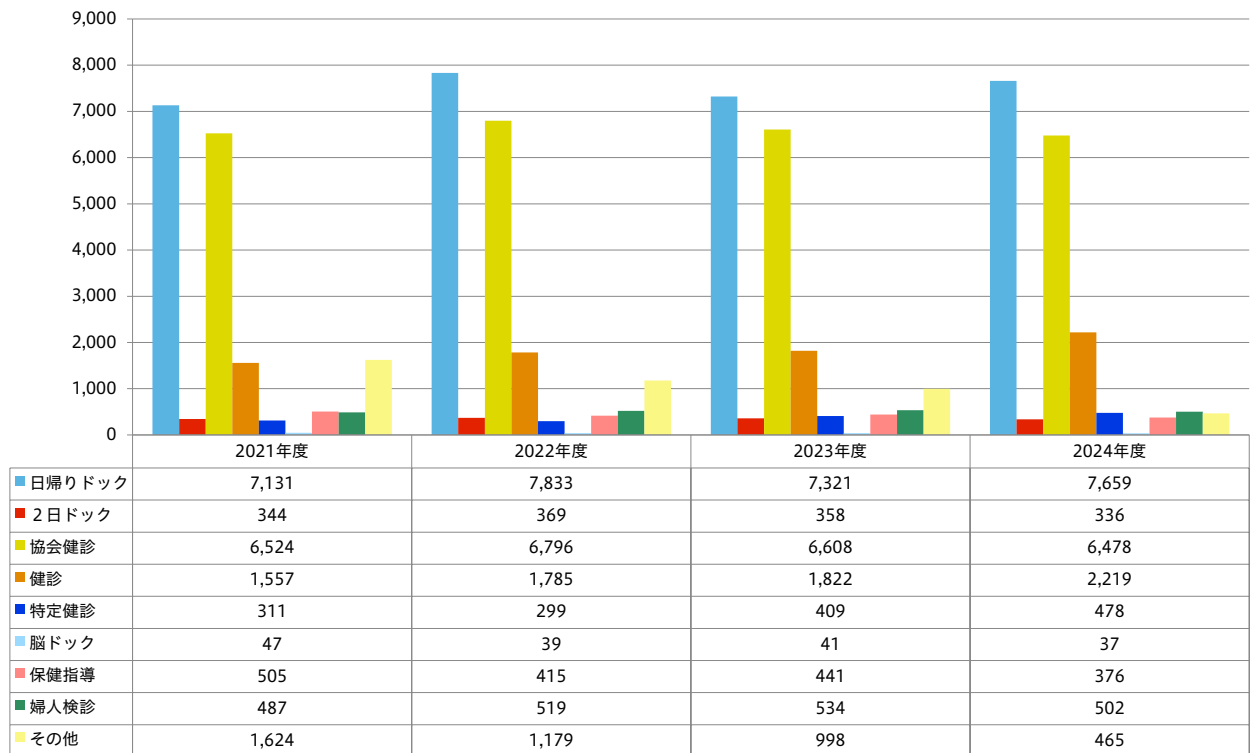
予防医学センター 運営方針

私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします

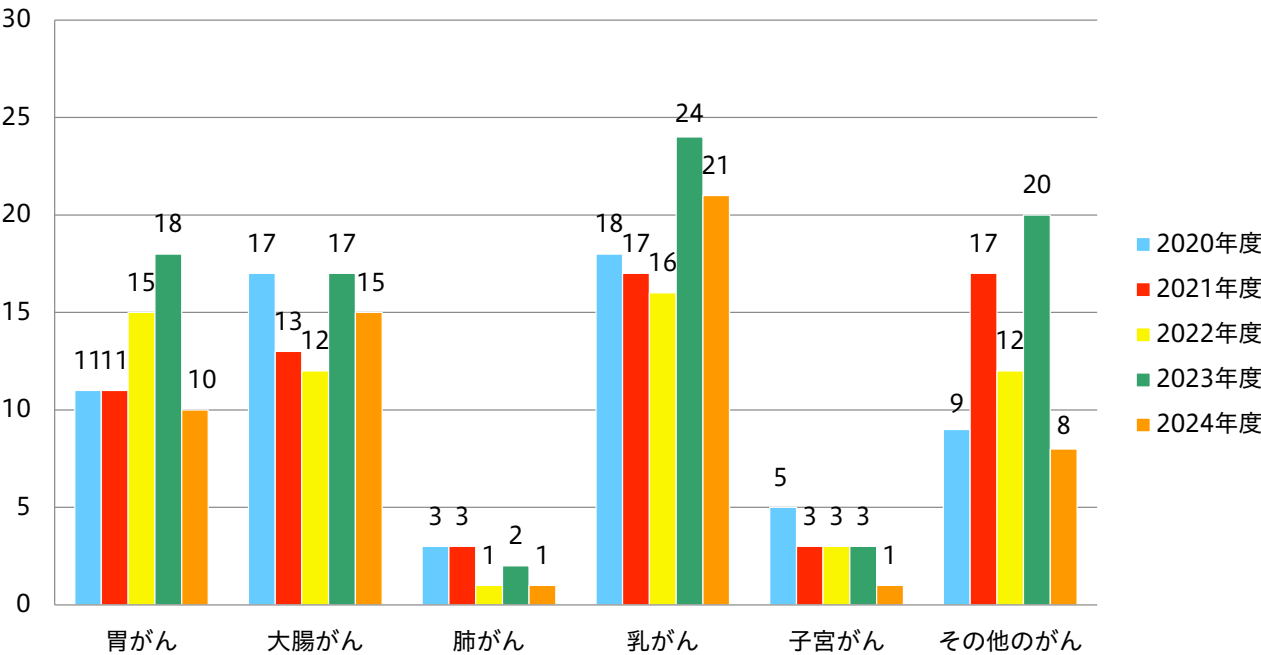
2024年度 ドック・健診の実績

コース別受診者数の推移





悪性腫瘍発見数



活動実績

学会発表

研修名	主催	日時	参加者
人間ドック学会演題発表（パシフィコ横浜）	人間ドック学会	2024 年 9 月 5 日～同年 9 月 6 日	山里 尚子・山内 敦子

院外研修

研修名	主催	日時	参加者
沖縄県保健師助産師実習指導者研修	看護協会	2024 年 8 月 6 日～同年 9 月 27 日	又吉 美鈴
沖縄県看護協会通常総会	看護協会	2024 年 6 月 5 日	高宮 江利子
沖縄県看護連盟通常総会	看護連盟	2024 年 7 月 13 日	高宮 江利子・桃原 勝美・与那城 友子
ポリナビワークショップイン沖縄	看護連盟	2024 年 7 月 27 日	安次富 道代
沖縄県国保ヘルスアップ支援事業重症化予防発症へ向けた保健指導栄養指導研修会	沖縄県国民健康保険団体連合（Web 開催）	2024 年 7 月 26 日	山内 敦子
特定保健指導者担当者会議		2024 年 7 月 4 日	桃原 勝美
ミッションマネジメントと組織開発 ～対話に基づく開発～	看護協会	2024 年 9 月 21 日	高宮 江利子
宜野湾市特定保健指導者 担当者会議	宜野湾市（Web 開催）	2024 年 10 月 4 日	呉屋 みなみ
沖縄県看護連盟リーダー研修会（リーダーの役割と実践活動を培う）	看護連盟	2024 年 11 月 7 日	桃原 勝美
リーダーシップ研修～プロフェッショナルマネージャーをめざす	看護連盟	2025 年 1 月 28 日	呉屋 みなみ
医療現場に於ける苦情と倫理的問題への対応	看護協会	2025 年 1 月 31 日	桃原 勝美

院内研修

研修名	主催	日時	参加者
中堅研修	看護部	2024 年 5 月～同年 12 月	川満 由美
最後の時をどう考えるか～急性期病院での医師決定支援 ACP 導入～	臨床倫理委員会	2024 年 9 月 30 日	高宮 江利子
メランコリーと精神免疫学	緩和ケア委員会 (菅野 医師)	2024 年 9 月 30 日	高宮 江利子
乳がんの疫学と乳がん患者の病棟管理	乳腺外科 (柏葉 医師)	2024 年 10 月 4 日	高宮 江利子
現場で使える数え方	北原 医師	2025 年 2 月 26 日	高宮 江利子・友寄一乃
保険診療に関する講演会 その①	施設基準検討委員会	2025 年 3 月 6 日	e-ラーニング
保険診療に関する講演会 その②	施設基準検討委員会	2025 年 3 月 6 日	e-ラーニング
個人情報保護について	個人情報保護委員会	2025 年 3 月 24 日	e-ラーニング
職場におけるハラスメント対策 [カスタマーハラスメント対策]	医療安全管理室	2025 年 3 月 25 日	e-ラーニング

部署内研修

研修名	日時	参加者
県学会予演会	2024 年 4 月	18 名
頸動脈標準の評価法	2024 年 5 月	19 名
透析シャントエコーについて	2024 年 6 月	2 名
乳腺エコー (DVD)	2024 年 7 月	2 名
超音波症例検討会 (大動脈弁口面積測定)	2024 年 8 月	24 名
2024 年度医療安全講習会 (e-ラーニング)	2024 年 8 月	24 名
CTC (検査手順・前処置について)	2024 年 8 月	18 名
感染①	2024 年 9 月	24 名
肺機能検査 (DLCO)	2024 年 9 月	2 名
2024 年度感染対策講習会 (e-ラーニング)	2024 年 10 月	
ABR について	2024 年 10 月	2 名
BLS 講習会 (e-ラーニング)	2024 年 11 月	
乳腺エコー (エラストグラフィー)	2024 年 11 月	2 名
実習指導者研修後の伝達講習	2024 年 11 月	19 名
感染②	2024 年 11 月	24 名
超音波症例検討会 (膵癌)	2024 年 12 月	2 名
リーダーシップ研修	2025 年 1 月	6 名
腎動脈病変の評価法	2025 年 1 月	2 名
2024 年度感染対策講習会 (e-ラーニング)	2025 年 1 月	
CTC (伝達講習)	2025 年 2 月	4 名
遺伝子検査講習会 (e-ラーニング)	2025 年 3 月	
2024 年度保険診療 (e-ラーニング)	2025 年 3 月	
個人情報保護法 (e-ラーニング)	2025 年 3 月	
医療安全講習会 カスタマーハラスメント対策 (e-ラーニング)	2025 年 3 月	
超音波症例検討会 (下腹部膨満感)	2025 年 3 月	2 名
ABI 検査の解釈	2025 年 3 月	2 名
個人情報の適切な取り扱い方 学研ナースिंगスキル (e-ラーニング)		
守秘義務・個人情報保護の基礎知識 学研ナースिंगスキル (e-ラーニング)		

予防医学センター 年度総括

2020 年以降、コロナ禍や国際情勢悪化により、私達の日常生活が大きく影響を受ける中、当院職員の皆様が医療を維持・向上させるべく弛まぬ努力を続けておられることは、非常に賞賛されるべきことと深く敬服致します。

2024 年度の予防医学センターも、これまで同様できるだけ多くの方に人間ドック健診を受けていただけるよう取り組みました。受診者数は、21 年度 18,537 名、22 年度は 19,234 名、23 年度は 18,534 名と推移し、今回 2024 年度は 18,522 名を数えました。当センターを受診した皆様が「安心と満足」を少しでも感じて頂けるように、内視鏡センターをはじめ、臨床検査部、放射線部、産婦人科、脳神経外科等の関係部署と常に連携協力して業務に取り組んでいます。関係各部署の皆様には変わらぬ「安心と満足」の人間ドック健診を粛々と実施し、受診者の期待にしっかり応えようという真摯な姿勢のおかげだと深謝申し上げます。

2021 年度より内視鏡センターの全面的協力によって炭酸ガス送気法上部消化管内視鏡検査を導入、2022 年より全受診者に実施継続しております。これにより、空気送気法と比べ胃腸管ガス貯留時間が短縮され、先に内視鏡検査を実施後行うと観察困難であった腹部エコー画像の画質向上に繋がり、内視鏡とエコー検査の施行順序を固定する必要がなくなりました。さらには、内視鏡検査後の腹部症状軽減や、受診者の検査待ち時間短縮にも寄与しています。

他方、新規のオプション検査として導入した大腸 CT 検査が本格稼働し、大腸カメラ検査の忍容性に問題のあったケースにも対応できるようになりました。メリットデメリットをしっかりと説明した上でご案内しており、検査の適正化に努めております。また、2021 年導入の心エコーは依然として希望者が多く潜在的ニーズにお応えできているのではないかと考えます。

沖縄県は、依然として検診受診率の低迷が指摘されておりますが、沖縄県医師会の牽引指導もあって徐々に増加に転じていると見られます。一方では、事後の二次検診受診率がまだ低いことも改善すべき点であるといわれています。せっかく異常を発見できたのに看過されてしまい、コロナ禍によってさらにこれに拍車がかかりました。当センターでは、2021 年「人間ドック健診施設機能評価審査」において、受診当日に保健師による対面健康相談を実施している実績が評価され「優秀賞」を受賞しました。24 年度もこれまで同様、心臓血管・代謝・腎臓病発症再発進展予防策として、ドック健診の場で、生活習慣の行動変容が現実的に実行可能となるよう提案します。また、便潜血検査は当日検査結果が出て、陽性者には当日健康相談の場で精密検査受診するよう支援し、即日紹介状（「ご高診願い」）を手交し、二次検診増加に貢献していると思われます。

2024 年 9 月、当院で乳腺外科センターが新たに開設され、その連携体制を強化するため、柏葉先生のご厚意により、乳腺臨床現場のスタッフの皆様より直接御指導いただいております。健診ドックとしてさらにスキルアップできるよう鋭意努力する所存です。また、かかりつけ医師の皆様の日常診療に直結した役割を担えるよう貢献したいと存じます。その継続のために、予防医学センター関連各部署の横断的協働（顔の見える繋がり）で受診者の立場（受診者目線）に立ったチーム医療を継続して行く事ができればと存じます。改めまして、関係各位の皆様のご協力に感謝申し上げます。

予防医学センター長 大城 義人

患者総合支援センター

部門紹介

患者総合支援センター長 西原 実

当センターでは、患者さんがその人らしく、地域に戻ってからも安心して生活が送れるように、院内の様々な多職種チームで連携して支援しています。

①患者さんにとって良質な入退院支援の流れになっているか。②スタッフのためになっているか。③持続できる取り組みか。の3点を意識しながら体制を整えてきました。

地域の関係機関とも連携を図り、外来受診から入院、退院後を見据えた支援を心掛け、患者さんご家族の総合窓口として、多職種スタッフが協力して対応し、安心して治療を受けていただくことを目指しています。

地域医療の中核を担う急性期病院として、患者さんや地域医療機関からも信頼される病院を目指し、今年度も更に多職種との連携を密にし質の向上を図るとともに、コロナウィルス等に対する感染対策をしつつ、症例検討会や勉強会なども積極的に行なっていきます。

また、医療と介護の連携がより重要となることを踏まえ、「地域連携会議『はーとネットワーク』」を開始しました。この会議では、近隣の医療機関や介護施設と定期的に集まり、日ごろの地域連携・入退院支援業務に関する協議はもちろん、感染対策やACP、BCP等、当院が近隣の関係機関とどう手を取り合っていけるかを話し合っています。こういった結びつきによって、地域住民がより安心して医療・介護が受けられるような地域づくりを目指していきます。

職員数

総数

23 名

職種別

医師	1 名	入退院調整看護師	1 名
一般事務	7 名	看護師	6 名
医療ソーシャルワーカー	7 名	クラーク	1 名

認定・資格

認定・資格名	人数
社会福祉士	7
介護支援専門員	2
造血細胞移植コーディネーター (認定 HCTC)	1

基本理念

私たちは、安全で信頼される医療を地域に提供します。

顔が見える地域連携と入退院調整、相談支援を目指します。

方針

1. 患者、家族、連携先各機関、院内各部署、院外連携機関との連携体制を構築する。
2. 地域包括ケアを見据え、地域医療・介護連携を推進する。
3. 入院前から入院中、退院後の地域生活を見据えて援助する。

目的

1. 患者を中心として、地域社会、連携先各機関と「かりゆし会」とのスムーズな連携を図る。
2. 入院決定時から多職種で連携し、入退院に関連した患者サービスを向上させ、安全・安楽な入院生活を送る為の支援体制を構築する。
3. 社会資源の活用ができ、退院後も安全で安心な環境を整備する。

地域医療連携室

業務内容

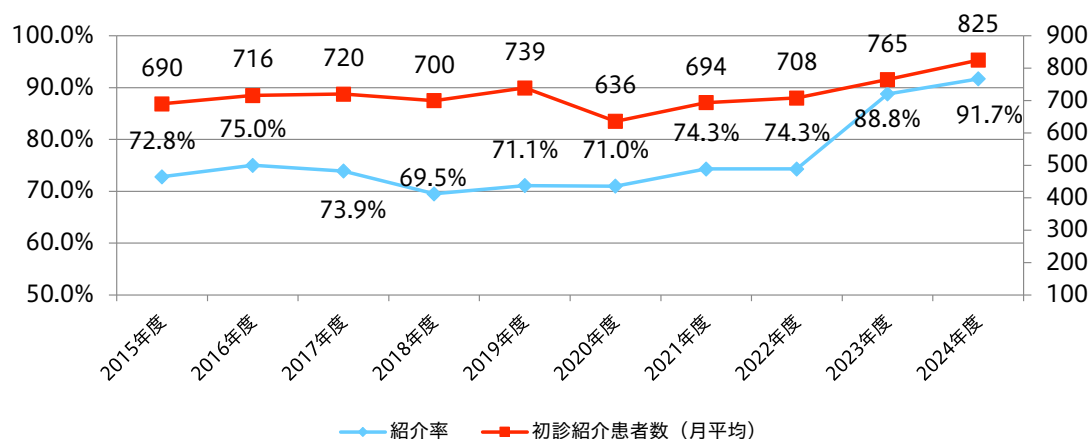
- ①紹介患者および逆紹介患者に関する調整業務
- ②各医療機関への広報活動に関する業務
- ③勉強会・講演会・市民公開講座に関する業務
- ④院内各部署、院外関連機関とのより良い連携体制の構築

2024年度総括

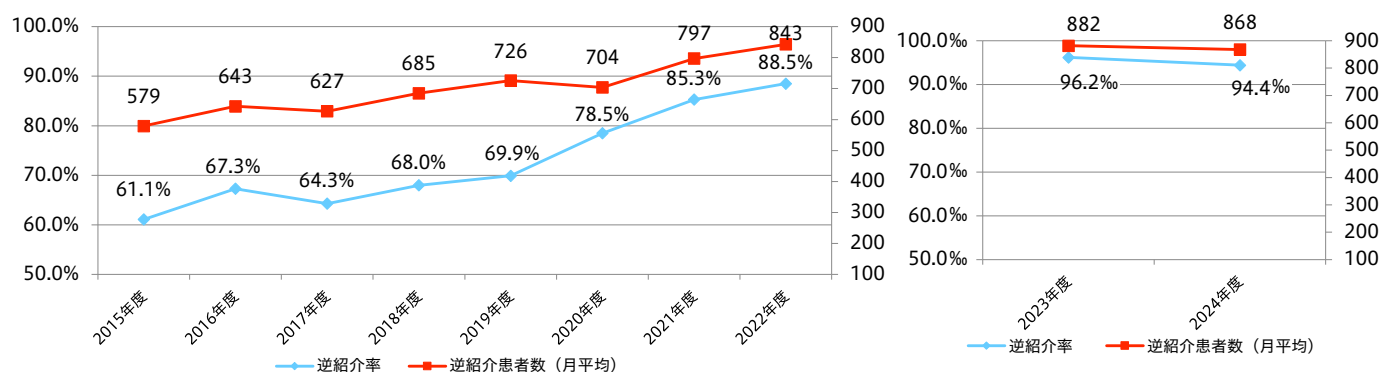
逆紹介件数は若干減少しましたが紹介件数は大幅に増加しており、地域医療支援病院の承認要件をクリアできました。感染対策を充分に行った上で、地域住民に対する無料健康講座、勉強会、市民公開講座を開催し、また登録医とのさらなる連携強化を図りました。昨年度までコロナウィルスの影響で開催していなかった地域医療連携懇談会を今年度は開催できました。

2024年度実績

紹介割合



逆紹介割合



2025年度目標

①社会医療法人としての役割強化

夜間・休日の救急車受入れ件数 年間 1,700 件以上

②地域医療支援病院としての役割強化

目 標：紹介割合 95%以上 逆紹介割合 90%以上

③新規紹介患者への取り組みの更なる強化

登録医療機関の新規開拓 (10 件/年)

登録医訪問 (80 件/年)

入退院支援室

入退院支援室業務内容

- 1 入院支援（外来から病棟への橋渡し）
 - ・ 患者情報の収集
 - ・ 入院に関わる、検査・手術・治療・入院生活について説明
 - ・ 入院に必要な書類の作成・説明
 - ・ 患者・家族の心理的支援
 - ・ 加算取得に関わる書類作成・患者説明
- 2 院内や地域との橋渡し・調整
 - ・ 病棟入退院支援看護師・MSW と連携し 7 日以内に共同カンファレンス
 - ・ 病棟入退院支援看護師・MSW・多職種で退院に向けて支援
- 3 病棟回診 患者カンファレンスへの参加
- 4 退院前合同カンファレンスへの参加
 - ・ 患者家族・在宅ケアチームとの顔合わせ
 - ・ 退院後も継続する課題・解決策を検討
 - ・ 必要時家屋調査・退院後訪問
- 5 地域の医療機関との転院調整
- 6 入退院支援に関する院内のスタッフ教育・多職種への啓蒙活動
- 7 在宅への仕組みづくり
 - ・ 多職種で連携のリーダーとなり、在宅でも安心して生活できる退院支援の仕組み作り

業務実績

2024年度の活動

- ・ 入院前より退院後を見据えた情報の聞き取り
- ・ 各部署、退院指導パンフレット、退院指導ワードパレットを統一し標準化を行う
- ・ 施設への出戻り患者の退院調整
- ・ 全部署、入退院支援リンク看護師へ PHS 配置し、院内外とスムーズな連携強化を図る
- ・ 外科用入院時パンフレット改訂
- ・ ハートネットワーク会議開催（ACP、看看連携）
- ・ 中部地区医師会 看護・介護連携「急性期病院の入退院支援」報告
- ・ 他施設（3施設）より施設見学受け入れ、意見交換

院外研修実績

名称	開催年月日	参加者
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	2024 年 4 月 15 日	屋宜 鮎美
2024 年診療報酬改定	2024 年 5 月 23 日	屋宜 鮎美
看護職の成長を促進する看護実践のリフレクション	2024 年 5 月 24 日	下地 育美
急性期病院の入退院支援	2024 年 7 月 30 日	屋宜 鮎美
病院と地域を看護がつなぐ～地域包括ケアを支える看看連携へ～	2024 年 11 月 26 日	下地 育美・比嘉成子

2024年度総括

2024年度は、病院機能評価の受審により、患者さん・その家族を中心とした多職種連携の強化や医療の質を見直す良い機会となりました。入退院支援が医療の質に直結し、いかに重要であるかを再認識できました。

入院支援では入院前から退院後を見据えた情報の聞き取りを行うことで、退院後のスムーズな支援へと繋がります。退院支援では、各病棟の退院指導を統一し標準化を行いました。病棟リンクナースが、院内外とスムーズな連携を図る目的で PHS を導入し、業務効率向上を目指しました。中部地区医師会ふれあい事業では「急性期病院の入退院支援」を報告し、他施設より当院の入退院支援の質に高評価をいただきました。これからも多職種と連携し、退院後を見据えた指導、意志決定に携わり、患者さんが地域に戻ってからも安心して生活が送れるような関わりを継続していきます。

入院時重症患者対応メディエーターは、医療の質向上に大きな影響を与えました。患者さん・その家族と医療従事者の間の中立的な立場として、不安や疑問を訴えやすい関わりが、信頼される医療の提供へ繋がれることを実感しました。

次年度も各病棟リンク看護師と密に連携をとり DPC II 期間を意識した入退院調整、個別性の退院指導を行い、質の高い退院支援を目指し知識向上・スキルアップを図っていきます。

2025 年度の取り組み

- ・ 3 指標目標 新規入院患者数（800 人 / 月）病床利用（278）床）在院日数（11 日）
- ・ 定数を遵守した病床管理 重症度、医療・看護必要度を意識した病床運用（各診療科 各部署との連携強化）
- ・ DPC I・II 期間を意識した退院調整（72%）
- ・ 入退院支援室の業務拡大
 - 外来部門と入院病棟間でカンファレンスを実施し、情報を繋ぐ取り組み（呼吸器内科、循環器内科を開始。外科、消化器内科は実施中）
- ・ 患者さんが入院前の生活に戻ることを意識した退院支援の質の向上
- ・ 入院時に必要な書類の管理徹底 算定可能な加算取得（院内連携の強化）
- ・ 集患に向けての地域活動（乳腺外科、外科への集患を目的に市民公開講座開催。多職種で関われるようテーマを抽出し、地域、登録医へ発信し、講座を通し連携を深める）
- ・ 入院オリエンテーションに DX を取り入れる（学研 メディカルクリップ）。患者満足度向上、業務効率向上

医療福祉相談室

2024 年度総括

地域医療支援病院としての地域包括ケアシステム構築に向けた地域との連携は不可欠です。2024 年度は、各関係機関との個別協議だけでなく、虐待防止対策会議や沖縄県入退院支援連携デザイン事業、在宅医療・介護連携推進事業、及び中部地区連携研究会など、1 年を通して積極的に参画しました。

入退院支援室や各病棟退院支援リンクナースとの協働を含め、院内の入退院支援システムの体制を構築し始めてから 6 年目を迎えました。今年度も入退院支援の質に注目し、個別性を重視した退院支援に結びつけるため、日々の退院支援カンファレンスの内容の充実等をそれぞれ担当病棟で取り組みました。退院患者総数の増加に伴い、今年度は入退院支援加算 1 の取得件数が前年比で増加しました（今年度 586.7 件／月、前年度 534.4 件／月）。

前年度に引き続き、新ソーシャルワークデータシステム（MANBO）を用いて業務分析を行い、各職員や診療科ごとの業務量を分析し、関係機関との連携の強化に取り組みました。それをもとに近隣医療機関や介護施設を一軒ずつ訪問し、退院支援における実績をベースに今後の連携についての意見交換を行うことができました。

ICT の活用による医療ソーシャルワーカーの質の向上のため、県内のみならず県外の各種研修に参加し、研鑽を積むように取り組みました。退院支援においても、おきなわ津梁ネットワークの退院調整システムによる退院支援の運用を開始し、地域の関係機関からの賛同も得ながら、少しずつ地域での運用を広げることができました。

2025 年度目標

1. 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

①行政・介護サービス事業所・医療機関との協議と連携

- ・「年 3 回、25 ヶ所以上」連携機関との面会（入退院支援加算の算定要件）
- ・院外会議、研修会への参加

②在宅医療・介護連携の推進への協力と連携

- ・中部地区医師会主催の在宅医療・介護連携推進会議に参加

③後方とのパイプ作り

- ・「はーとネットワーク」の運営：地域の医療機関や介護施設を集めて、定期的な意見交換の場を創設・開催し、医療・介護の連携の円滑化を目指す。また、2 年目を迎えるにあたり、新たな参加機関の選定や内容について再検討し、「現場同士の連携」が深まるような会を目指す。
- ・診療科別のニーズを把握し、個別にパイプ作り：社会資源の乏しさから退院支援に難渋する「形成外科」「透析科」、患者数が多く、よりシステマティックな転院調整を目指したい「整形外科」など、診療科の特徴による退院支援に必要な社会資源を、各診療科部長や関連部署と整理したうえで、地域の事業所への働きかけやソーシャルアクションを進める。上記以外の診療科のニーズ把握も年度を通して怠らない。

- ④おきなわ津梁ネットワークの運用、活用について取り組む
 - ・院内での活用や、院外との連携ツールとして活用体制を構築する
- 2. 入退院支援に関する業務構築と算定増を目指す
 - ①退院支援カンファレンスの充実（DPC、看護必要度を意識した内容）
 - ②重症患者初期支援充実加算の取得へ向けた体制作り
 - ・社会福祉士も重症患者メディエーターに参加し、集中治療下における患者家族のサポート体制を強化
 - ③外来患者の支援
 - ・外来患者の支援充実
 - ・外来部門、病棟退院支援 Ns、MSW の連携体制構築
 - ・ACP、意思決定支援について外来通院時より取り組む
 - ・治療と仕事の両立支援の強化
- 3. 月間の 30 日超え長期入院患者数の減少への取り組み
 - ①毎月会議にて 30 日超え患者の確認と意識付け（目標：平均 38 人 / 月）
- 4. ソーシャルワークデータシステム（MANBO）による業務評価と分析に向けた取り組み
 - ①業務評価や近隣関係機関との連携に係る分析
- 5. ワークライフバランス
 - ①月 1 回 MSW 全員同日定時退社
 - ②残業時間の偏りがないように部署全体で業務の分担をする
 - ③育休復帰職員が仕事を続けられるサポート体制構築
 - ・時間短縮業務でも、当該スタッフの負担増や患者の不利益が無いよう、部署内でのバックアップ体制を構築
 - ・バックアップ担当者の配置
 - ・監督者の定期的なフィードバック
- 6. 医療ソーシャルワーカー（入退院支援担当）の質の担保
 - ①県内・県外の学会及び研修会への参加
 - ・各 MSW がそれぞれ 2 回以上参加
 - ②関連学会での演題発表
 - ・院内研究発表への演題提出
 - ③社会福祉士実習の受入
 - ・社会福祉士養成校からの社会福祉士実習者の受け入れ体制を作る
 - ④育児短時間勤務職員が働き続けられるよう、業務分担や配慮を行う
 - ・育児と仕事が両立できるよう仕事の分担や整理を行う
 - ⑤ 3 年目職員の教育強化
 - ・入職 3 年目スタッフへの教育に具体性を持たせ、さらなる成長を促す
 - ・業務量や業務内容等の具体的管理や、定期的なフォローアップ体制を構築する
 - ⑥ 5 年・10 年を見据えた人材育成
 - ・将来の役職者や部署リーダーの育成を意識した役割分担をしていく

⑦課内職員の資格取得サポート

- ・社会福祉士取得を目指し、通学を始める職員に対して、業務負担、時間外勤務をさせない、等を考慮する。
- ・その他、認定資格等の取得を促し、取得したい職員に対しての業務的配慮に努める。

業務実績

地域活動

名称	開催年月日	参加者
地域連携会議「はーとネットワーク」	通年（4 回）	全員
登録医訪問（院長就任の挨拶）	5 ～ 8 月	高澤
訪問活動（与那原中央病院他 6 ヶ所、西原敬愛園）	6・8・9・10 月	高澤・徳盛・仲本・根間・銘苅
行政訪問（中城村・西原町・与那原町・宜野湾市）	5・6・8 月	高澤・徳盛
来院対応	8・9・10 月	高澤・徳盛
救急患者連携搬送料に係る協議	2024 年 5 月 21 日・24 日	高澤
社会医療法人かりゆし会地域連携懇談会	2024 年 6 月 6 日	全員
協力対象施設入所加算に係る協議	2024 年 6 月 6 日	高澤
西原町高齢者・障がい者虐待防止対策協議会	2024 年 7 月・11 月	徳盛
市民公開講座（サンエー西原シティ）	2024 年 8 月 10 日	高澤
与那原中央病院とおきなわ津梁ネットワークに関する協議	2024 年 8 月 23 日	高澤
那覇市立病院地域医療連携懇談会	2024 年 9 月 26 日	徳盛
宜野湾記念病院地域医療連携懇談会	2024 年 10 月 24 日	銘苅・根間・仲本
地域医療支援病院運営委員会	2024 年 11 月 12 日	高澤
市民公開講座（じのん整形外科）	2024 年 11 月 23 日	
暮れのあいさつ（訪問活動）	2024 年 12 月 27 日	高澤
ソフトウェアサービスとの会議（おきなわ津梁 NW の活用について）	2024 年 12 月 5 日	高澤・徳盛
来院対応（与那原日の出園 協力医療機関協定締結）	2025 年 1 月 8 日	高澤
市民公開講座（サンエー宜野湾コンベンションシティ）	2025 年 2 月 15 日	徳盛・比嘉
沖縄子どもメディカルラリー	2025 年 2 月 23 日	根間
おきなわ津梁ネットワーク意見交換会	2025 年 3 月 6 日	高澤
浦添総合病院おきなわ津梁ネットワーク意見交換会	2025 年 3 月 7 日	高澤・徳盛
南部徳洲会病院地域医療連携懇談会	2025 年 3 月 13 日	徳盛
地域医療連携連絡会	2025 年 3 月 12 日	高澤
来院対応（入退院支援見学）	2025 年 3 月 17 日・19 日	高澤

院外会議

名称	開催年月日	参加者
令和 6 年度 宜野湾市在宅医療・介護連携推進会議	通年（4 回）	高澤
令和 6 年度 第 1 回 広域 C ブロック（西原町・中城村・北中城村）在宅医療・介護連携推進会議	2024 年 5 月 21 日	徳盛
中部保健所管内における救急告示病院と精神科医療機関との実務者会議	2024 年 7 月 9 日	高澤

勉強会・研修会への参加

勉強会・研修会名	開催年月日	参加者
沖縄県 MSW 協会 めだかの学校	通年（3 回）	根間・銘苅
めだかのホームルーム	通年（2 回）	高澤
WEB セミナー「一筋縄ではいかない急性期病院の集患対策」	2024 年 6 月 20 日	高澤
WEB セミナー「急性期にとっての外来のあり方」	2024 年 6 月 27 日	高澤
周産期メンタルヘルスケアトピック「若年妊産婦の支援における連携」	2024 年 7 月 5 日	川満
おきなわ津梁ネットワークの会	2024 年 8 月 21 日	高澤
沖縄県 MSW 協会 初任者向け勉強会	2024 年 8 月 27 日	銘苅

勉強会・研修会名	開催年月日	参加者
沖縄県脳卒中地域連携パス総会	2024 年 9 月 12 日	高澤
医療コンフリクトマネジメント研修会	2024 年 9 月 21 日・22 日	高澤
大規模災害訓練（机上訓練）	2024 年 11 月 8 日	徳盛
大規模災害訓練（実働訓練）	2024 年 11 月 15 日	徳盛・比嘉
ウェブセミナー「医療と介護の連携ツール」	2024 年 11 月 26 日	高澤
友愛会ウェブセミナー「南部医療圏域のこれから」	2024 年 12 月 19 日	高澤・徳盛
経過記録で対人支援専門職の実践課程を可視化する F-SOAIP	2025 年 1 月 25 日	徳盛・根間・銘苅
Medup 連携先との関係構築術とマネジメント手法	2025 年 2 月 3 日	徳盛
沖縄県緩和ケア研修会 2024	2025 年 2 月 8 日	徳盛・川満・仲本
かりゆし会クリニカルパス大会	2025 年 3 月 3 日	高澤
おきなわ津梁ネットワーク医療従事者向け研修会	2025 年 3 月 12 日	徳盛
脳卒中地域連携パス総会	2025 年 3 月 13 日	高澤

職能団体に関する活動

名称	開催年月日	参加者
沖縄県 MSW 協会 広報部ミーティング	2024 年 4 月 3 日	高澤
沖縄県 MSW 協会 理事会	通年（毎月）	高澤

その他

名称	開催年月日	参加者
おもと会看護学生レクチャー（老年看護）	2024 年 5 月 29 日	高澤
地域連携室ヘレクチャー（救急患者連携搬送料）	2024 年 6 月 5 日	高澤
救急外来ヘレクチャー（救急患者連携搬送料）	2024 年 6 月 21 日	高澤
沖縄国際大学学生の職場見学	2024 年 6 月 12 日	高澤
中部地区連携研究会	2024 年 6 月 24 日	高澤
福祉就職フェアミーティング	2024 年 9 月 4 日	高澤
福祉就職フェア	2024 年 9 月 29 日	高澤
foroCRM デモンストレーション	2024 年 10 月 9 日	高澤
琉球リハビリテーション学院学生 病院見学	2024 年 11 月 13 日	高澤
具志川看護学校 統合実習レクチャー	2024 年 11 月 14 日・19 日	高澤
中部地区連携研究会	2025 年 2 月 25 日	高澤
沖縄県介護支援専門員協会で中城北中城支部定例会への参加	2025 年 2 月 27 日	高澤
foroCRM 見学（大浜第一病院）	2025 年 3 月 4 日	高澤
メダップとの MTG（foroCRM）	2025 年 3 月 10 日	高澤
ソフトウェアサービスとの MTG（池田苑とおきなわ津梁 NW 活用について）	2025 年 3 月 4 日・10 日	高澤・徳盛

がん相談支援室

業務内容

がんについての治療や療養生活、社会復帰に伴う疑問や不安を看護師や、医療ソーシャルワーカーが対応しています。

「がん相談支援室」にご相談が出来る事の例

- ・がんについて知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・患者会や家族会を探したい
- ・治療に関わる費用を知りたい
- ・治療や副作用について相談したい
- ・痛みや辛さについて相談したい
- ・地域で利用できる制度やサービスを知りたい
- ・治療と仕事の両立について相談したい

2024 年度総括

がんの治療では入院や定期的な通院、自宅療養が必要となる為、仕事や家事、社会活動に影響が及びます。また、治療費や介護保険、福祉サービスに関する内容の相談が多く日々対応しています。

今後も「がん相談支援室」では患者さん、ご家族、地域の方々の様々な相談に、治療と仕事の両立を支援する両立支援コーディネーター等が対応していきます。

乳腺外科センター

部門紹介

乳腺外科センター長 柏葉 匡寛

令和6年度は、不在となっておりました乳腺外科担当医として、私、柏葉匡寛が令和6年9月1日付で乳腺外科センター長に就任いたしました。これにより、外来での検診・二次精査、術後フォローアップ、周術期・進行再発薬物療法、ならびに入院での乳がんおよび良性腫瘍手術、化学療法導入・レジメン変更、再発患者さんの症状管理・レスパイト入院を再開することができました。

医師プロフィール

(2024年9月時点)

役職	氏名	専門分野	学会認定
乳腺外科センター長	柏葉 匡寛	乳腺外科、乳癌薬物療法、乳がん検診	日本乳癌学会指導医 日本乳癌学会専門医 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会評議員
非常勤	久高 学	乳腺外科	乳腺外科
非常勤	國仲 弘一	乳腺外科	乳腺外科

検査・治療・手術実績

術式別一覧

手技	件数
乳腺良性腫瘍摘出術	10
乳腺膿瘍切開術	1
ステレオガイド下マンモトーム	6
乳房部分切除術+センチネルリンパ節生検 / 腋窩郭清	42
乳房全摘術+センチネルリンパ節生検 / 腋窩郭清	32
組織拡張器による1次2期乳房再建術	2
中心静脈ポート留置術	9
リンパ節摘出術	1

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第22回日本乳癌学会九州地方会	集学的治療によりフェンタニル経皮吸収型製剤を計画的に中止出来た乳癌多発骨転移・腹膜播種疑いの1例	福岡県福岡市	2024年9月29日	柏葉 匡寛
第89回沖縄県外科会	総合病院における乳腺外科センターの立ち上げと今後の展望	沖縄県	2025年3月1日	柏葉 匡寛、国吉 史雄、石野 信一郎、加藤 滋、阿嘉 裕之、比嘉 宇郎、花城 直次、宮平 工、西原 実、奥島 憲彦

論文・著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
【乳癌学 2024(下)-最新の診断と治療-】患者・市民参画 (PPI) の現状と展望	日本臨床 (0047-1852)	82 巻増刊 7 乳癌学 2024(下)Page284-291(2024.09)	柏葉 匡寛

年度総括

今年度は合計 105 件を執刀いたしました。そのうち乳がん手術は 74 件（乳房温存術 42 件、乳房全摘術 32 件 / 乳房温存率 56.8%、組織拡張器を用いた一次二期再建 2 件）を数え、年間乳癌手術数 100 件以上を目標に着実に手術件数が増加しております。この間も引き続き久高医師、國仲医師の手術をお引き受けしており、そのニーズに応えるべく、病棟での管理体制を一層強化いたしました。

新たな術式として導入した温存術における Suture Scaffold Technique (SST) は、現在日本国内に確実に普及している術式です。これは簡易かつ安全に整容性の良い乳房を温存する、オンコプラスチックサージャリーの概念に基づいております。私は国内でも非常に多くの SST の手術経験数を有しており、現在、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会において、その最適化に向けた前向き研究を進めており、当院もその参加施設です。また、乳房再建におきましては、形成外科の東盛非常勤医師と立津医師のご協力、関連事務および手術室を中心とした看護師の皆様の迅速かつ万全な支援のもと、実施体制が整い、合併症なく手術を遂行することができました。

日進月歩で高度化する乳がん薬物療法に関しては、入院・外来ともに支持療法を含め治療レジメンを刷新いたしました。特に、総合病院が担うべき免疫チェックポイント阻害剤や抗体薬物複合体 (ADC) の導入においては、想定される有害事象にご対応いただく各専門科の先生方のご理解と、看護部のご尽力による円滑なコーディネートにより、迅速に進めることができました。これにより、県内に多い専門クリニックでは実施が困難な進行症例への対応も開始し、琉球大学乳腺センターや基幹病院との連携を取りながら、乳がん治療センターとして地域の役割を果たすべく体制を整えました。

また、幸いなことに 2024 年の 12 月には乳がん看護認定看護師 2 名が誕生し、外来と病棟に配置いたしました。これにより診断から治療、その間の看護師・薬剤師面談の動線が整備され、アドバンスケアプランニングを全ての再発患者さんに実践することに成功しております。

また、西原院長のご理解のもと、Holoeyes 社の Holoeyes MD/VS と Meta Quest3 ゴーグルを導入いたしました。これにより、CT 画像を用いた 3D ホログラムの術中投射によるセンチネルリンパ節生検法の確立に世界で初めて成功いたしました（論文投稿準備中）。さらに、3D ホログラムとメタバースを活用した乳がん手術シミュレーションを開始し、研修医の術前理解度を向上させ、不安を軽減して執刀に臨めるシステムの構築に着手しております。これにより、学生や研修医の乳腺を含む外科領域への興味向上に貢献できればと考えております。

今後も高度な最新医療を安全・安心に実践できますよう、全力を尽くしてまいります。皆様方の益々のご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

乳腺外科センター長 柏葉 匡寛

事務部

医事外来課

医事外来課 課長 宮城 淳

職員数

総数

33 名

職種別

一般事務 33 名

運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）
2. 細分化業務の早期構築（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

業務計画

1. 2024 年 6 月に診療報酬改定が実施された。6 月実施は初めてで、準備に余裕があると伝えられていたが、各種加算を算定するに当たり準備することが多い内容であった。
2. 4 月から血液内科の診療単位の減少のダメージが大きかった。9 月から乳腺外科の常勤医が就職し集患活動を部署をまたいで推進する。
3. 紹介・逆紹介の取り組みを他職種と協力し実績を上げる。外来については逆紹介推進の取り組みは、今年度も現状維持の方針とした。
4. 5 年後を見据えての人材育成。まずは人材の確保。業務改善を行い人材の安定化を図る。働きやすい職場環境を目指す。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
三水会・医事部会 情報交換会	県医師会	2024 年 4 月 16 日	伊集・上原
マイナ保険証促進集中取組月間セミナー	オンライン	2024 年 4 月 22 日	宮城
2024 年診療報酬改定ポイント解説	オンライン	2024 年 5 月 23 日	宮城
救急医療管理加算の改定対応～九州編～	オンライン	2024 年 6 月 13 日	宮城
事例から学ぶ ICU・HCU の有効活用	オンライン	2024 年 6 月 20 日	宮城
三水会・医事部会 情報交換会	県医師会	2024 年 7 月 17 日	伊集・上原
M & C パートナーコンサルティングセミナー	オンライン	2024 年 8 月 29 日	宮城
DPC 委員会のあり方とは？	オンライン	2024 年 10 月 31 日	宮城
診療報酬改定説明会	院内	2024 年 12 月 12 日	宮城

実習生受け入れ

実習校	年月日	受け入れ人数
KBC	2024 年 8 月 13 日～2024 年 8 月 16 日	1 人
沖縄国際大学	2024 年 8 月 15 日～2024 年 8 月 29 日	2 人
広島国際大学	2024 年 9 月 11 日～2024 年 9 月 12 日	1 人

医事入院課

医事入院課 係長 田中 淳也

職員数

総数

10 名

職種別

一般事務 10 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	1

運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）で接する
2. 細分化業務の早期構築（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

業務計画

1. 2024 年 6 月の診療報酬改定では、医療、介護、障害福祉サービスのトリプル改定と大きな改定になる。
また、コロナ後には新規入院と病床利用率が低下傾向にあるなか、急性期一般入院料 1（7 対 1 入院料）を維持していくため、当院の方向性が重要となる。医事入院課として診療報酬改定の内容を把握し、急性期一般入院料の維持を目標に、重症度、医療、看護必要度 UP を目指し、算定向上、算定漏れ減少に努め、医事業務を行っていく。
2. 落ち穂ひろいの継続。加算取得により増収となっている項目もあるので、算定継続と新たな項目の洗出しを行う。
3. 紹介・逆紹介の取り組みを他職種と協力し実績を上げる。
4. 人材育成。まずは人材の確保。業務改善を行い人材の安定化を図る。働きやすい職場環境を目指す。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
三水会・医事部会 情報交換会	県医師会	2024 年 4 月 16 日	田中、仲宗根（医事）
マイナ保険証促進集中取組月間セミナー	オンライン	2024 年 4 月 22 日	田中、仲宗根（医事）
2024 年診療報酬改定ポイント解説	オンライン	2024 年 5 月 23 日	田中、仲宗根（医事）
医局会説明会～ HCU 看護必要度について～	院内	2024 年 6 月 6 日	田中、仲宗根（医事）
救急医療管理加算の改定対応～九州編～	オンライン	2024 年 6 月 13 日	田中、仲宗根（医事）
事例から学ぶ ICU・HCU の有効活用	オンライン	2024 年 6 月 20 日	田中、仲宗根（医事）
三水会・医事部会 情報交換会	県医師会	2024 年 7 月 17 日	田中、仲宗根（医事）
M & C パートナーコンサルティングセミナー	オンライン	2024 年 8 月 29 日	田中、仲宗根（医事）
医療分委会	オンライン	2024 年 10 月 4 日	田中、仲宗根（医事）
DPC 委員会のあり方とは？	オンライン	2024 年 10 月 31 日	田中、仲宗根（医事）
診療報酬改定説明会	院内	2024 年 12 月 12 日	医事入院課
院内研究発表会～事務部予選～	院内	2025 年 1 月 30 日	医事入院課（発表者 田中）
院内研究発表会～本選～	院内	2025 年 2 月 21 日	医事入院課（発表者 田中）
三水会・医事部会 情報交換会	県医師会	2025 年 3 月 19 日	田中、上原（医事）

実習生受け入れ

実習校	期間	受入れ人数
KBC	2024 年 8 月 13 日～2024 年 8 月 16 日	1 名
沖縄国際大学	2024 年 8 月 15 日～2024 年 8 月 29 日	2 名
広島国際大学	2024 年 9 月 11 日～2024 年 9 月 12 日	1 名

診療情報管理室

診療情報管理室 係長 真栄平 久美子

職員数

総数

8 名

職種別

診療情報管理士 7 名（病歴担当 4 名、がん登録担当 3 名）

一般事務 1 名（病歴担当 1 名）

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	7

事業計画・評価

項目	概要	達成率	評価
【業務（収入）計画】業務全般に対する取組みの内容及び、展望について	●適切な DPC データの作成 ・「部位不明・詳細不明コード」の使用割合 10%未満の維持（目標 3%未満） ・DPC データの様式間の記載矛盾のあるデータの件数が全体の 1%未満の維持 ・様式 1 の未コード化傷病名である傷病名の割合の 2%未満の維持	100%	3 項目の目標値をクリアすることが出来た
	●DPC の機能評価係数Ⅱアップに向けて ・①保険診療指数、②効率性指数、③複雑性指数、④カバー率指数、⑤救急医療指数、⑥地域医療指数の各指数アップへ向けてデータの分析力を学ぶ ・副傷病名漏れへの対策（目標 15%）	-	2023 年度に比べ全体的に上がった。計算式の変更、診断郡部類番号の改訂（定義副傷病名削減）等、要因分析を行い係数UPに繋げていくことが課題。
	●分析ツールの活用の充実（EVE、MedicalCode、SSIScope、GHC 病院ダッシュボードχ）	70%	Web 研修会等に積極的に参加した。来年度は、EVE、MDVACT、GHC 等の活用の充実を図りたい。
	●病院指標の作成と公開他	100%	各診療科の部長等へ評価コメントを依頼し、期日までに自院ホームページへアップ、機能評価係数への評価が行なわれた
	●診療・研究・経営に役立つ統計・分析資料の作成	50%	各部署や医師等から依頼された資料への対応はできたが、当部署からの積極的な発信が出来ていない
	●診療録の監査（量的・質的）の実施の継続及び内容の充実を図る	70%	全退院患者への量的監査を実施している。診療録管理委員会にて毎月 5 件の質的監査を実施しているが、積極的な多職種の関わりを増やす。
	●カルテ廃棄の作業（保管スペースの確保）	70%	廃棄予定分の 4 割ほどが処理出来ていない。（死亡退院後 11 年経過、5 年以上の来院がない患者分）
【要員計画】計画を実行する為に必要な要員	●人員は 10 名から 8 名へ（欠員 2 名）（病歴担当 5 名（診療情報管理士 4 名 + 契約 1 名）、がん登録担当 3 名（診療情報管理士 3 名）	70%	令和 06 年度の退院患者総数が 9,420 名、退院患者 2,000 名に 1 名の診療情報管理担当者を配置すれば、診療録管理体制加算の基準はクリアするが、退職、異動があり欠員 1 名となっている。早期の欠員補充が必要。
【教育研修計画】年間スケジュールの作成	●DPC に関するセミナー等への参加	50%	WEB での研修会への参加は出来たが、学会への参加が出来なかった。
	●がん登録研修等への参加	100%	がん登録担当が参加した。
	●令和 6 年度「かりゆし会研究発表会」へ演題発表	0%	毎年発表していたので、未発表部署優先の為に令和 6 年度は辞退した。
	●学会発表の継続	0%	令和 7 年度学会発表予定

項目	概要	達成率	評価
【設備計画】 機器の更新・新規購入、 修繕、備品	●特に予定なし	-	

活動実績

研修・勉強会などへの参加

名称	日時	開催地	参加者
第 118 回 生涯教育研修会	2024 年 4 月 17 日	オンライン	真栄平 久美子・大城 克枝
令和 6 年度 データ提出加算に係る説明会	2024 年 5 月 16 日	オンライン	真栄平 久美子・大城 克枝・我如古 理咲子、田河美智代
クリニカルパス教育セミナー	2024 年 7 月 6 日	オンライン	真栄平 久美子・大城 克枝
第 119 回 診療情報管理士生涯教育研修会	2024 年 7 月 20 日	オンライン	真栄平 久美子
第 3 回 沖縄県診療情報管理士交流会 / 勉強会	2024 年 8 月 9 日	西原町	真栄平 久美子・大城 克枝・田河 美智代
令和 6 年度 院内がん登録研修会	2024 年 9 月 21 日	西原町	宮平 奈美子・兼濱 亜紀
第 65 回 全日本病院会 in 京都	2024 年 9 月 28 日 ～ 29 日	京都府	宮平 奈美子・仲田 京子
グローバルヘルスコンサルティング ミニセミナー	2024 年 10 月 31 日	オンライン	真栄平 久美子・大城 克枝・我如古理咲子、田河美智代
MDV Act/WEB 勉強会	2024 年 11 月 14 日	オンライン	真栄平 久美子・大城 克枝・我如古 理咲子、田河美智代
第 12 回 医療マネジメント学会沖縄県支部学術大会	2024 年 11 月 16 日	那覇市	真栄平 久美子
琉大病院院内がん登録ケースファインディング見学会	2024 年 11 月 18 日	西原町	宮平奈美子・仲田京子
MDV Act/WEB 勉強会	2024 年 11 月 21 日	オンライン	真栄平 久美子・大城 克枝・我如古 理咲子、田河美智代
第 4 回 沖縄県診療情報管理士交流会 / 勉強会	2024 年 12 月 1 日	南風原町	我如古 理咲子
第 121 回 診療情報管理士生涯教育研修会	2024 年 12 月 7 日	オンライン	真栄平 久美子
グローバルヘルスコンサルティング ミニセミナー	2025 年 1 月 30 日	オンライン	真栄平 久美子

総務課

総務課 課長 河上 裕一

職員数

総数

15 名

職種別

一般事務	5 名	司書	1 名
保安警備	1 名	環境整備	1 名
患者送迎サービス係	7 名		

運営方針

- ・ 事務処理の迅速化を図る
- ・ 各部署に対する支援強化を図る
- ・ 職場環境の整備に努める

活動実績

院内行事運営など

年月日	名称
2024 年 4 月 1 日	入職式・新入職員オリエンテーション (4 月 1 日～4 月 2 日)
2024 年 5 月 20 日	合同慰霊祭
2024 年 8 月 22 日	ハートライフ病院 開院 35 周年記念品 (祝菓子) 配布
2024 年 9 月 2 日	永年勤続者表彰
2024 年 10 月 31 日	県医師会主催 20 年勤続医療従事者表彰
2024 年 11 月 4 日	患者満足度調査 (11 月 4 日～11 月 9 日) 会計前: 11 月 5 日～11 月 7 日 病棟: 11 月 5 日～11 月 9 日 透析室、予防医学センター、内視鏡センター: 11 月 5 日～11 月 6 日
2024 年 11 月 7 日	中部地区医師会主催医療従事者表彰
2024 年 1 月 6 日	院内成人式
2025 年 1 月 10 日	新春もちつき大会

用度課

用度課 課長 諸見里 和也

職員数

総数

6 名

職種別

一般事務 6 名

運営方針

物品の安全・安定供給

- ・ 各現場へ必要物品の安定供給をする為に定数物品・注文物品等、発注から納品まで敏速に実行できる体制を構築する。
- ・ 使用後も廃棄処理時に有害物質を出さない、環境に優しい物品の採用。
- ・ 患者さん・職員に対し、安全に配慮した物品の採用。
- ・ 物品の標準化。標準化する事により、使用方法の統一が図れ、安全かつコスト削減にもつなげる。
- ・ 医療材料説明添付文書通り順守し管理する。

物品管理

- ・ 在庫管理・定数管理の強化。定期的に定数を見直し、適正な定数を目指す。
- ・ 年 2 回の、棚卸を実施。適正な在庫数を維持管理する。
- ・ SPD システムのバージョンアップを図り、維持管理の強化（12 月運用開始）。
- ・ 機器の不具合・故障等の場合、現場に出来るだけ支障の無い様に、速やかに対応する。
- ・ 災害拠点病院に適した維持管理。
- ・ 事務什器備品の資産管理。

イントラの整備

- ・ イントラ整備に伴い、各種申請書、請求伝票連絡関係等の電子化の推進。

※電子申請を 2019 年 10 月より本院・事務部がトライアル開始。2020 年 4 月本院・地域包括支援センター運用開始。各申請書は徐々に拡大予定。

課員の教育

- ・ 勉強会、県内外への研修、見学等の積極的な参加に努める。
- ・ 患者様の安心・安全の為、医療従事者として出来る最善策を日々、研究実践する。

理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る最善の策（行為）を日々、研究・実践する。

業務計画

1. 新物流管理システムを活用し適正在庫の管理とマスタの整備
2. 新治療及び入職の先生方への医療材料のアプローチ
3. 看護部や医療技術部での加算に関わる事業への提案等
4. 診療材料や医療機器、日用品、のコスト削減
5. 現状業務の維持

収入計画

1. 医療材料及び医療機器、消耗品の値下げ合計の報告

人員計画

1. 11月に欠員予定になっているため人員の確保
2. ワークライフバランスの取れた人員の確保（手術室1名増員を予定）

設備計画

1. 現在納められない材料が用度課廊下に出ており納められる倉庫を確保したい。
※看護統括部長が定年退職に伴い統括部長室（前用度課倉庫）の返却にて活用中

活動実績

セミナー・講習会・勉強会への参加

名称	開催地	年月日	参加者名
佐世保市総合医療センター 消化器外科ダビンチ手術見学意見交換会	長崎県	2024年5月20日	新垣

企画室 電算係

係長 宮城 克己

認定・資格

認定・資格名	認定・資格名
第二種情報処理技術者	日本商工会議所簿記検定試験 2 級
システムアドミニストレータ	Cisco certified network associate
第一級陸上特殊無線技士	Cisco certified network professional(BSCI)
デジタル第一種工事担当者	Cisco certified network professional(BCMSN)
ソフトウェア開発技術者	Microsoft certified professional(70-270)
医療情報技師	電気工事士 2 種

運営方針

1. IT への理解力と応用力を身に着け、院内の IT 環境の充実に努める
2. 院内ネットワークの有効活用
3. 電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ
4. スキルの向上
 - a) プログラミング、ドキュメント化技術の向上
 - b) 病院業務への理解を深め、業務効率の向上に努める

活動報告

- ・ ネットワーク障害対応
- ・ 電子カルテ用ウィルスチェックソフトのライセンス更新
- ・ 電子カルテ定期サービスパック適用
- ・ RDS を利用したおきなわ津梁ネットワーク閲覧
- ・ 西平医院 IT 環境整備構築
- ・ クリニカルパス大会サポート
- ・ 電子カルテサーバーリプレース
- ・ 緩和ケア学会サポート
- ・ IT 推進委員会の開催（1 回 / 月）
- ・ 財務統計処理
- ・ 不要 IT 機器の廃棄
- ・ IT 機器の自前修理による修理費用、買換え費用の削減
- ・ 遠隔読影構築
- ・ IT-BCP 訓練実施
- ・ ダビンチ導入サポート

年度総括

前年度から引き続いた作業としては、新たにクリニック（西平医院）が当法人に加わることに伴う IT 環境整備・構築から始まり、8 月頃まで作業が続きました。その後、ダビンチの導入サポートや院内ネットワーク構築案件等や中部保健所や九州厚生局による検査、病院機能評価とあり、年度末には電子カルテサーバーリプレース作業と案件が続いた上に 1 名の欠員があり、部署としては相当に多忙な年でした。

2025 年度も院内ネットワーク構築や PACS サーバーリプレース等の作業がありますので、前年以上に効率のよい対応や作業を心がけて業務の遂行をしていきたいと思います。

企画室 広報係

係長 知念 政治

活動目的

広報専任担当者2名で、病院・クリニック・地域包括ケアセンター・保育園の各種広報活動を行っています。

中心業務は各施設の現状やPRポイント、新規業務などをホームページや広報誌、マスメディア等を通じ内外に発信する事ですが、その活動に関わる情報の収集から取材・撮影を行い、広報誌や公式サイト、デジタルサイネージコンテンツなどの作成を行ったり、報道機関向け資料の作成なども行います。また、定期的に開催される「かりゆし会広報委員会」事務局を運営し、施設内における掲示物などに関する規定を作成・管理を行ったり、全体の広報方針や広告関連予算を審議し理事会への提案も行います。毎年度の年報作成についても「かりゆし会年報作成委員会」事務局を運営し作成業務にあたっております。また、医学生と研修医を対象とした広報誌「LIFE」を作成し、県内外の医学生・研修医に医療職の魅力を発信しています。さらに新たな取り組みとして、看護職の魅力を伝える情報誌「きらきら」創刊号を3月に発刊しました。

認定・資格

認定・資格名	人数
システムアドミニストレータ	1
サーティファイ web クリエイター能力検定試験 上級	1
サーティファイ Flash クリエイター能力認定試験 上級	1

認定・資格名	人数
ユニバーサルデザインコーディネーター	1
ウェブ解析士	1

事務局運営

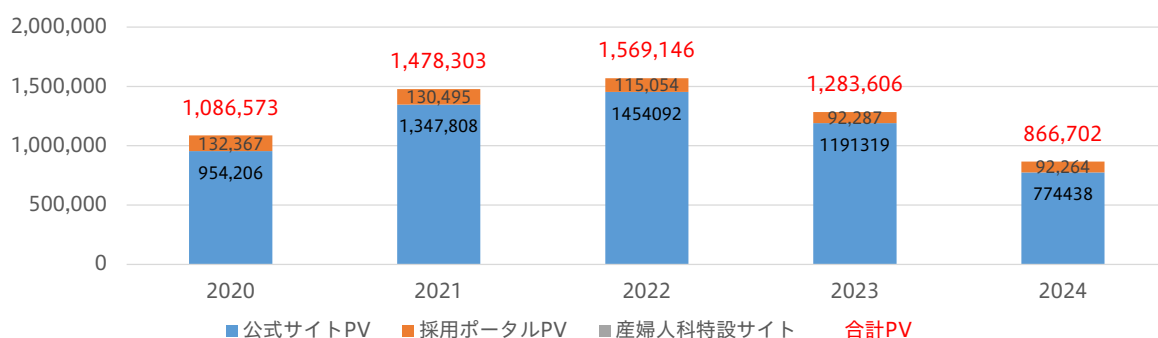
- ・ かりゆし会広報委員会
- ・ かりゆし会年報作成委員会
- ・ 広報誌きらきら製作事務局

活動実績

名称	開催地	年月日	参加者
第3回おきなわ子どもメディカルラリー運営サポート	当院	2025年2月25日	知念政治

公式サイト統計

ページ閲覧数（PV）推移



企画室 DX 推進係

係長 知念 政治

職員数

総数

2 名

職種別

一般事務 2 名

活動目的

デジタル技術の活用により業務改革・働き方改革を推進し、「DX」は「デジタルトランスフォーメーション」の略で、デジタル技術を活用してビジネスや社会を根本的に変革することを指します。その目的は、単に業務を改善するだけでなく、製品やサービス、ビジネスモデル、さらには企業文化まで改革し、競争上の優位性を確立することです。医療現場はもちろんのこと、バックオフィスのデジタル技術活用による業務改善・効率化についても推進してまいります。

今年度は以下の事業を実施しました。

1. 通信環境の強化

ICT 技術活用のために必要な通信環境の強化として、新規の全館 Wi-Fi 構築事業を立ち上げました。2025 年夏の完成を目指しています。

2. iPhone 導入

前述のネットワーク構築が完了後に速やかに活用できるよう、iPhone500 台を事前に購入し MDM による端末管理体制を構築しました。通話やナースコール連動・館内放送のほか、電子カルテのモバイルアプリ「ニュートンズモバイル 2」の活用を 2025 年中に行えるよう引き続き準備を進めます。

今後の展望について

電子カルテにおけるサマリー作成など、一部で活用が進んでいる AI 技術の活用領域の拡大を図るとともに、強化したネットワークを活用した会議のスマート化（オンライン会議・AI 議事録など）、RPA による業務の属人化解消、デジタル技術活用に向けた人材育成などを推進してまいります。

財務・経理課

財務・経理課課長 大山 朝史

職員数

総数

5名

職種別

一般事務 5名

運営方針

1. 財務・経理内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門の予算執行状況を把握する。

2025年度目標

1. システムやサービスを用いた経理業務の効率化。
2. 法人外部監査の窓口部署として、指摘事項の改善に向けた取組みを行う。
3. キャッシュレス化を推し進め、現金取扱業務を整理する。
4. 業務ローテーションにより、業務負担を平準化し有給休暇取得の促進と残業削減を目指す。

人事課

人事課 係長 金城 豊和

職員数

総数

9 名

職種別

一般事務	7 名	臨床心理士	1 名
産業保健師	1 名		

運営方針

～当課役割～

法人経営方針に合わせ、職員個人の育成と適材配置が出来る仕組みを醸成する人事制度の構築を目指すと共に関連法規対応に努め、職員が働きやすい環境整備に努める。

- 1. 人事管理
 - 1-1 正確な人事管理情報（配転・教育・評価・賞罰等）の構築
 - 1-2 部署定数の管理及び入退職の可視化
 - 1-3 現行の労働法規および関連法に則した規程の策定・更新
- 2. 労務管理
 - 2-1 事務手続きの電子申請化促進
 - 2-2 働き方関連法に則した運用整備
- 3. 人材育成
 - 3-1 人事評価制度の導入準備
 - 3-2 評価制度に応じた階層別研修の構築
- 4. 健康支援
 - 4-1 全職員の働きやすい環境を目指し、心身のフォローを行う
 - 4-2 各調査結果に基づき、課題改善に向けた取組みを行う
 - 4-3 疾病を抱えても働きやすい職場環境づくりに取り組む（両立支援）

活動実績

業務実績

2024 年	4 月	2025 年 4 月採用（前期）看護師採用試験開催
		給与規程（改定 / 初任給の改定）
		新入職員健康相談実施
	6 月	春季健診事後措置実施
		給与規程（新設 / ベースアップ手当）
	7 月	2025 年 4 月採用（後期）看護師採用試験開催
		合同就職説明会（福岡県）
	8 月	看護部インターンシップ
		合同就職説明会（東京都）
		職員 B 型肝炎ワクエン接種（1 回目）
		高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支部訪問
		インターンシップ受入れ（沖縄国際大学・広島国際大学）
	9 月	福祉のおしごと就職フェア 2024 参加
		職員 B 型肝炎ワクエン接種（2 回目）
		事務総合職辞令交付式
	10 月	看護部内定式
	11 月	職員インフルエンザワクチン接種
		大規模災害（実働）訓練
		職員ストレスチェック実施
		高校生対象病院見学会（高校生 11 名）
		ジョブトレ見学受入れ
		秋季健診事後措置実施
		九州厚生局適宜調査
2025 年	12 月	病院機能評価受審
		就業規則 ・かりゆし会定年年齢変更（60 歳）
		LINE から L ステップへ移行
	1 月	かりゆし会研究発表会 事務部予選「人事課：第 3 者評価に向けた取組み」出場
		ハローワーク沖縄雇用指導官（障がい者雇用人数について訪問）
	2 月	子どもメディカルラリー参加
		文化放送ナースナビ主催 看護師合同就職説明会（東京都）
		職員 B 型肝炎ワクエン接種（3 回目）
	3 月	ナース専科主催 看護師合同就職説明会（福岡県）
		就業規則 ・復職・両立支援短時間勤務新設 ・育児休業規程改定 ・医局に属する医師（非常勤医師等は除く）のフレックスタイム制新設
		職員満足度調査実施
		看護 roo 主催 看護師合同就職説明会
		琉球新報主催 看護師合同就職説明会
		マイナビ主催 看護師合同就職説明会
		ナース専科主催 看護師合同就職説明会（大阪府）
		看護部主催オープンホスピタル（看護職）

診療支援室

診療支援室課長 比嘉 須奈子

職員数

総数

32 名

職種別

医師事務作業補助係 25 名

秘書係 4 名

卒後臨床研修事務係 3 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	4

認定・資格名	人数
医師事務作業補助技能認定資格	23

運営方針

5. 医師が安心して診療に専念できる環境を作る
6. 医師の事務的業務の負担軽減を図る
7. 初期から専門研修まで充実した研修が行えるよう、あらゆる方向から支援する
8. 他部門とのスムーズな連携・協働に努める
9. 専門的知識、技術の向上をめざして自己啓発に努める

医師事務作業補助係

業務計画

1. 外来業務においては予習を徹底し、定期検査や必要な検査等のモレを防ぐ
2. 各担当科の専門性を高め、新たに代行できる業務がないか検討し開拓する
3. 統計、データ業務の分担化

活動実績

文書作成

名称	2020	2021	2022	2023	2024
一般診断書	565	494	494	561	540
生命保険文書	1,758	1,690	1,382	1,368	1129
介護主治医意見書	262	287	303	538	435
傷病手当金請求書	816	917	614	658	716
医療要否意見書	543	583	547	607	590
特定疾患調査票	70	335	305	327	309
身障 / 年金診断書	161	285	222	277	274
自賠責診断書	706	714	652	787	662
その他	2,144	2,256	2,283	2,695	2,589
合計	7,025	7,561	6,802	7,818	7,244
名称	2020	2021	2022	2023	2024
退院サマリー	645	748	575	1,145	937
高額コメント	36	33	36	19	3

統計業務

- ・ 日本内視鏡外科学会症例報告
- ・ 日本外科学会指定施設年次報告
- ・ 日本ヘルニア学会症例報告
- ・ 日本血液学会疾患登録
- ・ 日本造血細胞移植データセンター全国調査
- ・ 外科研修関連施設実績報告（琉大・東京女子医大・大阪大学）
- ・ National clinical Database 登録（外科・乳腺外科・泌尿器科）
- ・ 日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）登録
- ・ 日本脆弱性骨折ネットワーク（FFN-J）登録
- ・ 日本脳神経外科学会 Japan Neurosurgical Database(JND) 登録

学会業務

名称	開催地	年月日
NCD セミナー 2024	オンライン	2024 年 5 月 11 日
日本医師事務作業補助研究会 第 9 回沖縄地方会	県内	2024 年 7 月 27 日
日本医師事務作業補助研究会 第 13 全国学術集会	オンライン	2024 年 10 月 20 日
日本医師事務作業補助研究会 第 10 回沖縄地方会	県内	2025 年 1 月 25 日
第 12 回沖縄ヘルニア研究会（事務スタッフ）	県内	2025 年 2 月 22 日

卒後臨床研修事務係

研修医の実績については医局部門をご覧ください

研究業績

論文・著書

論題名	雑誌名	掲載年・巻号・頁	著者名
FOCUS!「研修医の勤務体制改善」 臨床研修医の勤務体制管理の改善 研修医担当事務によるタスクシフト	医事業務	31 巻 666 号 Page30-33(2024.04)	新垣 麻子、佐藤 直行

活動実績

卒後臨床研修事務局主催のレクチャー、講演会等

内容	開催地	日程
群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春先生による教育回診	当院	毎月第 1・第 3 木曜日
新研修医オリエンテーション	当院	2024 年 4 月 2 日～ 8 日
群星沖縄新研修医オリエンテーション	那覇	2024 年 4 月 3 日
感染症コンサルテーション 青木真先生による教育回診（群星沖縄）	当院	2024 年 5 月 28 日
松本謙太郎先生による教育回診（群星沖縄）	当院	2024 年 6 月 11 日、11 月 13 日
福井大学医学部附属病院 総合診療部長・教授 林 寛之先生による講演会	当院	2024 年 7 月 4 日
地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 救命救急センター医長 坂本壮先生による講演会	当院	2024 年 8 月 30 日
群星沖縄臨床研修副センター長 寺澤 秀一先生による教育回診	当院	2024 年 9 月 6 日
群星沖縄新研修医オリエンテーション Part2	糸満市	2024 年 9 月 11 日
デシュパンデ先生による教育回診（アメリカ大使館 医師、聖路加国際病院 health and behavioral medicine 教授）	当院	2024 年 11 月 21 日
群星沖縄アカデミア研究発表会	那覇	2024 年 12 月 16 日
国民健康保険 志摩市民病院 地域医療医務監 江角 悠太 先生による講演会	当院	2024 年 12 月 21 日
ミシガン大学 Dr. Kathryn Louise Levy による教育回診	当院	2025 年 1 月 16 日

内容	開催地	日程
基本的臨床能力評価試験の実施（オンライン）	当院	2025 年 1 月 17 日～30 日
ミシガン大学 Dr. Nathan Houchens による教育回診	当院	2025 年 2 月 25 日
群星沖縄ポートフォリオ	当院	2025 年 3 月 11 日

セミナー・勉強会・会議等への参加

内容	開催地	日程
初期臨床研修運営協議会	当院	毎月第 2・第 4 火曜日
群星沖縄定例会議（現地・オンライン）	オンライン	毎月第 2 月曜日
2024 年度第 1 回卒後臨床研修管理委員会（現地開催＋書面会議）	当院	2024 年 7 月 11 日
臨床研修事務担当者勉強会	西原町	2024 年 7 月 12 日
琉球大学関連協力病院協議会への参加（オンライン）	オンライン	2024 年 10 月 16 日
四病院合同内科専門研修管理委員会への参加（現地開催＋オンライン）	オンライン	2025 年 1 月 22 日
R6 年度 琉球大学専門研修プログラム連絡協議会への参加（オンライン）	オンライン	2025 年 2 月 12 日
R6 年度 琉球大学病院内科専門研修プログラム管理委員会	オンライン	2025 年 2 月 20 日
2024 年度第 2 回卒後臨床研修管理委員会（現地開催＋書面会議）	当院	2025 年 3 月 13 日
令和 6 年度第 1 回臨床研修病院長等会議（現地開催＋オンライン）	南風原町	2025 年 3 月 21 日

医学生・院外研修医の受け入れ

内容	日程
琉球大学医学部 5～6 年次クリニカルクラークシップ（延べ 58 名）	2024 年 4 月 15 日～2025 年 3 月 7 日
医学生病院見学受け入れ（延べ 50 名：県外 34 名、県内 16 名）	2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
琉球大学病院より研修医受け入れ 1 年目 1 名（小児科）、2 年目 1 名（整形外科）	2024 年 11 月、12 月
浦添総合病院より研修医受け入れ 2 年目 2 名（産婦人科、小児科）	2024 年 7 月、11 月
中部徳洲会病院より研修医受け入れ 1 年目 3 名（産婦人科）	2024 年 9 月、11 月、2025 年 2 月
友愛医療センターより研修医受け入れ 2 年目 1 名（放射線科）	2024 年 8 月
北部地区医師会病院より研修医受け入れ 2 年目 1 名（眼科）	2024 年 5 月 6 日～6 月 2 日
沖縄協同病院より研修医受け入れ 2 年目 1 名（産婦人科）	2024 年 6 月

リクルート活動

内容	開催地	日程
レジナビフェア 2024 福岡	福岡県	2024 年 5 月 19 日
レジナビフェア 2024 大阪	大阪府	2024 年 5 月 26 日
レジナビフェア 2024 東京	東京都	2024 年 6 月 16 日
当院主催病院説明会	当院	2024 年 7 月 6 日
群星沖縄臨床推論甲子園（オンライン）	オンライン	2024 年 8 月 24 日
マイナビ沖縄県 Web セミナー（オンライン）	オンライン	2024 年 9 月 21 日
群星沖縄臨床推論甲子園（オンライン）	オンライン	2025 年 1 月 11 日
当院主催病院説明会	当院	2025 年 3 月 8 日
レジナビフェア 2025 東京	東京都	2025 年 3 月 23 日

研修参加実績

内容	開催地	日程
新研修医 AHA BLS Provider コース（1 年目研修医 8 名参加）	当院	2024 年 4 月 13 日
新研修医 AHA ACLS Provider コース（1 年目研修医 8 名参加）	当院	2024 年 4 月 27 日・28 日
沖縄県緩和ケア研修会 2024（2 年目研修医 7 名参加）	当院	2025 年 2 月 8 日

その他

内容	開催地	日程
日本病院会主催 2024 年度臨床研修指導医講習会（医師 1 名参加）	東京都	2024 年 9 月 7 日・8 日
2024 年度 RyuMIC 指導医養成講習会（医師 1 名参加）	西原町	2024 年 12 月 7 日・8 日

経営企画分析室

事務部長 安里 竜

当課は、現在・過去・未来の3つのステージで法人運営の課題を発見し、それに取り組み、必要な準備を進める部署です。各種診療支援・経営支援の分析、事業計画の取りまとめ、医療制度に関する情報収集、新規事業の企画等を主な業務としています。

職員数

総数

1名

職種別

一般事務 1名

運営方針（2024年4月1日更新）

①医療に関する適切なデータ分析と改善提案の推進

（ア）原価計算（管理会計）システムの設定を再開（重点課題）

（イ）本業（医療・介護）稼働状況・事業計画・数値目標の分析とレビュー体制

（a）エビデンスベースの改善提案活動（SSIScope、EVE、MedicalCode、SMASH）

・診療単価の増加

・3指標の達成（新規入院患者数、病床利用数、平均在院日数）

・DPC係数の増加（係数Ⅰ、効率性係数・複雑性係数・救急医療係数）

・入院期間Ⅱ内割合の増加（病床利用の目標達成を意識しながら）

・出来高項目の算定の増加（落ち穂拾いWGの継続）

（b）各部署事業計画の数値目標化と達成度レビュー体制の構築（重点課題）

②医療・介護制度に関する情報のキャッチとフィードバック活動の推進

（ア）行政機関・医師会・他病院とのパイプ作り

③各種事業の企画立案・推進サポート（重点課題）

（ア）5年後・10年後の事業の柱だて（施設認定の高度化の促進：5疾病6事業）

（イ）病院建替え準備

企画室の行動指針

- 1. 業務支援・経営支援のための情報収集・分析・提案
単に情報をあつめるだけではなく、分析し、戦略構築と企画提案につなげる
- 2. 経営層と運営層への積極的なフィードバック
情報を視える化し、適時のフィードバックを通して、時機を見逃さない
- 3. 法人理念と事業計画を基軸にする
いかなる場合でも過去・現在・未来を俯瞰し、法人理念と事業計画に沿って今やるべきことを判断し、ニーズの掘り起こしとそれに答える企画提案を実現することで、顧客に貢献する
- 4. コスト意識を持つ
1 円を積み上げる努力（現場の汗）、1 円を使う責任（重み）を忘れない
- 5. 現場へ足を運び、現場力を身につけること
経営活動の力点・支点・作用点はいずれもすべて現場に存在するので、現場へと積極的に足を運び、現場のニーズや課題を引き出すコミュニケーションを怠らない
- 6. 企画室の顧客は「地域社会」と「法人（各施設、部署、職員、患者と利用者）」
患者さんや利用者、その家族、地域住民、連携機関、行政はもちろんのこと、法人内の各施設、部署、職員もすべて「顧客」として接する

交流会

名称	開催地	開催時期
電子カルテユーザ会システム管理者部会役員会（参加）	オンライン	通年
電子カルテユーザ会（参加）	大阪府	2024 年 8 月
電子カルテおきなわユーザ会（参加）	沖縄	2024 年 9 月

事務局活動

名称	部門	開催時期
理事会事務局	共通	月 1 回定例
運営委員会事務局	共通	月 2 回定例
事業継続計画マネジメント会議事務局	共通	通年
算定率向上ワーキンググループ事務局（各種加算）	共通	通年
地域災害拠点病院設備整備事業事務局（補助事業）	共通	通年
手術支援ロボット導入プロジェクト事務局	共通	通年

年度総括

経営企画担当の退職により常勤不在となり、病院事務部長が企画業務を代行した年になりました。

COVID-19 の流行前と比較して入院の主たる指標である新規入院と病床利用の回復が遅れていましたが、年度を通しての集患営業活動の推進と応需体制の構築に介入し、下半期に入って徐々に回復傾向が見られます。医師・看護師不足に起因する応需体制の緊縮意識がまだまだ残っていますので、その解消に向けて、多職種の採用活動を推進する専門委員会等を新たに立ち上げて、地盤作りに臨んでいるところです。収益性を安定化させるためにも、収入・支出の両面で、これまで以上に調整に介入したいと思います。

病院事務部長との兼務体制では、計画の進捗調整や目標管理に十分な時間を割くことができませんでしたので、院内公募を含め、早期に経営企画担当を採用しなければなりません。

管財課

管財課 課長 宮里 毅

職員数

総数

1 名

職種別

一般事務 1 名

運営方針

- ・ 各年度の大規模修繕工事の計画と立案。
- ・ 大規模修繕工事は、1 件当たりの工事費用が 1,000 万円以上とする。
- ・ 大規模修繕委員会への工事案件の提案と承認。
- ・ 大規模修繕委員会で承認された各工事の予算を理事会への提案と予算化。
- ・ 理事会承認された予算と前年度繰越予算内で、各工事を計画し施工管理する。
- ・ 各工事の進捗・安全管理を行う。
- ・

今年度事業の取組

2024 年度の大規模修繕予算の無く、繰越予算額（274,521,900 円）で以下の 6 件の大規模工事を実施した。

- ①各個別空調機更新（3 期工事）
- ②軽量鉄骨造（2 階建）工事（旧浄化槽跡地）
- ③本館中央エレベーター（1・2 号機）
- ④各ナースコール（デジタル式）更新（本館 3 ～ 7 階）
- ⑤院内電話のスマホ化・ネットワーク構築工事
- ⑥西館側エレベーター（4・8 号機）

管財課実績

- ①受水槽増設工事
- ②エレベーター（3・5 号機）更新工事
- ③救急外来屋上防水工事
- ④全館空調機更新工事
- ⑤無停電装置鋳造工事
- ⑥ G 回路・2 回線受電工事
- ⑦法面对策擁壁①・②工事
- ⑧各個別空調機更新（3 期工事）
- ⑨軽量鉄骨造（看護研修棟）工事
- ⑩本館・西館用防火扉

施設課

施設課 係長 具志堅 徳明

職員数

総数

5 名

職種別

施設技術者 5 名

認定・資格

資格名	人数
第 3 種電気主任技術者	2
第 1 種電気工事士	2
第 2 種電気工事士	5
1 級電気施工管理士	1
消防設備士特類・乙 6・7 類	1
消防設備士甲種 1 類～ 5 類	2
自衛消防業務	3
第二種冷媒フロン取扱技術者	1
1 級ボイラー技士	1

資格名	人数
2 級ボイラー技士	4
ボイラー整備士	1
危険物取扱者乙 4 類	5
2 級管工事施工管理技士	1
2 級土木施工管理技士	1
第 2 種冷凍機械責任者	2
エネルギー管理員	2

運営方針

安全管理と省エネに務める。

理念

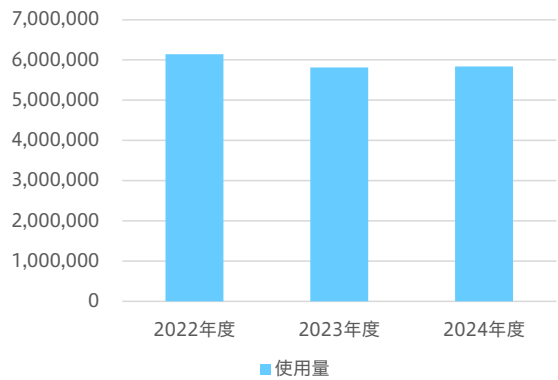
関係法令等を遵守し施設内を常に最良の状態に維持管理する。予防保全的業務を実施し、設備の耐用年数の延長を図り省エネルギーの達成に務める。

業務実績

ハートライフ病院

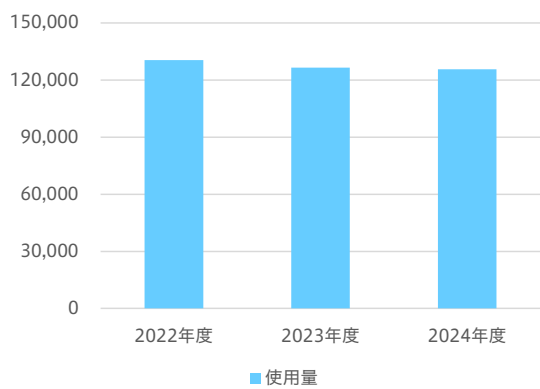
総電力量（単位 :kwh）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
使用量	6,145,620	5,811,160	5,839,380
対前年比	1.2% 増	5.4% 減	0.5% 増



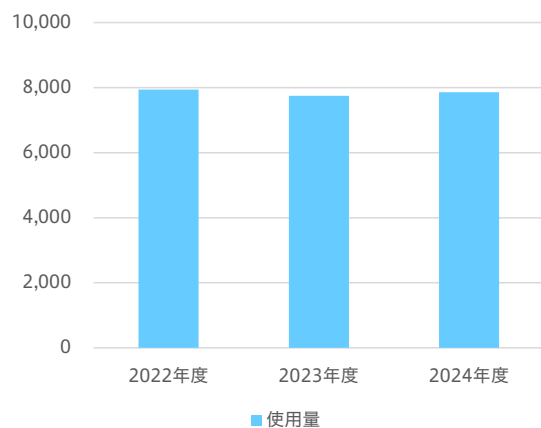
A 重油使用量（ボイラ）（単位 :ℓ）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
使用量	130,431	126,471	125,700
対前年比	5.1% 増	3.0% 減	0.6% 減

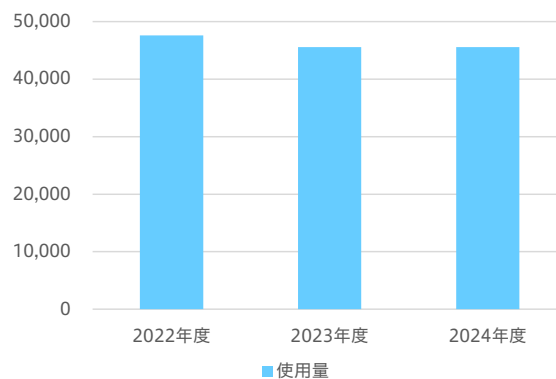


LPG 使用量（厨房）（単位：m³）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
使用量	7,940	7,746	7,859
対前年比	0.8% 増	2.4% 減	1.5% 増

上水道使用量（単位：m³）

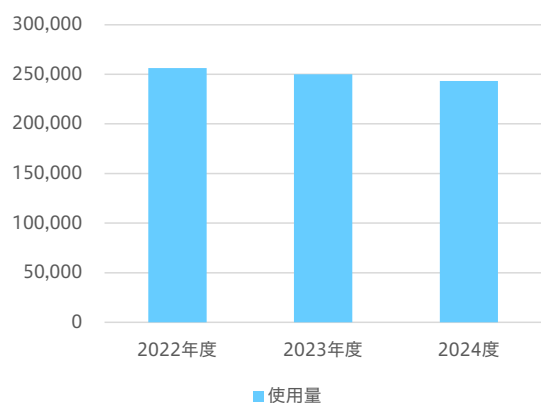
	2022 年度	2023 年度	2024 年度
使用量	47,602	45,549	45,562
対前年比	3.0% 増	4.3% 減	0.02% 増



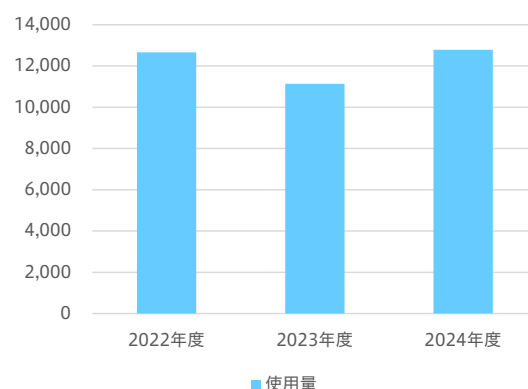
ハートライフクリニック

総電力量（単位：kwh）

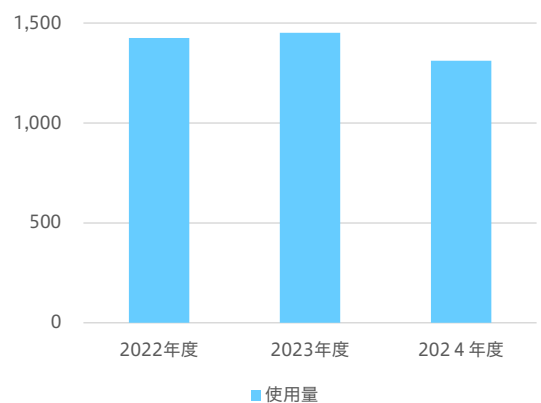
	2022 年度	2023 年度	2024 年度
使用量	256,210	250,022	243,167
対前年比	2.1% 増	2.4% 減	2.7% 減

LPG 使用量（単位：m³）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
使用量	12,663	11,135	12,784
対前年比	2.8% 増	12% 減	14.8% 増

上水道使用量（単位：m³）

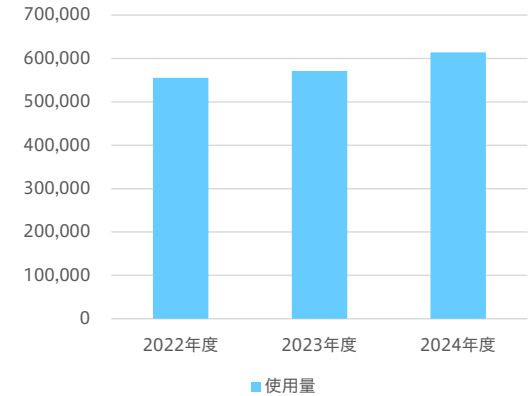
	2022 年度	2023 年度	2024 年度
使用量	1,425	1,451	1,312
対前年比	4.0% 増	1.8% 増	9.6% 減



ハートライフ地域包括ケアセンター

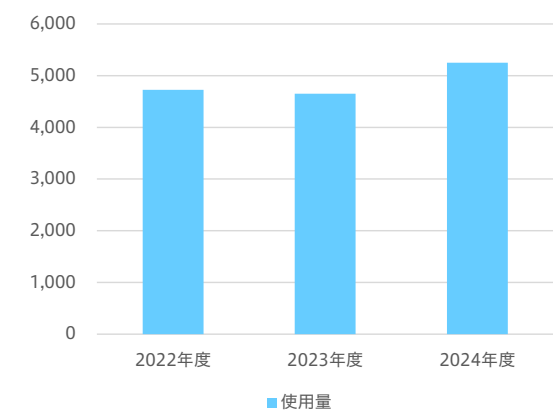
総電力量 （単位 :kwh）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
使用量	555,437	571,513	614,131
対前年比	3.2% 増	2.9% 増	7.5% 増



LPG 使用量（単位 :m³）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
使用量	4,726	4,651	5,253
対前年比	11.3% 減	1.6% 減	12.9% 増



上水道使用量（単位 :m³）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
使用量	9,210	9,281	9,804
対前年比	7.6% 減	0.7% 増	5.6% 増

西平医院

総電力量 （単位 :kwh）

	2024 年度
使用量	160,441
対前年比	-

LPG（厨房）使用量（単位 :m³）

	2024 年度
使用量	681
対前年比	-

LPG（空調）使用量（単位 :m³）

	2024 年度
使用量	5,534
対前年比	-

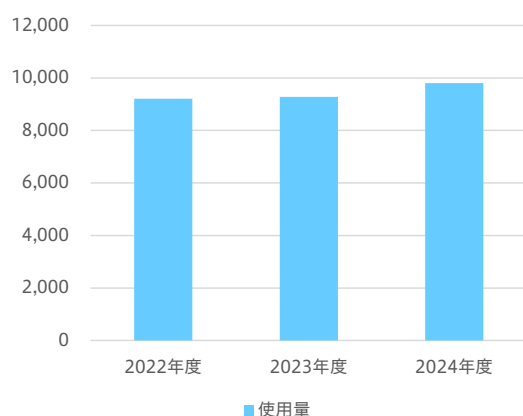
法人全体エネルギー原油換算量

	本院		クリニック		老人ホーム		西平医院
	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2024
電力	1495	1502	64	63	147	158	41
L P G	21	21	30	35	13	14	17
A重油	127	127					
合計	1643	1650	1643	98	160	172	58

2023 年度 法人合計	2024 年度 法人合計
1,897	1,978

法人各施設エネルギー使用量比率

2024 年度(令和 6 年度)は、法人全体でエネルギー原油換算値が対前年比 4.3%増加した。病院においては、ほぼ前年同様で維持しているが、クリニック、ケアセンターは若干増加し、2024 年度から新たに西平医院が追加され、法人全体でエネルギー使用量が増加となった。2025 年度(令和 7 年度)も引き続き、空調機をはじめ、各設備の適正運転を図り、省エネに努めたい。



活動実績

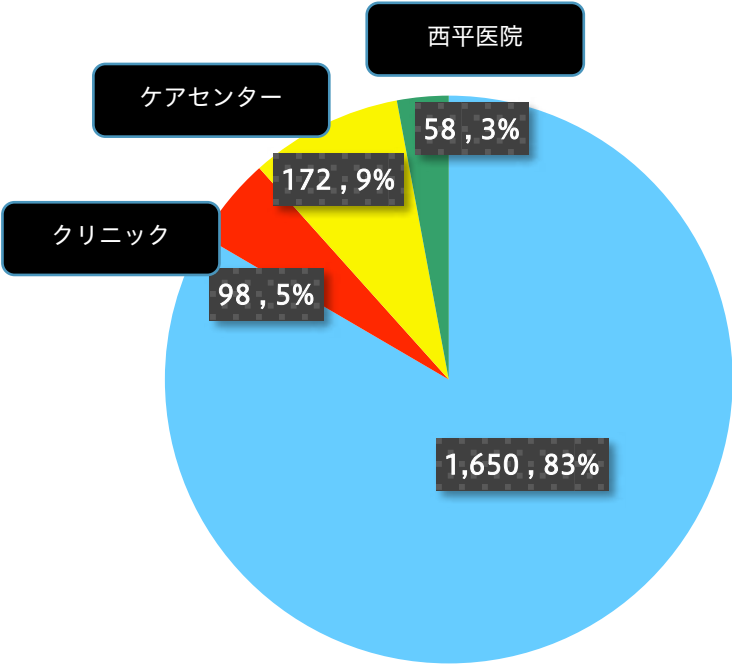
セミナー・講習会・勉強会への参加

名称	開催地	年月日	参加者名
自衛消防業務新規講習	那覇市	令和 6 年 9 月 27 日	玉城 一也
第二種冷媒フロン取扱技術者講習	浦添市	令和 6 年 10 月 11 日	玉城 一也

施設課 各設備点検業務状況

4 月	ハートライフ病院 本館：エレベーター点検・ダムウェーター点検・厨房害虫防除作業・第一種圧力容器性能検査 ケアセンター：受変電設備定期点検・受水槽清掃
5 月	ハートライフ病院 本館：消防設備法定点検・エレベーター点検・ダムウェーター点検・簡易専用水道検査・原水槽清掃 クリニック：簡易専用水道検査・受変電設備定期点検 ケアセンター：簡易専用水道検査・BEMS 定期点検
6 月	ハートライフ病院：飲料水水質検査・エレベーター点検・ダムウェーター点検・害虫防除作業・東館フィルター清掃 ケアセンター：受変電設備点検・消防設備法定点検

法人全体エネルギー使用量（KL）原油換算内訳グラフ



7 月	ハートライフ病院：エレベーター点検・ダムウェーター点検・厨房害虫防除作業・特定施設排水水質検査・特殊建築物・設備調査 本館フィルター清掃・東館非常用発電機法定点検 クリニック：受変電設備法定点検 ケアセンター：特殊建築物・設備調査
8 月	ハートライフ病院：エレベーター点検・ダムウェーター点検・第一種圧力容器性能検査 クリニック：消防設備法定点検 ケアセンター：受変電設備点検・BEMS 定期点検
9 月	ハートライフ病院：エレベーター点検・ダムウェーター点検・ばい煙濃度測定・蒸気、温水ボイラー点検整備・医療ガス設備点検 本館非常用発電設備法定点検・東館空調フィルター、換気扇清掃 クリニック：受変電設備定期点検

10 月	ハートライフ病院：手術室防火シャッター改修工事・エレベーター点検
	ダムウェーター点検・厨房害虫防除作業・
	ケアセンター：受変電設備定期点検
11 月	ハートライフ病院：空調フィルター、換気扇清掃・ダムウェーター点検・消防設備法定点検・非常用発電機年次点検・エレベーター点検
	クリニック：受変電設備定期点検
	ケアセンター：BEMS 定期点検
12 月	ハートライフ病院：本館、東館受変電設備法定点検・院内害虫防除作業・ダムウェーター点検・エレベーター点検
	ケアセンター：受変電設備 法定点検
1 月	ハートライフ病院：防火・防災管理点検・ダムウェーター点検・エレベーター点検・厨房害虫防除作業
	クリニック：受変電設備定期点検
2 月	ハートライフ病院：エレベーター点検・ダムウェーター点検・建築設備定期検査・東館フィルター清掃
	第一種圧力容器性能検査・クリニック：非常用発電機年次点検
	ケアセンター：非常用発電機年次点検・受変電設備 定期点検・BEMS 定期点検
3 月	ハートライフ病院：エレベーター点検・ダムウェーター点検・本館フィルター清掃
	クリニック：受変電設備定期点検

附随業務部門 食堂とまと

食堂とまと 平安山 良親



院内食堂として、病院敷地奥の別館 1 階で営業を行っています。お客様の約 7 割が病院職員で、平日の日替わりランチ、店舗販売の弁当は、職員割引で提供し職員食堂の役割も担っております。

また、当院人間ドック受診者向けの昼食メニューも食堂とまとで調理を行い、8 階人間ドックの専用レストランにて提供しております。

メニュー

日替わりランチ、みそ汁定食、豆腐チャンプルー定食、さんま定食、ポークたまご定食、カツカレー、カレー、沖縄そば、日本そば（きつね）、うどん（きつね）、ライス、サラダ、弁当（みそ汁付）
タコライス、スパゲティ（ミートソース・カルボナーラ）

営業時間：月曜日～土曜日 11:30 ～ 15:00

定休日：日曜日、祝日、年末年始

職員数

総数

11 名

職種別

調理師 3 名

調理補助 7 名

調理員 1 名

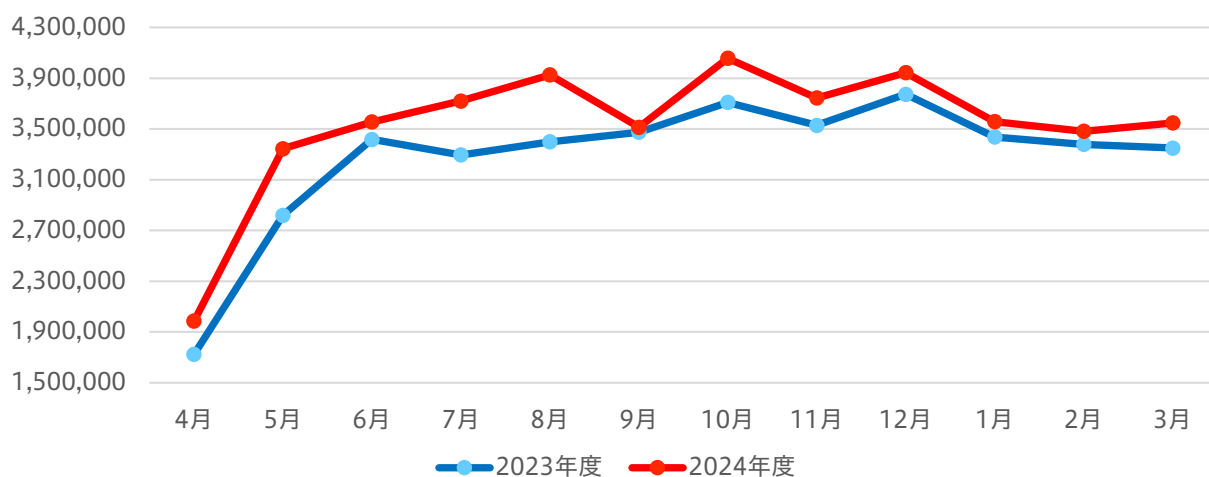
経営方針

職員や来院者に対し、「笑顔で親切ハートライフ病院」を合言葉にして、安全・安心で美味しい食事を提供していきます。

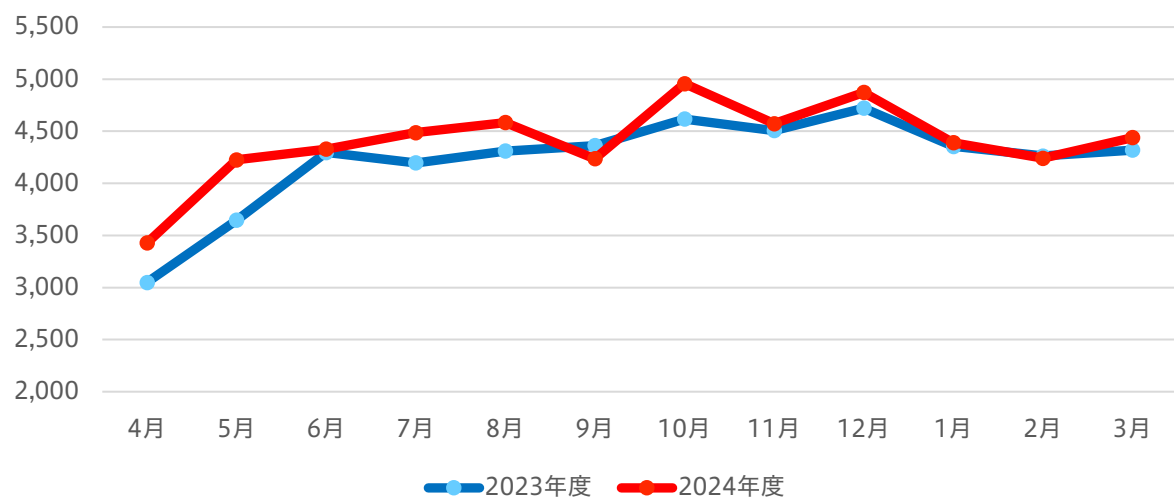
活動報告

- 弁当及び食堂日替わりランチ新メニューの追加
- 人間ドック食変更
- 崩れかかっていた店舗前の屋根を撤去

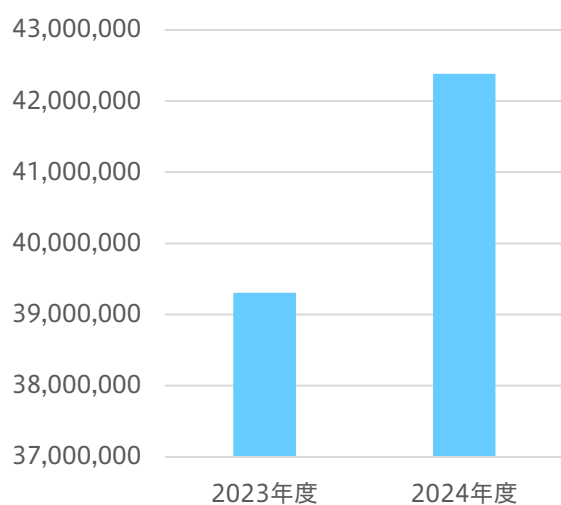
売上推移



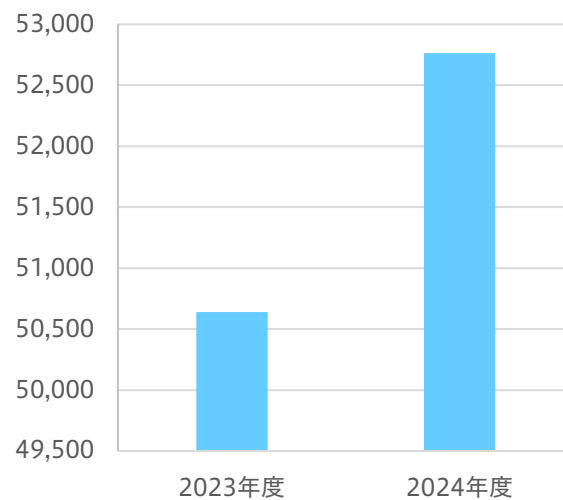
客数推移



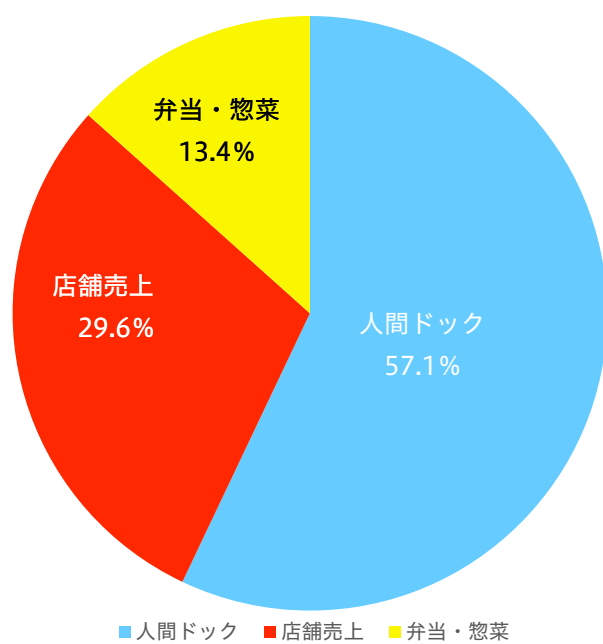
総売上高推移



総客数推移



売上割合



病院事務部長 年度総括

2024 年度は、一言で表すと「躍進に向けた充電期間」の年であったと感じています。

まず 4 月には、外科の西原先生が病院長に就任されました。新たな目標のもと、新たな取り組みを計画・実施してまいりました。

また、事務総合職として 3 名の新規採用者が入職し、半年間の各部署での OJT を経て、それぞれの部署へ配属されました。さらに、事務総合職 4 年目を中心に、初めての異動も実施しました。本人たちにとっては不安も入り混じる中での異動となりましたが、現在は新たな配属先でその手腕を発揮しており、今後の活躍に大きな期待を寄せています。

年度明けからは、地域の医療・介護資源との「顔の見える関係性」の再構築に力を入れました。昨年度下半期から、地域における当院の立ち位置を改めて見つめ直し、地域の医療・介護関係者との勉強会を定例で開催しています。また、沖縄県医師会が主体となっている「おきなわ津梁ネットワーク」を活用し、当院と地域資源との情報共有を円滑に行える体制の構築を進めました。これにより、これまでの“点と点を結ぶ 2 次元の連携”から“面で患者を支える 3 次元の連携”へと進化しつつあると実感しています。

6 月には、地域連携懇談会を 5 年ぶりに開催しました。コロナ禍により中止が続いていた分、当院からアピールしたい内容が多く、準備は大変でしたが、多職種による「顔の見える機会」を久しぶりに設けることができました。今後も地域医療連携活動をさらに前進させてまいります。

7 月下旬から 8 月にかけての夏休み期間には、「医療従事者を目指す高校生を対象とした病院体験実習」を今年も開催しました。看護部、医療技術部、事務部、ケアセンターなど多くの部署・職種の協力を得て、総勢 12 人を超える高校生の受け入れを行いました。

また、地域の子どもの対象とした「おきなわ子どもメディカルラリー」を今年も開催しました。将来、当院を就職先に選んでくれたら嬉しく思います。

医療の高度化に向け、手術支援ロボットを整備しました。現場職員の協力により短期間で準備を進めることができ、8 月には消化器外科および婦人科でそれぞれ第一症例を実施しました。今後もロボット手術の推進に向けた取り組みを継続していきます。

病院機能評価の更新審査も実施されました。昨年度末に専門委員会を設置し、これまでの病院活動の総括として、各部門・各部署が一丸となって準備を進め、12 月の訪問審査に臨みました。結果として、医療機器管理機能および広報機能の 2 点で、最高評価である「S 評価」をいただきました（当院として初の S 評価となります）。審査員の先生方からいただいたアドバイスや改善点については、今後も継続的に取り組んでまいります。

また、コロナ禍で失われた職員間のコミュニケーションの再活性化を目指し、多数の職員や地域を巻き込んだ病院主催のイベントや、職員慰労を目的とした互助会イベントも再開しました。参加した職員からは「参加して良かった」との声が多く寄せられており、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

病院事務部長 安里 竜

人事・財務部長 年度総括

2024 年度の人事・財務部門は、4 月から施行された「医師の働き方改革」への対応を皮切りに、病院機能評価機構の受審、九州厚生局による適時調査、中部保健所の立入り検査などが重なり、各担当者に新たな業務が発生する非常に多忙な 1 年となりました。

また、新たに西平医院がかりゆし会に加わったことで、労務管理をはじめとした各種業務の改善に向けて、各担当者が試行錯誤を重ねながら取り組みました。その結果、大きなトラブルもなく業務を遂行できたと考えております。職員の皆様に心より感謝申し上げます。

【人事課】

人事課では、労務管理、給与管理、採用業務、リクルート活動、職員の健康サポートを主な業務としています。

労務管理においては就業規則の改定、給与業務では定額減税への対応、「働き方改革」関連業務を行いました。リクルート活動では、関連部署と協力し、県外での採用活動にも積極的に取り組みました。

また、健康サポートの面では、職員からの相談対応や医師の長時間労働への支援、職員満足度調査など、新たな取り組みも行っています。

< 2024 年度 主な就業規則改定 >

- ・かりゆし会の定年年齢変更（60 歳）
- ・復職・両立支援短時間勤務制度の新設
- ・育児休業規程の改定
- ・医局に属する医師に関する規定の見直し（非常勤医師等は除く）

今後も職員が働きやすい職場づくりを目指し、人事課として引き続き取り組んでまいります。

【財務・経理課】

2024 年度は、新たに仲間入りした西平医院の会計処理対応に注力しました。週 1 回、担当者が医院を訪問し、当法人の処理方法をすり合わせながら、円滑に作業を進めることができました。

2025 年度も、かりゆし会 5 施設の会計業務を、正確かつ迅速に処理することをモットーに、課員一丸となって取り組んでまいります。

【診療支援室】

診療支援室では、「医師の働き方改革」において重要な役割を担い、さまざまな取り組みを行いました。

● 医師事務作業補助係

これまで同様に、診断書・意見書の作成、退院サマリー作成、検査代行入力などの業務を行いました。統計業務では「National Clinical Database（NCD）」の外科・乳腺外科・泌尿器科分野を含む 4 つの登録業務を新たに追加し、学会関連では「第 12 回沖縄ヘルニア研究会」に事務スタッフとして協力するなど、タスクシフトを積極的に受け入れ、医師の業務負担軽減に大きく貢献しました。

● 卒後臨床研修事務係

2024 年度も初期研修医 7 名がフルマッチで入職しました。これは、研修委員長・副院長をはじめとす

る医局の先生方のご指導、ご協力、そして研修事務係のサポートの成果と考えています。

また、医師の働き方改革への対応として、研修医の勤務表管理（滞在時間、当直明けの業務、勤務間インターバルの確保など）を行い、C-1 水準（集中的技能向上型医療機関）の時間外労働上限である 1860 時間を超えることなく、滞在時間の短縮にも取り組むことができました。今後は、さらなる時間外労働の削減（年間 960 時間以内）を目指し、改善を継続してまいります。

● 秘書係

秘書係（医局 3 名、役員 1 名）は、医師および役員の労務管理を担当しています。医局員の勤務表管理や時間管理を行い、勤務実績を健康相談室（産業保健師）と共有し、滞在時間が月 80 時間を超える医師に対して面接指導医との面談調整などを行いました。

今後も医局員の勤務時間管理は、医師の働き方改革における重要課題の一つとして、引き続き医師負担軽減のための取り組みを進めてまいります。

【はーとらいふ保育園】

開園 8 年目となる 2024 年度は、初めて園児受け入れ定数 30 名を達成し、収益も過去最高となりました。

活動実績としては、ホームページ・ブログで園児の様子を日々発信するとともに、かりゆし会職員の育児休業者支援として、年 2 回の「茶話会」（骨盤ケア・ベビーマッサージ・食育に関する勉強会・座談会）を開催しました。

また、コロナ禍が明け、数年ぶりに吉の浦会館での運動会を再開し、祖父母と園児の交流を図るなど、地域とのつながりを重視した活動も実施しました。さらに、近隣市町村との連携調整を進め、地域枠での園児受け入れも拡大し、保育士の確保が困難な中でも、各種活動を通して受け入れ枠の拡大につなげることができました。

今後も、かりゆし会職員が安心して復職できる体制づくりや、地域貢献、安全で質の高い保育の提供に努めてまいります。

人事・財務部長 比嘉 康文

法人事務局部長 年度総括

ここでは主に、法人事務局（施設課、管財課、人材開発室）、ハートライフクリニック、ハートライフ地域包括ケアセンター、西平医院の事務部門を中心に触れさせていただきたいと思います。

【法人事務局】

■ 施設課

- ・ 法人内設備関係の日々の点検、修理、専門業者等との連携はもちろんのこと、以下の項目についても大きな役割を果たしてくれました。
- ・ Da Vinci 導入プロジェクトチームに加入（手術室床が導入に耐えられるかの荷重調査、電源などの確認）
- ・ 病院機能評価関連の設備対応
- ・ 毎年の医療監視関連の対応
- ・ 空調稼働と換気を同時に行った影響による法人各所のカビ対策
- ・ 本館厨房床の改修工事
- ・ 講堂床のひび割れに対する業者との連携（調査・補修工事）

■ 管財課

- ・ 大規模修繕関連としては、以下の取り組みを行いました。
- ・ 第 3 期空調工事／個別空調取替工事（第 1 期：3 ～ 7 階病棟の病室空調、第 2 期：全館空調）
- ・ 看護研修棟（軽量鉄骨 2 階建て）の新設工事
- ・ 本院各所のエレベーターリニューアル工事の計画立案（施工は 2025 年度が主）
- ・ 本院ナースコール設備の入替工事の計画立案（施工は 2025 年度が主）
- ・ 院内用携帯電話のスマートフォン化・ネットワーク構築工事（施工は 2025 年度が主）

そのほかにも、法人内各所のカビ対策にも大きく貢献しました。

■ 人材開発室

2024 年度は大学派遣を除き、新たに 6 名の医師を採用することができました。

- ・ 4 月 1 日付で渡名喜 望海 医師（産婦人科）、宮城 孝雅 医師（総合内科）、與那覇 由衣子 医師（病理診断科）
- ・ 7 月 1 日付で加藤 滋 医師（消化器外科）、仲里 博恵 先生（産婦人科）
- ・ 9 月 1 日付で柏葉 匡寛 先生（乳腺外科）

これまでも取り組んできましたが、2025 年度は医師の定着率向上、特に内科医の採用に一層力を入れてまいります。

【ハートライフクリニック】

2024 年 4 月、ハートライフクリニックは開院 12 周年（2012 年 4 月開院）を迎えました。糖尿病内科、一般内科、小児科のすべての診療科で、コロナ前と同等の業績に回復しました。多くの地域の皆様にご利用いただけたことは、誠に嬉しい限りです。

医師・看護師を中心とした体制は比較的安定しており、収益も順調に推移していましたが、事務部（医事課）では、長年クリニックの医事課を支えてきた職員が、2024 年 12 月 1 日付で西平医院へ異動とな

りました。これは西平医院の事務課長退職に伴う人事であり、この原稿を執筆している 2025 年 7 月初旬時点において、2025 年 4 月 1 日付で昇進したこの職員の活躍には、感謝の念に堪えません。

その後のクリニックの事務体制についても、主任と副主任を中心に、残ったメンバーがしっかりと支えてくれています。

【ハートライフ地域包括ケアセンター】

2024 年度のハートライフ地域包括ケアセンターは、インフルエンザおよびコロナ感染に苦しめられた一年でした。特にインフルエンザについてはクラスターが発生し、現場の苦労と疲労は最大限に達しました。

そんな状況下でも、自身の業務に真摯に向き合い、職責を果たしてくれた職員の皆さんには、心から謝意を表します。一方で、現場の努力とは別に、経営面では計り知れない打撃を受けた年でもありました。現場の管理者とは、入居者様やそのご家族のためにも、今回の経験を無駄にしないことを誓っています。

事務部体制としては、2 年目を迎えた職員が順調に成長しており、係長（現課長）の負担軽減が実現しつつあります。今後、さらに強固なケアセンターの事務体制に発展することを期待しています。

【西平医院】

2024 年 4 月 1 日付で、西平医院がかりゆし会の一員となりました。

この原稿を執筆している 2025 年度には、さまざまな課題や問題が顕在化してきていますが、ここでは 2024 年度の事務体制に絞ってご報告いたします。

かりゆし会との合併後、医事課・総務課では煩雑な事務対応が続き、多忙を極めました。そのような中、電子カルテの導入も実施されました。長期的には業務の効率化につながるものの、当初は事務部門の負担が一層増大しました。さらに、2024 年 12 月および 2025 年 1 月付で、事務課長と医事課のベテラン職員が相次いで退職しました。法人としては、先述のとおり、ハートライフクリニックから医事係長を事務係長として異動させ、対応にあたらせました。また、医事課職員の欠員についても、経験者 2 名の採用により補充することができ、マンパワーの確保は比較的うまくいったと評価しています。

以上が、法人事務局部長としての 2024 年度の総括となります。

2025 年度もかりゆし会の発展のため、そして当法人をご利用いただいている多くの皆さまのために、精進してまいりたいと思います。

法人事務局部長 仲地 智俊

委員会活動

医療安全管理委員会

委員会名	医療安全管理委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	高良 誠	構成人数	17 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	比嘉 暢
活動目的	1) 医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者を中心にした医療の質向上をはかる。 2) インシデント事象の情報を収集し、分析から対策の確立をはかる。		
今年度の 主な活動内容	1) 医療事故防止対策の検討及び研究に関すること 2) 医療事故の原因調査に関すること 3) 事象対策に関すること 4) 事象防止のための提言に関すること 5) 事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6) 医療安全管理者養成に関すること		
備考			

医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会	開催日	発生時
委員長名	秋元芳典	構成人数	10 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	比嘉 暢
活動目的	病院で発生した医療事故、訴訟問題への迅速な対応を行う。		
今年度の 主な活動内容	1) 医療事故発生の事実及び経過の確認に関すること 2) 医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること 3) 医療事故発生に伴う対応策に関すること 4) 訴訟等の対応策に関すること		
備考			

医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会	開催日	不定期開催
委員長名	西原 実	構成人数	22 人
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
今年度の 主な活動内容	1) 4 月の新人オリエンテーションにて、委員会活動報告と廃棄物処理の説明を行う。 2) 感染性や非感染性廃棄物の廃棄不備などを写真に記録し、関係部署へ注意喚起を行う。 3) 電子マニフェストの運用継続。		
備考			

院内感染対策委員会

委員会名	院内感染対策委員会	開催日	毎月第 3 月曜日等
委員長名	普天間光彦	構成人数	12 名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	城間 克也
活動目的	ハートライフ病院の感染管理のため、院内感染に関する意思決定機関として関連事項の調査・審議を行う。		
今年度の 主な活動内容	1) 開催実績：定例毎月開催で 12 回開催、緊急会議 1 回開催（7 月新型コロナウイルス対策緊急会議） 2) 委員会における調査・報告内容 ICT（感染制御チーム）報告 ①サーベイランス（耐性菌 / 抗酸菌 / インフルエンザ / CD / 針刺しの発生報告） ②手指衛生状況（アルコール使用量、手指衛生遵守率） ③耐性菌アウトブレイク監視（MRSA） ④JANIS サーベイランス事業（全入院部門） ⑤環境ラウンド AST（抗菌薬適正使用支援チーム）報告 ①抗菌薬使用状況（総使用量、指定抗菌薬、使用届出）、AUD（抗菌薬使用密度） ②血液培養分離 ③菌血症・届出抗菌薬モニタリングの介入・フィードバック報告 ④JANIS サーベイランス事業（検査部門）		
備考			

安全衛生委員会

委員会名	安全衛生委員会	開催日	毎月第 4 木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	13 名
事務局・担当部署	事務局・総務課	担当者名	河上 裕一
活動目的	安全衛生管理体制の充実強化 危険有害要因の抽出と排除 職場環境の快適化と心身の健康づくり 感染症の防止		
今年度の 主な活動内容	・2024 年 4 月 春季職員健診実施（健診後事後措置実施 6 月～） ・2024 年 4 月 新入職員対象 安全衛生研修（講師：銘苅産業医） ・2024 年 4 月 職場巡視（1～3 部署 / 月）通年 ・2024 年 6 月 職員対象禁煙サポート事業（協会けんぽ共催） ・2024 年 8 月 職員 B 型肝炎ワクチン接種（1 回目） ・2024 年 9 月 職員 B 型肝炎ワクチン接種（2 回目） ・2024 年 10 月 秋季職員健診（健診後事後措置実施 11 月～） ・2024 年 11 月 職員インフルエンザワクチン接種 11 月 2 回実施 ・2024 年 11 月 職員対象新型コロナウイルスワクチン接種 ・2024 年 11 月 職員対象ストレスチェック実施 ・2025 年 2 月 職員 B 型肝炎ワクチン接種（3 回目）		
備考			

NST 委員会

委員会名	NST 委員会	開催日	毎月第 4 月曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	41 名
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	當眞 結子
活動目的	1. 低栄養にある患者のアセスメントを多職種で行い適切なアドバイスを行う 2. リンクナースの育成を行い、栄養サポートに対する質の向上を図る 3. NST 活動活発化にむけて NST 専門療法士の取得を目指す		
今年度の 主な活動内容	1. 低栄養にある患者のアセスメントを多職種で行い適切なアドバイスを行った。年間加算取得は 522 件であり、前年度より加算増加が出来た。 2. リンクナースの育成を行い、栄養サポートに対する質の向上を図った。症例検討会は全病棟のリンクナースで実施できた。又、栄養士による勉強会も開催した。 3. NST 活動活発化にむけて新規 NST 専門療法士取得の取組を行ったが、沖縄県内の研修会開催がなく参加出来なかった。 4. 栄養評価規定変更に伴い、GLIM 基準の導入を行った。		
備考			

エネルギー管理委員会

委員会名	エネルギー管理委員会	開催日	不定期
委員長名	渡慶次 学	構成人数	5 名
事務局・担当部署	法人事務局	担当者名	具志堅 徳明
活動目的	・各事業所の光熱費などが適正に使用されているかを年間を通して管理する。 ・省エネ器具や補助金などを活用して、光熱費の削減に努める。		
今年度の 主な活動内容	①感染対策室と協議の上、サーキュレーターで室内の空気を廊下等へ循環させれば、窓の開放は必須では無いとし、サーキュレーター使用を推奨した。（結露やカビ防止、空調負荷増加に伴う電気料金増加対策） ②法人全体として空調の設定温度は 24℃～ 26℃設定とする。 ③長時間不在になる場合の事務所や休憩室等、不要空調・照明のスイッチは切る。 ④節電ポスターを作成して法人全体に配布・周知し法人全体で節電に努める。		
備考	<委員の交代> エネルギー管理統括者（委員長）が西原院長から渡慶次副院長へ変更 エネルギー企画推進者が宮里課長から仲地部長へ変更		

栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会	開催日	毎月第 1 火曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	15 人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	真栄城 ゆかり
活動目的	栄養管理の充実、向上とその適正な運営（栄養管理、給食に関する問題点の改善及び対策）		
今年度の 主な活動内容	1. インシデント報告（誤配膳） 2. 外来栄養指導増の取り組み（外来師長と調整） 3. MUST 入力について（入力状況、体重測定） 4. 厨房床塗装工事報告 5. 当日栄養指導オーダーについて 6. 機能評価関連（病棟の献立掲示、選択メニュー再開） 7. 患者用スプーンの使用状況 8. 栄養管理計画書記載について（九州厚生局監査を終えて） 9. 食事を電子レンジで温める際の取り決め（ポスター作成） 10. 未開封の補助食品返却		
備考			

がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会	開催日	毎月第 2 木曜日
委員長名	国吉 史雄	構成人数	11 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	兼濱 亜紀
活動目的	がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実したがん診療の提供の推進を図る。		
今年度の 主な活動内容	1. 「沖縄県緩和ケア研修会」の運営開催2025年2月8日（参加者18名：院内16名、院外2名） 2. がん対策推進企業アクションからの情報紙（vol.10～22）を情報提供として患者、各部署へ配布 3. 患者向けがんの小冊子（がん治療情報など）を関連診療科に配布 4. 2022年症例の「沖縄県院内がん登録集計報告書」を関係部署、患者用として診療科へ配布 5. 「沖縄県がん患者妊孕性温存療法研究促進事業」について患者へ情報提供として冊子等を設置 6. 2023年症例の全国がん登録、院内がん登録の提出（588件） 7. 国立がん研究センター主催の院内がん登録予後調査支援事業への参加 8. 国立がん研究センター主催の院内がん登録QI研究への参加 9. がん対策推進企業アクションセミナー・アンケート調査への参加 10. 「精密検査医療機関名簿」作成（那覇市医師会・胃、大腸、肺、乳、子宮頸がん） 11. 「がん診療実施状況調査票」作成（沖縄県健康長寿課） 12. 「第4次沖縄県がん対策推進計画」に係る計画指標調査票作成（沖縄県健康長寿課） 13. 「5大がん生存率2024年」を更新し、ホームページに掲載 14. 「令和6年度がん診療進捗評価のためのアンケート調査」への参加（琉大がんセンター） 15. 緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキンググループ参加2024年6月・9月・12月・2025年3月（国吉）		
備考			

化学療法委員会

委員会名	化学療法委員会	開催日	毎月第1木曜日
委員長名	阿嘉 裕之	構成人数	12名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関 秀和
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
今年度の主な活動内容	・ プロトコールシステムの整備・改定 新規レジメン登録件数 22 件 ・ マニュアルの整備・改定（改訂：化学療法を受けられる方へのパンフレット） ・ 院内勉強会の開催（年 1 回：乳がんの最新治療 Up to date） 院内 50 名、院外 4 名の参加があった ・ 安全キャビネットの定期点検（フィルター交換等のメンテナンス） ・ 閉鎖式デバイスの導入・運用 無菌調製処理量の算定（1019 件 / 年） ・ 化学療法加算増加・がん患者指導料の算定増加への取り組み 外来腫瘍化学療法診療料1（抗悪性腫瘍剤を投与した場合）800 点：713 件 外来腫瘍化学療法診療料1（その他必要な管理を行った場合）350 点：397 件 ・ 外来内服薬に関する問診チェックリストの作成、運用 ・ 免疫チェックポイント阻害薬に関する連携強化・マニュアル作成		
備考			

呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会	開催日	毎週水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	33 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	屋比久 雄飛
活動目的	1. 人工呼吸器からの離脱支援：ウィニング計画の立案と実施、コンサルテーション。 2. 人工呼吸器装着患者の合併症予防のための支援。 3. 呼吸器関連デバイスの更新や運用検討。 4. 酸素療法や人工呼吸器使用に関する勉強会の開催。 5. 年に 1 回チームミーティングを実施し、意見交換やケアに関する情報収集を行う。		
今年度の主な活動内容	1. 毎週水曜日に行う院内ラウンド【2024 年度は年間 159 名に対してラウンド実施】 ①対象患者は人工呼吸器装着中で呼吸器から離脱を目標としている患者、もしくは離脱困難で長期間呼吸器管理が必要な患者や在宅人工呼吸器に移行する可能性のある患者への介入 ②病棟看護師やリハビリスタッフからの要請で酸素療法実施中の患者のデバイス選定やコンサルテーション 2. 人工呼吸器関連のデバイス変更や更新時の機器・デバイス選定への寄与		
備考			

個人情報保護委員会

委員会名	個人情報保護委員会	開催日	年 2 回（5 月・10 月）
委員長名	宮城 克己（個人情報保護管理責任者）	構成人数	6 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	宮城 克己
活動目的	社会医療法人かりゆし会において、個人情報保護計画を策定し、実施・評価・改善を行い、当法人職員に対して、個人情報保護を遵守する重要性を理解させ、実際に個人情報が適切に取り扱われることを活動目的とする。		
今年度の主な活動内容	1. 新入職職員へのオリエンテーションでの説明【2024 年 4 月 1 日】 2. セキュリティ USB 紛失についての状況確認・対応【2024 年 11 月 13 日】 3. 個人情報保護規定見直し【2025 年 1 月 7 日】		
備考			

診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会	開催日	毎月第 4 水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	17 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	真栄平 久美子
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為に必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	委員会毎月 1 回定例とし、第 4 水曜日に開催することを原則とする。 1) 検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2) 入院、外来診療録の整備と質的向上の為に諸条件に関すること 3) 診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4) 診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5) 診療録管理に関すること 6) 診療情報の提供に関すること 7) その他		
備考			

卒後臨床研修管理委員会

委員会名	卒後臨床研修管理委員会	開催日	年 2 回（7 月・3 月）
委員長名	西原 実	構成人数	50 名
事務局・担当部署	臨床研修センター	担当者名	新垣 麻子
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床研修管理委員会の運営に関し必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
今年度の主な活動内容	1. 2024 年度採用初期臨床研修医第 21 期生（8 名）の紹介 2. 2024 年度スケジュール確認 3. 「研修理念」および「研修目標・基本的方針」について 4. 2023 年度採用初期研修医第 20 期生（6 名）の修了判定 5. 研修延長について（1 名） 6. 2025 年度研修スケジュールの確認 7. 研修医からの意見・要望等の取り入れ・検討		
備考			

大規模修繕委員会

委員会名	大規模修繕委員会	開催日	不定期開催
委員長名	西原 実	構成人数	8 名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・病院機能維持のため、大規模改修工事の中長期計画を策定し、計画的に修繕改革を実施する。 ・大規模修繕工事予算を毎年 20,000 万円を理事会承認を得る。		
今年度の主な活動内容	・2024 年度の大規模修繕予算は無かったので、繰越予算 27,452 万円の予算で各修繕工事を計画・実施する。 1) 各個別空調機更新（3 期工事）工事完了 2) 軽量鉄骨造（2 階建）工事 3) 本館中央エレベーター（1・2 号機）更新工事 2025 年 6 月末完了予定 4) 各ナースコール（デジタル式）更新工事 2025 年 6 月末完了予定 5) 院内電話のスマホ化・ネットワーク構築工事 2025 年 7 月末完了予定 6) 西館側エレベーター（4・8 号機） 2025 年 8 月末完了予定		
備考			

地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会	開催日	年4回(5月・8月・11月・2月)
委員長名	西原 実	構成人数	19名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	金城 司
活動目的	ハートライフ病院が地域などからの要請に適切に対応し、地域における医療確保に必要な支援を行うために、必要な事項を審議する目的で地域医療支援病院運営委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	5月：2023年度 地域医療支援病院業務報告 8月：手術支援ロボット「ダヴィンチ」の紹介 11月：後方支援・介護施設との連携強化 2月：入退院支援室活動報告		
備考			

治験審査委員会

委員会名	治験審査委員会	開催日	毎月第2火曜日
委員長名	嘉川春生	構成人数	11名
事務局・担当部署	治験管理センター	担当者名	田中 健嗣
活動目的	臨床試験(治験等)を実施するために必要な第3者機関(院長の諮問機関)として、「薬機法(GCP)、臨床研究法」やその他指針等に従って、すべての被験者(参加者)の人権の保護、安全の保持及び福祉の向上を図ることを目的とする。臨床試験(治験等)の開始前から終了に至るまで、その責務は継続するものである。		
今年度の主な活動内容	稼働治験数:3件		
備考			

薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	12名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中 健嗣
活動目的	毎年、多くの医薬品が開発され、新たに薬価収載されている。この数多くの市販される医薬品の中から、患者個々の病態や経済性に考慮した医薬品を選定することは、薬物療法を適正に行うにあたって重要な事である。また、同種・同効の医薬品ならびに後発医薬品が多く薬価収載されており、これらの医薬品を無秩序に購入し使用することは、医学・薬学・経済面から見て合理的であるとはいえない。さらに新規購入医薬品が増えることで、使用されなくなった既存の薬剤の整理を行わない限り、採用医薬品は増加し過剰在庫による経済的負担と、医薬品を管理する人的、スペース的負担を増加させる。従って薬物療法の適正化と、医薬品管理業務における、医薬品の流通を円滑に行う為に、薬事審議委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	委員会の役割 ・新規採用医薬品の採用 ・後発医薬品の採用方法 ・既採用医薬品の再評価の必要性 ・陳旧化した医薬品の取り扱い ・同種・同効薬の再評価 ・院内製剤の採否の決定 ・医薬品の適正な使用方法の協議 ・医薬品の副作用及び感染症の協議 ・在庫医薬品の適切な管理と運用 ・病院医薬品集・医薬品情報等について ・臨床試用医薬品の採否の決定 その他の審議事項 ・構成委員の改訂 ・CoVid19 対応薬剤の採用 ・供給不安定薬剤の供給体制の検討・対応 ・新規院内製剤(クエン酸 Neb) 採用 2024年度 審議実績 ・審議薬剤・・・83種・100規格(内服:37、注射:35、外用:11、他:3) ・新規採用・・・40種・46規格 ・採用切り替え・・・5種・6規格 ・後発への切り替え・・・41種・48規格		
備考			

輸血療法委員会

委員会名	輸血療法委員会	開催日	奇数月第 1 金曜日
委員長名	比嘉 宇朗	構成人数	6 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下 恒
活動目的	輸血療法の安全な実施及び血液製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血療法に係る全般を議題、検討内容とする。		
今年度の 主な活動内容	1. 血液製剤使用状況の確認：製剤毎、医師毎の使用状況の集計を行い、大量使用症例は内容の検討を行いました。 2. 廃棄血の発生状況を検討し対策をおこないました。 ※廃棄血液金額：2023 年度（264,014 円）⇒ 2024 年度（329,036 円）で増加している。 3. 輸血管理料－Ⅱ（110 点）の申請を行いました。 ※血液製剤（アルブミン製剤を含む）の使用患者に月 1 回を限度として算定される。 4. 輸血適正加算－Ⅱ（60 点）はアルブミン製剤の使用量が基準値に満たず、申請できませんでした。 5. 沖縄県合同輸血療法委員会への参加。 ※他院の資料を参考に当院との比較検討も行った。 6. 2024 年、輸血関連インシデントの発生状況と内容の検討を実施した。		
備考	1. 2024 年度：輸血管理料－Ⅱ加算は申請可能です。 輸血適正加算－Ⅱは、FFP・アルブミンの使用量により加算申請出来ませんでした。 2. 廃棄血金額を 50 万円以下に抑えることを年度目標としています。（今年度は達成）		

臨床検査適正委員会

委員会名	臨床検査適正委員会	開催日	奇数月第 2 金曜日
委員長名	秋元 芳典	構成人数	6 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	斎藤 辰好
活動目的	臨床検査適正化委員会は検査の正確性の確保や、適正な検査室運営を活動目的とする。		
今年度の 主な活動内容	1. 共用基準値の導入 2. 外部・内部の精度管理の実施・管理 3. 新規院内導入検査の検討 4. 安定した検査体制の人員検討・確保 5. 各種認定試験への受験補助や資格保持の補助 6. 予防医学センター機能評価に向けて 7. 各検査材料の申請の検討		
備考			

研究倫理委員会

委員会名	研究倫理委員会	開催日	不定期
委員長名	秋元 芳典	構成人数	12 名
事務局・担当部署	治験事務局	担当者名	伊禮 勇一
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院（以下、「病院」という。）の職員が行う医療行為および医学研究（以下、「医療行為等」という。）において、「ヘルシンキ宣言」（2000 年エジンバラ修正、2002 年ワシントン総会で注釈追加）を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
今年度の 主な活動内容	1) 医療にかかる法律の順守に関する事項 2) 患者の権利に関する事項 3) 医療行為等をめぐる生命倫理に関する事項 4) 臓器移植および新治療法の採用に関する事項 5) その他、病院長または委員長が必要と認めた事項 議題数：24 件		
備考	新法に則った、倫理委員会の体制作りに取り組んでおります。		

DPC 委員会

委員会名	DPC 委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	16 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	真栄平 久美子
活動目的	DPC 委員会は、DPC 対象病院として DPC 業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
今年度の主な活動内容	1) 適切なコーディングを行う体制に関すること。 2) 診断及び治療方法の適正化標準に関すること。 3) 院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関すること。 4) その他 DPC 業務に係る課題に関すること。		
備考			

緩和ケア委員会

委員会名	緩和ケア委員会	開催日	毎週第 4 月曜日
委員長名	花城 直次	構成人数	38 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	安村 公均、高宮 里沙、長浜 洋美
活動目的	がん患者及び家族の治療や症状、生活や精神的不安など感じている苦痛に対して、医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、MSW、臨床心理師がチームとして協働し、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルの面からケアを提案し、苦痛の軽減や療養の場所、生活を見据えて支援していく。		
今年度の主な活動内容	緩和ケアチームラウンドを麻薬使用を伴うがん患者を中心に毎週月曜日に行っています。 自宅退院 12 件、ホスピス 11 件、在宅サービス利用 7 件、死亡退院 20 件でした。 1. 緩和ケア診療加算取得とマニュアルの見直し。 2. 緩和ケア診療加算（390 点）年間目標 50 件→ 8 件。 3. 個別栄養食事管理加算（70 点）4 件 / 年。 4. 多職種による症例検討を実施し、多職種や他病院におけるケアや知識を共有する。 5. 緩和ケア研修（麻薬の使用方法）の実施。 6. 緩和ケア領域研修の実施 2 回 / 年。 7. ホスピス見学研修の実施 1 回 / 年。 8. がん性疼痛緩和指導管理料（200 点） 件数 166 件		
備考			

診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会	開催日	毎月第 4 月曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	9 名
事務局・担当部署	医事入院課 / 医事外来課	担当者名	田中 淳也
活動目的	1) 当院目標査定率 0.14% の達成に努める 2) 当院目標返戻率 入院 3% / 外来 1% の達成に努める 2) 査定項目の共有・対策の検討		
今年度の主な活動内容	1) 保険診療に関する事 2) 請求漏れ、査定減、返戻減の対策に関する事 3) 保険請求事務等の改善に関する事 4) レセプト作成、点検に関する事		
備考			

IT 推進委員会

委員会名	IT 推進委員会	開催日	毎月第 3 水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	17 名
事務局・担当部署	企画室電算係	担当者名	宮城 克己
活動目的	電子カルテ・オーダリングシステムをはじめとした院内情報システム（機器）の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内 IT 環境の充足を図る。		
今年度の主な活動内容	①西平医院 IT 環境整備 ②電子カルテシステムサーバーリプレイス ③長期署名システム導入 ④グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 ⑤ IT 導入に伴うセキュリティ管理 ⑥ IT 機器購入の検討 ⑦各部門システムの導入、運用検討、保守等の管理 ⑧職員の IT 知識の向上 ⑨災害時等への対応訓練		
備考			

クリニカルパス委員会

委員会名	クリニカルパス委員会	開催日	毎月第 3 月曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	52 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	大城 克枝
活動目的	クリニカルパスを充実することで、医療の質の向上を図る 患者中心の安全な医療を提供する クリニカルパスを充実させ、業務の効率化を図るとともに、職員の業務負担軽減を図る 在院日数の短縮を図るとともに、コスト削減を担う パス大会の円滑な運用を図る		
今年度の主な活動内容	パスの作成・運用、勉強会の開催、パス大会の開催、その他		
備考			

救急総合診療部委員会

委員会名	救急総合診療部委員会	開催日	毎月第 2 金曜日
委員長名	三戸 正人	構成人数	23 名
事務局・担当部署	救急外来 ER-Aide	担当者名	萩原 良幸
活動目的	救急総合診療部の体制（人材確保を含む）を整える。 問題点の検討や改善など要望を早めに対応できるような正式なルートをつくる。		
今年度の主な活動内容	・救急搬送患者、時間外救急患者の受け入れに關しての流れや問題点、救急総合診療部に關わるすべての職種のワークライフバランスを考えながら、話し合いをもち、解決策を考え、活動目的を達成する。 ・救急総合診療部小委員会にて初期問題を検討する。重要事項に關しては、救急総合診療部委員会で再検討し、救急総合診療部委員会としての承認を得る。その後、議事録は翌週の運営委員会で報告する。 ・病院救命士の活動を病院救命士院内メディカルコントロール委員会で検討し、救急総合診療部小委員会を通して救急総合診療部委員会で報告する。 ・救急症例検討会 計 3 回開催 第 51 回（令和 6 年 5 月） 参加人数 115 名（院内 21 名 院外 94 名） 第 52 回（令和 6 年 8 月） 参加人数 95 名（院内 23 名 院外 72 名） 第 53 回（令和 6 年 11 月） 参加人数 75 名（院内 15 名 院外 60 名）		
備考	救急総合診療部小委員会は、月に 1 回以上（第 1 金曜日）、救急総合診療部委員会は毎月（第 2 水曜日）1 回開催とする。		

投書対策委員会

委員会名	投書対策委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	5名
事務局・担当部署	事務部・総務課	担当者名	河上 裕一
活動目的	患者さん等からのご意見を収集し、医療サービス向上に繋げること。		
今年度の 主な活動内容	患者さん等に対する接遇とコミュニケーションの質並びに待ち時間短縮の向上に努めた 患者さん等からのご意見に対応 快適な療養環境に努めた 2024年度投書件数 71件（お褒め 30件 苦情・要望 47件）※単一投書に両意見記載の場合あり		
備考			

透析機器安全管理委員会

委員会名	透析機器安全管理委員会	開催日	3ヶ月毎、第2月曜日
委員長名	内里 司	構成人数	5名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	内里 司
活動目的	透析機器安全管理委員会は血液透析業務における医療設備、医療機器に関連した安全管理及び品質管理を目的とし設置する。		
今年度の 主な活動内容	(1) 透析教育修練カリキュラムの整備に関すること。 (2) 透析液管理マニュアル完備に関すること。 (3) 透析機器及び水処理装置の保守・点検等の管理計画の策定に関すること。 (4) 管理記録、測定記録、報告書の作成並びに保管、管理に関すること。 (5) 職員への適正使用のための研修実施に関すること。 (6) 関連医療情報の安全使用のために必要となる情報の収集、その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施に関すること。 (7) その他、透析液に関すること。		
備考	透析機器安全管理委員会会議は3ヶ月毎に1度実施する。有事の際は臨時会議を実施する。		

広報委員会

委員会名	広報委員会	開催日	5月、8月、11月、2月の第2水曜日
委員長名	渡慶次 学	構成人数	7名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念 政治
活動目的	1) 各施設の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外にPRする。 2) 各施設の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3) 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4) 各施設における掲示物などに関して、規定を作成する。		
今年度の 主な活動内容	広報係より事業に関する広報・広告活動を提起し多職種で検討を行う。メインサイト及びリクルートサイトのリニューアルについて次年度の事業化として検討に着手。 人事課と協働したリクルート関連の業務についてSNS利活用の増加などにより、広報係1名の増員を次年度に実施することとなった。		
備考			

年報作成委員会

委員会名	年報作成委員会	開催日	不定期
委員長名	嘉川春生	構成人数	15名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	仲田 尚正
活動目的	かりゆし会年報の企画・データ収集・作成およびそれらのデータ保全。		
今年度の 主な活動内容	1. 2023年度かりゆし会年報の企画およびデータ収集、編集、製本(全314ページ)。 2. 科別実績報告をオンデマンド配信		
備考			

手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会	開催日	不定期
委員長名	島袋 泰	構成人数	34 名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	東恩納 小百合
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制職員・設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。 手術スケジュールの調整に関する事、安全管理・感染管理に関する事、設備に関する事、器機の保守点検、新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。 議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。		
今年度の主な活動内容	2024 年 8 月 1 日 1. 手術室の現状報告 2. 手術室使用の優先枠について 3. その他 術後疼痛管理加算について 8/2 から開始 2025 年 2 月 6 日 1. 手術室看護師の人員について 2. ダヴィンチ枠について 3. 院外医師枠について		
備考			

台風対策委員会

委員会名	台風対策委員会	開催日	必要時（原則 13 時開催）
委員長名	西原 実	構成人数	16 名（医局・看護部・医療技術部・事務部）
事務局・担当部署	事務部 総務課	担当者名	河上 裕一
活動目的	1. コンディション発令（台風対策）の有無、病院診療及び、職員出勤の有無などを検討し決定する。 2. コンディション解除の日時を検討し、病院診療時間および職員の出勤時間などを決定する。		
今年度の主な活動内容	・ 台風 13、14 号接近に伴う対策会議開催		
備考			

ICU・HCU 合同運営委員会

委員会名	ICU・HCU 合同運営委員会	開催日	不定期
委員長名	島袋 泰	構成人数	21 名
事務局・担当部署	ICU	担当者名	勝連しのぶ
活動目的	・ 質の高い医療提供の充実 ・ より効率的な ICU・HCU 運営 ・ 重症患者（救急・術後・外傷）診療の質の向上に向けた教育と業務の効率化を図る		
今年度の主な活動内容	・ 2024 診療報酬改定に伴い ICU 入室基準見直し ・ SOFA 入力方法の変更 ・ ICU 担当医について ・ 2024 診療報酬改定に伴い HCU 入室基準見直し		
備考			

図書委員会

委員会名	図書委員会	開催日	不定期
委員長名	秋元 芳典	構成人数	5 名
事務局・担当部署	総務課・図書係	担当者名	宮城 映子
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営を図るため、必要な事項等を審議検討することを目的とする。		
今年度の 主な活動内容	・各部署購入図書・雑誌検討 ・データベース利用検討 ・文献複写依頼 ・蔵書点検 ・所蔵目録作成 ・オンラインセミナー告知（「UpToDate」等） ・廃棄資料検討、及び除籍処理 ・西平医院用図書・雑誌管理開始（2024.5月～） ・オンラインジャーナル「New England Journal Medicine」開始（2024.8月～） ・研修会（7月：参加・2月：参加 / 発表）		
備考			

人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会	開催日	毎月第2金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	6 名
事務局・担当部署	法人事務局 人事課	担当者名	比嘉 康文
活動目的	1. 医療の質、向上に寄与するための人材確保 2. 各部門の現状把握・分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し、経営に寄与する。 3. 職員の採用（増員・補充・異動・その他）は人事検討委員会を通して検討する。承認後は理事会調整会議にて再審議し、増員等新規に関しては理事会の承認を得る。 4. 昇進・昇格人事を検討し、理事会へ提案し承認を得る。 5. 業務委託の検討		
今年度の 主な活動内容	2024（令和6）年度の人事検討委員会開催数 12 回。承認された事案は理事会調整会議及び理事会で審議され決定される。主な審議内容は、①昇進人事②業務拡張に伴う増員③退職・産休に伴う補充④障がい者雇用⑤給与表・資格手当見直し⑥その他処遇改善手当の見直しなどがある。2024 年度は、かりゆし会全体で 150 名を採用した。（ハートライフ病院 98 名、ハートライフクリニック 7 名、地域包括ケアセンター 11 名、西平医院 26 名、はーとらいふ保育園 4 名、附随附帯業務 4 名） <主な増員・手当新設・その他> ・臨床工学科 CE 増員 1 名 ・総務課 事務職 増員 1 名 ・西平医院 応援手当新設（医師・放射線技師・検査技師・CE） ・薬局助手正職枠変更（正職枠 2 名、契約職員 3 名枠） ・クリニック（外来）医師事務作業補助者 増員 1 名（定数 7 名） ・西平医院（医事課）増員 1 名（定数 6 名） ・西平医院（医師事務作業補助者）増員 1 名 ・看護補助者・正職員登用基準変更 ・ハートライフクリニック糖尿病患者会手当見直し ・リハビリテーション科（理学療法士）増員 7 名 ・看護部（東館 4・5 階）分娩手当を原資とした総リーダー手当新設、分娩手当の変更 ・研修医不在時の内科と外科当直手当て増額 ・時間外における病理解剖時の検査技師への手当新設 ・手術室勤務者（看護師 / CE）勤務地手当新設		
備考			

教育・研修管理委員会

委員会名	教育・研修管理委員会	開催日	毎月第 2・4 木曜日
委員長名	釜野 武志	構成人数	8 名
事務局・担当部署	医局 / 看護部 / 医療技術部 / 事務部	担当者名	比嘉 康文
活動目的	医療・看護・医療技術、組織管理・運営、患者接遇、医療連携（ネットワーク）、IT 等に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化、向上に寄与する 全職員対象及び委員会・部門別の教育、研修を一括管理する。		
今年度の 主な活動内容	・全職員対象の講演会、研修会実施の確認 ・各部門の学生実習受入状況の確認 ・医療安全・感染対策などの研修状況の確認 ・教育研修開催方法（原則）作成 ・研修会（勉強会）及び講演会参加に伴う勤務について方針作成 ・実習生受入れに関する規定作成		
備考			

診療材料検討委員会

委員会名	診療材料検討委員会	開催日	不定期
委員長名	渡慶次 学	構成人数	19 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	新垣 喜也
活動目的	①診療材料及び、医療消耗品に係る方針に関する事 ②診療材料の高額案件や、纏め買い等で高額となる申請に関する事 ③購買管理・在庫管理・使用管理に関する事 ④発注事務等の改善に関する事 ⑤診療材料に関する職員教育及び啓蒙に関する事 ⑥新規治療に関わる医療材料の審議に関する事 ⑦全各号に定めるものの他、理事長が必要と認める事項		
今年度の 主な活動内容	2024 年度の新規採用は 13 件 医療材料に対する報告事項は 5 件となっております。		
備考			

ワークライフバランス委員会

委員会名	ワークライフバランス委員会	開催日	毎月第 4 木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	13 名
事務局・担当部署	人事課	担当者名	宮城 好美
活動目的	全職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する		
今年度の 主な活動内容	1. 医師および医療従事者の負担軽減推進 2. 医師当直明け午後休日、休日の推進 3. タイムレコーダー打刻徹底周知（実労働時間の把握） 4. 職員満足度調査（2025 年 3 月実施） ※安全衛生委員会、人事課と共同 5. 36 協定の遵守、特別条項の遵守 6. 年次有給休暇の管理（法定年 5 日取得） 7. 働き方改革関連への対応 8. 医師労働時間短縮計画の検討・決定 ※医師の働き方改革検討委員会と共同 9. 医師および医療従事者の負担軽減及び処遇改善（計画書作成・評価）		
備考			

患者サポート委員会

委員会名	患者サポート委員会	開催日	毎週水曜日
委員長名	崎原 徹裕	構成人数	7名
事務局・担当部署	医事外来課	担当者名	上原 裕貴
活動目的	1. 患者との対話による整理と明確化 2. 窓口担当者と各部門との連携による支援 3. 窓口担当者及び、仲介機能による問題解決への支援		
今年度の主な活動内容	今年度は適時調査が 2024 年 11 月 22 日にあり、患者相談窓口を正面玄関のわかりやすい位置へ変更、マニュアルの改定を行い、常時専任看護師配置しました。 ・ 患者さんの語りに耳を傾け、医師、各部門の責任者とカンファレンスを行い、医療安全管理者がスタッフへのアドバイス及び、委員会での共有を行い改善に努めました。 ・ 毎週水曜日の委員会にて報告及び投書委員会より投書にあがった事案について共有しました。 ・ 面会受付の場所が分かりにくいとの声があり、看板【A】という表記を行い、院内で共有しました。 ・ インシデント報告の一部は、接遇やコミュニケーションエラーによるものであり、その都度現場に周知し改善を図っています。		
備考			

QI 委員会

委員会名	QI 委員会	開催日	不定期
委員長名	西原 実	構成人数	11名
事務局・担当部署	経営企画分析室	担当者名	安里 竜
活動目的	当院は 2012 年度より引き続き日本病院会主催の「QI プロジェクト 2020」に参加しております。 QI (Quality Indicator) とは「医療の質の指標」を意味しています。		
今年度の主な活動内容	・ QI プロジェクト 2022 年度 41 項目の臨床指標データの収集。 ・ 本誌の「医療の質 Quality Indicator (QI)」のページでデータをご覧いただけます。 2023 年下半年からは日本医療機能評価機構主催の「医療の質可視化プロジェクト」に参加しています。		
備考			

物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会	開催日	毎月第一金曜日
委員長名	渡慶次 学	構成人数	12名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	諸見里 和也
活動目的	・ 委員会の年間予算内で、現場に必要な物品を検討し優先順位をつけて必要物品を購入すること。 ・ 年度内に購入が難しい物品などは、次年度の予算で購入するように調整する。		
今年度の主な活動内容	・ 2024 年度の物品購入委員会で審議し、理事会で承認を得た案件は 52 件で、総額約 33,930 万円の医療機器などを購入した。		
備考			

災害対策委員会

委員会名	災害対策委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	渡慶次 学	構成人数	18名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	河上 裕一
活動目的	災害発生時、来院する傷病者に対し、迅速・的確に対応し適切な災害医療を提供することを目的とする。 火災発生時の初期消火・通報・避難誘導訓練の定期実施 (2 回 / 年度)		
今年度の主な活動内容	2024 年 4 月 消火訓練実施 (消火器の取扱い・消火用散水栓の取扱い) 2024 年 9 月 火災・避難訓練実施 (発災場所: 本館 5 階病棟) 2024 年 10 月 大規模災害対策事前研修 (トリアージ・クロノロ) 2024 年 11 月 大規模災害対策訓練実施 (机上訓練・実動訓練)		
備考			

無料健康講座委員会

委員会名	無料健康講座委員会	開催日	毎月第 3 木曜日
委員長名	崎原 徹裕	構成人数	4 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	金城 司
活動目的	地域に向けて医療に関する教育・啓蒙活動を行う。		
今年度の 主な活動内容			

施設基準検討委員会

委員会名	施設基準検討委員会	開催日	毎月第 2 木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	12 名
事務局・担当部署	総務課 施設基準係	担当者名	佐和田 安彦 當間 修斗
活動目的	1. 医療法で定める医療機関の職員配置、健康保険法等での規定に基づく基本診療料・特掲診療料等に 対し、施設基準の提案・検討・申請を積極的に行う。 2. 多職種間の連携を図り、情報の共有・施設基準申請の促しを図っていき、医療機関の機能・設備・ 診療体制を定め、安全やサービス等の価値を高める。		
今年度の 主な活動内容	1. 入院基本料、特掲診療料等の施設基準状況の把握及び管理 2. 新規施設基準項目の届出検討 3. 算定率向上ワーキンググループ報告内容の共有 4. 令和 6 年度診療報酬改定の新規施設基準届出 5. 手術の施設基準 内視鏡支援機器（ダビンチ）関連の届出検討 6. 九州厚生局適時調査対応 7. 厚労省病床機能・外来機能報告の対応		
備考			

摂食・嚥下委員会

委員会名	摂食・嚥下委員会	開催日	毎週水曜日ラウンド 毎月第2水曜日ミーティング
委員長名	赤澤 幸則	構成人数	27名
事務局・担当部署	リハビリテーション科	担当者名	大城 盛彦
活動目的	- 入院患者の誤嚥性肺炎防止 - 摂食機能療法加算の取得 - 多職種での食支援の知識・技術の向上		
今年度の 主な活動内容	- 週1回の嚥下カンファレンスとラウンド - 耳鼻科医師、言語聴覚士、看護師、栄養士、歯科衛生士、薬剤師の多職種でカンファレンスを行い、嚥下障害や口腔内環境に問題がある患者様への介入行ってきました。各職種からのアドバイスを病棟でのケアに活かせるように努めていますが、周知するのに難渋しておりました。そこで、今年度は看護師を中心に人材育成すべくプロジェクトを立ち上げ勉強会や実践を指導してきました。多職種での連携を行うべく共有シートの作成を行い今後の介入へつなげたいと考えております。 2024年の摂食機能療法算定の算定数：1,135件（1件：185点）で例年より30件ほど下回っております。次年度は、機能療法算定の対象の見直しを行い、VE検査の件数アップを計画しており、算定数の増加も期待できると考えます。		
備考			

褥瘡対策委員会

委員会名	褥瘡対策委員会	開催日	毎月第3火曜日
委員長名	立津 朝成	構成人数	50名
事務局・担当部署	褥瘡対策管理室	担当者名	宮平 良太
活動目的	- 入院患者の褥瘡やスキンテアなど皮膚トラブルの発生を予防する。 - 褥瘡発生（入院時に有する場合も含む）患者に対して適切なケアを実施する - 褥瘡ケアに対する質の向上 - スタッフへ褥瘡に関連した教育の実施 - 褥瘡ハイリスク患者ケア加算の取得		
今年度の 主な活動内容	毎週火曜日：褥瘡ハイリスク患者カンファレンス 第1・3・5火曜日：褥瘡カンファレンス 第2・4火曜日：褥瘡回診 毎週火曜日に、褥瘡専従看護師と褥瘡病棟リンク看護師にて褥瘡ハイリスク患者のカンファレンスを行い、褥瘡予防計画を立案し、病棟看護師にて実践しています。 また、火曜日には形成外科医師・褥瘡専従看護師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士・褥瘡病棟リンク看護師と共に隔週ごとでカンファレンスと回診を行っています。多職種で行うカンファレンスと回診では、医師から看護師または患者自身へ処置の指導、理学療法士によるポジショニングの指導、薬剤師からは外用薬の適正使用について指導を実施しています。低栄養状態にある患者を対象に、管理栄養士さらにNSTチームや摂食・嚥下チームと連携し栄養管理方法について検討を行っています。 また、退院後の処置や自宅での褥瘡予防などの指導を行い退院後を見据えた活動にも力を入れています。		
備考			

ポリファーマシー対策委員会

委員会名	ポリファーマシー対策委員会	開催日	毎月第2火曜日
委員長名	佐藤 直行	構成人数	16名
事務局・担当部署	医事入院課	担当者名	翁長 良篤
活動目的	多剤服用されている患者さんの処方薬剤を総合的に評価・調整する事で、副作用や合併症のリスクを減らし、より良い生活が送れるよう支援・活動を目的としています。		
今年度の 主な活動内容	入院時の持参薬より、対象者を抽出。多職種によるカンファレンスを実施し、処方内容の変更や中止を行った。毎月、ポリファーマシー対策委員会を開催し、考察・改善点・提案・検討を行い実行しています。 2024年度 - 薬剤総合評価調整加算（退院時1回）100点 250件 - 薬剤調整加算（薬剤総合評価調整加算）150点 88件 - 薬剤総合評価調整管理料 250点 8件		
備考	2023年度、5名構成でした。2024年度から、各関係部署及び病棟（リンクナース）が参加する事で、前年よりも対策強化されています。		

病床利用率向上対策委員会

委員会名	病床利用率向上対策委員会	開催日	毎週火曜日
委員長名	西原 実	構成人数	48 名
事務局・担当部署	医事入院課・入退院調整	担当者名	田中 淳也・外間 真紀子・佐和田 安彦
活動目的	病床間及び関連部門との連絡調整を行い、病床の効率的運用について情報を共有する ・新規入院患者数 病床利用率の向上 ・DPC II 期間での退院調整 ・診療報酬加算取得可能分野の算定率向上		
今年度の 主な活動内容	1. 委員会における報告内容 ①病院全体の病床利用の推移 ②各病棟の DPC 入院期間 II 患者の割合 ③週次の診療科別実績（新規入院 病床利用） ④重症度、医療・看護必要度の推移 2. 活動内容 ①各部署の師長・各診療科部長・主治医間で情報共有し円滑な退院支援を行う ②紹介患者は断らない（病院全体での地域医療連携の推進及び充実） ③柔軟な病床管理（病院各部署のチームでベットコントロールを担う）		
備考			

高難度新規医療技術評価委員会

委員会名	高難度新規医療技術評価委員会	開催日	適宜
委員長名	普天間 光彦	構成人数	12 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	比嘉 暢
活動目的	高難度新規医療技術（ロボット支援下手術）を用いた医療の適正な提供を図る。		
今年度の 主な活動内容	1) 倫理的及び科学的妥当性に関すること 2) 適切性に関すること 3) 適切な提供方法に関すること 4) その他高難度新規医療技術に関すること		
備考			

ハートライフクリニック 2024年度 年次報告

Annual report of Heartlife Clinic 2024



理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 生活習慣病の自立支援
2. 小児プライマリー（初期）医療
3. 地域循環型医療（かかりつけ医との連携）
4. 生活習慣病改善の指導で健康長寿を目指す
5. 研修教育クリニック（地域の医療関係者を含めて）
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切



ハートライフクリニック

年報発刊によせての挨拶



地域とともに歩むクリニックの一年

平素よりハートライフクリニックの運営にご協力頂き誠にありがとうございます。
2024年度の年報をお届けするにあたり、私たちハートライフクリニックの一年の歩み
をご報告申し上げます。

2024年度は、長く続いた COVID-19 の影響がようやく落ち着き、本来のクリニック
の医療体制へと戻ることができました。患者さまとのふれあいや、地域に根ざした診
療活動のひとつひとつが、どれも改めて尊いものだったと実感した一年でした。

内科では、高血圧や脂質異常症などの生活習慣病、気管支喘息などの慢性疾患を中心
に定期的なフォローアップ診療を実施し、また地域の皆さまの急な体調不良などの幅広
い健康問題にも真摯に取り組んでまいりました。禁煙外来では、予防医療という観点か
らも力を注ぎました。糖尿病内科においては、より専門性の高い治療が求められる方々
へ、個々に合わせた丁寧な診療を心がけました。中でも糖尿病教室は、web 教材から
冊子へと形を変え、患者さまとの対話の中で活用するスタイルへと進化しました。また、
患者会では農家への社会見学や食事会など、心と体の健康を共に育む取り組みも行うこ
とができました。

小児科では、季節性疾患への対応に加えて、ワクチン接種による予防医療にも力を入
れ、お子さまの健やかな成長を支え続けてまいりました。

私たちハートライフクリニックは、幼児期・青年期・中年期・高齢期と、すべての世
代の健康に向き合いながら、「くunchi」のサポートに努めております。どんな日も、職
員一人ひとりが「笑顔で帰っていただきたい」との思いを胸に、診療に取り組んでいます。

今後も皆さまの暮らしにそっと寄り添いながら、安心して通っていただける場所であ
り続けたいと願っております。引き続き、あたたかいご支援とご協力を心よりお願い申
し上げます。

社会医療法人かりゆし会ハートライフクリニック
院長 山本 壽一

クリニック概要

(2024 年 4 月 1 日現在 / データ作成 ハートライフクリニック 松原)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフクリニック

所在地

〒 903-0101 沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地

連絡先

電話 (098) 882-0810 (代表)

FAX (098) 882-0820

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/clinic/>

管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

院長 山 本 壽 一

施設概要

敷地面積及び建物概要

敷地面積 5,866.90㎡ 建築面積 2,674.97㎡ 延べ床面積 5,959.94㎡
規模構造 鉄筋コンクリート造 地上 2 階建

職員数

総数 58 名

職種別

(2024 年 4 月 1 日現在 / データ作成 人事課 玉那覇)

職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	5	保育士	1	健康運動指導士	2
非常勤医師	9	臨床検査技師	3	一般事務	9
看護師	13	放射線技師	1	その他	6
准看護師	1	管理栄養士	2		
クラーク	5	理学療法士	1	総計	58

指導医・専門医・認定医

(2024年5月時点 データ作成 企画室広報 仲田)

名称	人数
日本内科学会認定内科医	8
日本内科学会総合内科専門医	5
日本内科学会指導医	2
日本循環器学会循環器内科専門医	2
日本小児科学会専門医	1
日本透析医学会専門医	1
日本呼吸器学会専門医	1
日本糖尿病学会専門医	4
日本糖尿病学会研修指導医	2
日本内分泌学会専門医	1

名称	人数
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医	2
日本内分泌学会内分泌代謝科指導医	2
内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医	2
日本消化器病学会専門医	1
日本消化器がん検診学会認定医	1
日本消化器内視鏡学会専門医	1
日本消化器内視鏡学会指導医	1
日本骨粗鬆症学会認定医	1
日本医師会認定産業医	3
医学博士	1

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 生活保護指定医療機関
3. 被爆者一般疾病医療機関
4. 各指定難病医療機関
5. 各指定小児慢性特定疾病医療機関
6. 労災保険指定医療機関

診療体制

標榜診療科目

糖尿病内科・内科・小児科

その他、専門外来など

- 禁煙外来

受付時間（診療科により異なります）

月曜日～金曜日 午前 7:45～11:30
午後 13:00～16:30
土曜日（内科/2020年4月まで診療）
午前 7:45～11:30

診療時間（診療科により異なります）

月曜日～金曜日 午前 9:00～12:00
午後 14:00～17:30
土曜日（内科/2020年4月まで診療）
午前 9:00～12:00

休診日

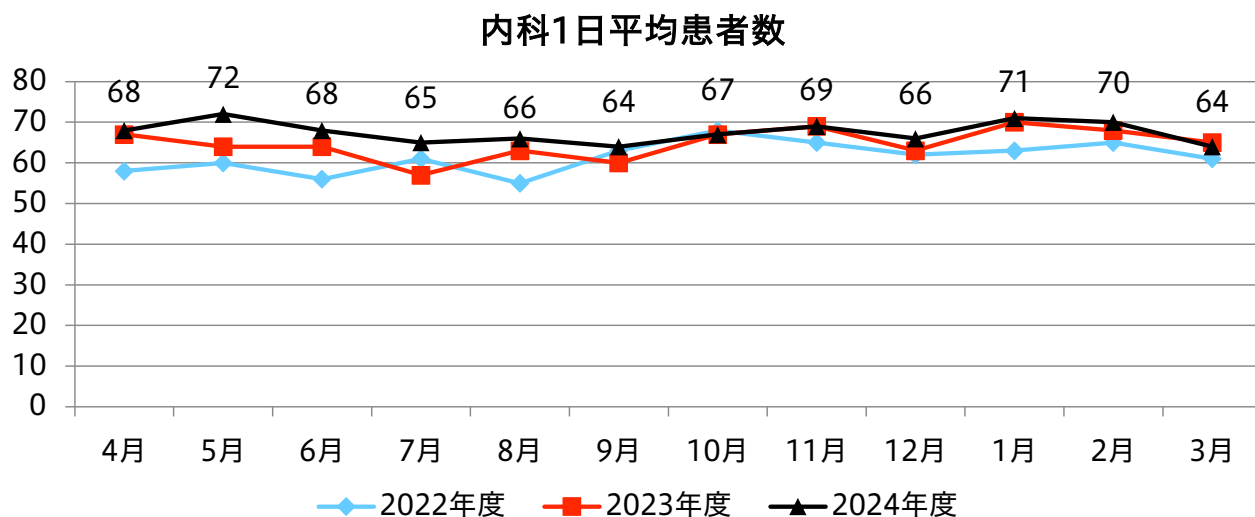
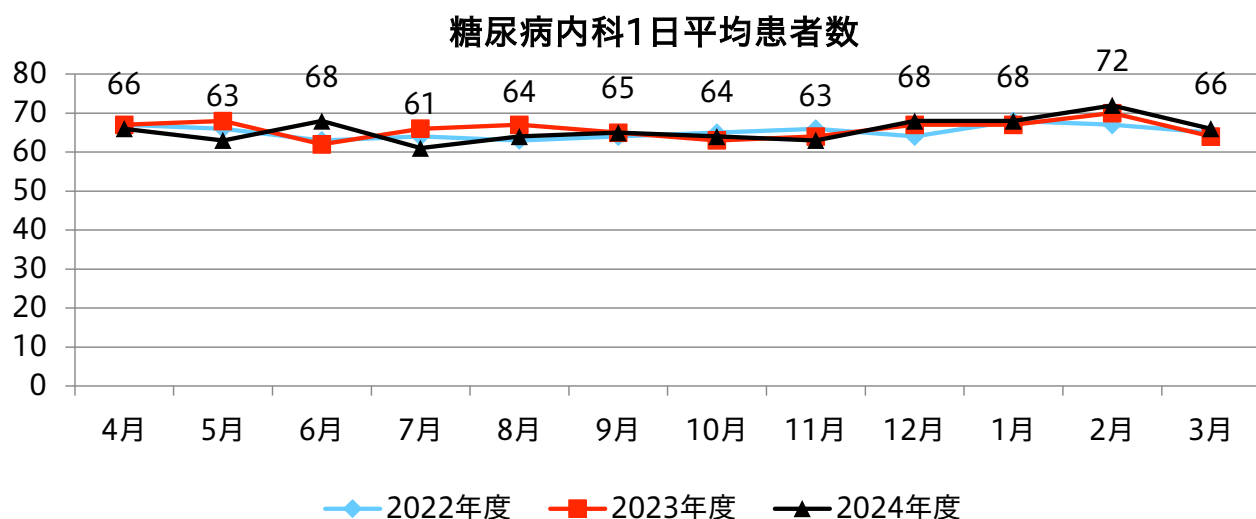
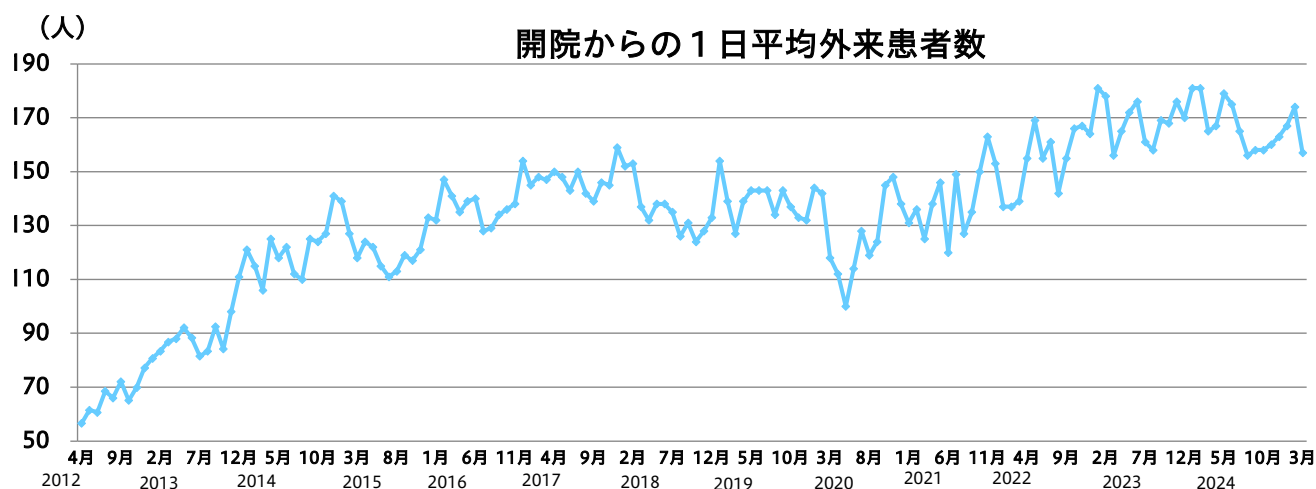
糖尿病内科/水曜日午後・土曜日・日曜日・祝祭日

内科/土曜日・日曜日・祝祭日

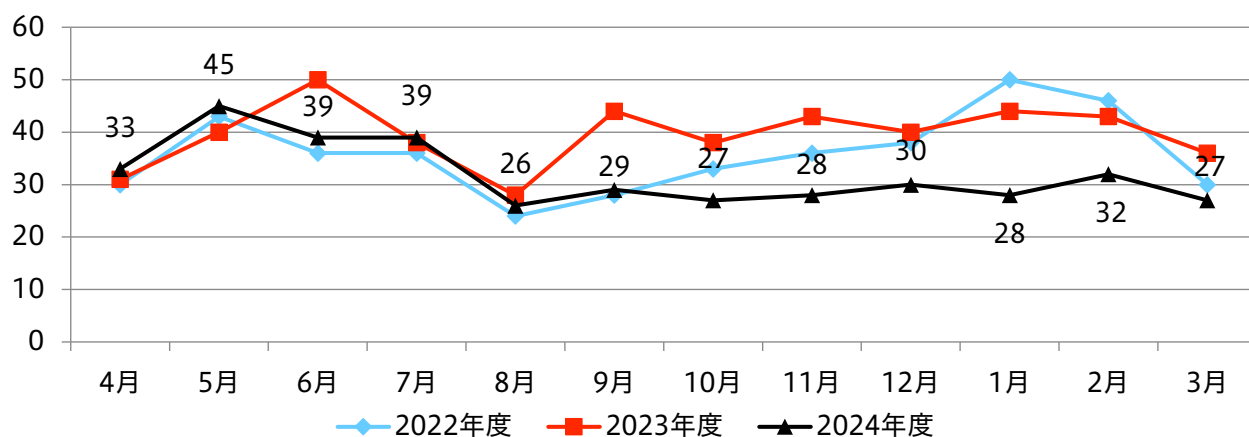
小児科/土曜日・日曜日・祝祭日（月曜・水曜・金曜午後は予防接種のみ※）

※金曜午後の予防接種は2024年3月より

患者統計

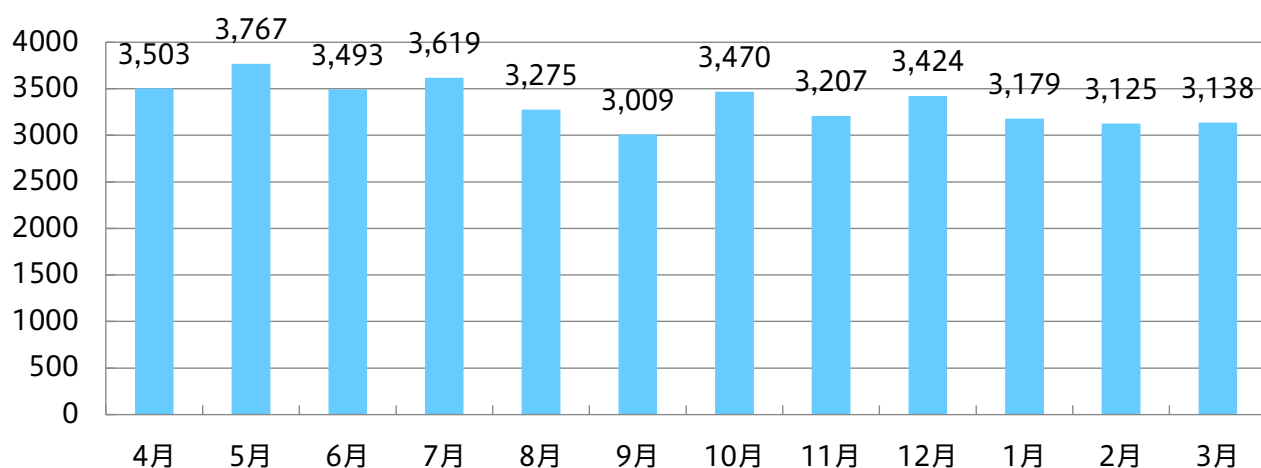


小児科1日平均患者数



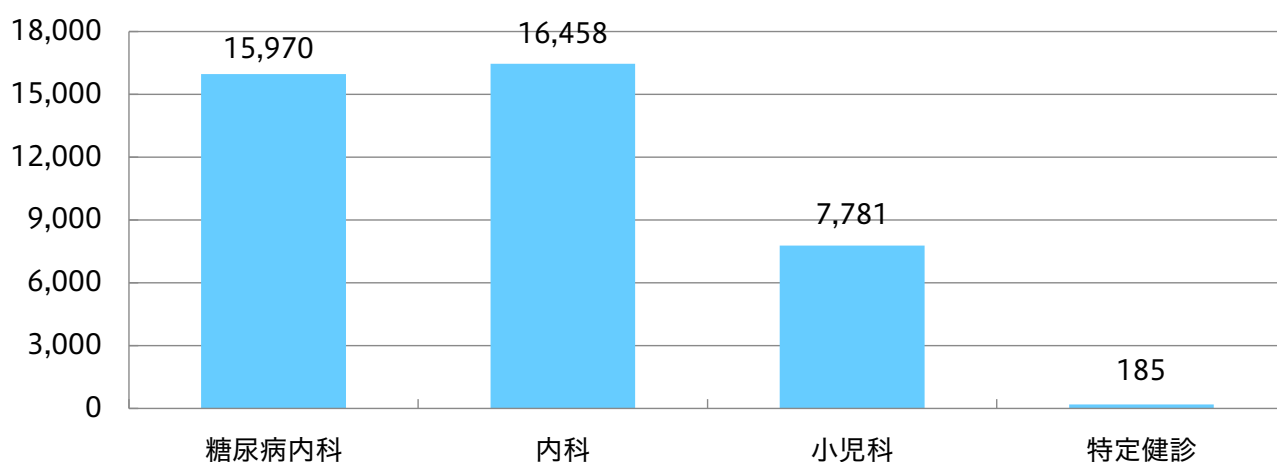
(人)

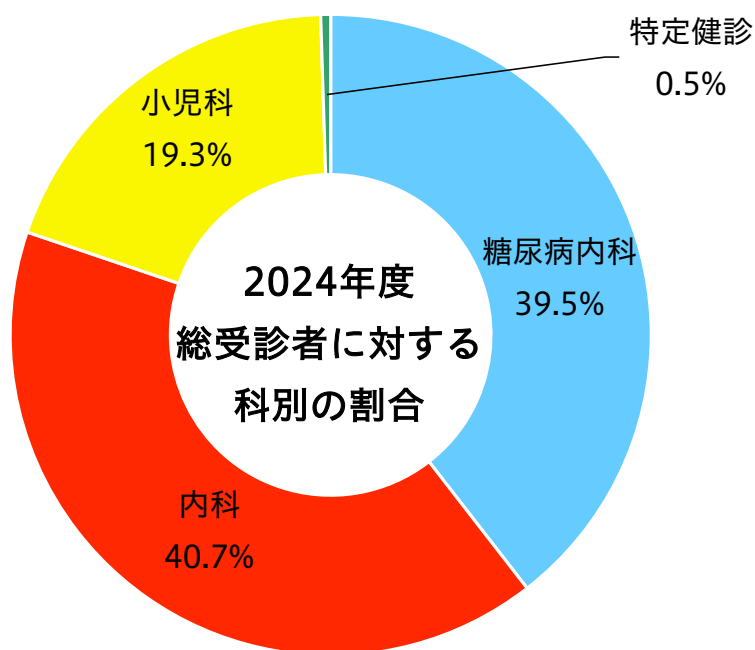
2024年度 ハートライフクリニック月別外来受診者数



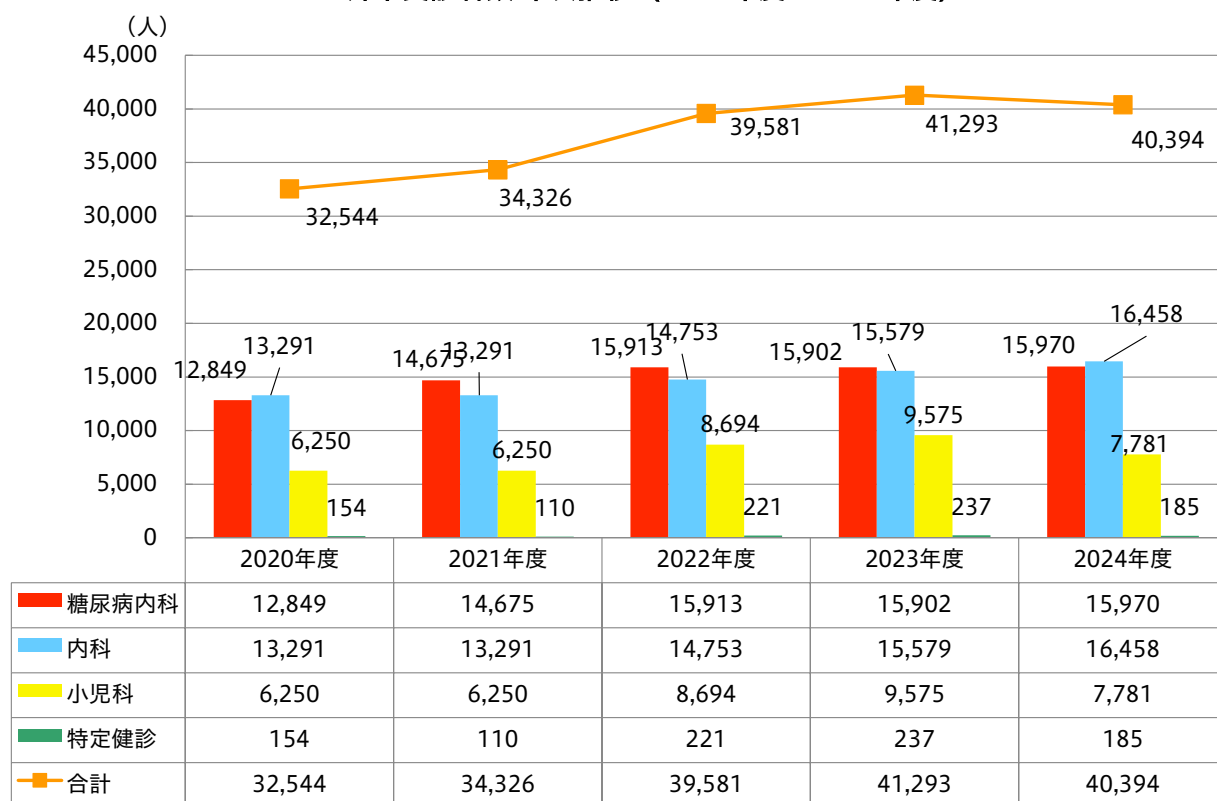
(人)

2024年度 科別受診者数

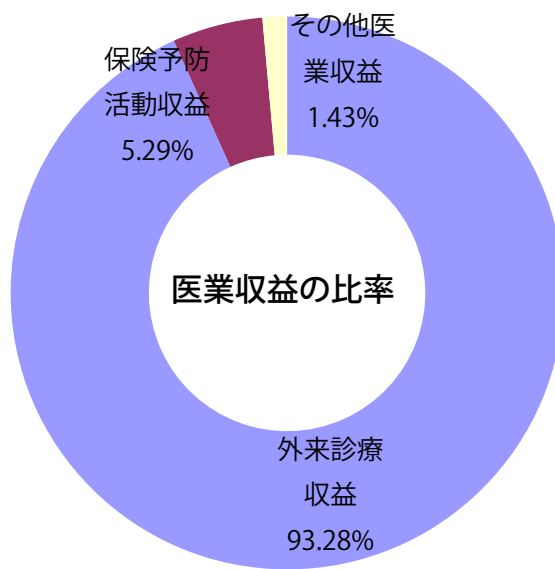




外来受診者数 年次推移 (2020年度～2024年度)



ハートライフクリニック財務情報



ハートライフクリニック 部門別業務実績

糖尿病内科

糖尿病内科部長 小原 正也

部門紹介

ハートライフクリニックの糖尿病内科では、糖尿病患者様の健康維持と生活の質（QOL）の向上を目指し、最新の医療機器と多職種によるチーム医療を提供しています。

【最新機器と治療の取り組み】

1 型糖尿病治療では、自己学習型 AI 機能を搭載したインスリンポンプ「ミニメド 780G」を導入し、患者様の血糖値変動に応じた自動インスリン調整が可能です。また、「メディセーフウィズスマート」による貼付型（パッチ式）インスリンポンプも使用可能で、より快適な治療を提供しています。2025 年 1 月 30 日より、新たに超長時間作用型インスリン「アウィクリ」が処方可能となり、従来よりもインスリン導入が困難だった患者様にも対応できるようになりました。週 1 回投与の糖尿病治療薬との併用で、より良い血糖管理が期待できます。

【血糖測定・モニタリング】

持続血糖測定器（CGM）としては、リブレ 2 や Dexcom G7 を活用し、いずれもスマートフォンやスマートウォッチとの連携が可能で、日常の血糖管理がより身近になっています。

【チーム医療と療養指導】

糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師・管理栄養士・理学療法士・健康運動指導士が連携し、患者様一人ひとりに最適な指導を行います。食事指導や運動療法など、生活習慣の改善を重視した総合的な支援を行っています。

【患者サポートと交流活動】

患者会「ハッピーハート会」や 1 型糖尿病交流会「ボパイの会」を定期開催し、患者様同士の情報共有や心の支えとなる場を提供しています。2025 年の 2 月には、自然の中での「キクラゲ狩り」も開催し、ご好評を頂きました。院内では糖尿病の注意点をまとめたデジタルサイネージを設置し、最新情報を常に発信し、紙媒体でも各部署より有用な資料を提供しています。

【運動・食事からのアプローチ】

医師の運動処方に基づき、当院の理学療法士が運営する疾病予防運動施設「RyueW-ZA」で本格的な運動指導を実施。また、管理栄養士が監修するカフェ「Healthy Cafe ohana」では、栄養バランスのとれた食事を提供し、治療の一環として活用されています。

【啓発活動】

11 月 14 日・世界糖尿病デーには、院内掲示やノベルティの配布などを通じて、糖尿病への理解と予防意識を広げる活動を行っています。

職員数

総数 20 名

医師 5 名（常勤 2 名、非常勤 3 名）

看護師 7 名

管理栄養士 1 名

理学療法士 1 名

健康運動指導士 2 名

メディカルクラーク 7 名

クラーク 2 名

認定・資格

名称	人数
日本糖尿病療養指導士	8

名称	人数
沖縄県地域糖尿病療養指導士	3

患者教育活動

ハッピーハート会

ハッピーハート会ではハートライフクリニック糖尿病内科に通院されている患者様同志の交流を深めると共に糖尿病の知識を高めあう目的として定期的にイベントを開催しています。

【会費】 ¥2,000（後期入会 / ¥1,000）

【2024 年度 / 会員数】 前期入会 48 名 / 後期入会 5 名 / 合計 53 名（職員含む）

【2024 年度活動報告】

①月刊誌「さかえ」（受診の際に患者様に配布しています）

②イベントの開催（2024 年度は 3 回行いました）

名称	日時	参加人数
私の病を語る	2024 年 09 月 28 日	13 名（職員参加 / 13 名）
楽しく運動	2024 年 11 月 16 日	13 名（職員参加 / 13 名）
きくらげ収穫体験	2025 年 02 月 01 日	24 名（職員参加 / 8 名）



私の病を語る



楽しく運動



きくらげ収穫体験

糖尿病月間

11 月 14 日は「世界糖尿病デー」です。

ハートライフクリニックでは毎年、インスリンの発見者フレデリック・バンディング博士の誕生日に制定された 11 月 14 日の「世界糖尿病デー」と関連させてイベントを行っています。今年度は「セルフケア 食事と栄養 50-50」標語に掲げ、11 月 1 日～30 日の期間を「糖尿病月間」とし、来院者や地域の方々に向けて糖尿病に関する啓蒙活動を行いました。館内では、院内通路に糖尿病豆知識パネルを設置し、来院された方々へ院長からのメッセージ付き粗品など配布致しました。



糖尿病教室

糖尿病外来教室とは、看護師や理学療法など様々な専門家の講話を通して、糖尿病のセルフケアに役立つ情報や知識を学んだり、糖尿病の患者さん同士で自分なりのセルフケアの工夫や苦労話を話し合う場を設けるなど、より良いセルフケアを目指そうとするものです。

2024 年度は前年度と同じくコロナ対策として YouTube で配信した糖尿病教室の内容を受診患者様に冊子を使って病識や知識が得られるように配布しました。

開催月		テーマ	担当者
2024 年	6 月	1. 糖尿病って何？ 2. すぐにわかるカリウム	医師 管理栄養士
	8 月	1. あなたの足いつ見ますか？ 2. 糖尿病のあれこれ	看護師 薬剤師
	10 月	1. どうする誘惑 カメ〜カメ〜対策 2. ウォーキングの極意	医師 理学療法士
	12 月	1. 糖尿病検査のあれこれ 2. 温故知新！メトホルミン	臨床検査技師 医師
2025 年	2 月	1. 体調不良（シックデイ） 2. すぐにわかる塩分	看護師 管理栄養士
	4 月	1. 治療を続けるコツ 2. 疲れをためない極意	医師 理学療法士

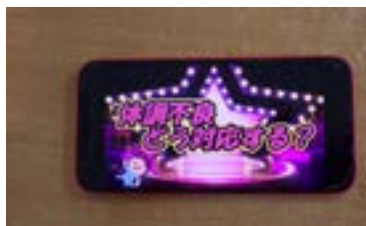
2 か月毎に作成配布した冊子



自由に持ち帰り出来るよう展示



情報ボード配信



YouTube 配信

令和 3 年（2021） 糖尿病患者様向け資料「ありんくりん本」を作成し近隣市町村へ配布

令和 4 年（2022） 毎月第 2 水曜日午後に ZOOM 配信（生配信・録画配信）

令和 5 年（2023） 毎月第 2 水曜日に YouTube 配信

令和 6 年（2024） 令和 5 年（2023）年度 YouTube 配信内容を冊子にして配布

内科

内科 上地 華代子

部門紹介

内科では、高血圧や脂質異常症などの生活習慣病の治療、喘息、COPD 等の呼吸器疾患、特定健診、予防接種業務他、健診からの紹介患者の 2 次精査および様々な症状の初診患者を多く受け入れ、診療しております。

循環器内科医・呼吸器内科医が常勤しており、咳や胸痛、呼吸苦等に対応可能です。呼気 NO 測定を利用した喘息診療も行っております。消化器症状には腹部エコー他、ハートライフ病院と連携し内視鏡検査も積極的に行っております。

2023 年度より週 1 木曜日は消化器 Dr. の診療応援を頂き、診療充実を図っております。

禁煙外来ではチャンピックスの供給停止の為、ニコチネルパッチにておこなっております。前年度と比較し、禁煙外来受診者と 5 回通院した患者数は増えております。内科スタッフによる心理面のサポート体制を強化し、5 回完遂された方は 90% の高い禁煙成功率を収める事が出来ました。

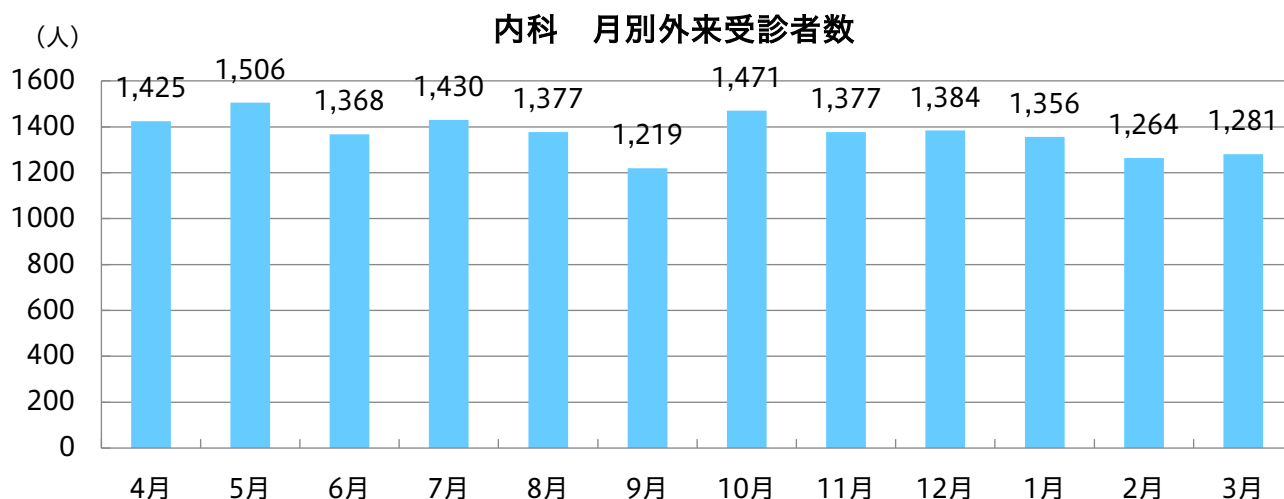
職員数

総数 11 名

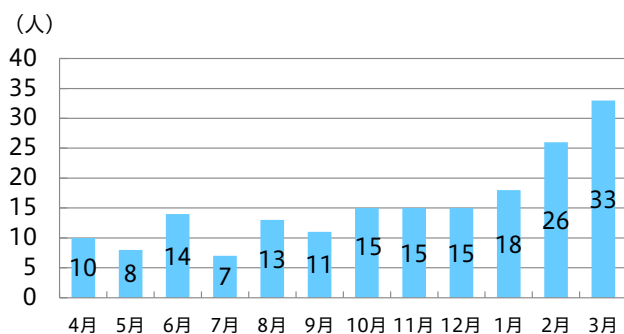
医師 3 名（常勤 2 名 非常勤 1 名） クラーク 3 名

看護師 5 名

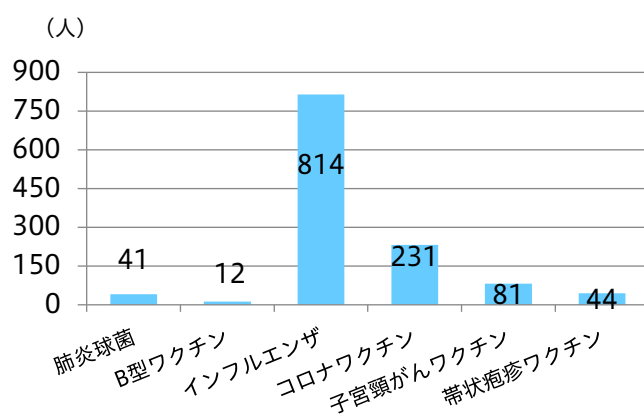
業務実績



特定健診受診者数



予防接種・ワクチン接種実施数



禁煙外来実績

本管理料を算定した患者数 (期間: 2024 年 4 月～2025 年 3 月)	① 30 名
①のうち、当該期間後の 7 月末日までに 12 週間にわたる計 5 回の禁煙治療を終了した者	② 16 名
②のうち、禁煙に成功した者	③ 16 名
5 回の指導を最後まで行わずに治療を中止した者 (①ー②) のうち、中止時に禁煙していた者	④ 0 名
ニコチン依存症管理料の初回の治療の年間の算定回数 (前年 4 月 1 日から当年 3 月末日までの 1 年間)	⑤ 30 名
ニコチン依存症管理料の年間の延べ算定回数 (前年 4 月 1 日から当年 3 月末日までの 1 年間における初回から 5 回目までの治療を含む)	⑥ 122 回
喫煙を止めたものの割合 = (③ + ④) / ①	53.3%
治療の平均継続回数 = ⑥ / ⑤	4.0 回

小児科

小児科 川満 豊

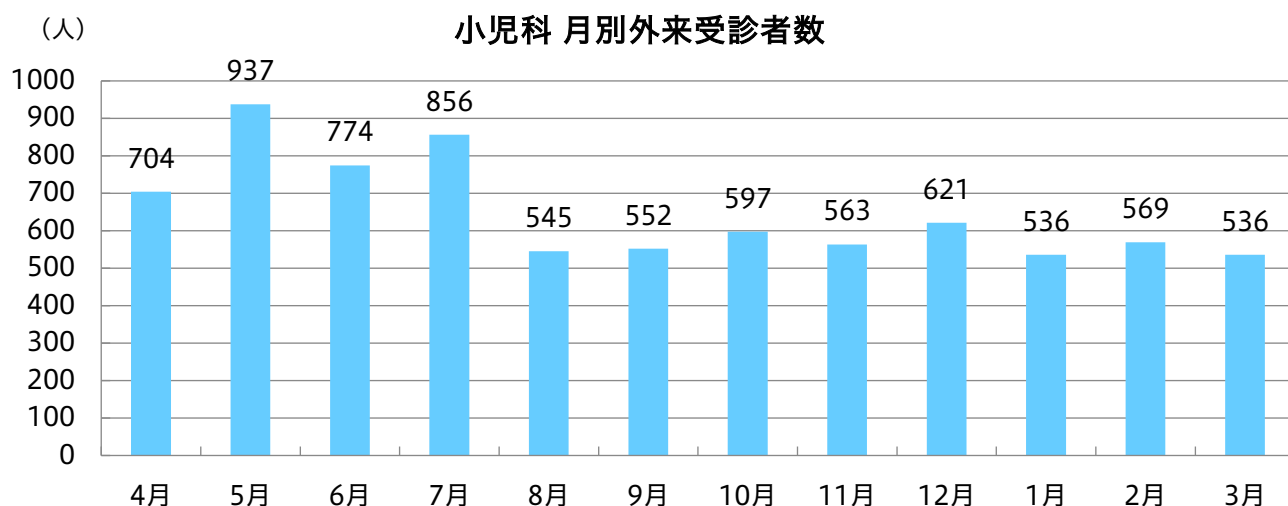
部門紹介

小児科では小児一般外来を行っております。ハートライフクリニックの医師と主に琉球大学病院小児科医局から派遣していただいている非常勤医師で診療にあたっています。月、水、金曜日の午後、予防接種も行っております。

当クリニックの小児科内は、プレイルームを広めにとっており、お子さんが安心して怖がらずに来院できるように工夫しています。

対応が困難な検査や入院が必要となる専門的な治療は、他の医療機関やハートライフ病院などと連携して治療を行います。

業務実績



附属施設

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA 長嶺 敦司

部門紹介

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）はハートライフクリニックと併設しているため、医師による運動処方箋をもとに医学的視点を加味し、安心して効果的な運動による疾病予防が可能です。

リューザには理学療法士が常駐しており、また、健康運動指導士といった運動の専門家が一人ひとりの身体の状態に合った運動プログラムを作成し、健康づくりを全面的にサポートします。

今年度は当クリニック糖尿病内科患者への体組成測定の実施と運動指導、運動・健康情報誌「リューザニュース」、かりゆし会広報誌「あすなろ」への掲載、患者会イベント、西原町・中城村への出前講座など、運動療法の啓蒙活動を積極的に行いました。

職員数

総数 3 名

理学療法士 1 名

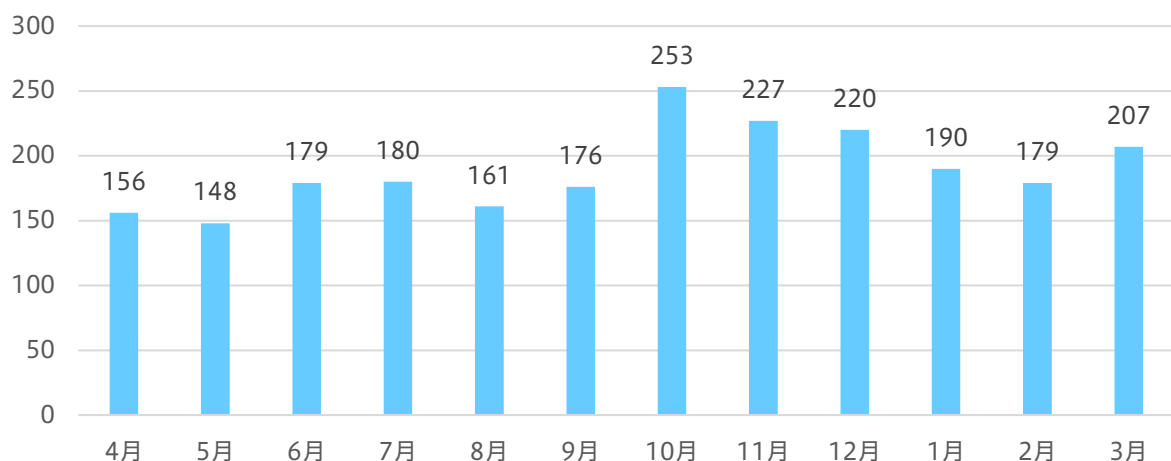
健康運動指導士 2 名

資格・認定

- ・ 理学療法士
- ・ 日本糖尿病療養指導士
- ・ 沖縄県地域糖尿病療養指導士
- ・ 健康運動指導士

業務実績

施設利用者数



活動実績

無料健康講座

名称	開催地	年月日	講師
転倒予防	西原町翁長	2024 年 5 月 13 日	長嶺敦司
健康長寿を 10 年延ばそう	西原町幸地	2024 年 6 月 12 日	長嶺敦司
健康長寿を 10 年延ばそう	中城町津覇	2024 年 6 月 17 日	長嶺敦司
膝痛予防	西原町内間	2024 年 6 月 28 日	長嶺敦司
転倒予防	西原町嘉手刈	2024 年 7 月 10 日	長嶺敦司
HGex で健康長寿!	中城伊集	2024 年 7 月 18 日	長嶺敦司
HGex で健康長寿!	西原町翁長	2024 年 7 月 22 日	長嶺敦司
HGex で健康長寿!	西原町呉屋	2024 年 7 月 25 日	長嶺敦司
健康長寿を 10 年延ばそう	泡瀬産業交流センター	2024 年 9 月 4 日	長嶺敦司
健康寿命を 10 年伸ばそう	中城南浜	2024 年 9 月 18 日	長嶺敦司
HGex で健康長寿!	西原町上原	2024 年 9 月 25 日	長嶺敦司
健康長寿を 10 年延ばそう	内間自治会	2024 年 9 月 27 日	長嶺敦司
簡単ヘアゴム	西原掛保久	2024 年 11 月 7 日	長嶺敦司
認知症予防	中城北浜	2024 年 11 月 12 日	長嶺敦司
認知症予防	西原町翁長	2024 年 11 月 25 日	長嶺敦司
膝を守ろう	西原美咲	2024 年 12 月 10 日	長嶺敦司
HGex「筋トレの必要性」	西原町南上原	2025 年 1 月 22 日	長嶺敦司
HGex「筋トレの必要性」	西原町呉屋	2025 年 1 月 23 日	長嶺敦司
健康長寿 10 年延ばそう	中城サンヒルズタウン自治会	2025 年 2 月 5 日	長嶺敦司

情報誌関連 (QR コードよりコンテンツを閲覧できます)

リユーズニュース

テーマ	発行月	担当
「転ばぬ先のバランス運動」	2024 年 4 月	伊野波盛邦
「筋肉の新常識」	2024 年 6 月	高原早陽香
「長時間座っている方のストレッチ方法」	2024 年 8 月	伊野波盛邦
「運動と水分補給の関係」	2024 年 10 月	高原早陽香
「歩く健康」	2024 年 12 月	伊野波盛邦
「細切れ運動」のススメ	2025 年 2 月	高原早陽香



広報誌あすなろへの寄稿

タイトル	号	監修
「運動は免疫を上げる万能薬!～運動の強さがポイント～」	2024 年春号	長嶺敦司
体が資本! 疲労に気付き! 「リフ活」しよう	2024 年夏号	長嶺敦司
やってみようプチ瞑想「10呼吸」	2024 年秋号	長嶺敦司
やってみよう! リラクゼーション「筋弛緩法」	2025 年新春号	長嶺敦司



患者会イベント活動

テーマ	発行月	担当
レクリエーション大会	2024 年 11 月 16 日	長嶺敦司、高原早陽香、伊野波盛邦

ヘルシーカフェ ohana

ヘルシーカフェ ohana 管理栄養士 新垣 優子

部門紹介

クリニックには、健康管理のサポートを目的とした管理栄養士が運営するヘルシーカフェオハナが併設されています。利用者層は、主に外来受診患者さんとその家族、職員となっています。カフェでは栄養バランスや塩分が考慮されたヘルシーランチや日替わり弁当などを提供しています。

沖縄の文化的特徴として肉料理や揚げ物が振る舞われる行事が多く、糖質、脂質、塩分の過剰摂取が繰り返されます。そこで、カフェから揚げ物や脂質、塩分を控えた料理を提供することで食習慣の改善を促しています。

2024年度は、テイクアウトのみの営業を行っており、ランチ弁当、サンドウィッチやお握りなど手軽に食べられる商品を販売しています。

今年度は、調理に伴う商品の価格高騰により、メニューの価格改定を行いました。特にランチ弁当は容器、品数を増やすなど内容をリニューアルしました。

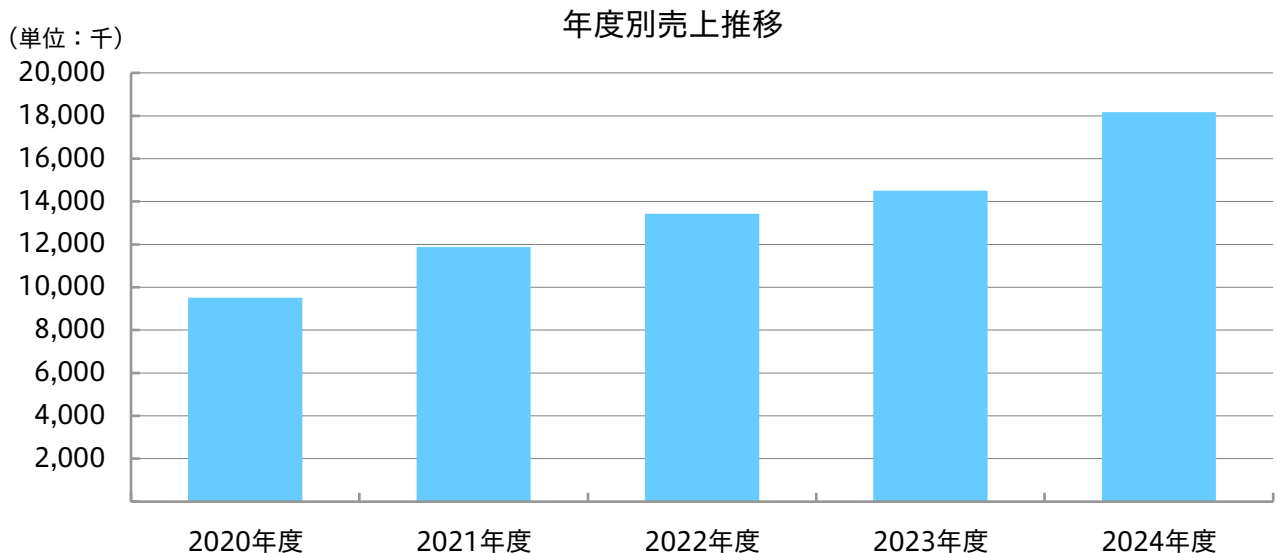
次年度は、調理スタッフが揃いイベント食を再開したいと考えています。今後も、食生活が気になる患者さま、職員の食事サポートを続けて行きたいと思います。

職員数

総数 3名

栄養士 1名

調理補助 2名



西平医院 2024年度 年次報告

Annual report of Nishihira Clinic 2024



理念

わたしたちは心と心をつなぐ信頼される医療をめざします

基本方針

患者が主人公（最も幸せに感じる医療）の医療提供

地域との繋がりを大切に信頼される医療提供

かかりつけ医療機関として地域医療に貢献できる人材育成



年報発刊によせての挨拶



2024年4月より、西平医院は社会医療法人かりゆし会の一員となりました。

同年6月の診療報酬改定の影響等により、一時的に患者数が減少した時期がありました。さらに、9月から新たに電子カルテを導入したことで、当初はさまざまな課題や運用上の影響が生じましたが、職員一同の努力と法人関連職員による多大なご支援を賜り、現在ではスムーズな電子カルテ運用による業務効率化が実現できるまでになりました。これもひとえに職員間のチームワークと、関係各位のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

2025年度につきましては、基本的には2024年度と同様の診療体制を維持したいと考えております。しかし、医師・看護師・その他スタッフの人員構成の変化によっては、受け入れ可能な患者数に制限が生じる可能性があります。そのため、診療運営や制度の方針を再検討し、必要な調整を進めてまいります。また、かりゆし会の多職種スタッフや医師と意見交換を行い、本院での各種検査オーダーを含め、診療メニューや運用体制の見直しも検討いたします。

これは当院に限らず多くの医療機関に共通する課題ですが、人材不足や人材確保の困難さは今や社会的にも大きな問題となっております。当院におきましても、医療DXの推進による業務効率化、職員教育の充実（業務マニュアル整備など）、そして「働きやすく、働きたいと思える職場環境」の整備を引き続き進めてまいります。

これまでも、そしてこれからも、地域に根ざし皆様に信頼され利用していただける社会医療法人かりゆし会 西平医院であり続ける所存です。

引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

社会医療法人かりゆし会 西平医院
院長 西平 守樹

クリニック概要

(2024 年 4 月 1 日現在 / データ作成 事務部 野村)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 西平医院

所在地

〒 901-2205 沖縄県宜野湾市赤道 2 丁目 2 番 2 号

連絡先

電話 (098) 896-1116 (代表)

FAX (098) 896-0766

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/nishihira/>

管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

院 長 西 平 守 樹

施設概要

敷地面積及び建物概要

敷地面積 1,438.54㎡

建築面積 563.00㎡

延べ床面積 1,107.09㎡

職員数

総数 31 名

職種別

職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	2	クラーク	2	放射線技師	1
看護師	7	臨床工学技士	1	調理師	2
准看護師	5	臨床検査技師	1	一般事務	10

指導医・専門医・認定医

名称	人数
日本内科学会認定内科医	2
日本臨床内科医会認定医	1

名称	人数
日本医師会認定健康スポーツ医	1

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 生活保護指定医療機関
3. 難病指定医療機関
4. 労災保険指定医療機関

診療体制**標榜診療科目**

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、人工透析内科、整形外科、リハビリテーション科

受付時間（診療科により異なります）

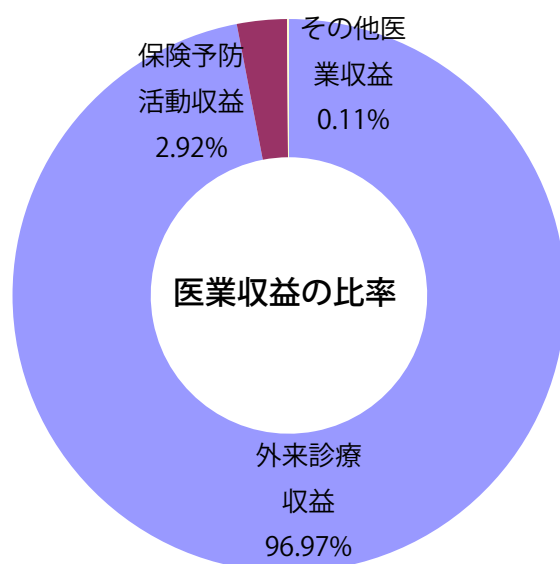
月曜日～水曜日、金曜日 午前 8:30～ 12:00 午後 13:30～ 17:00(火曜日は 16時まで)

木曜日、土曜日 午前 8:30～ 12:00

休診日

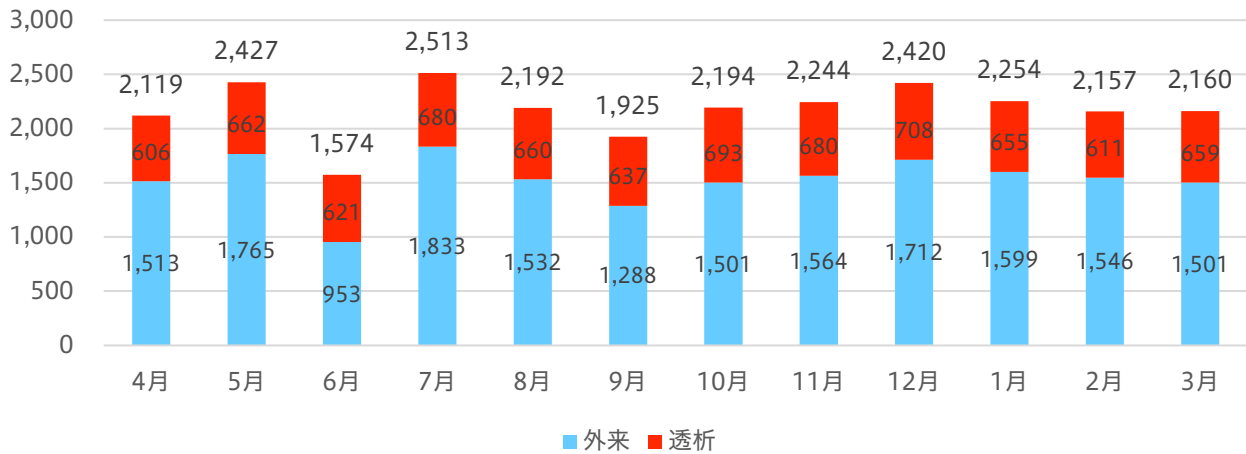
木曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日(旧盆(ウークイ))/年末年始)

※透析診療は除く

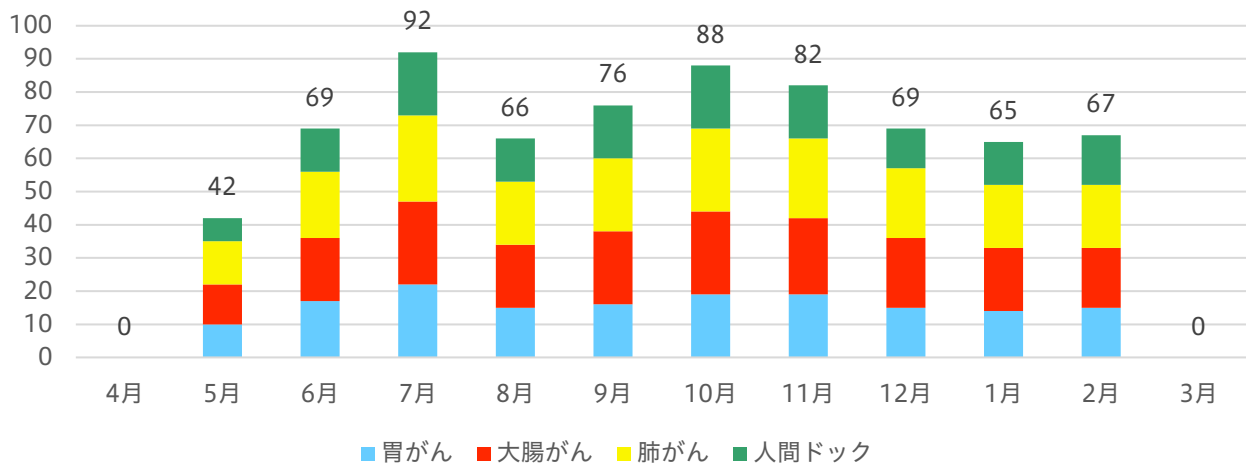
西平医院 財務情報

患者統計

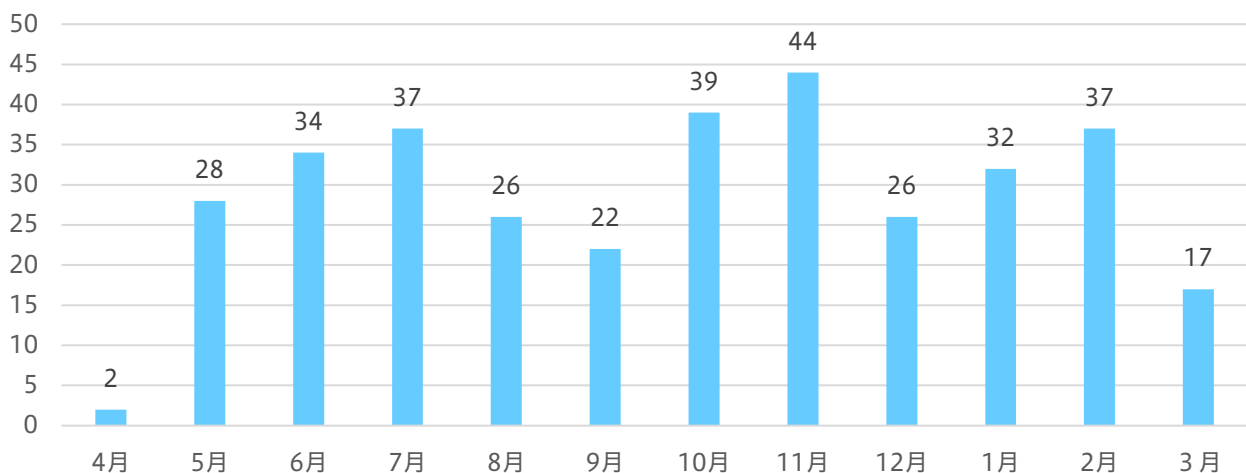
部門別・月別延べ患者数



各種がん検診・人間ドック受診者件数



特定健診受診者件数



ハートライフ地域包括ケアセンター 2024年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2024



理念

わたしたちは、心と心をつなぐ信頼される医療と介護をめざします

運営方針

1. 自分や自分の家族がして欲しいと思うケアを提供します。
2. いつでも笑顔で親切なケアを提供します。
3. 利用者の方の個性や楽しみを尊重し、その人らしく笑顔で日常生活を送れるように優しさと温かみのあるケアを提供します。
4. 医療と介護の連携により、切れ目のない支援を提供します。
5. 職員がやりがいと誇りを持って、働ける環境を作ります。

年報発刊によせての挨拶



1. はじめに

当ケアセンターは、2015年7月の開所から10年目を迎えることができました。これもひとえに入居者様やそのご家族様、そして関係する皆様のおかげと感謝申し上げます。

さて、2024年度は、経営的にかなり厳しい結果となりました。要因としては、当センターの母体であるハートライフ病院への入院を主とした入院者数の増加があります。2023年度の延べ入院者数1,252人（104人/月）に対し、2024年度（2025年3月時点）は2,661人（221人/月）と2倍強となっています。これは、入居者様の高齢化による持病の悪化や尿路感染症、肺炎などの呼吸器系疾患によるところが大きいと捉えております。入居者様が入院された場合、入居者様ご本人の身体的負担や、ご家族・関係者のご心労などが心配されます。また、当センターとしましては、提供している全ての介護サービスが休止となるため減収に直結し、経営的にも厳しい状況となります。

2024年は平均入居者数も94.8名と目標を下回る結果でした。新規入居者が40名、同じく退居者が43名（内死亡退居36名）と例年よりかなり多く、例年の約1.8倍の数値でした。一時期は在宅酸素療法が必要な入居者様が10名在籍していたため、デイサービス利用時に Consent が足りず、施設課へ追加工事を依頼するなど、医療依存度の重症化も目立ちました。前年度に比べ、延べ入居者数は減少していましたが、先述したような状況に加え、身体機能の低下による食思低下や日常生活動作の低下が見られる方が多かったため、現場では限られたマンパワーで創意工夫して、入居者様へ医療・介護サービスを提供しておりました。

下半期、入居率向上に向けて取り組んでいた矢先の2024年10月末、公的補助が適応となるインフルエンザ予防接種期間に入った直後にインフルエンザクラスターが発生しました。安心安全で快適な居住空間作りを目標として感染対策を第一に掲げている中でのクラスター発生でした。ご家族様・関係各位の皆様にご心配をお掛けしました事をお詫び申し上げます。その後、マニュアルに沿った感染対策を実施しましたがワクチン接種もままならない状況下では対応・対策はかなり困難でした。今後は以下の感染対策を徹底することとしております。

1. まずはワクチン接種を含めた職員の標準予防策を徹底する。

感染対策室との連携を強化する。コロナ禍同様に、法人の協力を得て、当センターで職員向けの集団接種を実施する。

2. 入居者様のワクチン接種率向上に向け対策を講じる。法人、特にハートライフクリニックへ協力依頼して実現する。

3. 介護職員は身体介護で体を密着させることが多いため、マスク・ガウンの着用を含めた感染管理を徹底する。

年明け、特に 2 月、3 月は新規入居者受け入れを加速すべく取り組みました。しかし、入居予定者の体調不良や急変、入院先での感染症罹患など入居者自身や施設側の要因が重なり、中々予定通りに進みませんでした。結果、2024 年度は平均入居者数の目標をクリアする事が出来ず、経営は例年以上に厳しい一年となりました。

2024 年度、計画時と比較して最低賃金引上げによる人件費増で赤字幅も膨らみましたが、離職率低減になったと考えます。

ケアプランセンターに関しては、慢性的な人員不足が持続しており介護支援専門員 1 名当たりの担当利用者数が多い状況は変わっていませんが、以前から現場の要望である業務負担軽減と生産性向上、人材確保を目的とし ICT 導入を実施することができ、リモートワークの準備が整いました。経営的に厳しい中ご理解と承認を頂いた事に感謝し、目標達成に向け一層の努力をする所存です。

2024 年度、訪問看護ステーションは、外部利用者増に向けて取り組みました。具体的には近隣の居宅介護支援事業所や市町村の地域包括支援センター、病院（中部徳洲会・中頭病院・浦添総合病院・与那原中央病院・沖縄病院・オリブ山病院）等への広報活動を強化しました。他にも訪問エリアの拡大と依頼のあった際は断らない事を前提に取り組んできましたが、通年では実利用者数 38 名、月の延べ利用者数は平均 22 ～ 23 名と目標件数には至っておりません。また、2025 年 2 月と 3 月の収益減は、2 名体制の訪問リハビリで、2024 年 11 月から理学療法士 1 名が産休入り、12 月に 1 名が退職したことで、訪問リハビリが実施できなくなったことが大きな要因となっています。利用者様の身体機能の維持や退院後の ADL 改善に向け、理学療法士の確保は急務となっています。精神疾患の方や小児の利用者の確保など継続課題に真摯に向き合い「良質な人財による良質なサービスの提供」を心掛け、職員教育と集患に努めて参ります。特筆すべきこととしましては、当センター開設依頼はじめて職員（入居時点では元職員ですが）の利用がありました。30 年以上、当会を支えてきた職員の方で、主に訪問看護サービスを利用していただきながら当センターでお過ごしいただきました。長年当会を支えていただいた事に感謝の想いをもち、精一杯ケアする機会を得たことは、当センターとして誇りに思います。

2024 年度、当センターの経営状況は例年以上に厳しい結果となりました。一時期不在となる職種もありましたが、互いに協力し全職員が本当に頑張ってくれたことに心から感謝したいと思います。また、理事長はじめ理事の先生方、感染対策室、ハートライフ病院、ハートライフクリニックはじめ法人職員の皆様にも心から感謝致します。

2. 2024 年度の振り返りと 2025 年度の目標

A. 居住環境

①安全・安心な生活空間の提供

→クラスターあり。マニュアルの見直しを行い、次年度はワクチン接種率向上の対策を検討し実施予定。

②サービスの質向上

→定時イベントをコロナ禍前同様に実施した。ご家族参加型を積極的に取り入れた。

B. 職員が働きやすい職場環境

①離職率 20%以下の継続：（令和 5 年度沖縄県の介護職離職率 23.7%）

→介護福祉士 12.9% ↓ 介護職全体（ヘルパー・介護助手含む）：15.2% ↓

②ケアセンター全体（有料老人ホーム、デイサービス）の介護職員の確保

→ケアマネジャー確保は難渋しているが、リモートワークを開始するにあたり準備が整った。

③②に伴い、訪問看護を一階の事務所へ移動し、よりご家族様・関係者のご要望などをキャッチしやすい環境となったことでサービスの質向上を目指す。

C. 安定経営とサービスの質確保のための利用者増（2024 年 1 月時点平均値）

①住宅型有料老人ホーム：月平均入居者数 97 名以上の維持

→実績 94.8 名

②デイサービス：1 日平均利用者数 59 名以上の達成

→実績：月～土 52.7 名 日曜：31.7 名

③訪問看護ステーション：1 か月の延べ件数 750 件以上の達成（RH含む）

→実績 884 件 外部利用者実人数：38 名（終了者含む）

④ケアプランセンター：ケアマネジャー 1 人あたりの利用者契約件数 30 名の達成（管理者は 15 名）

→実績：人員不足により 30 名以上を担当

3. 2025 年度への展望

2025 年度の収入計画は昨年に続き 3 回目の料金改定を実施（現入居者様）。4 月以降の新規入居者様から新料金へと改定を実施予定です。今回の新規料金は大幅な料金改定となります。入居者様やご家族様への負担増となると同時に入居者数 97 名～98 名の維持へのリスクが懸念されますが、当センターの強みである本院・クリニックとの連携と看護師 24 時間常駐を前面にアピールし外部への広報・営業活動や、SNS 発信等も実施し新規入居者獲得へ向け努力して参ります。

今年度、開設以来二回目の「利用者満足度調査」アンケートを実施しました。約 8 割のご家族様から満足の評価を頂いています。厳しいご意見も頂戴しました。アンケート結果からみえた課題は①施設内で実施している事の可視化 ②ご家族様とのコミュニケーションを重視し来訪の際は入居者様の状況をこまめにお伝えする事等です。今後も利用者様・ご家族様に満足頂けるサービス提供を目指し、年一回の満足度調査を実施致します。

また、料金改定（値上げ）に伴い、利用者様から求められる事も多様化しています。それらに対応するには「接遇」は勿論、「看護・介護の質の向上」など、職員教育にも注力しつつ、眠り SCAN 等の ICT 導入で居住者の安全と職員の負担軽減も行っていく所存です。

2025 年は医療・介護の人員不足が更に進むと言われており、中でも「介護人材から枯渇する」と言われています。その様な中で人員不足の補填として介護ロボットや見守りセンサー等の導入が必須です。これらの対策を行う事で業務効率化と負担軽減は勿論、心的負担軽減にも大きな効果が得られると期待されています。より良いサービスの提供は、「職員が心身共に健康であること」が重要で、そうあることで自然に笑顔になれます。

経営的課題は山積ですが、当センターの目標は地域住民の方々を支える法人の高齢者施設としての役割を果たすことと考えています。その為には、経営の安定化はもちろん最重要ですが、職員の定着・安定が良質なサービス提供の源だと考えております。今後も入居者様・ご家族様に満足して頂ける高齢者施設を目指して努力して参りますので、当センターの運営に関しまして、関係各位の皆様のご理解とご協力、ご支援の程よろしくお願い致します。

社会医療法人かりゆし会
ハートライフ地域包括ケアセンター
センター長 宮平 典子

施設概要

組織概要

施設名

ハートライフ地域包括ケアセンターを総称として、4 事業所で構成される。

1. 住宅型有料老人ホームはーとらいふ
2. デイサービスはーとらいふ
3. 訪問看護ステーションはーとらいふ
4. ケアプランセンターはーとらいふ

所在地

〒 903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇 1606 番地

連絡先

電話 (098)944-3300 (代表)

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/care/>

管理者一覧

理 事 長	安里 哲好
セ ン タ ー 長	宮平 典子
事 務 長	仲地 智俊

職員数

総数

68 名

内訳

センター長	1 名
事務長（法人事務局部長）	1 名
事務係長	1 名

●有料老人ホーム

介護職員	26 名（デイサービス兼務）
相談員	2 名（デイサービス相談員兼務）
環境整備	5 名

●デイサービス

介護職員	15 名
柔道整復師	1 名

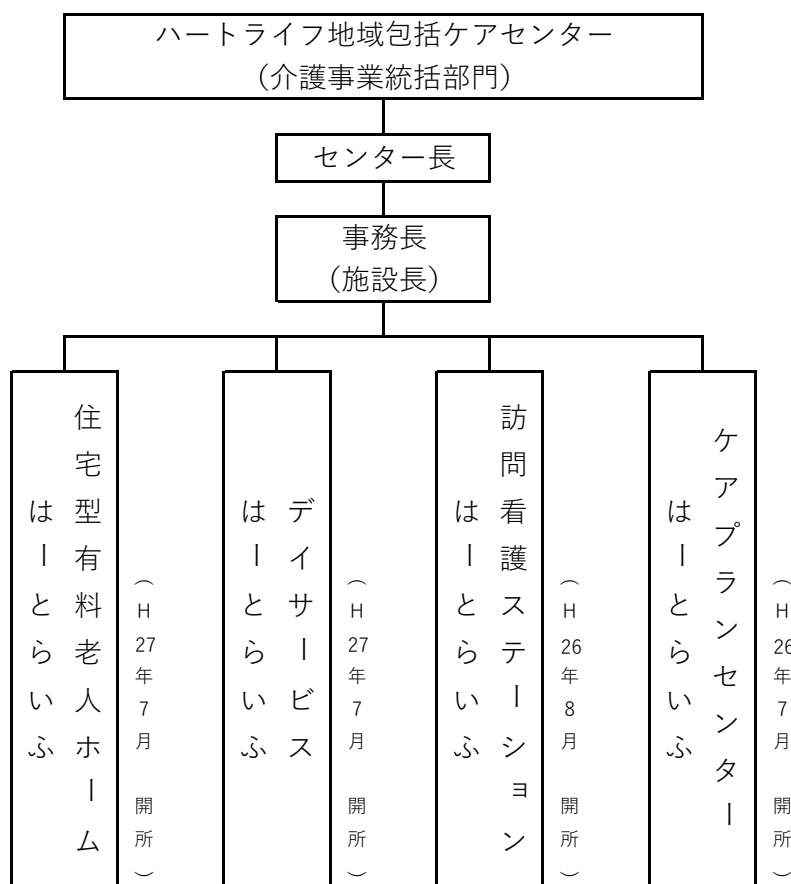
●訪問看護

看護師	12 名（デイサービス兼務）
理学療法士	2 名（デイサービス兼務）

●ケアプランセンター

ケアマネージャー	3 名
----------	-----

組織図



2024 年度 利用者実績

住宅型有料老人ホーム はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規入居者数	3	4	2	3	4	1	3	4	5	4	3	3	39	3.3
短期入所者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
月末入居者数	94	96	95	94	96	96	96	96	93	89	90	90	1,125	93.8
退去者数	2	2	5	3	2	1	3	5	7	9	1	3	43	3.6
内：死亡者数	2(2)	2(0)	3(1)	3(1)	0(0)	0(0)	2(1)	3(2)	5(2)	7(4)	1(0)	3(2)	31(15)	2.6(1.3)
看取者数	0	2	2	1	0	0	1	1	3	3	1	1	15	1.3
入院者数	18	15	16	18	20	14	24	39	24	16	9	12	225	18.8
訪問診療利用者数	25	26	27	26	27	28	30	34	33	30	30	30	346	28.8
平均介護度	3.4	3.4	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	3.4	3.4		3.4

※死亡者数の () は入院先で亡くなった方。

デイサービス はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	3	3	2	3	4	1	3	3	4	2	5	2	35	2.9
利用実人数	92	96	96	93	95	94	94	92	95	90	90	92	1,119	93.3
利用延べ人数	1,489	1,584	1,493	1,573	1,506	1,488	1,352	1,211	1,493	1,368	1,417	1,536	17,510	1,459.2
稼働日数	30日	31日	29日	31日	31日	29日	26日	26日	30日	28日	28日	30日		29日
一日平均数	49.6	51.1	51.5	50.7	48.6	51.3	52.0	46.6	49.8	48.9	50.6	51.2	50.2	50.2
平均介護度	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4

訪問看護ステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	6	7	3	7	2	3	5	7	6	4	3	4	57	4.8
利用実人数	107	115	113	115	114	117	115	119	117	115	112	114	1,373	114.4
延べ人数	970	987	882	1006	930	891	891	859	754	677	568	618	10,033	836.1
稼働実績	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日		30日
一日平均数	32.3	31.8	29.4	32.4	30.0	29.7	28.7	28.6	24.3	21.8	20.3	19.9	27.4	27.4
平均介護度	3.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2

ケアプランセンター はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	0	1	0	0	0	1	1	0	2	0	1	0	6	0.5
利用実人数	93	93	97	89	85	82	85	83	84	79	74	72	1,016	84.7

2024 年度満足度調査

当センターでは、サービス向上を目的に『満足度調査』を実施致しました。今回実施した2024年度の調査結果をご報告致します。皆様からいただいた貴重なご意見を当センターの全部署で共有し、より良い介護・医療サービス提供の向上に取り組んでまいります。

アンケートにご協力して下さった皆様には心より感謝を申し上げますとともに、今後とも当センターのご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

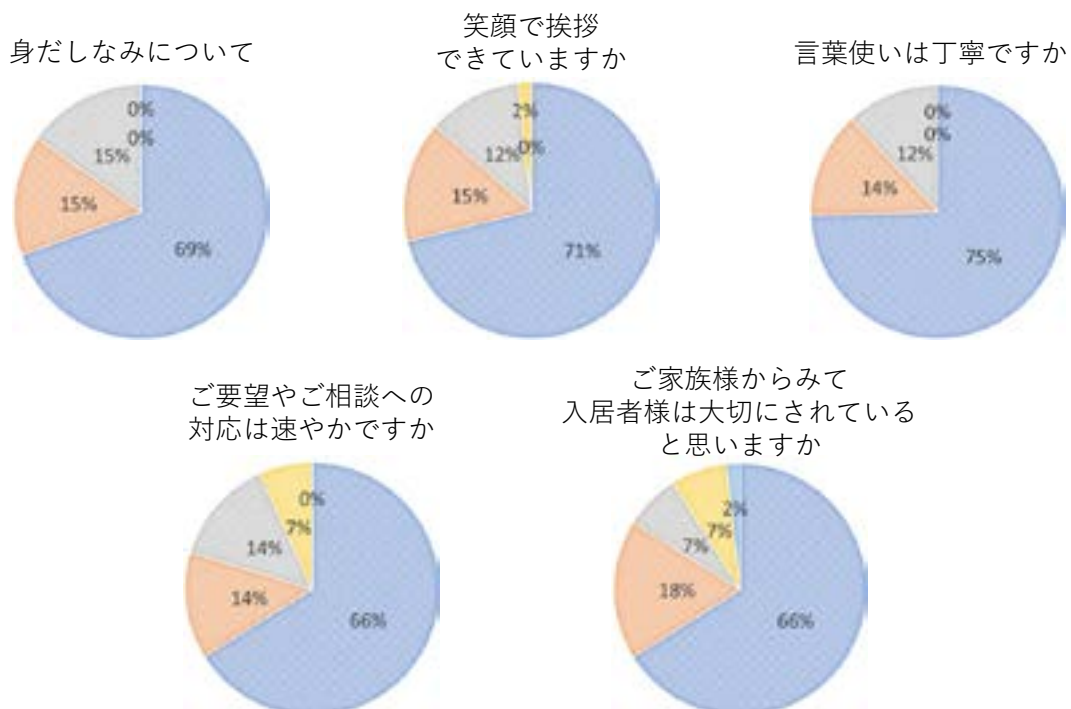
調査部署：住宅有料老人ホーム・デイサービス

訪問看護ステーション・相談員、事務員

調査期間：2024年12月13日（金）～2025年1月5日（日）

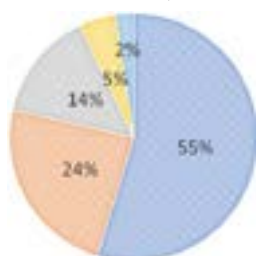
■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満

1. 職員について



2. デイサービス利用について

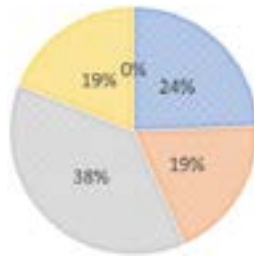
利用回数は
いかがですか



レクリエーション・
イベントはいかがですか



機能訓練は
いかがですか



入浴頻度・プライバシー
は守られていますか



3. 訪問看護ステーションについて

訪問時の対応は
いかがですか



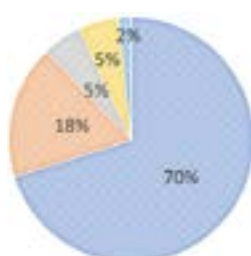
相談しやすい
雰囲気ですか



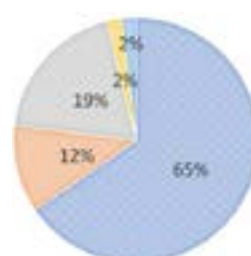
報告・連絡は
速やかですか



体調不良時の
対応はいかがですか



受診～入院に至る
経緯は速やかですか

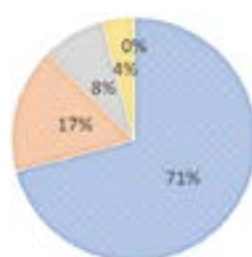


4. 相談員・事務員について

受付及び電話対応に
ついていかがですか



声掛け・相談しやすい
雰囲気ですか



相談への対応は
速やかですか



送迎時の対応は
丁寧ですか



はーとらいふ保育園 2024年度 年次報告

Annual report of Heartlife Nursery 2024



理念

私たちは心と心を結ぶ親子の絆を深める保育を目指します。

保育方針

保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な
心身共にすこやかな成長を保育方針とします

保育目標

よくあそぶ子

好奇心豊かな子

表現豊かな子



年報発刊によせての挨拶



社会医療法人はーとらいふ保育園は、2017年に設立し、2025年4月で9年目を迎えます。

はーとらいふ保育園をご利用くださった方々、現在ご利用いただいている方々、そして当園に携わる各部署の皆様のお力添えによるものであり、皆様のご協力とご理解に心より厚く感謝申し上げます。

感染対策に関しましては、引き続き保護者の皆様には玄関でのAI機能搭載体温計測カメラシステムによる検温、園児は受け入れ時の検温実施、園内の消毒、玩具や園児が触れるすべての物の清拭、保育室の換気、空気清浄機の稼働、園児への手洗い励行を継続し、安心して園生活を送れるよう努めてまいります。

また、他園に通うお子さんの一時預かり（慰霊の日や年末など）も継続して行っており、昨年も当会で働く職員の方々にご利用いただき、微力ながらも貢献できたものと考えております。

『一時預かり保育』に関しましては、入職や復職をされる職員のお子さんを、入園前の慣らし保育として1～2か月前より受け入れることで、保護者もお子さんも徐々に園生活に慣れ、生活リズムを整えることができるよう配慮いたしました。2025年度も、他園に入園予定の当会職員のお子さんを『集団生活の体験入園』として受け入れ、ご利用のニーズに応じてまいります。

また、『地域枠』を設けて3年目を迎えますが、中城村、西原町、宜野湾市在住のお子さんを受け入れたことで年々問い合わせが増え、入園につながることができました。

保護者の皆様に安心していただけるよう、お子さんの園での日々の様子をブログで、園からのお知らせをホームページで公開することといたしました。当会の職員のみならず、地域の方々にもご覧いただけるようにしております。

開園以来実施しておりました『親子うんどう会』は、新型コロナウイルス感染症の影響により『ミニミニうんどうかい』へと変更し、園庭で園児のみの参加で行ってまいりましたが、2024年11月には中城村民体育館にて開催することができました。保護者の皆様にも好評をいただき、2025年度も同体育館にて開催する予定です。

子どもたちは幼いながらも、さまざまなものを見て、感じ、表現します。その思いに職員一人ひとりが寄り添い、豊かな感性を育てながら、園生活がより充実したものとなるよう努めてまいります。

社会医療法人かりゆし会はーとらいふ保育園 園長 金城 久乃

施設概要

当園は、社会医療法人かりゆし会の職員のお子さまを対象に、お預かりする保育園（企業主導型保育事業）です。育児中である当会職員が「仕事と育児の両立の充実」を提供できるように平成 29 年 4 月より設立しました。

また、地域のニーズや待機児童解消に応じ、令和 4 年度より中城村在住の方の地域枠を設け、令和 5 年度より宜野湾市、西原町、与那原町へと受け入れを拡大し、令和 6 年度は 10 名の園児を受け入れました。

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 は一とらいふ保育園

所在地

〒901-2417 沖縄県中頭郡中城村字伊集 159 番地

連絡先

電話 098-987-6543

FAX 098-987-6544

管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

園 長 金 城 久 乃

職員数

総数 11 名

職種別

園長 1 名

保育補助・子育て支援員 2 名

保育士 8 名

事務（連携推進担当） 1 名

理念

私たちは心と心を結ぶ親子の絆を深める保育を目指します。

保育方針

保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な心身共にすこやかな成長を保育方針とします。

保育目標

- ・ よくあそぶ子
- ・ 好奇心豊かな子
- ・ 表現豊かな子
- ・

保育時間

7:15～18:15（平日のみ延長保育：18:15～19:15）

保育士配置基準

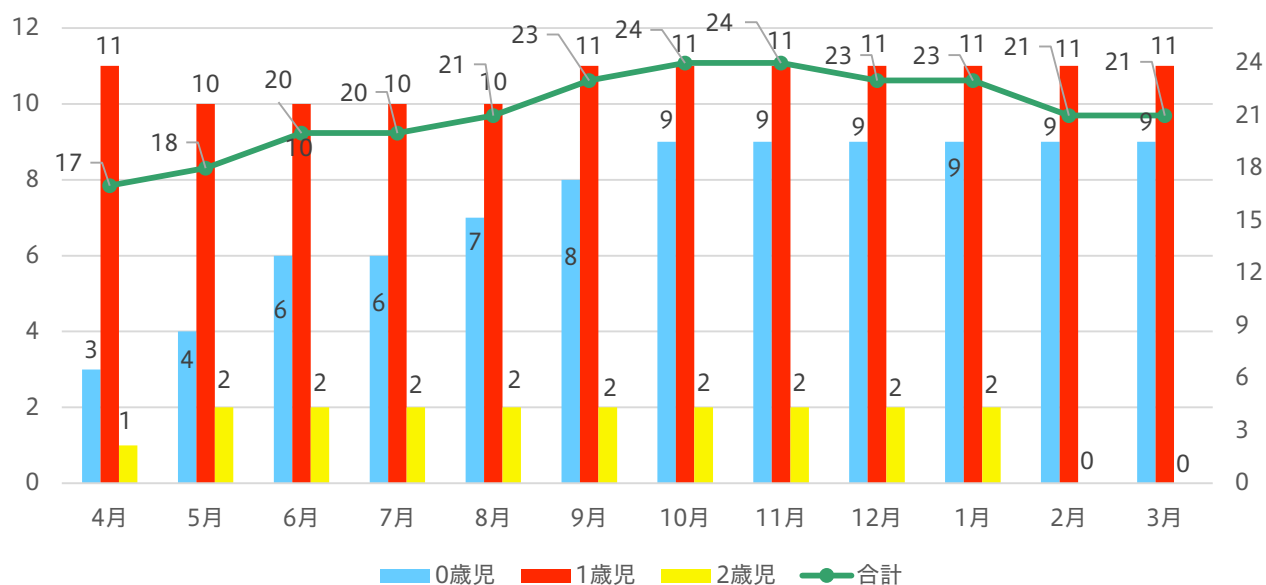
0歳児 3名
1歳児 2名
2歳児 2名

保育料金

0歳児 25,100円
1歳児 25,000円
2歳児 25,000円

令和4年度より地域枠（中城村、西原町、宜野湾市、与那原町）を設けました（1、2歳児）。

2024年度園児在籍数



園行事・活動

4 月	入園式 / 野菜の植え付け（オクラ・二十日ネギ・トマト）
5 月	内科健診
6 月	歯科健診 / 尿検査
7 月	七夕 / 水あそび
8 月	水あそび / すいか割り
9 月	うどんどうあそび
10 月	ハロウィンパーティー事務部訪問 / 尿検査
11 月	内科健診 / 歯科健診 / 親子うどん会
12 月	クリスマス会 / 記念撮影 / 総合避難訓練
1 月	正月あそび
2 月	節分豆まき
3 月	ひな祭り / お芋ほり / 年度保育修了

毎月行事	誕生会 / 避難訓練（火災・津波・地震） / 身体測定
------	-----------------------------

研修・勉強会実施報告

名称	種類	日時	参加者
新入園児の情報共有・避難訓練について年計画の周知	園内研修	4 月	全職員
新入園児とアレルギー児の報告と食事の把握	園内研修	4 月	全職員
散歩コース、道路の歩き方の確認	園内研修	5 月	全職員
乳幼児の窒息・誤飲の予防について	園内研修	6 月	全職員
園児の写真掲載について	園内研修	6 月	全職員
乳幼児の睡眠事故について SIDS や窒息事故を未然に防ぐ	園内研修	9 月	全職員
児童福祉施設等給食担当職員研修	園外研修	9 月	玉城かすみ
保育安全研修（オンライン）	企業主導型保育事業	9 月	嘉数綾乃
施設長研修（オンライン）	企業主導型保育事業	10 月	金城久乃
乳児保育（オンライン）	企業主導型保育事業	10 月	玉城かすみ
保護者支援・子育て支援研修	企業主導型保育事業	10 月	嘉数綾乃
食育アレルギー	企業主導型保育事業	10 月	照屋尚美
障害児保育（オンライン）	企業主導型保育事業	11 月	森嶋友美
AED 心肺蘇生法 講師：救急外来職員	園内研修	11 月	全職員
園外活動の危険箇所の把握	園内研修	11 月	全職員
保育スキル向上（オンライン）	沖縄県子育て支援課	11 月	照屋尚美
要保護児童対策・児童虐待における通告・報告	園外研修 中城村	12 月	玉城奈々
総合避難訓練を終えて	園内研修	1 月	全職員
次年度に向けて 個人情報取り扱い再確認	園内研修	2 月	全職員
次年度に向けて 入園児の面接結果報告	園内研修	3 月	全職員
要保護児童支援 中城村子ども課	中城村	3 月	金城久乃

2024 年度立入調査 / 監査実施報告

名称	日時
沖縄県子育て支援課立入調査	7 月
児童育成協会による立入調査 企業主導型保育事業	8 月
児童育成協会 労務監査	10 月

次年度への方針計画

1. 対象年齢：0 歳児（生後 6 ヶ月）から 2 歳児（3 歳の誕生日を迎えた年度末まで）
産休育休明けの対象者が多くいる事や、3 歳児からの集団への学び、成長過程を踏まえた上での未満児の保育の充実に努める。
2. 保育料金
0 歳児（25,100 円）、1 歳児（25,000 円）、2 歳児（25,000 円）
地域枠（0 歳児 36,000 円 1、2 歳児 32,000 円）
※一時預かり（給食込） 当会職員（1,000 円 / 日） 地域枠（1,500 円 / 日）
行事費などの徴収分を保育料にまとめたものとする。
3. 保育時間
開園：7 時 15 分～ 18 時 15 分
延長保育：（月～金）18 時 15 分～ 19 時 15 分
保護者の方の勤怠に応じての保育時間とする。
4. 園児定員数 合計 30 名
0 歳児（9 名）、1 歳児（9 名）、2 歳児（12 名）
※保育室の平米数による規定あり
5. 個人面談
6. 園庭整備、畑（食育）

2025 年度の計画

1. 感染症対策を継続し、園内消毒に努める。
2. 安全環境の整備（保育室及びベランダ、園庭、固定遊具、水遊び等）
3. 園児絵本、エプロンシアターやペープサート、手袋シアターの実施
4. 職員間の連携
5. 働きやすい職場の環境整備及び休憩室の活用
6. 五感を使った畑の管理や食育の体験
7. 一時預かりの受け入れ（継続）希望により入職、復職の 2 か月前から実施
 - ・入職、復職前の一時預かり保育（慣らし保育）
 - ・集団生活前の体験保育
8. ハローウィン仮装で事務部訪問
9. 親子うんどう会
10. クリスマスパティー・記念撮影

かりゆし会の1年

写真で振り返る かりゆし会の1年

2024年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

2024年

4月1日

西平医院が社会医療法人かりゆし会に加わる

入職式・新入職員オリエンテーション

西原 実がハートライフ病院 院長に就任

前任の佐久川 廣がハートライフ病院 顧問に就任

総合診療専門研修プログラム開始

第一種・第二種協定指定医療機関指定(感染症)

ハートライフクリニック 開院12周年

合同慰霊祭

ハートライフ病院が新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る感謝状を
第17回地域医療連携懇談会

手術支援ロボット「Da Vinci Xi」を導入

院内講演会「患者はうそをつく～めまい～」講師:林寛之先生(福井大学医学

ハートライフ地域包括ケアセンター 開設9周年

医療体験実習(7月22日～8月9日)

ハートライフ病院で書類電子保存のための長期署名システムが稼働

ハートライフ病院 開院35周年

手術支援ロボット「Da Vinci Xi」を用いて消化器外科第1症例の手術を実施
互助会主催・BBQ

乳腺外科 常勤体制再開

永年勤続者表彰

理事長の安里哲好が琉球大学の教育研究の充実と発展に寄与したとして感
看護研修棟が竣工

火災避難訓練

ハートライフ病院の代表電話番号および人間ドック予約専用番号を「ナビ
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 インプラント実施施設認
保健所立入検査

大規模災害机上訓練

大規模災害実働訓練

九州厚生局・適時調査

互助会主催・大忘年会

日本医療機能評価機構・病院機能評価受審<3rdG_Ver3.0>(12月23日～12

2025年

1月10日

新春もちつき大会

1月31日

「第6回ハートライフ病院・ハンズオンセミナー」講師:皆川洋至先生(城東整
第4回かりゆし会研究発表会本選

2月6日

ハートライフ病院市民公開講座「身近な乳がん正しく備えるために」講師:柏葉匡寛
第3回おきなわ子どもメディカルラリー

2月15日

2月23日

卒後臨床研修修了式&修了パーティー

3月21日



西平医院が
社会医療法人かりゆし会に加わる



西原 実がハートライフ病院
院長に就任



入職式



新型コロナウイルス
ワクチン接種事業に係る感謝状を授与

授与

部附属病院教授)



地域医療連携懇談会



ダビンチ手術の第1症例

謝状を授与

ダイヤル」に変更
定



安里哲好が琉球大学の教育研究の充実と
発展に寄与したとして感謝状を授与



看護研修棟が竣工

月24日)

形外科副院長)

乳腺外科センター長



大規模災害実動訓練



第3回おきなわ子どもメディカルラリー

2024 年 社会医療法人かりゆし会 永年勤続者

勤続 30 年（1994 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日入職者）

奥島 憲彦	ハートライフ病院 外科
知念 晶子	ハートライフ病院 5 階病棟
島袋 すが子	ハートライフ病院 看護管理室
高嶋 敬子	ハートライフ病院 診療支援室 秘書
百名 智美	ハートライフ病院 総務課 庶務係
糸数 香織	ハートライフ病院 予防医学センター
宮城 さおり	ハートライフ病院 予防医学センター

勤続 20 年（2004 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日入職者）

末吉 健次	ハートライフ病院 脳神経外科
石原 桂子	ハートライフ病院 外来
安里 紀子	ハートライフ病院 6 階病棟
新垣 健	ハートライフ病院 リハビリテーション科
比嘉 美智子	ハートライフ病院 臨床検査科
嶺井 圭二郎	ハートライフ病院 医事外来課
中本 貴之	ハートライフ病院 医事外来課
當山 千春	ハートライフ病院 医事入院課・保全

編集後記

2024 年度のハートライフ病院年報が作成されました。この年報を編集、作成にあたり改めて当院の各部署が、それぞれの専門性を活かしながら、患者さんに寄り添った医療を提供していることを実感いたしました。それは、医療技術の進歩だけでなく、スタッフ間の連携、そして何より患者様とご家族との信頼関係によって支えられています。

2024 年度は手術支援ロボット等新しい医療機器の導入、診療体制の見直し、それらに対する新たな対応もありました。そして地域医療へのさらなる貢献をめざして全職員取り組んでまいりました。この一冊には全職員の熱意と努力の軌跡が凝縮されています。

今後も「笑顔で親切 ハートライフ病院」を肝に銘じて取り組んでまいります。最後に本年報の編集、作成にご協力頂いたすべての皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

年報作成委員会委員長 嘉川 春生

データ収集にご協力頂いた、各部署の皆様ありがとうございました。

年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

◇年報作成委員会◇

委員長	嘉川 春生（泌尿器科部長）
委員	安谷屋 佳子（看護部部長）
	知念 政治（企画室課長）
	石新 紘也（ハートライフ地域包括ケアセンター課長）
	長嶺 敦司（ハートライフクリニック主任）
	高屋 美希（栄養科主任）
	金城 美加（メディカルクラーク主任）
	我如古 理咲子（診療情報管理室副主任）
	根間 美香子（メディカルクラーク副主任）
	内間 善一（総務課）
	宮城 映子（総務課図書係）
企画調整・編集	仲田 尚正（企画室広報係主任）

社会医療法人かりゆし会 年報
第 31 巻 2024 年度年報 2025 年 10 月

編集発行人 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
年報作成委員会

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話 . (098) 895-3255 (代) FAX. (098) 895-2534
URL. <https://www.heartlife.or.jp/>